



Mimaki®

Software RIP

RASTER LINK 6 PLUS

リファレンスガイド



ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複製することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しまして、将来予告無しに変更することがあります。
- 本ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項とが一部異なる場合があります。ご了承ください。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してのメディア（ワーク）等の損失、メディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop、Illustrator および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、Mac OSX は、Apple Inc. の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10 は、Microsoft Corporation
の米国ならびにその他の国での登録商標または商標です。

PANTONE® Colors displayed in the software application or in the user documentation may not match
PANTONE-identified standards. Consult current PANTONE Color Publications for accurate color.
PANTONE® and other Pantone trademarks are the property of Pantone LLC. ©Pantone LLC, 2017

Pantone is the copyright owner of color data and/or software which are licensed to MIMAKI ENGINEERING
CO., LTD. to distribute for use only in combination with RasterLink6Plus. PANTONE Color Data and/or
Software shall not be copied onto another disk or into memory unless as part of the execution of
RasterLink6Plus.

その他、本書に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標または登録商標です。

この説明書について

本書は“RasterLink6Plus”の機能について説明をします。

本文中の表記について

メニューに表示される項目は、[フルカラー]のように□で囲っています。
ダイアログに表示されているボタンは、，[更新]のように、□または□で囲っています。

マークについて



操作を行う上で、注意する点を説明しています。



知っていると便利な使い方について説明しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

用語について

- ジョブ：RasterLink6Plus が取り扱う印刷ファイルのことを“ジョブ”と称します。
Adobe Illustrator などのアプリケーションソフトウェアから出力した各種フォーマットの
入力データを RasterLink6Plus にスプールすると RasterLink6Plus に登録され、ジョブになります。
- 幅：RasterLink6Plus の設定画面で表示する [幅] とは、プリンタのヘッドが動く方向 (Y 方向) を指します。
- 送り：RasterLink6Plus の設定画面で表示する [送り] とは、プリンタのメディアが動く方向 (X 方向) を指します。

RasterLink6Plus のソフトウェア構成

RasterLink6Plus は以下のソフトウェアにより構成されています。



RasterLink6Plus

各種画像データを受け、多彩な編集を行い、プリンタに作画データを送信するソフトウェアです。



プロフィールマネージャー

RasterLink6Plus で使用するデバイスプロファイルおよび入カプロファイルを管理するソフトウェアです。(☞インストールガイド P.30)

RasterLinkTools

Adobe Illustrator でプリント&カットおよび特色用データを作成するためのプラグインソフトウェアです。(☞P.172)



ライセンスツール

RasterLink6Plus を使用するためには、ライセンス認証する必要があります。ライセンスツールはライセンス認証を行うためのツールです。(☞インストールガイド P.15)



アップデートツール

最新のプログラムおよびプロファイルをインターネットを経由してダウンロードし、適用するツールです。(☞インストールガイド P.24 および P.25)

目次

ご注意	2
この説明書について	3
本文中の表記について	3
マークについて	3
用語について	3
RasterLink6Plus のソフトウェア構成	4

RasterLink6Plus の基礎

RasterLink6Plus の起動	12
起動の手順	12
スタートメニューから起動したい場合	13
画面構成	14
共通項目	14
印刷までの流れ	18
画像を RasterLink6Plus で読み込む	18
登録できるジョブ数の上限について	20
ジョブを選択する	21
拡大・縮小など基本的な設定を行う	22
出力する	22
RasterLink6Plus の終了	23

機能説明

各機能アイコンについて	26
ジョブの情報を表示する - ジョブのプロパティ	27
機能	27
画面構成	27
操作	29
複数の画像を 1 つにまとめる - 面付け	35
機能	35
画面構成	35
面付けの配置設定	36
面付けの条件	38
面付けの手順	39
基本的な画像編集を行い印刷する - 通常印刷	41
機能	41
画面構成	41
治具に配置した素材に印刷する - 治具印刷	53
“治具”とは	53
機能	53
画面構成	54
治具を使用した印刷手順	60
こんなときには	63
治具配置の条件	64
大判画像を分割して印刷する - 分割印刷	65

分割印刷の用途	65
機能	65
画面構成	65
こんなときには	72
分割印刷の条件	72
画像を隙間無く並べて印刷する - ステップ & リピート	73
機能	73
画面構成	73
画像の一部を切り取る - クリップ	77
機能	77
画面構成	77
特色インク用画像を作成する - 版作成	79
機能	79
画面構成	79
版作成できないジョブ	81
画像を重ね合わせて1つの画像にする - 合成	82
機能	82
合成時のジョブの重ね方について	82
画面構成	85
合成の手順	88
合成した画像の詳細設定を行う - レイヤー設定	90
機能	90
特色重ね印刷	90
特色の位置補正とサイズ補正	91
画面構成	92
印刷条件を設定する - 印刷条件	94
機能	94
画面構成	94
画像の色を別の色に置き換える - 色置換設定	107
機能	107
データについて	107
画面構成	108
測色器を使用して色置換するには (V3.5 以上のプロファイル選択時)	110
色置換の注意事項	112
カラーコレクションとの連携	115
特色を使用して色置換した場合	116
色置換の設定	117
プリンタへ出力する - 実行	122
機能	122
画面構成	122
ジョブを複製する - 複製	126
機能	126
画面構成	126
ジョブをファイルに保存する - バックアップ	
保存したジョブを読み込む - リストア	127
機能	127
画面構成	127

ジョブや RIP 済みデータを削除する - 削除	129
機能	129
画面構成	129
プリント&カット	130
機能	130
プリント&カットジョブの作成手順	130
Twin ロール印刷	134
機能	134
Twin ロール印刷できないジョブ	134
Twin ロール印刷で設定できない条件	134
画像配置例	134
Twin ロール印刷の手順	135
トグルプリント	138
機能	138
トグルプリントできないジョブ	138
トグルプリントの設定	139
各種設定に名前をつけて使用する - お気に入り	140
お気に入りの作成	142
お気に入りの保存方法	142
お気に入りのジョブへの適用方法	142
カラーチャートを印刷する	143
カラーチャートとは	143
作成できるカラーチャート	143
CMYK/RGB カラーチャート	145
特色カラーチャート	150
カラーコレクション	154
カラーコレクションとは	154
カラーコレクションの種類	154
カラーコレクションファイルの作成とカラーの登録	155
カラーコレクションを使って色置換する	157
自動実行	158
自動実行とは	158
自動実行の流れ	158
メニューバー	162
[ファイル]	162
[機能]	162
[ツール]	162
[環境設定]	163
RasterLinkTools	172
RasterLinkTools とは	172
機能	172
RasterLinkTools ウィンドウの表示	172
パスをカットデータへ変更する	173
グラフィックオブジェクトの外周にカットラインを生成する	173
輪郭を抽出する	176
RasterLink6Plus へデータを保存する	180
特色版用合成データの作成	181
RasterLinkTools の設定変更	186

RasterLinkTools の更新確認	186
お知らせ通知	187
お知らせ通知表示	187
多層印刷	188
多層印刷とは	188
ID カット	189
ID カットとは	189
点字印刷	190
点字印刷とは	190
ジョブ名検索	191
ジョブ名検索について	191
バーコードリーダーによる検索	194
FAQ ページリンク	196
FAQ ページリンクとは	196
RasterLink6Plus の FAQ ページを表示する	196
プリンタの FAQ ページを表示する	197

こんなときには

エラーメッセージの対処方法	200
エラーメッセージ	200
インストール PC のセキュリティー設定について	207
インストール CD を PC に挿入しても、CD メニュー画面が表示されない	207
ライセンス認証 / プログラムアップデート / プロファイルアップデート使用時	207
RasterLink6Plus に画像が読み込めなくなった	207
RasterLink6Plus の画面表示に不具合が発生した場合には	208
回避策 1	208
回避策 2	208
デスクトップにある RasterLink6Plus のアイコンをダブルクリックしても、 RasterLink6Plus が起動しない場合	209
回避策	209
アプリケーションでの注意事項	210
Adobe Photoshop 5.x 以前について	210
Adobe Illustrator について	210
Mac OS X での注意事項	218
PDF 書類の印刷	218
Macintosh でホットフォルダを使用する際の注意事項	219
Macintosh でアプリケーションから印刷する場合のスプール速度改善方法	220
グラデーションオブジェクトを含む画像の RIP 速度改善方法	221

付録

LICENSE Library	224
------------------------------	------------

RasterLink6Plus の基礎

RasterLink6Plus の起動

重要! RasterLink6Plus を起動しているユーザの権限により、使用できる機能に制限があります。

ユーザ権限	使用できない機能
管理者権限以外	ホットフォルダおよびプリンタドライバの作成 (P.140)
管理者権限	ドラッグアンドドロップによる画像の読み込み (P.19)

起動の手順

1 デスクトップ上の「Mimaki RasterLink6Plus」アイコン  をダブルクリックします。

2 ユーザーアカウント制御画面を表示します。



3 をクリックします。



セキュリティセンターのマーク（盾）を表示している場合

- ・アイコンにセキュリティセンターのマークを表示している場合、ファイル実行の際にユーザーアカウント制御画面を表示し、ファイル実行許可の確認が必要になります。



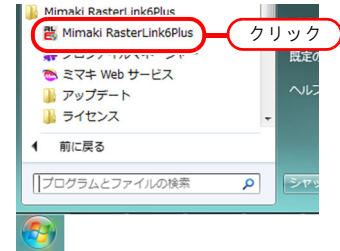
4 RasterLink6Plus が起動します。

スタートメニューから起動したい場合

Windows7 の場合

1 スタート画面で、画面左下の Windows アイコン  をクリックします。

2 [すべてのプログラム] - [Mimaki RasterLink6Plus] - [Mimaki RasterLink6Plus] メニューをクリックします。以降は、12 ページの「起動の手順」と同様です。



Windows8.1 の場合

1 スタート画面で、画面左下の矢印アイコン  をクリックします。

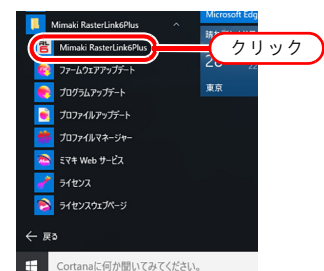
2 アプリ画面になりますので、[MimakiRasterLink6Plus] をクリックします。以降は、12 ページの「起動の手順」と同様です。



Windows10 の場合

1 スタート画面で、画面左下の Windows アイコン  をクリックします。

2 [すべてのアプリ] - [Mimaki RasterLink6Plus] - [Mimaki RasterLink6Plus] メニューをクリックします。以降は、12 ページの「起動の手順」と同様です。



画面構成

RasterLink6Plus はメイン画面の表示を、画面右の機能アイコンを選択し、変更することで多彩な設定を行います。

共通項目



1. 機能アイコン

これらのアイコンを押してメイン画面を切り替えます。

画面の高さが全てのアイコンを表示するのに小さい場合、スクロールバーが表示されます。

これらのアイコンは大きさを変更したり、不要なアイコンを非表示にすることができます。(P.141)

ご使用のプリンタにより、表示される機能アイコンは異なります。また、ジョブ一覧にて、選択したジョブの条件により、機能アイコンがグレーで表示され、選択できないことがあります。

2. ジョブ一覧

ジョブの一覧が表示されます。



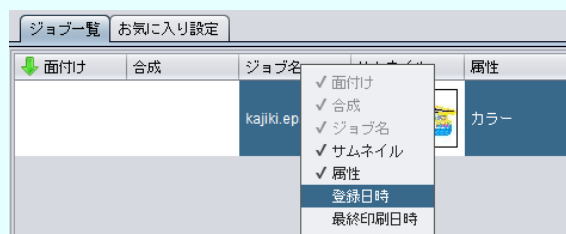
- この画面は以下の機能アイコンを選択している場合表示されます。
ジョブのプロパティ、面付け、合成、版作成、実行、複製、バックアップ・リストア、ジョブの削除

各列について

面付け	面付け (P.35) されたジョブ群を線で結んで表示します。
合成	合成 (P.82) されたジョブ群を線で結んで表示します。
ジョブ名	ジョブの名前を表示します。ジョブのプロパティ (P.27) にて変更できます。
サムネイル	サムネイル画像を表示します。
属性	ジョブの色属性を示します。画像は [カラー] ですが、単色置換 (P.30) を指定したジョブ、版作成 (P.79) で生成したジョブでは指定したインクが表示されます。またプリンタカッターでは、カット用のジョブを [カット] と表示します。
登録日時	ジョブを登録した日時を表示します。
最終印刷日時	最後に印刷を実行した日時を表示します。



- ジョブ一覧の項目名を右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでチェックをつけた項目が、ジョブ一覧画面に表示されます。



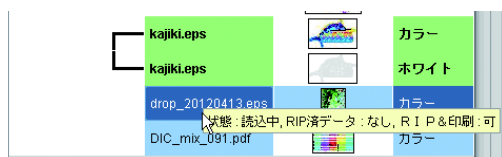
ジョブの背景色

ジョブの背景色は以下の意味を持ちます。

色	状態 *1	備考
白	待機中	
緑	実行済	<ul style="list-style-type: none"> プリント&カットジョブで印刷のみを実行すると、プリントジョブのみ色が変わります。 プリント&カットジョブでカットのみを実行すると、カットジョブのみ色が変わります。
クリーム色	部分的に印刷済	部分的に印刷済とは、以下の状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> 分割印刷で一部のタイルのみを印刷した。 複数ページジョブで一部のページのみを印刷した。
ピンク	中断	
マゼンタ	エラー	
青	実行中	

*1. RIP 済みデータありの場合、太文字で表示されます。

ツールチップ



ジョブの上にマウスを置くことで、そのジョブの状態をツールチップに表示します。

- 表示データ
状態 / RIP 済みデータの有り無し / RIP & 印刷ができるか / 画像編集タイプ

ポップアップメニュー

RIP &印刷	Ctrl+1
RIP後印刷	Ctrl+2
RIPのみ	Ctrl+3
印刷のみ	Ctrl+4
RIP後印刷<->カット	Ctrl+5
印刷<->カット	Ctrl+6
カットのみ	Ctrl+7
先頭へ移動	Ctrl+T
最後へ移動	Ctrl+B
複製	Ctrl+D
RIP済みデータ削除	Ctrl+Backspace
完全削除	Ctrl+Delete

ジョブを選択し、マウスの右ボタンを押すとポップアップメニューが表示されます。

RIP &印刷 /RIP 後印刷 /RIP のみ /印刷のみ /RIP 後印刷 <->カット (プリントカッターのみ) /印刷<->カット (プリントカッターのみ) /カットのみ (プリントカッターのみ)

それぞれジョブの実行を行います。
詳細については [実行] (P.122) をご覧ください。

先頭へ移動 ジョブ一覧の先頭へ移動します。

最後へ移動 ジョブ一覧の最後へ移動します。

複製 [複製] 画面 (P.126) の設定で、複製を実行します。

RIP 済みデータ削除 RIP 済みデータがあった場合、RIP 済みデータを削除します。

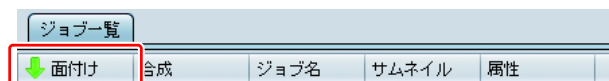
完全削除 選択されたジョブを削除します。

ジョブをダブルクリックする

通常印刷画面 (P.41) に移動します。

ソート

ジョブ一覧のタイトル行左端の [面付け] をクリックすると、昇順・降順でソートします。



3. プリンタステータス

接続中のプリンタの情報を表示します。



- この画面は以下の機能アイコンを選択している場合表示されます。
ジョブのプロパティ、面付け、合成、印刷、複製、バックアップ・リストア、ジョブの削除
- プリンタにより、表示内容が異なります。

4. ジョブキューリスト (詳細は P.125)

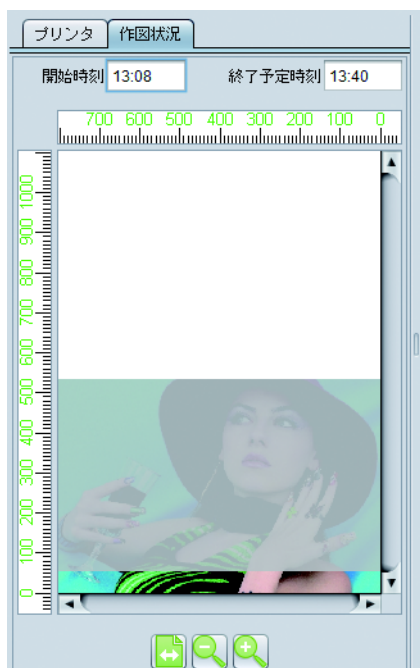
画像読み込み時の処理、RIP、印刷の状況を表示します。

処理中のジョブの中断 / 削除 / 印刷順の変更が行えます。



- この画面は以下の機能アイコンを選択している場合表示されます。
ジョブのプロパティ、面付け、合成、版作成、実行、複製、バックアップ・リストア、ジョブの削除
- 自動実行 (P.158) が開始されている場合、タブに (自動実行中) と表示されます。

5. 作図状況画面



プリンタが印刷中にこの画面を開くと、現在印刷がどこまで進んだか、確認することが出来ます。

[環境設定]-[オプション]-[表示]-[作図状況を表示する]をONにすると表示されます (P.165)

この画面は以下の機種で表示することができます。

JV400-LX、JV400-SUV、TS500、TX500、UJV500、JV300、JV150、CJV300、CJV150、TS300P、Tx300P、TS500P、SIJ-320UV、UJV55-320、UCJV300、UCJV150、JV300 Plus、CJV300 Plus



- 印刷画像の長さが 100m を超える場合、100m ごとに区切って表示します。

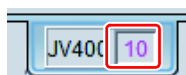


- 重要!** プリント&カットジョブおよび引戻しプリントが設定してある場合、作図状況は表示されません。

6. プリンタタブ

プリンタ管理 (P.168) で登録したプリンタ毎にメイン画面を切り替えます。

プリンタ名の横にはそのプリンタ用に読み込まれたジョブの総数が表示されます (下図の赤枠内の数字)。



- ジョブは全てのプリンタ合わせて 200 個まで作成できます。

7. 作業ディスク

RasterLink6Plus のジョブ情報を管理するフォルダ (作業フォルダ) があるディスクの使用量を表示します。

8. 物理メモリ

現在のこのパソコンのメモリ使用量を表示します。

9. メッセージ表示

処理の状況を表示します。



- エラーについては赤文字で表示しますので、必ずご確認ください。

印刷までの流れ

画像を1つ印刷する場合、以下のような手順で行います。

- (1) 画像を RasterLink6Plus で読み込む
- (2) 拡大・縮小など基本的な設定を行う
- (3) 出力する

画像を RasterLink6Plus で読み込む

画像を RasterLink6Plus に読み込む方法は以下の4つがあります。

- (1) [ファイル]メニューから[開く]を選択し読み込む
- (2) ジョブ一覧ヘドラッグアンドドロップする
- (3) ホットフォルダへ入れる
- (4) プリンタドライバで印刷する

[ファイル]メニュー

- 1** [ファイル]メニューより[開く]を選択します。

- [印刷するファイルを選択]ダイアログが表示されます。



- Ctrl+O を押すことでも表示できます。

- 2** 読み込む画像を選択します。

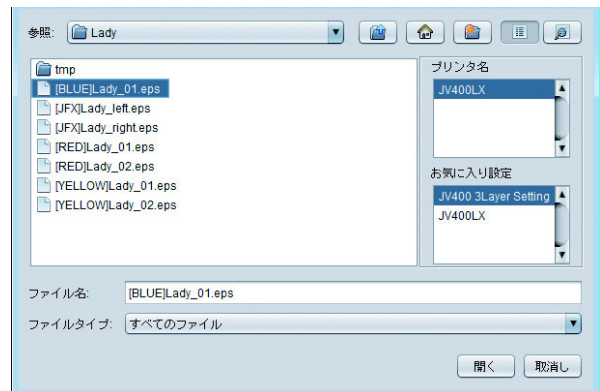
- プリンタを複数登録している場合、対象となるプリンタを[プリンタ名]から選択してください。
- 読み込んだ後のジョブの初期条件は[お気に入り設定]から選択します。“お気に入り”については P.140 をご覧ください。
- 選択したお気に入りは、次回以降も初期値として選択されます。



- 読み込む画像は複数選択できます。

重要!

- ショートカットファイルを選択して画像を読み込むことはできません。

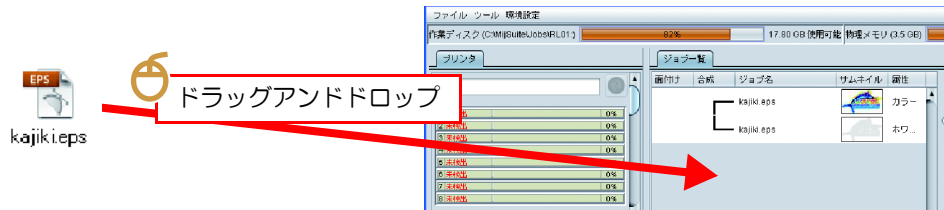


- 3** 画像ファイルを全て選択後、[開く]を押します。

- 4** 画像が RasterLink6Plus に読み込まれ、ジョブが作成されます。

ジョブ一覧へドラッグアンドドロップ

1 [ジョブ一覧] へ読み込みたい画像をドラッグアンドドロップします。



2 [印刷するファイルを選択] ダイアログが表示されます。

- ・後は、[ファイル]メニューを使用した読み込みと同じです。

重要!

- ・管理者権限で RasterLink6Plus を起動している場合、ジョブ一覧へドラッグアンドドロップしてもファイルは読み込まれません。

ホットフォルダ

特別なフォルダ(ホットフォルダ)にファイルをコピーすることで、自動的に画像を読み込みます。
[お気に入り] (P.140) ごとに作成でき、読み込んだジョブはお気に入りで設定された条件が初期設定されます。
作成方法については (P.140)、ネットワーク経由で使用する場合はネットワーク接続ガイドをご覧ください。

1 ホットフォルダは以下の場所にあります。

- ・[RasterLink6Plus のインストールフォルダ]¥Hot¥お気に入り名



- ・ホットフォルダは作成時に自動的に共有設定されるので、ネットワークからもコピーできます。

2 ホットフォルダに画像ファイルをコピーします。

- ・ジョブが作成されます。

プリンタドライバ

RasterLink6Plus で作成したプリンタドライバを使用することで、アプリケーションから直接 RasterLink6Plus に画像を送信できます。

[お気に入り]ごとに作成でき、読み込んだジョブはお気に入りで設定された条件が初期設定されます。プリンタドライバの作成方法については (P.140)、ネットワーク経由で使用する場合、ネットワーク接続ガイドをご覧ください。

1 各種アプリケーションの [印刷] を実行します。



- プリンタドライバは作成時に自動的に共有設定されるので、ネットワークからも参照できます。

2 プリンタから [お気に入り] と同名のプリンタを選択し、印刷します。

重要!

画像を読み込んだ後、ジョブ一覧に表示されない場合、以下が考えられます。

- プリンタを複数登録している場合、現在表示しているプリンタタブが、[印刷するファイルを選択] ダイアログの [プリンタ名] で選択したプリンタではない場合があります。プリンタタブを切り替えてみてください。
- ジョブの総数が全てのプリンタ合わせて 200 個を超えている場合があります。メッセージ表示を確認してください。

登録できるジョブ数の上限について

ジョブ一覧に登録できるジョブ数の上限は、登録しているプリンタすべてを合わせて 200 個までとなります。200 個を超えるジョブを読み込もうとした場合、読み込み方法によって以降の操作が異なります。

- (1)[ファイル]メニューから [開く] を選択し読み込む
- (2)ジョブ一覧へドラッグアンドドロップする
- (3)ホットフォルダへ入れる
- (4)プリンタドライバで印刷する

- 方法 (1)(2) の場合

以下のメッセージが表示され、追加で登録しようとしたジョブはキャンセルされます。

メッセージ:「ジョブの最大登録数 [200] を超えました。これ以上ジョブを登録できません。不要なジョブを削除してください。」(P.202)

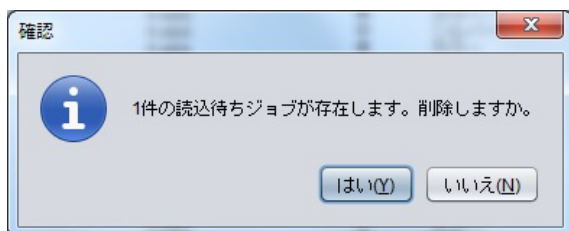
- 方法 (3)(4) の場合

以下のメッセージが表示され、追加で登録しようとしたジョブは読み込み待機状態になります。

メッセージ:「登録できるジョブの上限に達しました。これ以上ジョブを登録できません。不要なジョブを削除してください。〇〇件のジョブが待機しています。」

ジョブを削除し、登録されているジョブの総数が 200 個未満になると、待機状態になった順に RasterLink6Plus に追加されます。

読み込み待機状態のジョブが残っている場合、RasterLink6Plus の終了およびホットフォルダを削除する際に以下の確認ダイアログが表示されます。



ジョブを選択する

- 1 ジョブ一覧より、ジョブをマウスでクリックすることで、選択できます。



連続する複数のジョブを選択する

先頭のジョブをマウスクリックして選択後、最後のジョブを [SHIFT] を押しながらクリックします。



複数のジョブを飛び飛びに選択する

[CTRL] を押しながらマウスクリックして選択します。



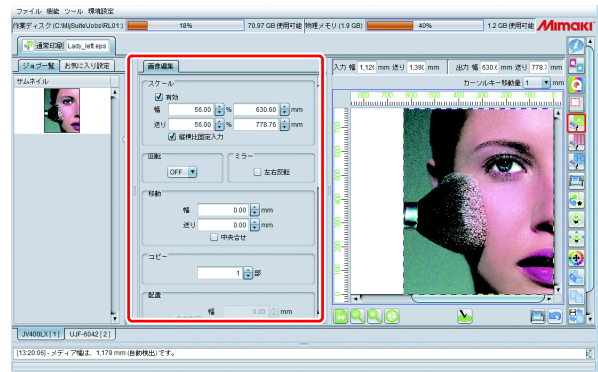
拡大・縮小など基本的な設定を行う

1 ジョブ一覧より、印刷するジョブを選択します。


2 機能アイコンより  (通常印刷) を選択します。
 ・メイン画面が通常印刷の画面に切り変わります。

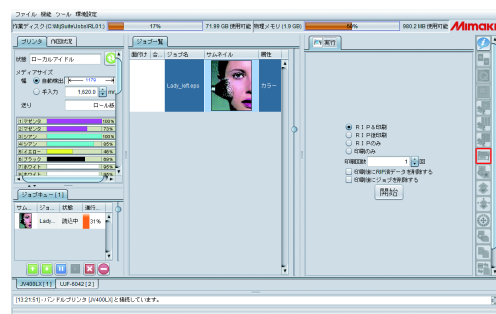
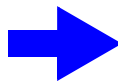
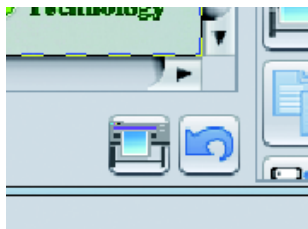
3 通常印刷画面では主に以下の設定が行えます。

- [スケール] 画像を拡大 / 縮小します
- [回転] 画像を回転させます。
- [ミラー] 画像を左右鏡像にします。
- [移動] 画像の印刷位置を指定します。
- [コピー] 画像を指定部数コピーします。



出力する

1 通常印刷画面のプレビュー画面下の  (実行) ボタンを押します。
 ・[実行]画面に切り替わり、印刷が開始されます。



- ・印刷方法は、直近の実行方法の設定に依存します。実行方法の種類についてはP.123をご覧ください。

RasterLink6Plus の終了

1 [ファイル]メニューより[終了]を選択します。



以下の方法でも終了できます。

- **Ctrl**+**Q**を押す。
- メインウィンドウ右上の×を押す



- RasterLink6Plus 終了時、それまでに読み込み・設定されたジョブは自動的に保存されます。
- 再起動後、自動的に保存されたジョブは自動的に読み込まれます。

機能説明

各機能アイコンについて

ボタン (*)	機能	説明	ショートカットキー	ページ
	ジョブのプロパティ	ジョブ、プリンタの情報の表示およびジョブの属性の変更を行います。	Alt+I	P.27
	面付け	複数のジョブを面付け設定します。	Alt+A	P.35
	通常印刷	画像のサイズ、位置、コピー数などを設定して印刷します。	Alt+G	P.41
	治具配置	治具に画像を配置して印刷します。フラットベッドプリンタのみ、この機能が表示されます。	Alt+J	P.53
	分割印刷	画像を分割して印刷します。フラットベッドプリンタでは初期設定では表示されていません。(**)	Alt+T	P.65
	ステップ & リpeat印刷	画像を隙間なく並べて印刷します。フラットベッドプリンタでは初期設定では表示されていません。(**)	Alt+S	P.73
	クリップ設定	画像の一部を切り取ります。	Alt+C	P.77
	版作成	選択したジョブから、特色専用のジョブを作成します。特色インクカートリッジを装着しているプリンタのみ、この機能が表示されます。	Alt+P	P.79
	合成	複数のジョブを重ね合わせて印刷します。	Alt+M	P.82
	レイヤー設定	レイヤー印刷の設定をします。特色インクカートリッジを装着しているプリンタのみ、この機能が表示されます。	Alt+L	P.90
	印刷条件	印刷の条件を設定します。	Alt+Q	P.94
	色置換設定	色置換の設定をします。	Alt+R	P.107
	実行	選択したジョブを実行します。	Alt+X	P.122
	複製	選択したジョブを複製します。	Alt+U	P.126
	バックアップ・リストア	ジョブを保存・復元します。	Alt+B	P.127
	削除	ジョブを削除します。	Alt+D	P.129

(*) UJF-3042HG、UJF-6042、UJF-3042MkII、UJF-6042MkII、UJF-7151 を使用する場合、上記のほかに Kebab 印刷のアイコンが表示されます。この機能については、別冊「Kebab システム取扱説明書」または「KebabMkII/MkII-L システム取扱説明書」をご覧ください。UJF-3042HG、UJF-6042 を使用する場合、上記のほかに BBQ 配置印刷のアイコンが表示されます。この機能については、別冊「BBQ システム取扱説明書」をご覧ください。

(**) プリンタ管理 (P.168) の [機能アイコン設定] (P.169) 機能にて、非表示になっているアイコンを表示できます。

重要!

- プリンタ、インクセットにより表示されない機能があります。
- 機能の設定により選択できない (グレーアウト) 状態になります。該当の機能のショートカットキーを押すことで、メッセージエリアに選択できない理由が表示されます。

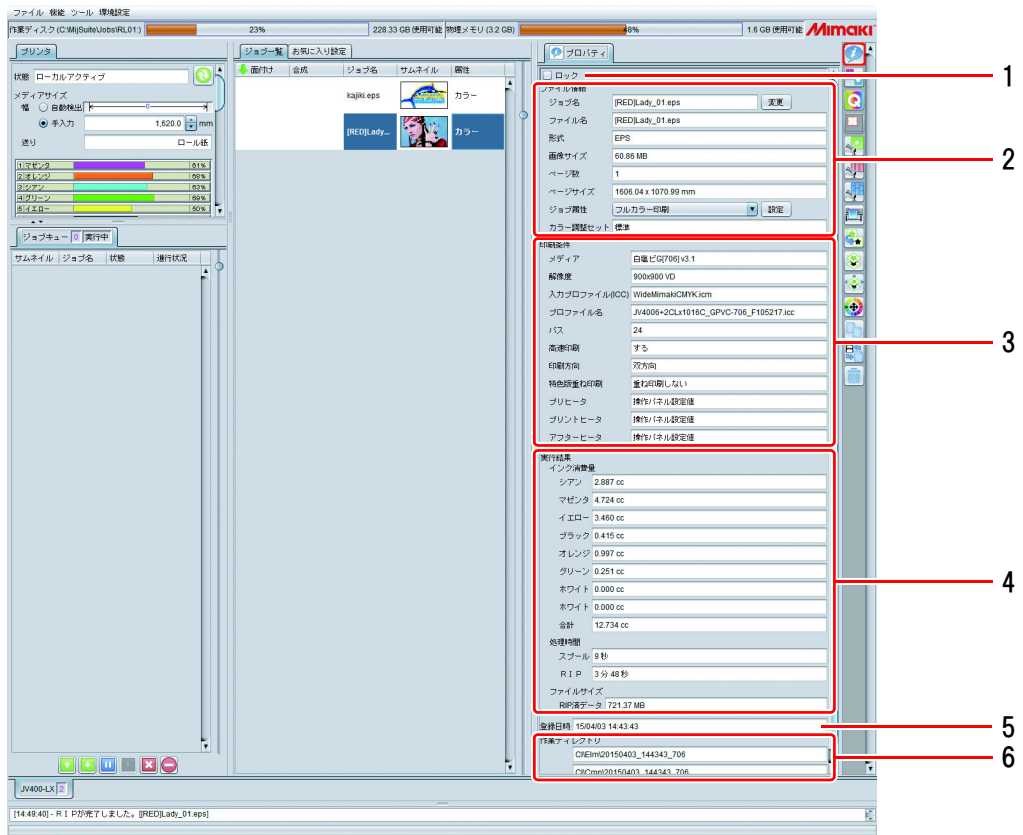
ジョブの情報を表示する - ジョブのプロパティ

機能

[ジョブのプロパティ] 画面では以下の操作を行います。

- ジョブの名称を変更する
- ジョブの属性 (フルカラー印刷 / 特色版印刷 / UV 照度等) を変更する
- ジョブの情報を表示する。

画面構成



1. ロック






ON にすると、選択したジョブに対して、設定変更、削除をできなくします。

重要!

- ロックすると [版作成] [バックアップ] [実行] 以外は行えなくなります。
- 合成、面付けされているジョブの内、1 つでもロックされると、合成、面付けされた全てのジョブがロックされます。

2. ファイル情報

ジョブおよびジョブの元となった画像の情報を表示します。

ジョブ名	ジョブの名称を表示します。初期の名称は元画像のファイル名ですが、変更できます。( P.29)
ファイル名	画像のファイル名を表示します。
形式	画像の形式を表示します。
画像サイズ	画像のファイルサイズを表示します。
ページ数	画像のページ数を表示します。
ページサイズ	1 ページの大きさを表示します。
スプール時のお気に入り	ジョブをスプールした時に指定したお気に入り設定を表示します。
ジョブ属性	印刷方法により以下の属性を表示または設定します。 フルカラー印刷 元の画像の色で印刷するジョブです。画像のジョブの初期値です。 単色印刷 元画像が CMYK カラーモードの場合のみ設定できる属性です。CMYK のどれかを指定のインク色に割り当てて印刷します。詳細 / 設定については  P.30 をご覧ください。 特色版 [版作成] 機能 ( P.79) で作成したジョブです。他の属性に変更できません。詳細 / 設定については  P.79 をご覧ください。 カットのみ (プリントカッターのみ) カットデータのジョブです。他の属性に変更できません。プリント&カットについては  P.130 をご覧ください。
使用特色名	ジョブで印刷する特色インク (ホワイト、クリア等) を表示します。
画像編集	ジョブに対して行った設定 (コピーなど) が表示されます。
カラー調整セット	ジョブで使用しているカラー調整セットを表示します。

3. 印刷条件

印刷条件 ( P.94) で指定した、以下の条件を表示します。


メディア、解像度、入カプロファイル、プロファイル名、重ね塗り回数、パス、高速印刷、印刷方向、特色版重ね印刷、ヒータ、ヒータ OFF 時間

4. 実行結果

RIP および印刷を実行後の各種結果を表示します。

インク消費量 印刷で消費するインク量を、RIP したデータより計算で求め、インク別に表示します。



- 機種とインクの組み合わせにより、計算に必要なデータが未対応のため、インク消費量を表示できない場合があります。その場合、その旨のメッセージが表示されます。データはアップデートにより順次追加していきます。
- オプション ( P.163) の設定により、インク消費量の算出をしないようになっている場合、この欄は表示されません。
- プリンタに接続しないと、インク消費量を算出できない機種があります。

処理時間 各処理にかかった時間を表示します。

5. 登録日時

ジョブを登録した日時を表示します。

6. 作業ディレクトリ

ジョブの情報を保存している作業ディレクトリ名を表示します。

実際の作業ディレクトリは、画面左上の [作業ディスク] に記載されているディレクトリ直下にあります。

例) 作業ディスク : C:\MijSuite\Jobs\RL01
 作業ディレクトリ : C:\Elm\20121217_110309_252
 →実際のフォルダは
 C:\MijSuite\Jobs\RL01\C\Elm\20121217_110309_252

お気に入り

[プロパティ]画面では、以下の条件をお気に入りとして登録/使用できます。

- ジョブ属性
- 色置換元 / 色置換後の色
ジョブ属性が“単色印刷”の場合に表示されます。
- UVモードの設定



上記条件は、以下のジョブの場合にお気に入りとして登録/使用できます。

- ジョブ属性が“フルカラー印刷”、なおかつCMYK色またはスポットカラーを特色インクに色置換していないジョブ
- ジョブ属性が“単色印刷”のジョブ

- UVモード(色置換)
CMYK色またはスポットカラーを特色インクに色置換したジョブに登録/使用するUVモードの設定
- UVモード(版作成)
版作成したジョブ、または自動特色版作成したジョブに登録/使用するUVモードの設定

設定方法、適応方法についてはP.140をご覧ください。

重要!

以下の条件のジョブは、お気に入りへの設定の保存、およびお気に入りの設定の適用ができません。

- [プロパティ]画面のジョブ属性が“カットのみ”
- 元画像がRGBカラーモード

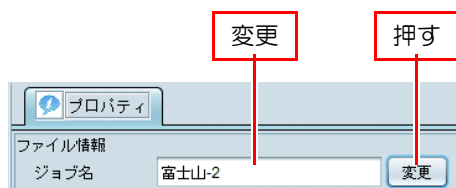
操作

ジョブ名を変更する

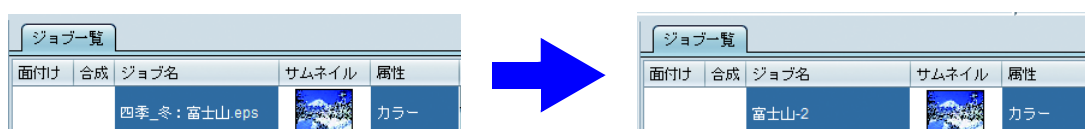
ジョブ名を変更することができます。
同じ画像ファイルを複数読込んだときや、ジョブの複製を行った場合など、見分けをつけるために使います。

- 1 [プロパティ]の[ジョブ名]に適切な名称を入れて、[変更]ボタンを押します。

- ジョブ名が変更されます。



- あわせて[ジョブ一覧]の[ジョブ名]も変更されます。



フルカラーの画像をインク単色で印刷する設定を行う - 単色置換

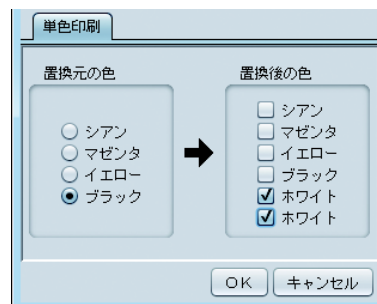
特色インク（ホワイト/クリア/プライマーなど）を単色で印刷する場合などに使用します。

- 重要!**
- CMYK カラーモードの画像のみ単色印刷が行えます（RGB カラーモードは不可）
 - イラスト（ベクタ）、イメージ（ラスタ）のどちらでも単色置換が行えます。

1 [プロパティ]の[ジョブ属性]が“フルカラー印刷”のジョブを選択します。

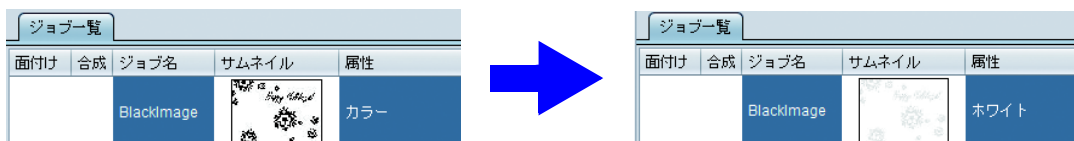
2 “単色印刷”を選択します。

- [ジョブ属性]ダイアログが表示されます。
- [置換元の色]より元画像の中で置き換える色を選択します。
- [置換後の色]より使用するインク色を選択します。
- 同一のインク色が複数ある場合、そのインク色を複数選択できます。



3 OK ボタンを押し、ダイアログを閉じます。

- [プロパティ]の[ジョブ属性]が“単色印刷”に変更されます。
- ジョブ一覧のサムネイルおよび属性が設定した条件に合わせて変更されます。



- 重要!**
- フルカラー画像の場合、[置換元の色]として指定された色以外の情報は破棄され、印刷されません。
 - 印刷されるインク濃度は[置換元の色]の濃度が適用されます。

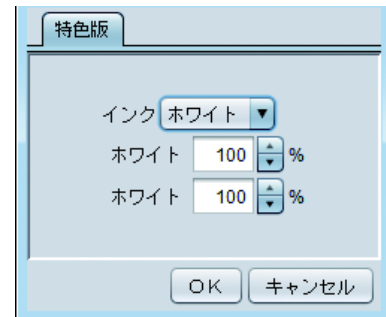
【版作成】機能で作成した特色版ジョブのインク濃度などを変更する

ジョブ属性が“特色版”の場合、特色インクのインク色およびインク濃度を変更できます。

1 【プロパティ】の【ジョブ属性】が“特色版”のジョブを選択します。

2 【プロパティ】の【ジョブ属性】の設定ボタンを押します。

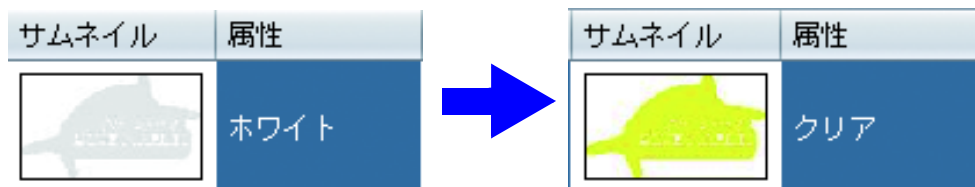
- ・【ジョブ属性】ダイアログが表示されます。



3 【インク】およびそのインクの濃度を変更します。

4 OK ボタンを押し、ダイアログを閉じます。

- ・インクを変更した場合、ジョブ一覧の属性が変更されます。



UV プリンタの場合

UV プリンタの場合、UV 照射設定が行えます。機種およびジョブ属性により設定内容は異なります。

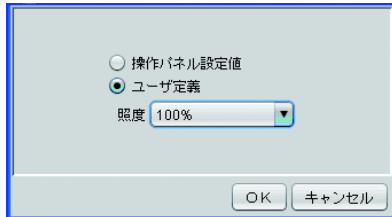


• SIJ-320UV/UJV55-320 では UV モード画面は表示されません。

● ジョブ属性がカラー、ホワイト、プライマーの場合



• UJF-7151のジョブ属性がプライマーの場合は、「ジョブ属性がクリアの場合」(P.33)をご覧ください。



UV ランプの照度設定を行います。

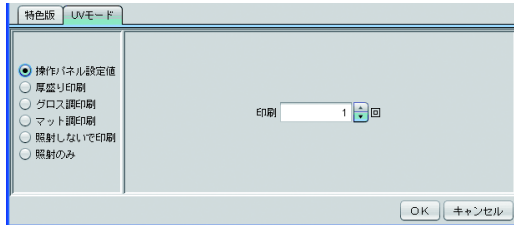
● ジョブ属性がクリアの場合

- ・クリア版を印刷する際の UV モード (印刷方法) を指定します。



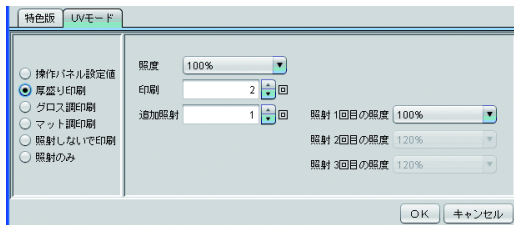
- ・プリンタに対応していない UV モードは表示されません。
- ・UJF-7151 のジョブ属性がプライマーの場合は、「クリア」を「プライマー」に置換えてお読みください。

・ 操作パネル設定値



照度はパネル設定値となります。
クリア版の重ねる回数を指定します。

・ 厚盛り印刷



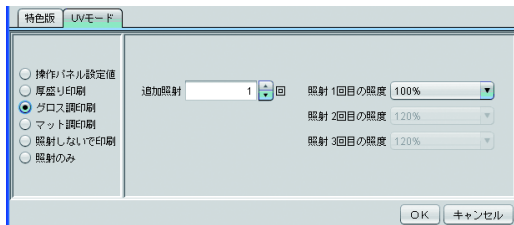
クリアインクを複数回重ねて印刷することにより、盛り上げます。

照度 : 印刷時の照度を設定します。

印刷 : 重ねて印刷する回数を指定します。

追加照射: 厚盛り印刷の場合、印刷時の照射だけでは、硬化しないため、追加で照射のみ行う必要があります。照射回数とその際の照度を設定します。

・ グロス調印刷

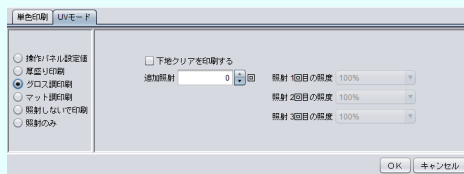


表面が滑らかな、グロス調になる照射設定で、クリアインクを印刷します。

追加照射: クリアインク印刷後に完全に硬化させるために、追加で照射のみ行います。照射回数とその際の照度を設定します。



・ JFX200/JFX200-2531 の場合

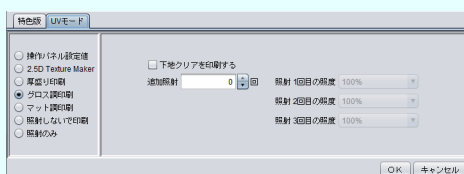


下地クリアを印刷する：

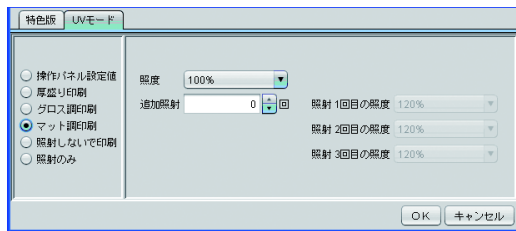
カラーの上にマット調のクリアを印刷します。

詳細は別冊『JFX200 クリアインク印刷ガイド』をご覧ください。

・ JFX200EX の場合



• マット調印刷

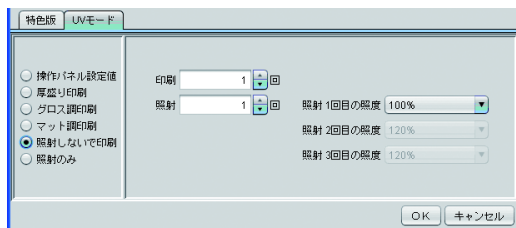


クリアインクを照射しながら 1 回印刷します。印刷直後に照射により硬化させるため、デコボコ感が残り、マット調になります。

照射 : 印刷時の照度を設定します。

追加照射 : 追加で照射が必要な場合に指定します。照射回数とその際の照度を設定します。

• 照射しないで印刷

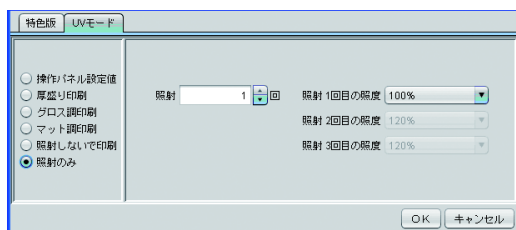


クリアインクを照射しないで印刷します。重ね印刷回数が指定できます。

印刷 : 重ね印刷回数を指定します。

照射 : 印刷後の照射回数とその際の照度を設定します。

• 照射のみ



一切印刷を行わずに照射のみ行います。硬化が不完全だった場合に、追加で照射を行うことができます。

照射 : 照射回数とその際の照度を設定します。

複数の画像を1つにまとめる - 面付け

機能

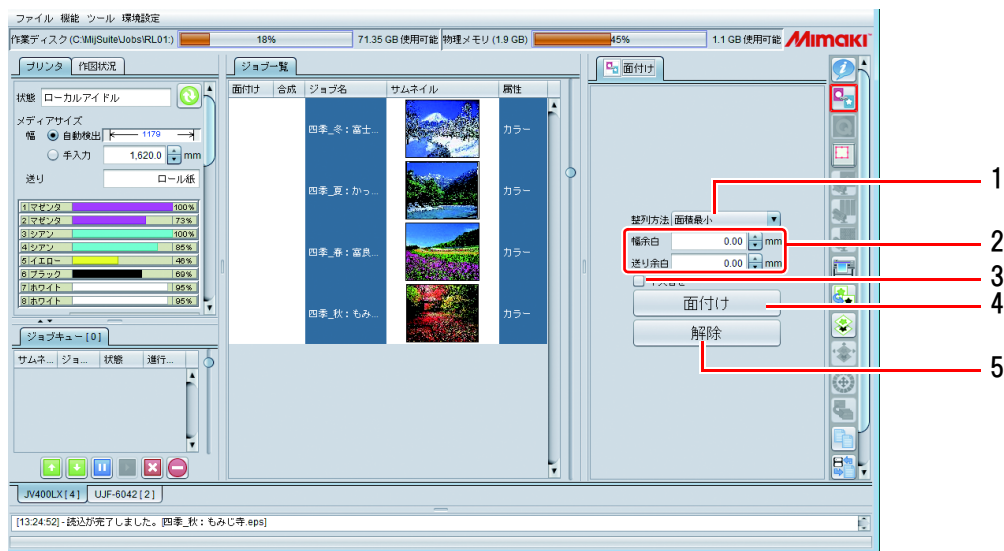
[面付け]では以下の操作を行います。

- 複数の画像をまとめて印刷できるようにする



• RasterLink6Plus では複数の画像を1度に出力することを「面付け印刷」と呼称します。

画面構成



1. 整列方法

[面付け]ボタンを押したときのジョブ群の整列方法を指定します。
各ジョブを任意の位置に配置する場合、面付け後、[通常印刷](P.41)にて行います。
詳細は次ページをご覧ください。

順次	メディアの送り方向にジョブを配置します。
面積最小	メディアを有効に使用するようにジョブを配置します。
回転なし	面積最小と同様の配置方法で配置しますが、ジョブを自動で回転しません。
面積最小(回転維持)	印刷条件画面で設定した回転を維持したまま、メディアの送り方向にジョブを配置します。

2. 幅余白、送り余白

画像間の余白を幅/送り毎に設定します。[面付け]ボタンを押したときに適用される値です。面付け後、は[通常印刷](P.41)にて変更します。詳細は次ページをご覧ください。

3. 中央合せ

チェックをつけると、面付けしたジョブ全体領域をメディアの中央に配置します。[面付け]ボタンを押したときに適用される値です。面付け後、は[通常印刷](P.41)にて変更します。
詳細はP.37をご覧ください。

4. 面付け

ジョブ一覧で選択している複数のジョブを面付けします。ジョブの設定により、面付けできない条件があります。詳細は P.38 をご覧ください。

5. 解除

ジョブ一覧で選択している面付けされたジョブの面付け設定を解除します。

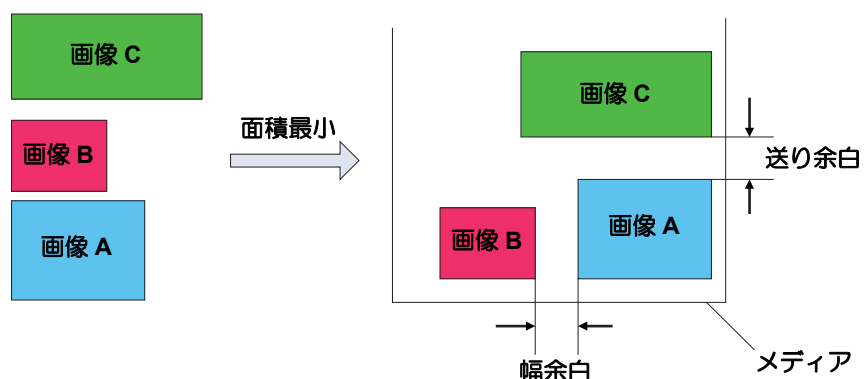
面付けの配置設定

面付けボタンを押すと、選択した複数の画像が配置されます。その時の配置方法を2タイプから指定することができます。

[通常印刷] にてコピー数を指定したジョブを面付けすることもできます。このとき、コピー数を指定したジョブにて設定していた画像間の余白は、面付けの余白設定にて上書きされます。

面積最小 / 回転なし / 面積最小 (回転維持)

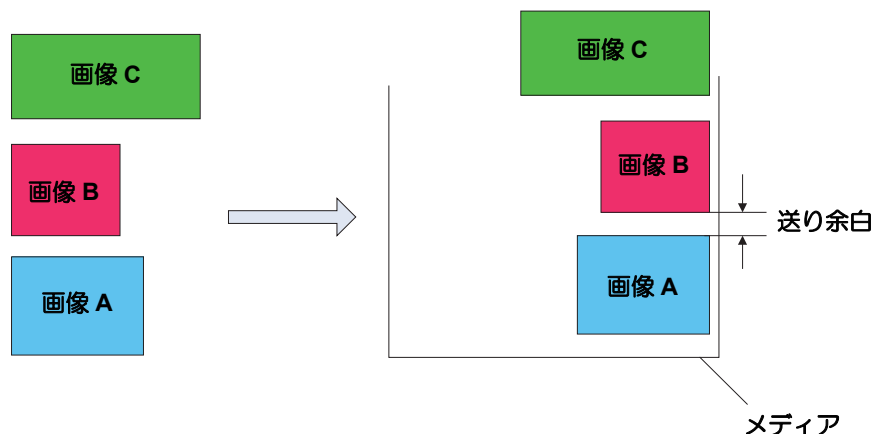
- 面積最小** : 印刷面積を最小にするため、配置する画像によっては、自動的にジョブを回転させて配置します。
- 回転なし** : 印刷面積を最小にするため、ジョブの配置順が自動的に変更されます。ジョブが自動的に回転することはありません。
- 面積最小 (回転維持)** : 印刷条件画面で設定したジョブの回転の設定を維持しながら、印刷面積が最小になるようにジョブを配置します。



順次

画像をメディアの送り方向に配置します。長さを最小にするように配置するため、自動的にジョブを回転させることがあります。送り余白を指定することができます。

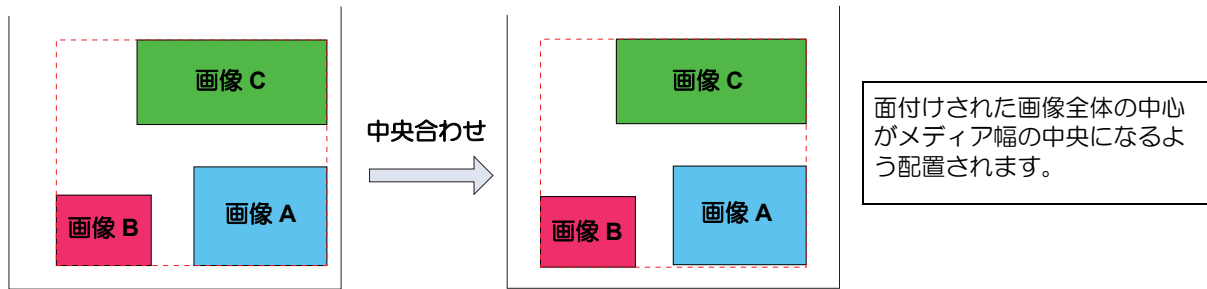
画像の順次印刷は、単純に画像を連続的に印刷指示することでも可能ですが、この場合、画像と画像の間にプリンタがある一定量の余白を入れてしまいます。面付けの順次印刷では画像と画像の間の余白を正確に指示することができます。



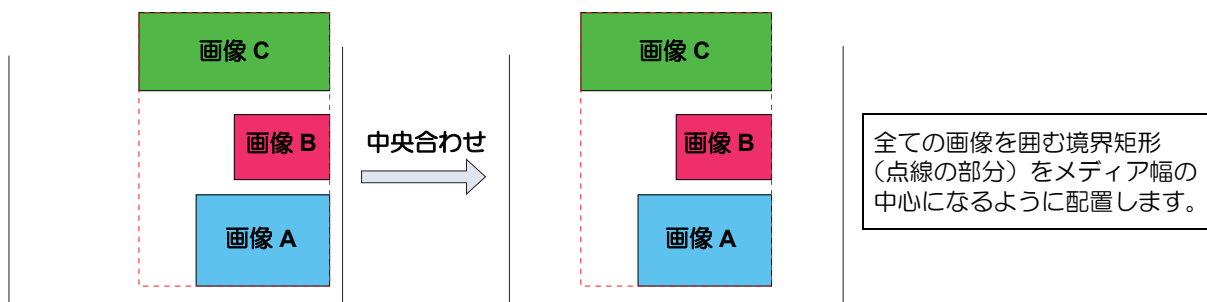
中央合わせ

面付けした画像をメディア幅の中央になるよう配置します。

面積最小



順次



面付けの条件

面付けできる最大数

30 個まで面付けできます。

面付けできない編集条件

以下の設定が行われているジョブは面付けできません。

- 分割印刷
- ステップ&リピート

また、すでに面付けしているジョブ群に対して、他のジョブを面付けできません。この場合、一度面付けを解除してから、おこなってください。

合成ジョブを面付けする場合

合成ジョブを複数面付けすることができますが、以下の条件があります。

- 特色重ね印刷している場合、特色とカラーの印刷順が、面付けする全てのジョブで同じであること。
- フラットベッドプリンタの場合、印刷移動回数が、面付けする全てのジョブで同じであること。

プリント&カットジョブを面付けする場合

プリント&カットジョブを複数面付けすることができますが、以下の条件があります。

- プリント&カットとカラーのみもしくはカットのみのジョブを組み合わせると面付けできません。

印刷条件について

● 面付けできない条件

以下の設定が異なるジョブは面付けできません
出力解像度、(UV プリンタのみ)UV モード

● 上記以外の条件が違う場合

以下の印刷条件が異なる場合、すべて先頭のジョブと同一条件となります。

パス、重ね塗り回数、ハーフトーン、高速印刷、印刷方向
スキャン毎の乾燥時間、印刷後カット、印刷前後余白、終端余白フィード、ヒータスタンバイ、ヒータ OFF、吸着ファン、デバイス調整、ドットサイズ、距離補正、ワークチェンジ、カット品質


その他の条件については、設定が異なっても面付け可能です。

面付けの手順

面付けを行う


- 1 面付けする複数のジョブを選択します。
 - 複数のジョブの選択方法については、P.21 をご覧ください。

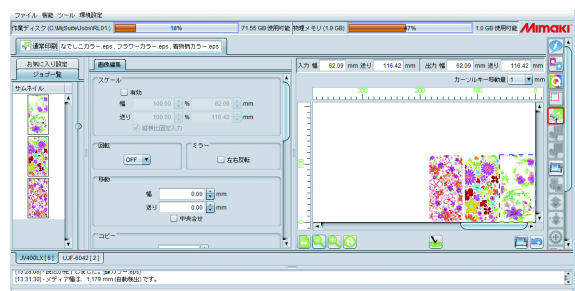


- 2  [面付け] アイコンを選択します。

- 3 整列方法、余白、中央合せの有無を設定し、[面付け]を押します。
 - ジョブ一覧にて、選択されたジョブが一塊になり、面付けに線が表示されます。



- 4  [通常印刷] アイコンを選択すると、面付けされてプレビューされます。



面付けを解除する

1 面付けを解除したいジョブを選択します。

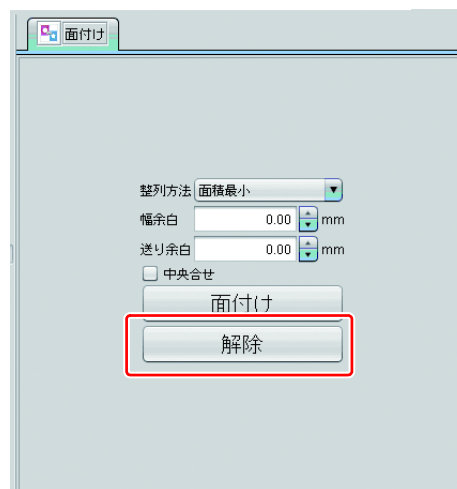
- ・選択されたジョブのみ面付けを解除します。すべての面付けを解除したい場合は、ジョブを全て選択します。



2 [面付け] アイコンを選択します。

3 [解除] を押します。

- ・選択したジョブの面付けが解除されます。



★ 基本的な画像編集を行い印刷する - 通常印刷

機能

[通常印刷]では以下の操作を行います。

- 画像の拡大・縮小、回転、ミラー
- 画像の配置 (移動、コピーレイアウト)
- トンボの付加
- 印刷情報ラベルの付加
- 印刷実行

画面構成

大まかな構成



画像編集画面



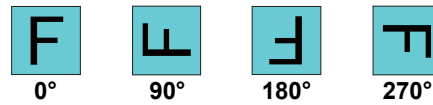
1. スケール

画像の印刷サイズを指定します。倍率 (%) もしくは実長サイズで指定できます。

- [縦横比固定入力] を ON にすると、元画像の縦横比を固定したまま、拡大・縮小します。

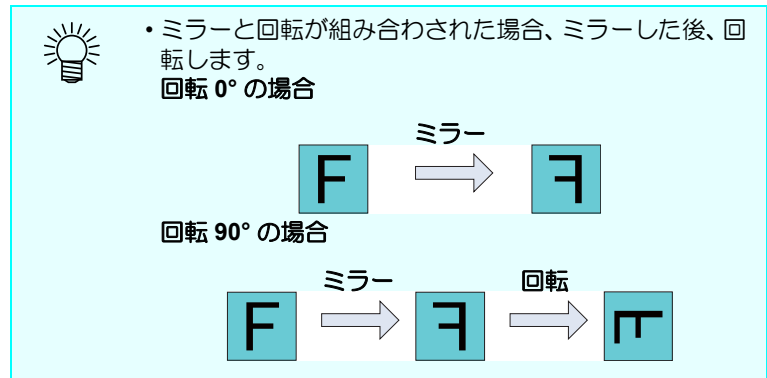
2. 回転

画像を回転させます。以下の値が設定できます。



3. ミラー

画像を鏡像にします。



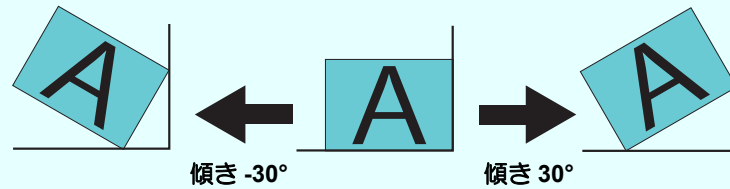
4. 傾き補正 (フラットベッドプリンタのみ)

-45 ~ +45 度の範囲で画像を傾けます。

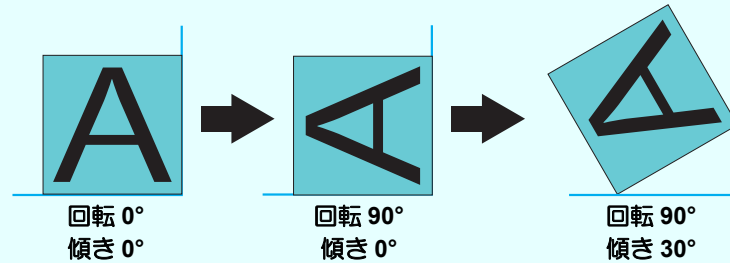
テーブルに対して、傾いた状態で配置された素材に印刷するときを使用します。



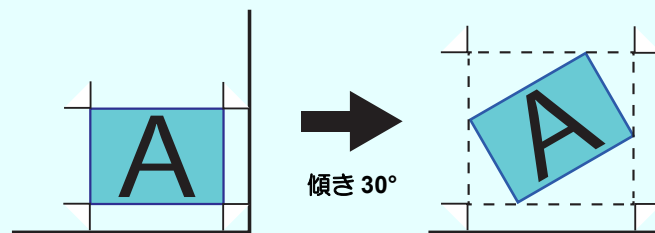
- [傾き補正] をかけた場合、傾けた後の画像の右および下の位置は、傾ける前と同じとなります。



- [回転] および [傾き補正] は反時計回りとなります。
- [回転] と [傾き補正] を組み合わせた場合、下の図のようになります。



- 面付けの場合、画像毎に傾き角度を指定出来ます。
- コピー数を 2 以上に設定している、および複数ページジョブの場合、全ての画像で同じ傾き角度となります。
- 面付け、コピー数を 2 以上に設定している、および複数ページジョブに傾きを指定した場合、画像毎に傾きます。
- トンボをつけた場合、トンボは傾きません。また、トンボは画像の傾いた後の画像矩形に対してつけられます。



- 印刷情報ラベルをつける場合、ラベルは傾きません。
- クリップ設定 (P.77) を設定した場合、クリップした後の画像を傾けます。
- 通常印刷にて「傾き補正」を設定した後、分割印刷、ステップ&リピートを設定する場合、「傾き補正」の値は無効になります。

重要!

- 画像を傾けると、輪郭や直線部分に若干のジャギー (ギザギザ) が発生します。特にラスタデータの場合、解像度が低いとジャギーが顕著に発生します。ラスタデータを傾ける場合は、印刷解像度に近い解像度でデータ作成することをお奨めします。

5. 移動

各ジョブの原点位置を数値で設定します。

- [中央合せ] を ON にすると画像がメディア中央に配置されます。コピーもしくは面付けしている場合は P.37 のように、複数画像全体領域をメディアの中央に移動させます。
- [トリミング位置ロック] を ON にすると、トリミングの原点がロックされて表示されます。
- 以下の場合は [トリミング位置ロック] 機能は使用できません。

- Roll to Roll プリンタ
- 面付けジョブ
- 合成ジョブ
- 複数ページジョブ
- 中央合わせが ON になっている
- コピーが 2 部以上になっている
- トンボを印刷する
- カット線を印刷する
- FOTOBA マークを印刷する
- 治具配置印刷をする
- 分割印刷をする
- ステップ&リピート印刷をする
- Kebab 印刷をする

- **移動種別** : 複数ページジョブの移動方法を指定できます。複数ページジョブのときに表示されません。

個別 ページ毎に移動できます。

全体 複数ページジョブをまとめて移動できます。

6. コピー

画像を指定部数コピーし、配置します。

コピーした画像の移動方法を以下より指定できます。

- ブロック移動する : コピーした画像全体をまとめて移動できます。
- 個々に移動する : コピーした画像を個々に移動できます。

重要!

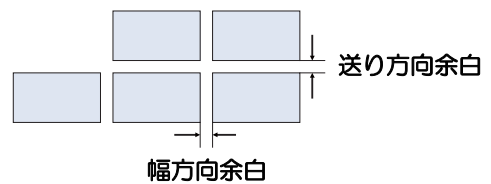
• 面付けジョブに対しては、移動方法の選択は表示されず、移動方法は「個々に移動する」となります。

7. 配置

ジョブが面付けされているもしくはコピー指定されていて、自動的に配置させた場合 (P.51 [最適化] 参照) の配置位置を指定します。指定後、[最適化] ボタンを押すことで設定がプレビューに反映されます。

• 余白指定

画像と画像との間隔を数値指定します。画像が面付けされているときには、面付け画面の余白指定を上書きします。

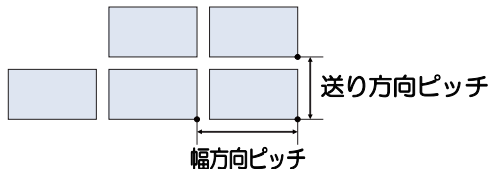


• ピッチ指定

画像の原点から次の画像の原点までの距離を数値指定します。

以下の場合、ピッチ指定は表示されません。

- 面付けされている
- 複数ページジョブ (*)
- 幅方向にネストする (複数ページジョブ (*) でのみ表示) 複数ページジョブ内の画像を幅方向に並べて配置します。OFF の場合、縦方向に並べて配置します。



* 複数ページジョブ : PDF や TIFF のマルチページのように、1 ファイル内に複数の画像があるものを複数ページジョブと呼称します。

8. 印刷ページ範囲 (複数ページジョブ選択時のみ表示)

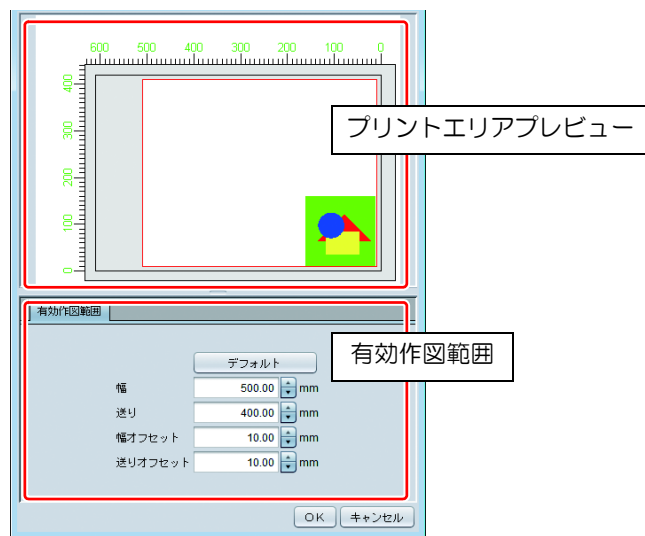
複数ページジョブ内の、印刷するページを指定します。

- **すべて**
ファイル内の全てのページを印刷します。
- **ページ指定**
指定したページを印刷します。
指定例)
 - 2 から 5 ページまで印刷する場合 : [2-5]
 - 2,4,6 ページのみ印刷する場合 : [2,4,6]
 - 2 ~ 5 ページおよび 8,11 ページを印刷する場合 : [2-5,8,11]

9. 作図領域設定(フラットベッドプリンタのみ)

印刷するメディアのサイズに合わせて有効作図領域を登録します。
有効作図領域を登録すると、画像を配置する際の目安になります。
また、メディアの外に印刷してしまうのを防ぎます。

- 作図領域の設定をテンプレートとして保持します。
- 名称を入れ、[+] ボタンを押すことでプリセットを追加します。
[設定] ボタンをクリックすると下のダイアログが表示され、有効作図領域を設定できます。



- **プリントエリアプレビュー**
[有効作図範囲] メニューで設定した有効作図範囲を赤い矩形で表示します。
- **[有効作図範囲] メニュー**

デフォルト	有効作図範囲を最大に設定し、原点の位置をプリンタの初期原点の位置に指定します。
幅	有効作図範囲の幅を入力します。
送り	有効作図範囲の高さを入力します。
幅オフセット	プリンタ原点から幅方向への移動距離を入力します。
送りオフセット	プリンタ原点から送り方向への移動距離を入力します。

10. トンボ

画像にトンボをつけます。主に弊社のプリンタおよびカッティングプロッタでカット時の位置検出を行うために用います。



JV400-LX の場合



CJV300 の場合

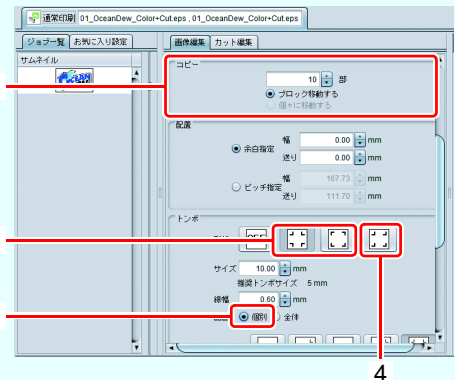
・形状

以下のトンボを選択できます。印刷しない場合は OFF を選択してください。形状についてはカッティングプロッタの設定にあわせてください。



- ・ゼロマージントンボは CJV300、CJV150、UCJV300、UCJV150、CJV300 Plus で使用できます。
- ・ゼロマージントンボを使用すると、外トンボや内トンボに比べてプリント&カットで使用するメディアを削減できます。
- ・ゼロマージントンボは以下の方法で設定できます。

1. 通常印刷画面で、以下の条件に設定します。
 - (1) コピーを複数部設定
 - (2) コピーの移動方法で [ブロック移動する] を選択
2. トンボの形状で (外トンボ)、もしくは (内トンボ) を選択します。
3. トンボの配置で [個別] を選択します。
 - ・ (ゼロマージントンボ) が選択できるようになります。
4. トンボの形状で (ゼロマージントンボ) を選択します。



・サイズ / 線幅

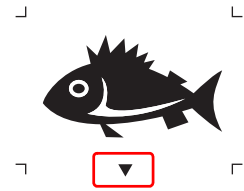
トンボの大きさを変更します。[推奨トンボサイズ]として、弊社のプリンタおよびカッティングプロッタで検出する場合の推奨値が表示されますので、これ以上の値を入力してください。([推奨トンボサイズ]は画像の大きさにより変化します)



S トンボサイズ
W トンボ幅

• 印刷方向マークを付加する

トンボ作成時に▼マークを付加します。
前後の判別が難しいデータの場合、このマークを付けておくと印刷済みメディアを正しい向きでプリンタにセットできます。



重要! • 本機能の対象機種は以下の通りです。
CJV150 , CJV30 , CJV300 , UCJV150 , UCJV300 , CJV300 Plus

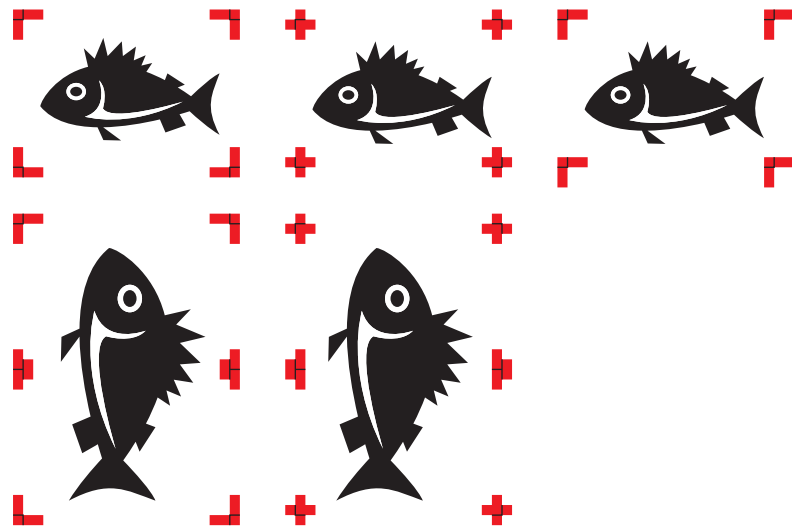
重要! • 以下の場合には印刷方向マーク機能を使用できません。
ゼロマージントンボが有効な場合
中間トンボが有効な場合
トンボ間の距離が 20mm 未満の場合
ID カット機能が有効な場合
面付けを行っている場合



• 印刷方向マーク機能のお気に入りへの登録はできません。
• 回転を行った場合、回転に合わせて印刷方向マークの位置が移動します。
• トンボサイズやスケールの変更を行っても印刷方向マークのサイズは変更されません。

• トンボの周りを塗りつぶす

トンボの周りを赤色で塗りつぶします。地の色が白以外のメディアで、トンボが正常に認識されない場合に使用すると、トンボが認識できることがあります。



・配置

トンボを画像ごとにつけるか、複数画像を配置した全体につけるかを選択できます。

個別：トンボを画像ごとにつけます。カットする際、画像ごとにトンボを検出するので、時間がかかりますが、印刷とカットのズレは少なくなります。
 プリント&カットジョブでは、個別を選択し、トンボを印刷する設定にした場合、トンボの検出箇所を設定する画面が表示されます。



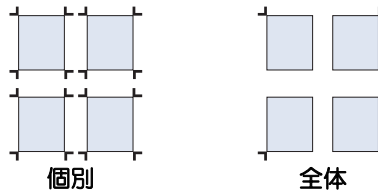
読み取るトンボの数が多いほど、カッティング位置精度は高くなりますが、時間がかかります。検出箇所は1回目と2回目以降で変えることができます。

重要!

トンボの配置で**“個別”**を選択した場合、以下の点にご注意ください。

- ・コピーを複数部設定し、最終行の画像数が、1行目の画像数より少ない場合、コピー部数分のカットが終了しても、トンボ検出を行うためトンボ検出エラーが発生します。

全体：複数画像を配置した全体に対してトンボをつけます。カットする際、1セット分のトンボを検出するだけなので、時間が短くなりますが、印刷とカットのズレは個別に対して大きくなります。



重要!

トンボの配置で**“全体”**を選択した場合、以下の点にご注意ください。

- ・プリント後、弊社カッティングプロッタでカットする場合、トンボ検出機能を使用できません。このような場合**“個別”**を選択してください。

・中間トンボ (CJV300、CJV150、UCJV300、UCJV150、CJV300 Plus)

【配置】で**“全体”**を選択したとき、中間トンボを付加できます。

中間トンボを付加することにより、より高い精度で長尺のカットを行うことができます。

分割方向：中間トンボの分割方向を設定します。

分割数：中間トンボの分割方向を設定します。(2～10の範囲で分割数を指定できます。)

重要!

- ・中間トンボを設定する場合、トンボ間が50mm以上になるように分割数を設定してください。
- ・中間トンボを設定する場合、トンボサイズ以上のオフセットを設定してください。

・オフセット

トンボと画像のオフセットを設定します。

重要!

- ・トンボを印刷する設定にした後、このジョブに対して以下の設定は行えません。

【配置】が**“全体”**の場合

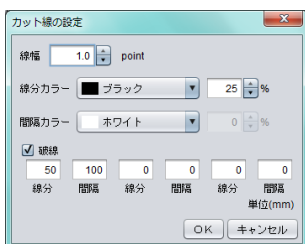
分割印刷、ステップ&リピート、クリップ、版作成

【配置】が**“個別”**

分割印刷、ステップ&リピート

11. カット線を印刷

ON にすると、画像の周辺にカット線を印刷します。
 [設定] ボタンをクリックすると、下のダイアログが表示されます。



- 線幅** : 線幅を 0.1point 単位で指定します。(範囲: 0.3 ~ 30point)
- 線分カラー**: 線の色を指定します。
- 間隔カラー**: 線分と線分間の色を指定します。
- 破線** : 線を破線で描画する場合 ON にします。
- 破線形状** : 破線で描画する場合、破線の線分と間隔を指定します。

重要! 以下の設定が行われているジョブはカット線を印刷できません。

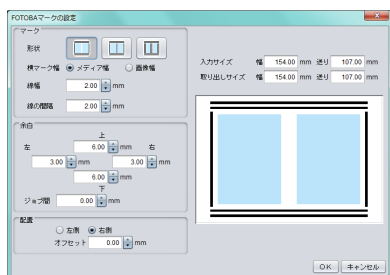
- ステップ&リピート
- トンボの形状で “OFF” 以外を選択している
- FineCut から RasterLink 出力したトンボ付きのジョブ



• “カット線を印刷” のチェックを入れると、出力サイズにはカット線を含めたサイズを表示します。

12. FOTOBA

“FOTOBA マークを印刷する” を ON にすると、画像に FOTOBA シリーズ(高速フィニッシングカッターマシン) で使用するカットマークをつけます。



- 形状** : 画像の間のマークを設定します。
 画像の間に縦のマークを印刷しない場合は、 を選択します。
 画像の間に縦のマークを印刷する場合は、 を、二重線を印刷する場合は を選択します。
- 横マーク幅**: スキャン方向のマークの幅を選択します。
- 線幅** : マークの線幅を指定します。(範囲: 1.00 ~ 3.00mm)
- 線の間隔** : 二重線の間隔を指定します。(範囲: 1.00 ~ 3.00mm)
- 余白** : 画像とマークの間の余白を設定します。
- ジョブ間** : 形状で (コピー間縦マークなし) を選択した場合、ジョブ間の余白を設定します。(範囲: 0.00 ~ 1000.0mm)
- 配置** : ジョブの配置位置を選択します。
- オフセット** : 右側選択時は右端からマークまで、左側選択時は左側刷原点からマークまでの距離を入力します。

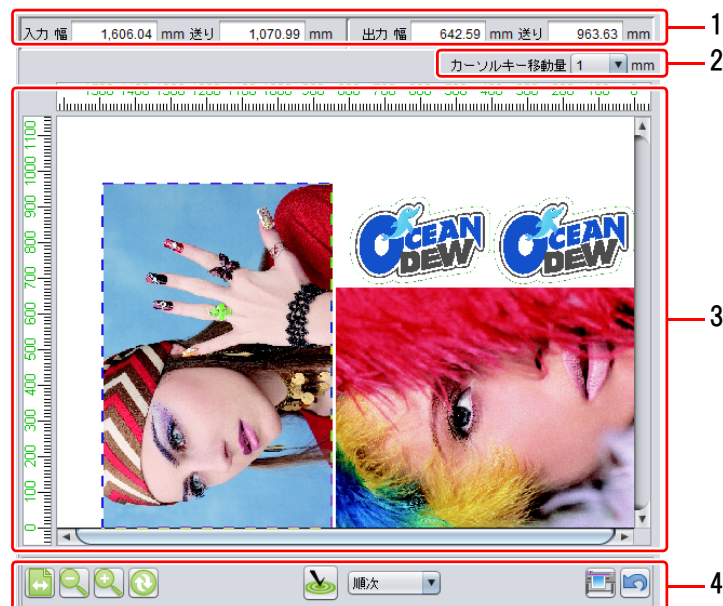
重要!

- 取り出しサイズには、FOTOBA シリーズでカットした後のサイズを計算して表示します。
- コピー、面付け、タイリング機能と組合せて使用できません。
- 以下の場合、FOTOBA マークをつけることはできません。
 1. プリント & カットジョブ
 2. Twin ロール印刷するジョブ
 3. ステップ & リピート印刷するジョブ
 4. 特色版ジョブ
 5. 通常印刷画面において、以下のいずれかの設定がされているジョブ
 (トンボの形状で [OFF] 以外が選択されている / または トリミング位置ロックが ON になっている / または カット線を印刷が ON になっている)
 6. 分割印刷画面において、コーナーマーク、カット線を印刷する設定になっているジョブ
 7. 自動実行時

13. 印刷情報ラベル

“ラベルを付加する” を ON にすると、ON にした項目の情報を、ジョブの後端に印刷します。

プレビュー画面



1. 入力 / 出力

選択しているジョブの、元のサイズを [入力]、出力時のサイズを [出力] に表示します。

2. カーソルキー移動量

選択しているジョブを、キーボードの矢印キーを使って、移動させることができます。その際の 1 回のキー押下に対するジョブの移動量を指定します。

3. 配置プレビュー

画像が印刷されたときの配置場所を表示します。

画面内の白い部分が有効作図範囲（メディア内）、グレーの部分が範囲外となります。

マウスで画像を選択することで以下のことが出来ます。(選択できる画像は 1 つのみです。)

- 選択した画像を [画像編集] 画面の編集対象とする。
- 選択した画像をキーボードの矢印キーを使って移動する。
- マウスを使ってドラッグして移動する。

4. 各種ボタン



メディア幅で表示

配置プレビューの幅を、メディア幅として表示します。



ズームアウト

配置プレビュー画面を縮小表示します。



ズームイン

配置プレビュー画面を拡大表示します。



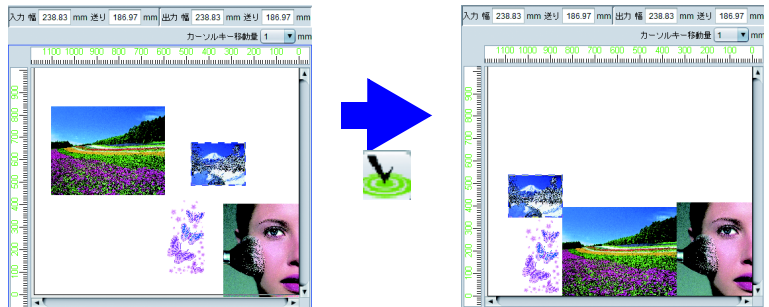
メディア幅の更新

プリンタよりメディア幅を取得し、配置プレビューの有効作図領域の表示を更新します。
Roll to Roll プリンタでのみ表示します。



最適化

整列方法を選択し、最適化をクリックすると、選択した整列方法で画像を配置します。実行時、“配置”で指定している余白設定を使用します。フラッドベッド機にて、1つの盤面に複数の画像が収まりきらない場合、最適化を実行することで、自動的に新しい盤面を作成し、収まりきらない画像を配置します。



実行

RIP・印刷を実行します。実行するモードは前回の[実行]機能を使用した際の設定となります。(P.122)



元に戻す

[通常印刷]画面を開いたときの設定に戻します。

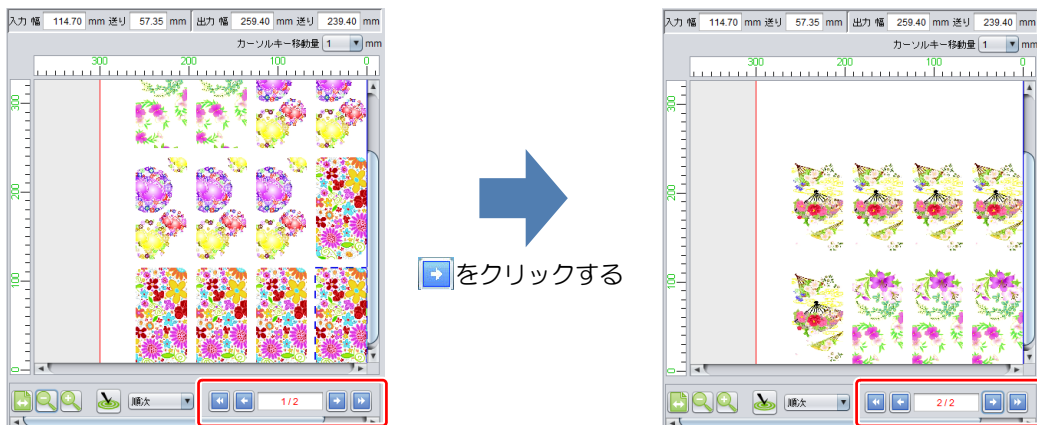
● フラットベッドプリンタの場合

盤面情報

複数の画像を面付けやコピーしている場合、盤面に収まりきらず、複数回印刷する必要があります。

この場合、最適化を押すことで、新しい盤面を作成し、配置します。

盤面が2以上になった場合、表示が赤になります。最適化ボタンを押すことで、プレビュー画面を盤面ごとに切り替えることができます。



ジョブ一覧

面付けされているジョブを表示します。
選択することで [画像編集] での編集対象となります。

お気に入り

[通常印刷] 画面では以下の条件をお気に入りとして登録 / 使用できます。

- スケール
- 回転
- ミラー
- 中央合せ
- 傾き補正

設定方法、適用方法については P.140 をご覧ください。

治具に配置した素材に印刷する - 治具印刷

“治具”とは

治具とは、印刷対象の小物（例：ボールペン、ケース）などを固定する物を言います。固定することにより印刷しやすくなります。

機能

[治具印刷] では以下の操作を行います。

- 治具に配置された素材上に印刷するための位置のテンプレート（以下 [治具テンプレート] を作成する）
- 治具テンプレートで設定されている治具の輪郭線を印刷する
- 治具テンプレートに画像を配置する
- 印刷を実行する

重要! ・本機能は、フラットベッドプリンタでのみ使用できます。

組み合わせ可能な機能

ジョブの印刷条件の設定違いにより、治具配置できない組合せがあります。

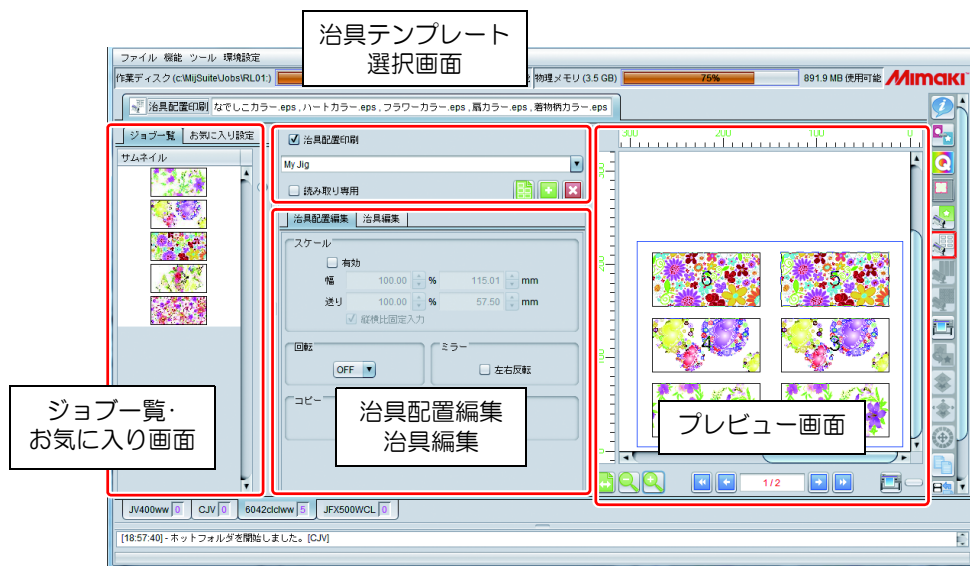
設定条件	治具配置
合成	○
面付け	○
クリップ	○
分割印刷	×
ステップ & リピート	×
トリミング位置ロック	×
Kebab 印刷	×

○ : 治具配置可能です

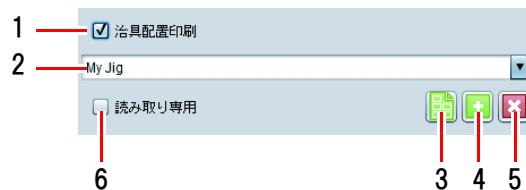
× : 治具配置できません

画面構成

大まかな構成



治具テンプレート選択 / 作成



1. 治具配置印刷

治具配置印刷する / しないを指定します。

2. 治具テンプレート名

治具テンプレートを選択します。

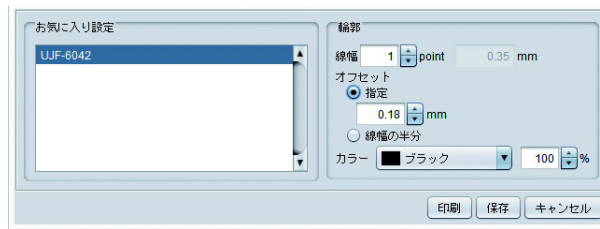
新規にテンプレートを作成する場合、ここに新しい名称を入力し、**+** (治具テンプレートの追加) を押します。

重要!

・ " 作図領域全体 " テンプレートは編集・削除できません。

3. 治具輪郭を印刷




治具テンプレートで設定されている治具の輪郭線を印刷します。
このボタンを押すと [治具輪郭を印刷] ダイアログが表示されます。



お気に入り設定 : 輪郭線を印刷するときの初期条件となるお気に入り設定を選択します。

線幅 : 輪郭線の線幅を指定します。

オフセット : 治具の矩形に対する実際に描画する線のオフセットを指定します。
(以下、赤枠 : 治具の矩形、黒線 : 印刷する輪郭線)

オフセットの設定	オフセット値	結果
指定	0	 治具の矩形を線の中心として輪郭線を描画します。
線幅の半分	設定無し	治具の矩形の内周を線の外側に接するように輪郭線を描画します。 
指定	+	治具の矩形の外側に輪郭線を描画します。 

カラー : 輪郭線の色を設定します。

[印刷] ボタンを押すと輪郭線のジョブが印刷されます。

[保存] ボタンを押すと輪郭線の PDF ファイルが作成されます。

4. 治具テンプレートの追加

[治具テンプレート名] に新規の名前を入力し、このボタンを押すと、現在の設定を初期値とした新たな治具テンプレートが追加されます。

すでにある名前を選択してこのボタンを押すと、現在の設定で上書きします。

5. 治具テンプレートの削除

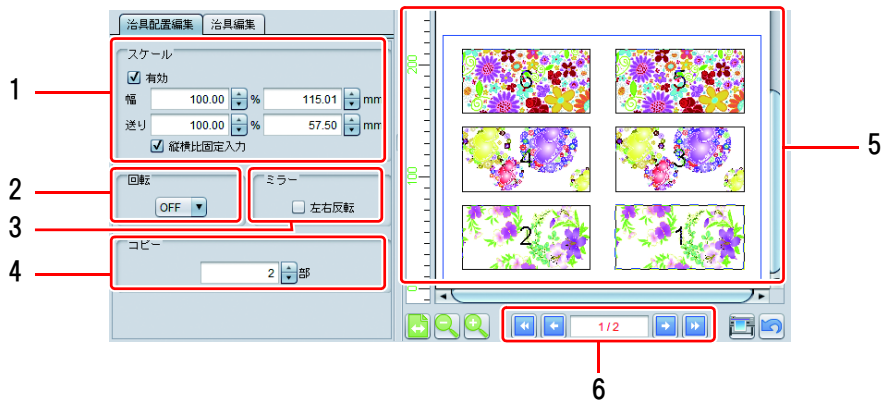
[治具テンプレート名] で選択されている治具テンプレートを削除します。

6. 読み取り専用

ON にすると、選択した治具テンプレートを読み取り専用にします。治具テンプレートの変更、削除を防ぎたい場合に指定してください。

治具配置編集タブと配置プレビュー

治具配置編集タブでは、サムネイルもしくは配置プレビュー上で選択したジョブに対する画像編集を行います。配置プレビューでは実際に印刷した場合のプレビューが盤面ごとに表示できます。



1. スケール

サムネイルもしくはプレビューで選択した画像の印刷サイズを指定します。倍率 (%) もしくは実長サイズで指定できます。



・[縦横比固定入力] を ON にすると、元画像の縦横比を固定したまま、拡大・縮小します。

2. 回転

サムネイルもしくはプレビューで選択した画像を回転させます。

3. ミラー

サムネイルもしくはプレビューで選択した画像を鏡像にします。

4. コピー

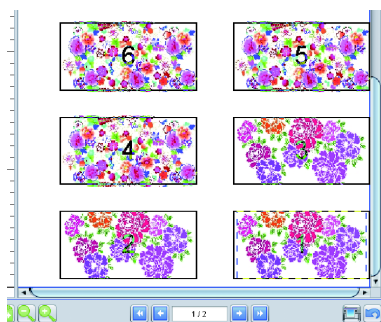
サムネイルもしくはプレビューで選択した画像のコピー部数を指定します。

5. 配置プレビュー

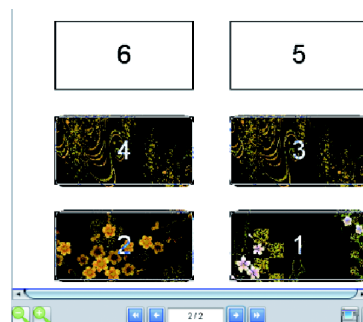
治具テンプレートに画像を配置した状態をプレビューします。

6. 盤面切り替え

印刷する画像の総数が、盤面 1 つに収まらない場合、同じ治具テンプレートを用いた盤面を自動作成し、そこに配置します。◀ ◁ ▷ ▶ を押し、盤面を切り替えることができます。



最初の盤面 (1/2)



次の盤面 (2/2)

治具編集画面

The screenshot shows the '治具編集' (Fixture Edit) tab in a software interface. It contains several sections for configuring a fixture:

- 1. Size (サイズ):** Width: 285.00 mm, Height: 220.00 mm.
- 2. Position (位置):** Width: 8.00 mm, Height: 5.00 mm.
- 3. Tilt Correction (傾き補正):** 0.00°.
- 4. Material Size (素材サイズ):** Width: 115.01 mm, Height: 57.50 mm.
- 5. Quantity (個数):** Width: 2, Height: 3.
- 6. Interval (間隔):** Width: 138.00 mm, Height: 70.00 mm.
- 7. Previous Material Position (先設素材位置):** Width: 15.00 mm, Height: 10.00 mm.
- 8. Layout (配置):** A 3x3 grid of circles with the bottom-right one filled.
- 9. Adjustment (調整):** Material 1 selected.
- 10. Use (使用):** '使用しない' (Do not use) checked.
- 11. Position (位置):** Width: 0.00 mm, Height: 0.00 mm.

【治具】

1. サイズ

治具全体のサイズを指定します。

2. 位置

作図原点から、治具の右下までの距離を指定します。

3. 傾き補正

治具全体を、治具の右下を支点として、-45 ~ +45 度の範囲で傾けます。治具を傾けると、治具上の各素材が傾き、素材位置は相対移動します。テーブルに対して、傾いた状態で治具が取り付けられた場合に指定します。

【重要!】

治具を傾けると、印刷画像の輪郭や直線部分に若干のジャギー(ギザギザ)が発生します。特にラスタデータの場合、ラスタサイズ解像度が低いとジャギーが顕著に発生します。ラスタデータを傾ける場合は、印刷解像度に近い解像度でデータ作成することをお奨めします。

【素材】

治具内に配置される素材の情報を定義します。プレビュー上では、選択状態の素材定義は赤い矩形で、非選択状態の素材定義は黒い矩形で表示されます。

4. サイズ

素材1つの大きさを指定します。

設定できる大きさは、25.4mm ~ そのプリンタの有効作図サイズまでです。

5. 個数

素材の配置個数を幅方向・高さ方向毎に指定します。

設定できる個数の最大は幅、高さ共に 99 個 (総数: $99 \times 99 = 9801$ 個) です。

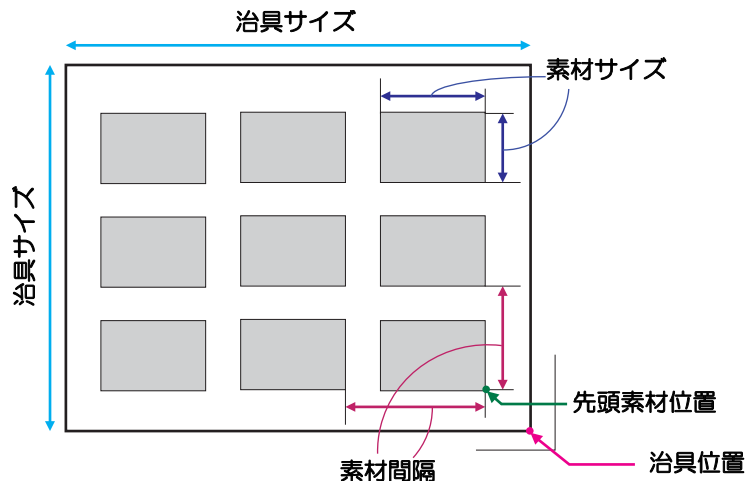
6. 間隔

幅 : 右隣の素材の右端からの距離を指定します。

高さ : 下隣の素材の下端からの距離を指定します。

7. 先頭素材位置

治具の右下から、素材1の右下のまでの距離を指定します。



8. 配置

素材内のどの位置を基準に画像を配置するかポリシーを、9方向より指定します。



【調整】

指定した素材位置を使用するかどうか、および、印刷位置の微調整を行います。

調整

素材 1 ▼

使用しない

位置

幅 mm

高さ mm

9. 素材コンボボックス

調整する素材を選択します。テンプレートプレビューからマウスで選択することも出来ます。

10. 使用しない

チェックすると、その素材の位置には画像が配置されません。またテンプレートプレビュー、配置プレビューでは×で表示されます。汚れ、破損等により特定の素材位置に配置したくない場合にチェックします。

11. 位置

等間隔で配置された素材位置を微調整します。

お気に入り入り

ジョブ一覧 お気に入り設定

属性

UJF-3042HG2

治具名 作図領域全体

スケール OFF

幅 100.00 %

送り 100.00 %

回転 OFF

ミラー OFF

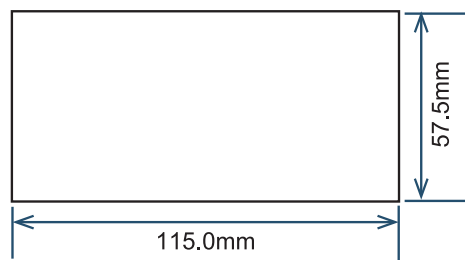
[治具印刷] 画面では以下の条件をお気に入りとして登録 / 使用できます。

- 治具テンプレート
- スケール
- 回転
- ミラー

設定方法、適用方法については P.140 をご覧ください。

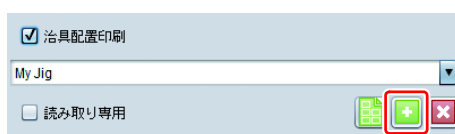
治具を使用した印刷手順

下図のような寸法の素材へのプリントを例として説明します。



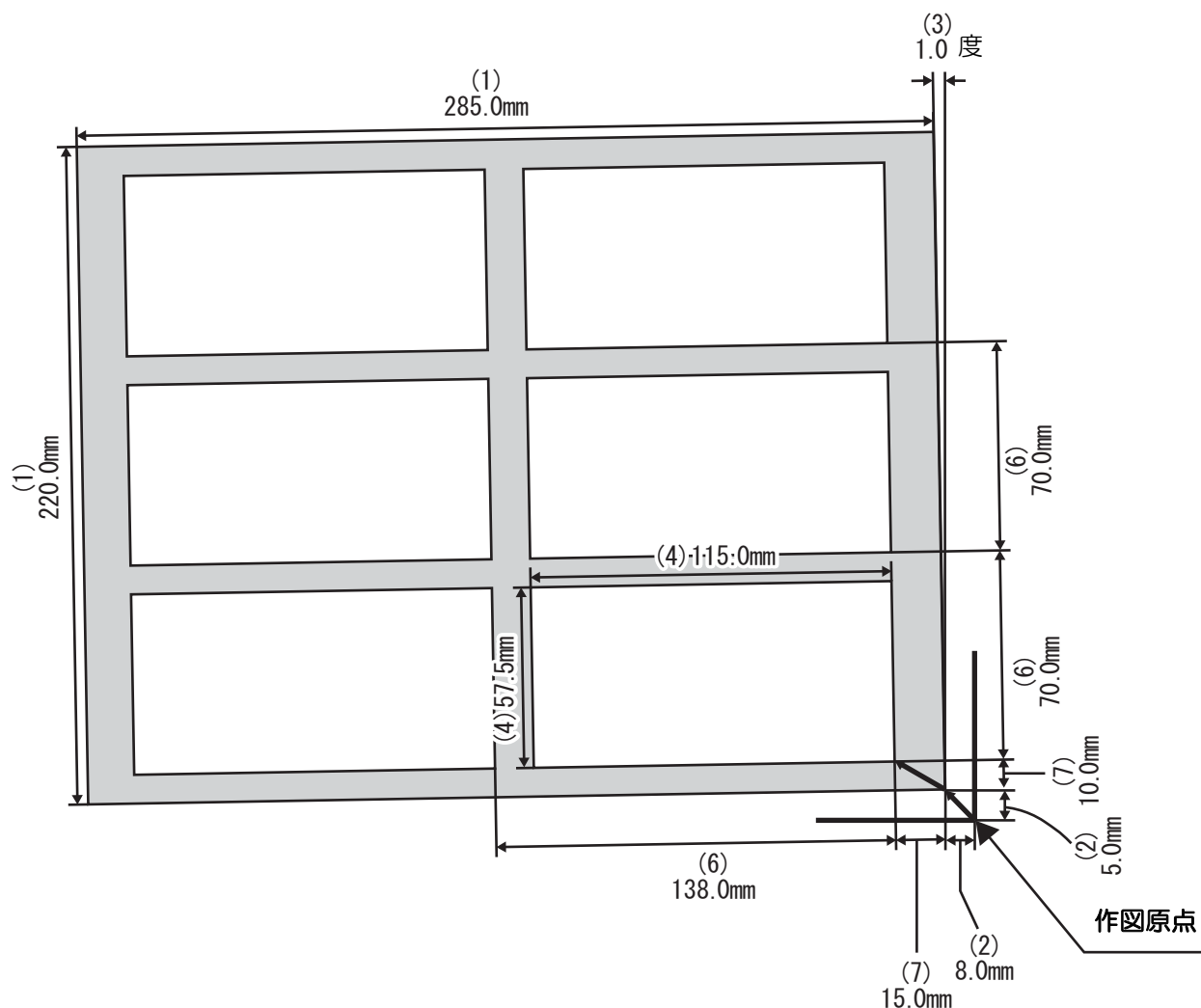
1. 治具テンプレートを新規登録

- (1) 印刷対象のジョブを選択し、治具配置印刷アイコンを押して治具配置印刷画面を開きます。
- (2) 治具テンプレート名に適切な名称（ここでは「My Jig」）と入力し、[+] ボタンを押します。自動的に治具定義タブに切り替わります。



2. 治具テンプレートを設定する

プリンタに取り付けられた治具のサイズ情報を入力します。ここでは以下の寸法で作成、取り付けられた治具を例として説明します。図中の番号は、以下の手順番号と対応します。



(1) 治具全体のサイズを入力します。

治具

サイズ

幅 mm

高さ mm

(2) 作図原点から、治具の右下までの距離を入力します。

位置

幅 mm

高さ mm

(3) テーブルに対して、治具の傾きの角度を入力します。反時計回りがプラスの値、時計回りがマイナスの値になります。

傾き補正

°

(4) 素材の大きさを入力します。

素材

サイズ

幅 mm

高さ mm

(5) 素材の幅方向、高さ方向それぞれの配置個数を入力します。

個数

幅

高さ

(6) 素材を並べる時の間隔をピッチで入力します。

間隔(ピッチ指定)

幅 mm

高さ mm

(7) 治具の右下から、素材位置の右下までの距離を入力します。

先頭素材位置

幅 mm

高さ mm

(8) 素材サイズと画像サイズが一致しない場合の、配置ポリシーを選択します。

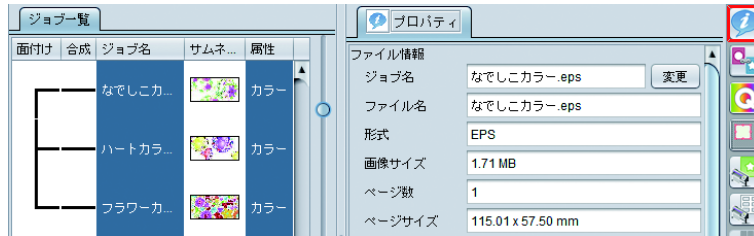
配置

3. 治具に画像を配置する

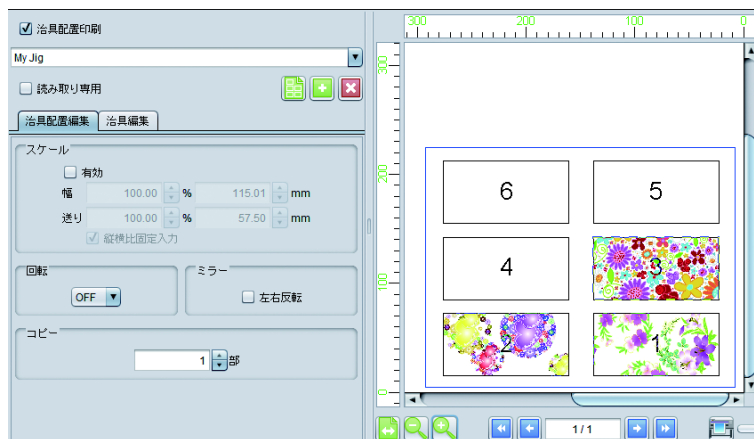
- (1) ジョブのプロパティアイコンを押し、ジョブ一覧を表示します。
- (2) 印刷するジョブを選択し、治具印刷画面を開きます。
ここでは例として3つのジョブ面付けしたものを選択します。



- 面付けしていない複数のジョブを選択している場合、治具印刷は選択できません。
- また、条件により、治具印刷が選択できない設定があります。「治具配置の条件 (P.64)」をご確認ください。



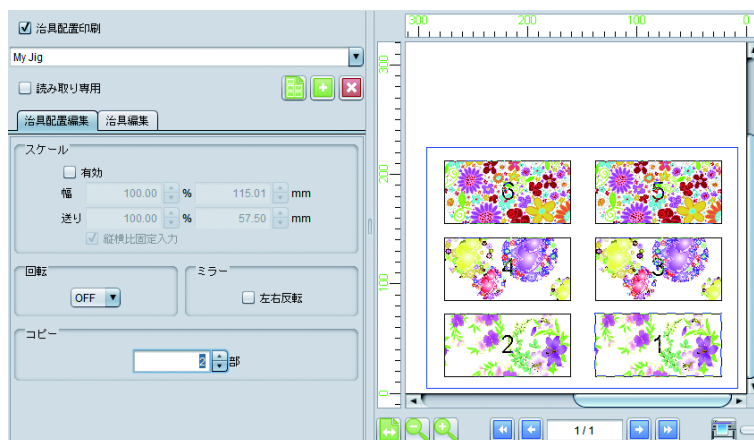
- (3) 作成した治具テンプレート (My Jig) を選択します。
配置プレビューに1つずつ画像が配置されます。



重要!

- ジョブ一覧の上の画像から配置していきます。印刷順が重要な場合、RasterLink6Plus に画像を読み込む順番に注意してください。(ジョブ一覧の順番は、上から読み込んだ順となります。読み込んだ後に、一覧の順番を変えることは出来ません。)

- (4) 各画像を複数印刷する場合、[配置プレビュー] で画像を選択し、[コピー] に印刷枚数を指定します。
ここでは、各画像2枚ずつ印刷するように指定します。



4. 印刷する

- 配置プレビューの下の印刷ボタンを押し、印刷します。

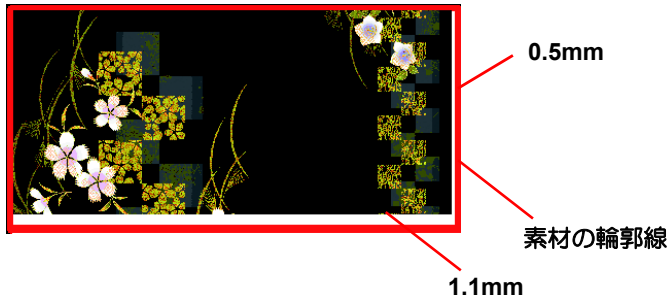
こんなときには

印刷位置がずれた

初回に設定した治具テンプレートの配置では印刷位置がずれる場合、治具編集タブの [調整] タブにて、素材1つずつに対して位置の調整を行います。

例として、前章の「治具を使用した印刷手順」の例で、3番目の素材の位置がずれた場合、どのように設定するか説明します。

- (1) 3番目の素材に対してどれだけ印刷がずれたか、測定します。



- (2) 治具印刷画面を開きます。
 (3) [治具編集] タブを開きます。
 (4) [調整] 欄で、素材番号に [素材 3] と設定し、以下のように入力します。

調整	
素材 3	
<input type="checkbox"/> 使用しない	
位置	
幅 ±	0.50 mm
高さ ±	1.10 mm

- (5) 再度印刷し、ズレが無いか確認します。

印刷に失敗した素材があった場合、その画像だけ再度印刷する

治具印刷画面では、直接印刷する画像を指定できません。以下の方法でその画像だけ印刷するように指定します。

- **ジョブが1つのみでコピー指定していた場合**
失敗した個数をコピー数に設定し、治具印刷します。
- **面付けしていた場合**
一度面付けを解除し、失敗したものを再度面付けして、治具印刷します。

治具配置の条件

治具配置できない編集条件

以下の設定が行われているジョブは治具配置できません。

- 分割印刷
- ステップ&リピート

複数の画像を印刷する場合

面付け設定を行ってから、そのジョブ群を選択し、治具配置印刷画面を開いてください。

大判画像を分割して印刷する - 分割印刷

分割印刷の用途

看板など、プリンタ幅よりも大きな画像を出力したい場合、分割印刷機能を用いて、画像を施工しやすい大きさに分割して出力します。

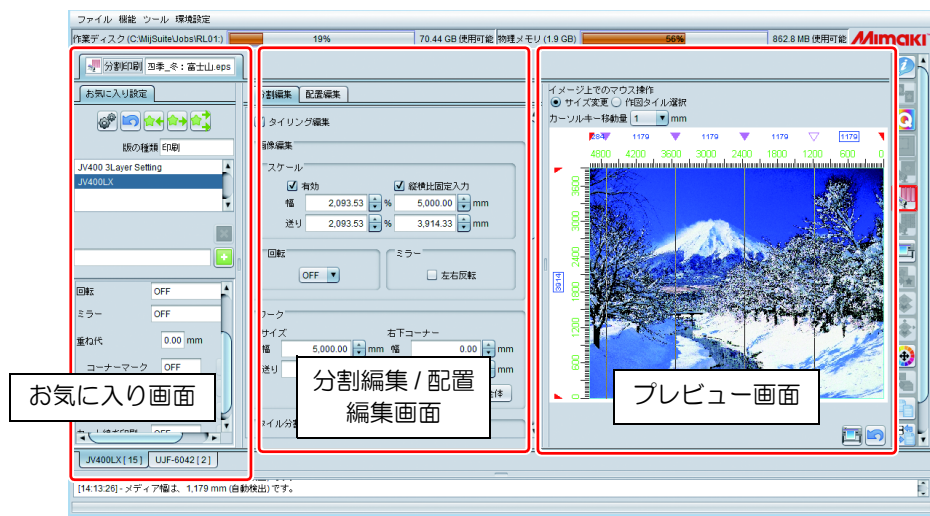
機能

[分割印刷]では以下の操作を行います。

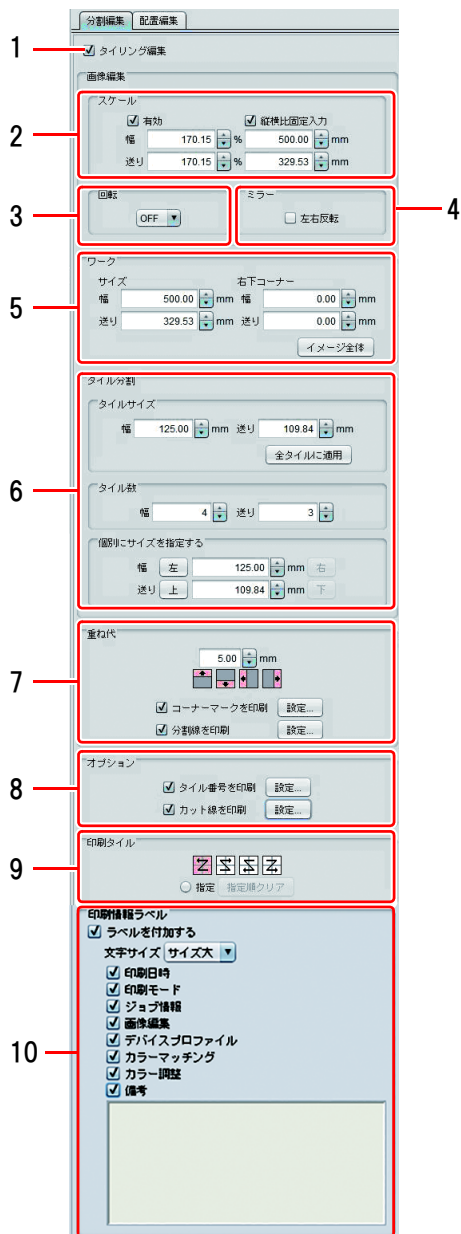
- 画像の拡大・縮小、回転、ミラー
- 画像の分割設定
- 分割した画像のレイアウト設定
- 看板などに施工しやすくするためのオプション設定
- 印刷実行

画面構成

大まかな構成



分割編集



1. 分割印刷

ON にすると分割印刷が指定され編集が行えます。

2. スケール

画像を拡大・縮小します。

3. 回転

画像を回転させます。

4. ミラー

画像を鏡像にします。

5. ワーク

画像をクリップする大きさと位置を指定します。



• RasterLink6Plus では看板など、施工対象物を [ワーク] と呼称します。通常、画像はワークよりも若干大きめに拡大し、この [ワーク] 機能にて必要な部分を切り抜きます。

6. タイル分割

画像を分割します。分割できる個数は 100 個までです。



• RasterLink6Plus では分割した画像 1 つを [タイル] と呼称します。

分割方法は 3 つあります。

A. タイルサイズ

タイル 1 つのサイズを設定し、それを全てのタイルに対して適用します。

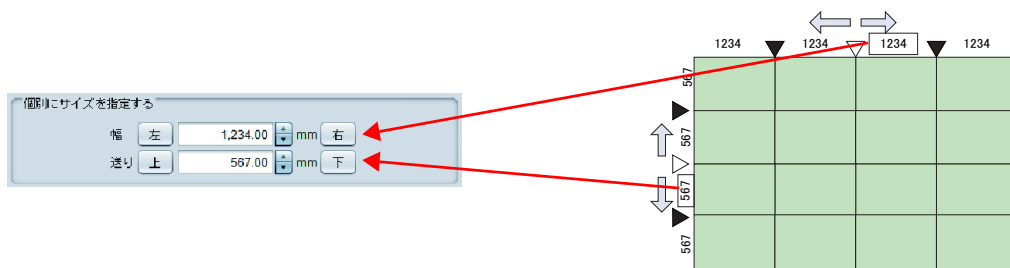
B. タイル数

分割数を幅、送りに対して設定し、等分割します。

C. 個別にサイズを設定する

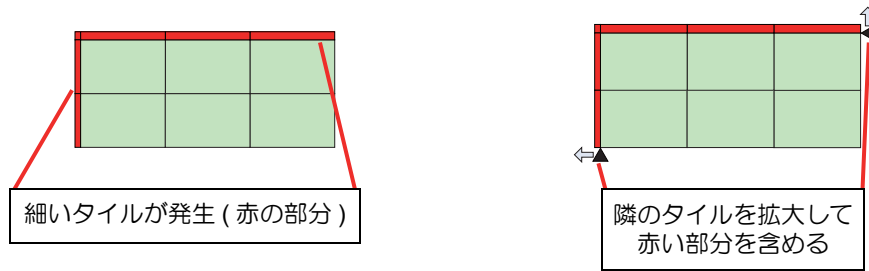
サイズを指定するタイルを [右][左][上][下] ボタンを使って選択し、サイズを指定します。編集対象のタイルはプレビュー画面に以下のようにサイズが□で囲まれて表示されます。

▼マークをマウスクリックすると、選択状態(▽)になります。この状態でカーソルキーで微調整することができます。



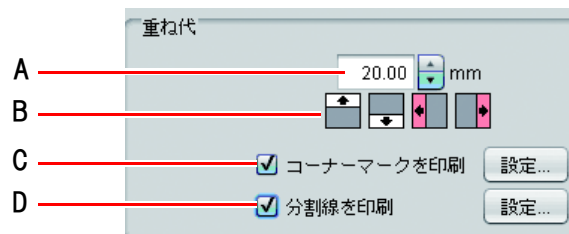
重要!

- 1つのタイルの大きさは 25.4mm 四方より大きくしてください。これ以下の場合、印刷実行時もしくは画面切り替え時に警告メッセージが表示され、処理が継続できません。
- 特に分割方法が [タイルサイズ] の場合、演算誤差により、画像の左端もしくは上端にて 25.4mm 以下のタイル作成されることがあります。この場合、[個別にサイズを指定する]にて、これらの隣のタイルのサイズを拡大させてください。



7. 重ね代

看板に施工する際、そのまま画像を分割したものを貼り合わせると隙間が出てしまうことがあります。これを防ぐため、タイルが隣り合う部分に重ね代をつけることができます。

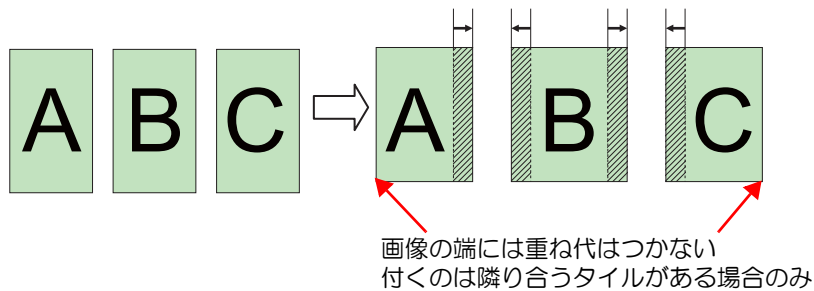


A. サイズ指定

重ね代の長さを指定します。

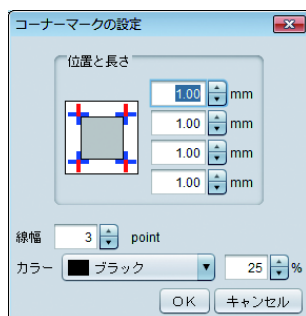
B. 重ね代位置

重ね代がつく位置を指定します。画像を縦に 3 分割し、タイルの左右に重ね代をつける設定にした場合、重ね代のつき方は以下ようになります (斜線部が重ね代)



C. コーナーマークを印刷

ON にすると貼りあわせの目安となるマーク (+) を印刷します。[設定] ボタンを押すと下のダイアログが表示されます。



位置と長さ: マークの 4 方の長さを指定します。(範囲: 0 ~ 100mm)

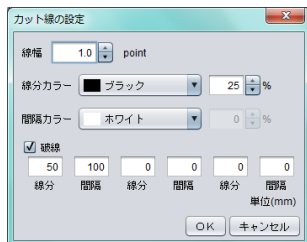
線幅: マークの線幅を 0.1pt 単位で指定します。(範囲: 0.3 ~ 30point)

カラー: マークの色と濃度を指定します。

[OK] ボタンを押すと設定が適用されます。

D. 分割線を印刷

ON にするとタイル本体と重ね代の境目に線（分割線）を印刷します。[設定] ボタンを押すと下のダイアログが表示されます。



線幅 : 線幅を 0.1point 単位で指定します。

線分カラー : 線の色を指定します。

間隔カラー : 線分と線分間の色を指定します。

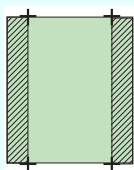
破線 : 線を破線で描画する場合 ON にします。

破線形状 : 破線で描画する場合、破線の線分と間隔を指定します。

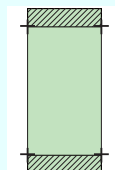


・コーナーマークおよび分割線は、**重ね代の上に印刷**されます。

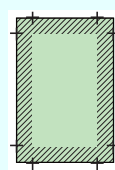
コーナーマーク



重ね代が左右に付いた場合

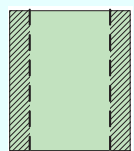


重ね代が上下に付いた場合

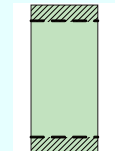


重ね代が四方に付いた場合

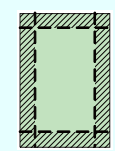
分割線



重ね代が左右に付いた場合



重ね代が上下に付いた場合

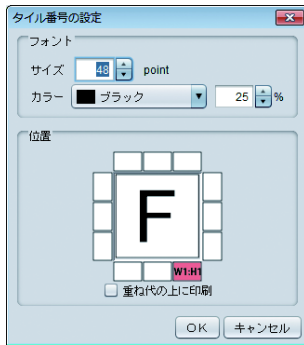


重ね代が四方に付いた場合

8. オプション

タイル番号を印刷

ON にすると印刷したタイルが、元の画像のどの位置かわかるように番号を印刷します。[設定] ボタンを押すと下のダイアログが表示されます。



フォントサイズ : タイル番号のフォントの大きさを設定します。

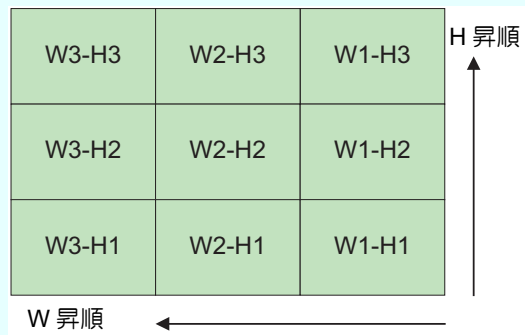
カラー : タイル番号の色を設定します。

位置 : タイル番号をタイルのどの位置に印刷するか選択します。

重ね代の上に印刷 : 重ね代をつける設定で、ON にすると重ね代の上にタイル番号を印刷します。



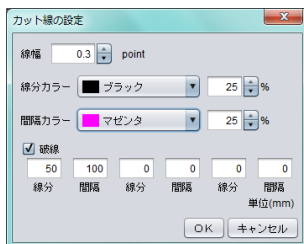
- タイル番号はスキャン方向を W、送り方向を H とし、右下端（印刷原点）のタイルを (1,1) として表示します。



カット線を印刷

ON にすると、タイルの外周に線をプリントします。タイルに空白部がある場合などに、カットする目安としてお使いいただけます。

[設定] ボタンを押すと下のダイアログが表示されます。



線幅 : 線幅を 0.1point 単位で指定します。

線分カラー : 線の色を指定します。

間隔カラー : 線分と線分の間の色を指定します。

破線 : 線を破線で描画する場合 ON にします。

破線形状 : 破線で描画する場合、破線の線分と間隔を指定します。破線の線分と間隔をすべて [0] には設定できません。







- カット線は重ね代を含むタイルの外周に印刷されます。

9. 印刷タイル

印刷順序および印刷するタイルを選択します。

全部のタイルを一度に印刷する場合

印刷順を示すアイコンをクリックします。

アイコン																																								
印刷順	<table border="1"> <tr><td>9</td><td>8</td><td>7</td></tr> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> </table>	9	8	7	6	5	4	3	2	1	<table border="1"> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> </table>	7	8	9	4	5	6	1	2	3	<table border="1"> <tr><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>5</td><td>4</td></tr> <tr><td>9</td><td>8</td><td>7</td></tr> </table>	3	2	1	6	5	4	9	8	7	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> </table>	1	2	3	4	5	6	7	8	9
9	8	7																																						
6	5	4																																						
3	2	1																																						
7	8	9																																						
4	5	6																																						
1	2	3																																						
3	2	1																																						
6	5	4																																						
9	8	7																																						
1	2	3																																						
4	5	6																																						
7	8	9																																						

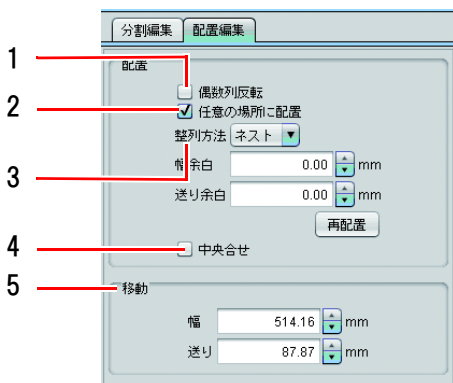
任意の順番で指定したタイルのみ出力する

[指定] を選択します。その後のタイルの順番指定 / 選択方法については [特定のタイルのみ印刷したい] (P.72) をご覧ください。

10. 印刷情報ラベル

“ラベルを付加する” を ON にすると、ON にした項目の情報を、各タイルの後端に印刷します。

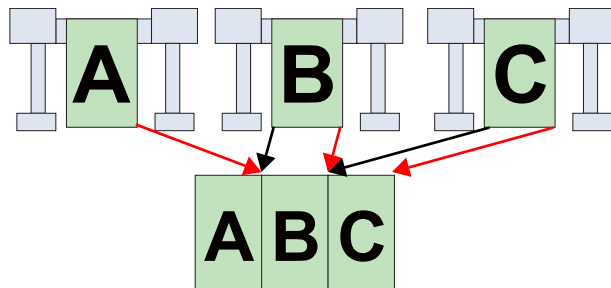
配置編集



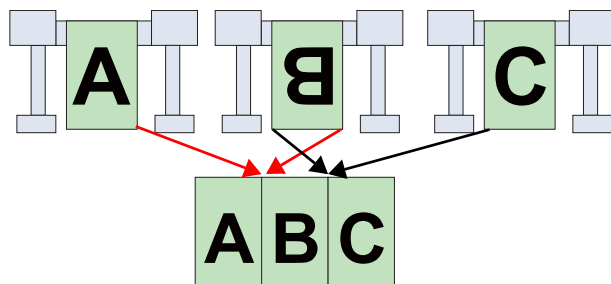
1. 偶数列反転

タイルの右から数えて偶数列を 180° 回転します。プリンタの左右でヒーター温度ムラ等で色差があり、タイルを貼り合わせた際、接合部が目立ってしまうときに有効です。

- 偶数列反転 OFF : 全タイル同じ方向で印刷します。



- 偶数列反転 ON : 偶数列 (ここでは B のタイル) を 180° 回転して印刷します。



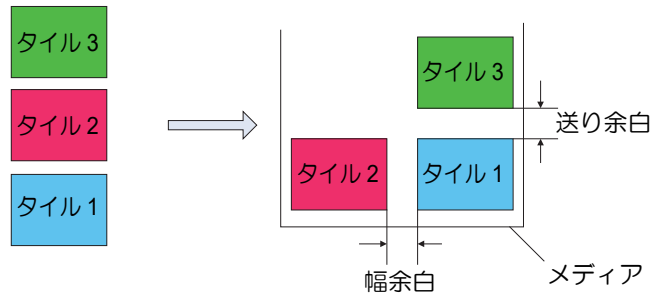
2. 任意の場所に配置

ON にすると、任意の位置にタイルを移動できます。

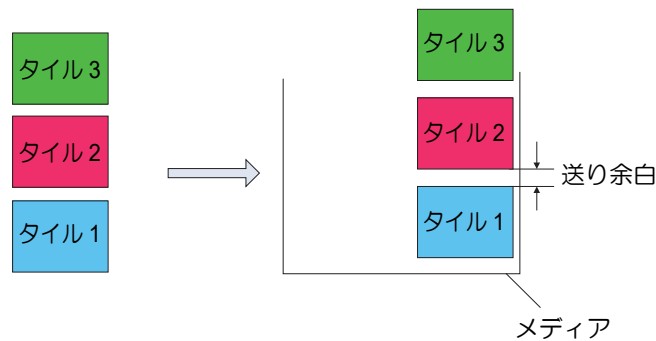
3. 整列方法

[任意の場所に配置] が ON の場合に操作できます。
タイル間を [幅余白] [送り余白] で指定した分だけ、[再配置] ボタンを押すことで、以下のように配置します。

- ネスト
タイルをメディアの幅方向に並べて配置します。



- 順次
タイルをメディアの送り方向に並べて配置します。



4. 中央合せ

ON にすると P.37 のように、複数タイル全体領域をメディアの中央に移動させます。

5. 移動

レイアウトプレビュー上でクリックして選択されたタイルを数値を使って移動させます。

お気に入り

[分割印刷] 画面では以下の条件をお気に入りとして登録 / 使用できます。

- スケール
- 回転
- ミラー
- 重ね代の大きさと位置
- コーナーマークの有無と設定
- 分割線の有無と設定
- タイル番号の有無と設定
- カット線の有無と設定

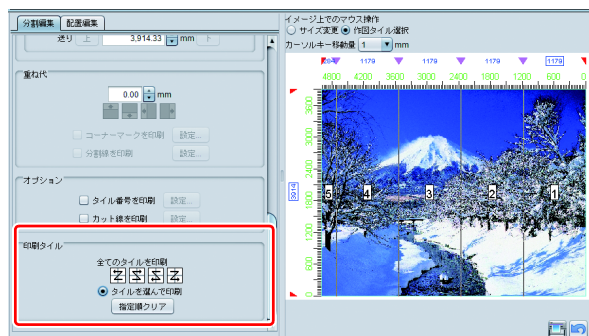
こんなときには

特定のタイルのみ印刷したい

あるタイルだけ、施工が失敗した等で、印刷しなおしたい場合、以下の手順で特定のタイルのみ印刷できます。

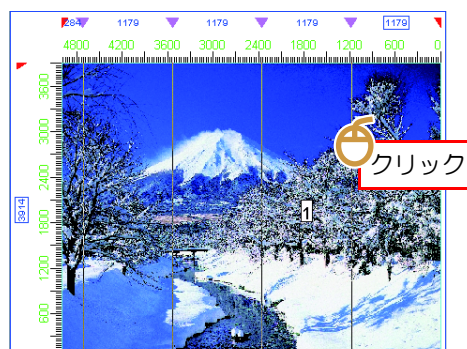
1 対象のジョブを選択し、分割印刷画面を開きます。

2 [印刷タイル]欄の[指定]を選択します。
 ・分割プレビューの各タイル上に印刷順を示す番号が表示されます。



3 [指定順クリア]ボタンを押します。
 ・分割プレビューの各タイル上に表示された番号が消えます。

4 分割プレビューで、印刷したいタイルをクリックします。
 ・クリックしたタイルに印刷順を示す番号が表示されます。
 ・複数のタイルが選択できます。クリックした順に印刷順が表示されます。



5 印刷します。

分割印刷の条件

分割印刷できない条件

以下の設定が行われているジョブは分割印刷できません。

- ・面付け
- ・ステップ&リピート
- ・合成
- ・通常印刷などでコピー数を2以上に設定している場合
- ・プリント&カット
- ・通常印刷でトンボを設定している場合

画像を隙間無く並べて印刷する - ステップ&リピート

機能

[ステップ&リピート]では以下の操作を行います。

- 画像の拡大・縮小、回転、ミラー
- 画像の並べ方の指定および出力幅 / 長さの指定

重要!

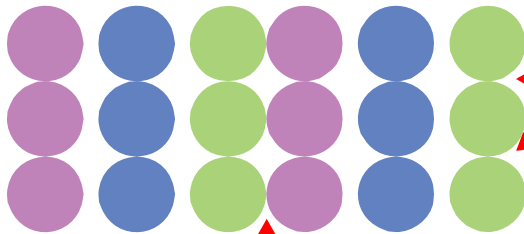
• 画像を隙間無く並べるため、本機能では画像の四方の空白部分を除去します。(デザイン的に画像の四方に空白をつけた場合でも除去します)



(点線は画像境界を表す)



ステップ&リピートで横2個縦3個並べた場合

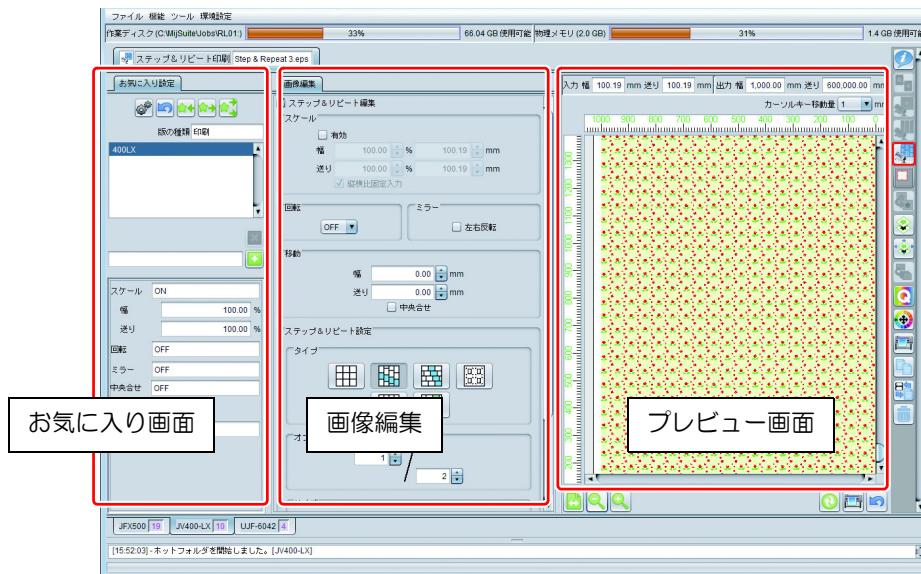


隙間が無くなる

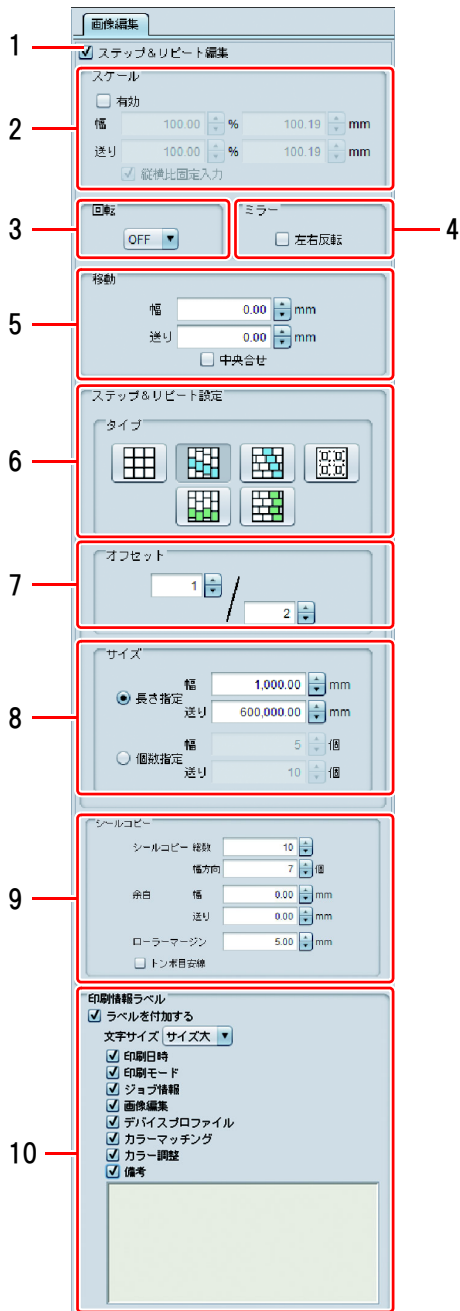
隙間が無くなる

• ただし、プレビュー画面では、隙間を除去しないで表示します。

画面構成



画像編集



1. ステップ&リピート編集

ステップ&リピートを行います。

2. スケール

元画像を拡大・縮小します。

3. 回転

元画像を回転させます。

4. ミラー

元画像を鏡像にします。

5. 移動

ステップ&リピートで配置した画像を移動させます。

・[中央合せ]を ON にするとステップ&リピート配置した画像全体をメディアの中央に配置します。

6. タイプ

画像の並べ方を指定します。



ノーマル：ずれなく画像を並べます。



垂直 1： 垂直方向に画像をずらして並べます。
1列ごとにオフセット分ずれ量が増します。



垂直 2： 垂直方向に画像をずらして並べます。
偶数列のみオフセット分ずらしします。



水平 1： 水平方向に画像をずらして並べます。
一行ごとにオフセット分ずれ量が増します。

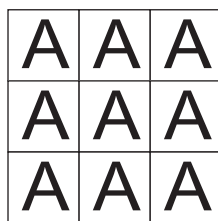


水平 2： 水平方向に画像をずらして並べます。
偶数列のみオフセット分ずらしします。

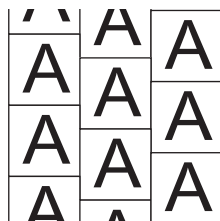


シールコピー (Roll to Roll プリンタで表示) :
任意の間隔を空けて並べます。(詳細は次ページ参照)

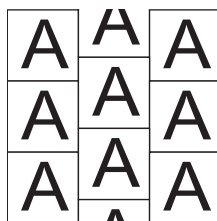
例：オフセットを 1/3 とした場合の各タイプの配置



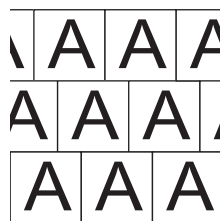
ノーマル



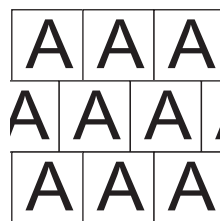
垂直 1



垂直 2



水平 1



水平 2

* シールコピーについては次ページを参照

7. オフセット

画像をずらして並べる場合に表示されます。ずらす量を指定します。

8. サイズ

繰り返しサイズを指定します。

長さ指定 : 印刷長 / 幅を指定します。最大長 : 950m

個数指定 : 元画像を 1 個としたときの、個数で指定します。最大範囲 : 長さ 950m / スケールをかけた画像サイズ

9. シールコピー

[タイプ]で“シールコピー”を選択すると表示されます。

シールコピー 総数 : 画像の個数を指定します。

幅方向 : 幅方向に並べる個数を指定します。

余白 : 画像間の、幅方向と送り方向の間隔を指定します。

ローラーマージン : 用紙右端の余白の値を設定します。あとでカットする場合、余白の値は使用するカッティングプロッタの取扱説明書を参照してください。

トンボ目安線 : カッティングプロッタで印刷物をカットするときに原点となる線を印刷します。



・カット用の画像をコピー印刷する際に使用します。

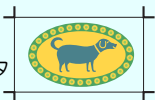
画像を RasterLink6Plus に読み込むときにプリンタドライバを用いると、画像に空白が付いてしまう場合があります。特に、プリンタドライバの設定で画像より大きい印刷用紙を設定すると、この現象が発生します。この状態でコピーの余白を設定すると、画像の周りの空白部に余白が足されるため、印刷結果は余白が指定より大きく取られたように見えてしまいます。

本機能では、この問題を回避するため、画像の外側に付いた余白を除去してから、指定された余白を画像間に入れてコピーします。

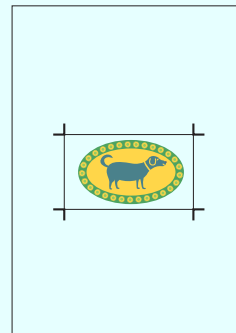
また、カッティングプロッタにて画像をカットするときに、カッティングプロッタが最初に左右どちらかのトンボを読むのか、指定する必要があります。トンボの目安線は、左右どちらのトンボをカッティングプロッタに指示したらよいのかを示します。

プリンタドライバで画像を出力すると

デザインソフトで
作成したカットデータ

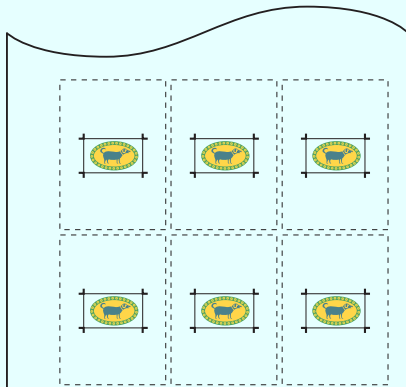


画像より大きい用紙サイズを指定して、ドライバ出力すると

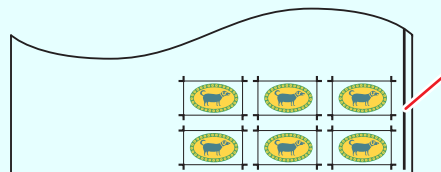


データの回りに
余白が付く

プレビュー画面での出カイメージと実際に印刷したときの違い



ドライバ出力したデータを配置したときの
出カイメージ



実際に印刷したときの状態
(データの周りの余白を自動的に除去)

原点を示すトンボ
目安線を印刷できます。

10. 印刷情報ラベル

“ラベルを付加する”をONにすると、ONにした項目の情報を、ジョブの後端に印刷します。

お気に入り

[ステップ&リピート]画面では以下の条件をお気に入りとして登録/使用できます。

- スケール
- 回転
- ミラー
- 中央合わせ
- タイプ
- オフセットの値
- トンボ目安線

ステップ&リピートを設定できない条件

以下の設定が行われているジョブはステップ & リピートを設定できません。

- 版生成機能で作成した特色版とカラー版を合成した合成ジョブ
- 面付け
- 分割印刷
- 通常印刷などでコピー数を2以上に設定している場合
- プリント & カット
- 通常印刷でトンボを指定している場合
- 複数ページジョブ

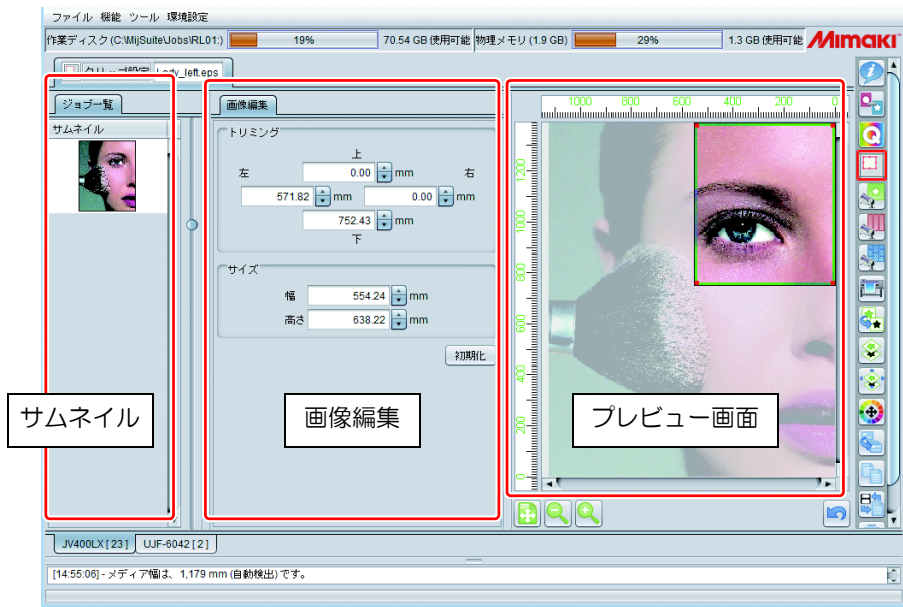
画像の一部を切り取る - クリップ

機能

- [クリップ]では以下の操作を行います。
- 画像の一部を切り取る

画面構成

大まかな構成



画像編集



1. トリミング

切り取る矩形範囲を画像の上下左右からの距離で指定します。

2. サイズ

切り取る矩形の大きさを指定します。

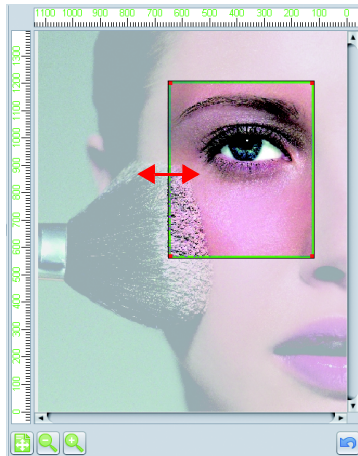
重要!

• トリミングおよびサイズは画像の元のサイズを基準として指定します。通常印刷等で拡大指定した場合、クリップ後の画像を拡大します。

3. 初期化

画像全体を印刷する設定に戻します。

クリッププレビュー



プレビュー上で、緑の線をマウスでドラッグ&ドロップすることにより、切り取る範囲を指定できます。

サムネイル

ジョブ一覧で複数選択して [クリップ] 画面に移った場合、サムネイルに選択したジョブの一覧が表示されます。クリップを設定したい画像をサムネイルから選んでから、設定を行ってください。設定は各々のジョブに対して行ってください (一括で設定できません)

特色インク用画像を作成する - 版作成

機能

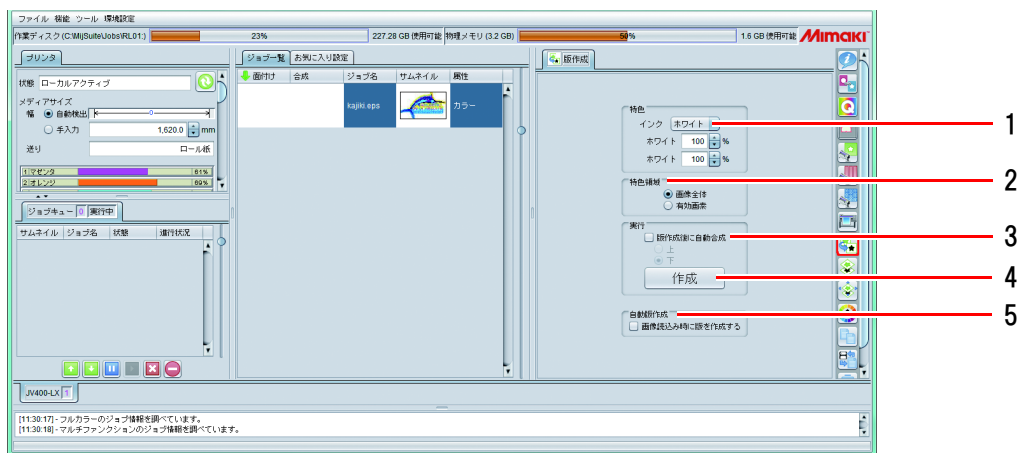
[版作成] では以下の操作を行います。

- 特色インク（ホワイト、クリアコートなど）で印刷する画像をカラー画像から作成する
- 作成した画像の印刷順（重ね順）を指定する

重要!

- 本機能は、特色インクセットを設定している場合のみ使用できます。
- 生成したジョブのことを [特色版] ジョブと呼称します。
- 版作成で作成された特色版は、元となった画像のカラーの濃度情報を持ちません。ベタ単色で作成され、インク濃度は生成時もしくはジョブのプロパティ (P.31) のジョブ属性にて指定されたものになります。1つの画像内でグラデーションを使用するなど、濃度を変化させたい場合、ご自身で特色用画像を作成していただき、[単色置換] (P.30) を行ってください。

画面構成



1. 特色

使用する特色インクとその濃度を指定します。

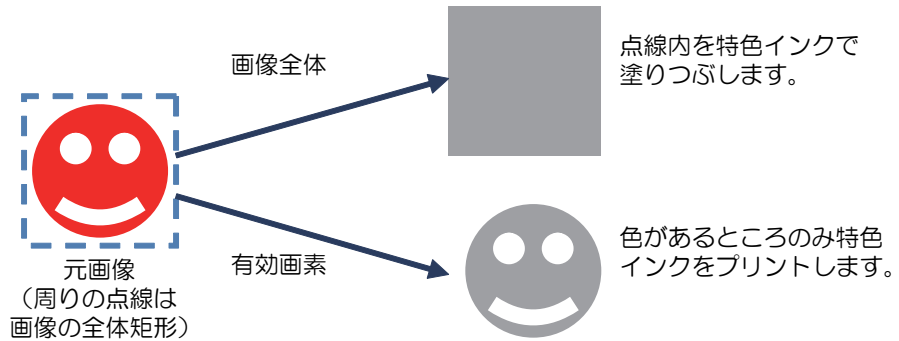
重要!

- 生成された特色版に設定できる特色インクは1種類のみです。

2. 特色領域

元の画像のどの部分に特色をプリントするか設定します。

- **画像全体**
元画像の矩形全体に特色をプリントします。
- **有効画素**
元画像のプリントされる部分のみ特色をプリントします。



- 下の画像のように図形の内部全てを特色で塗りたい場合があります。



このような場合、デザインソフトで特色用データを作成し、単色置換 (☞ P.30) を行ってください。

- デザインソフトとして Illustrator をご使用の場合、RasterLinkTools を使用すると上のような特色用データを簡単に作成できます。詳しくは P.181 をご覧ください。

3. 版作成後に自動合成

特色版ジョブを作成後、自動的に合成 (☞ P.88) を行うか設定します。
元画像に対して特色版を [上] に重ねるか、[下] に重ねるか指定します。



- 元画像から、複数の特色版を版作成にて作成する場合 (例：1つのカラー画像からホワイト用とクリア用の特色版を生成する)、合成したジョブから版作成は行えないので、ここでは合成せず、[合成]画面 (☞ P.88) にて合成してください。

4. 作成ボタン

上記の1～3の設定を行った後、このボタンを押すと特色版のジョブが作成され、ジョブ一覧に追加されます。



- 特色版に指定されたインクにより、生成されたジョブのプレビュー画像の色は以下となります。

サムネイル	属性
	クリア版
	プライマー
	ホワイト

- クリア版のサムネイルカラーは、UVモードの設定によって色が変わります。
- UVモードの設定については「UVプリンタの場合」(☞ P.32) をご覧ください。

サムネイル	属性
	クリア版
	クリア版(厚盛り)
	クリア版(クロス調)
	クリア版(マット調)
	クリア版(印刷のみ)
	クリア版(照射のみ)

5. 自動版作成

[画像読み込み時に版を作成する] を有効にし、お気に入りを作成します。
画像を読み込む際にそのお気に入りを適用すると、お気に入りの設定どおりに特色版を作成します。

お気に入り

[版作成] 画面では、以下の条件をお気に入りとして登録 / 使用できます。

- 使用する特色インクと濃度
- 特色領域
- 版作成後に自動合成の ON/OFF
- 合成順
- 自動版作成の ON/OFF

設定方法、適応方法については P.140 をご覧ください。

版作成できないジョブ

以下の条件のジョブを選択している場合、版作成できません。

- 面付けされている
- 合成されている
- 分割印刷、ステップ&リピートが設定されている
- 版作成で生成した特色版

上記のジョブに対して、版作成を行いたい場合は一度上記の設定を解除してから行ってください。

画像を重ね合わせて1つの画像にする - 合成

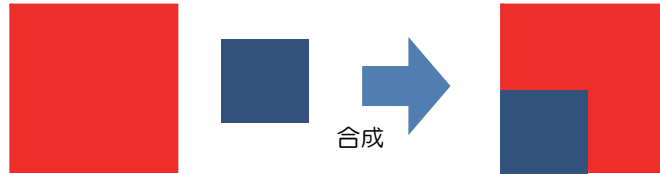
機能

[合成]画面では以下の操作を行います。

- 複数のジョブを重ねて印刷する指定を行う。
重ね方の種類は複数あります。次章にて説明します。

重要!

- 大きさが異なる画像を合成した場合、合成されるジョブ群の一番大きい画像の左下に合わせられます。



カラー版と特色版を重ねて印刷するため、データを作成する場合、以下のどちらかの方法でカラー版と特色版のデータを作成してください。

- データサイズ（縦横）をそろえる
- 左下原点で位置を合わせる

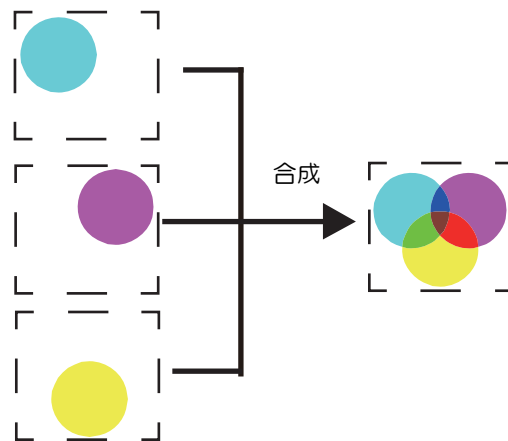
合成時のジョブの重ね方について

合成時のジョブの重ね方はプリンタの種類およびジョブの属性によって異なります。

Roll to Roll プリンタの場合

カラージョブ同士の合成

すべての画像データを重ね合わせた印刷データを作成し、同時に印刷します。



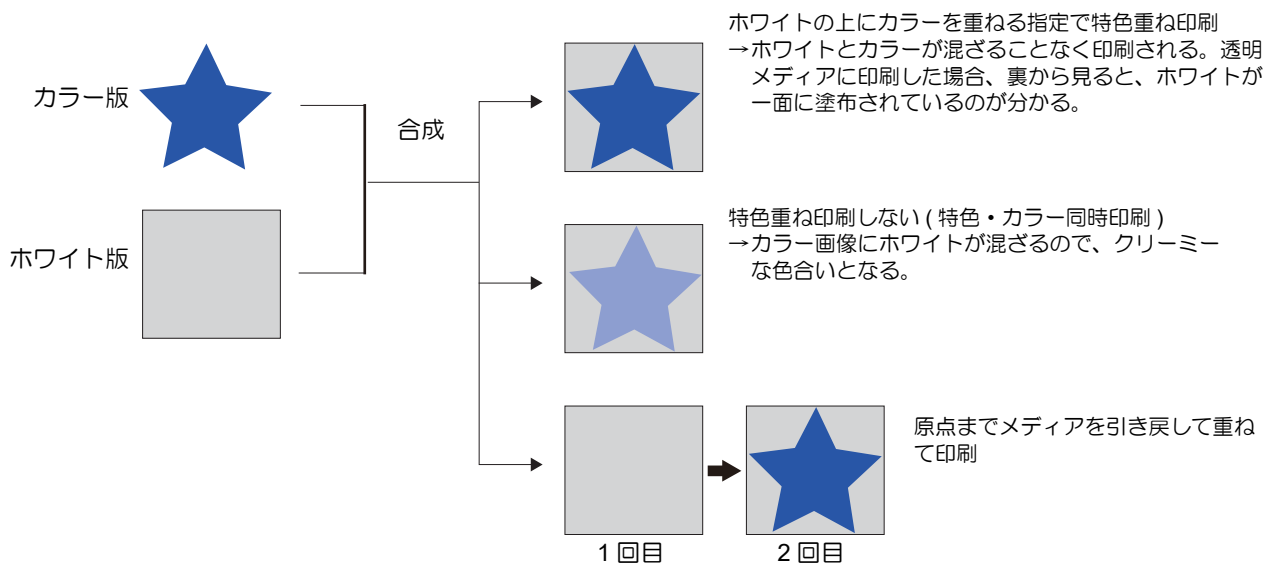
カラージョブと特色版ジョブの合成

Roll to Roll プリンタの場合、機種によって、指定できる印刷方法が異なります。カラージョブと特色版ジョブを合成した場合、下表の方法で印刷できます。

機種	特色重ね印刷	特色重ね印刷しない	引き戻し印刷
JV400 シリーズ / UJV500/UJV55-320/ JV300 Plus	次の2種類の方法で印刷します。 ・カラーと特色を同時に2層重ねて印刷 ・カラー⇒特色⇒カラーの順番で3層重ねて印刷	カラーと特色を重ね合わせた画像データを作成し、同時に印刷します。	対応していません。
JV33/CJV30	カラーと特色を同時に2層重ねて印刷します。		対応していません。
JV300	次の2種類の方法で印刷します。 ・カラーと特色を同時に2層重ねて印刷 ・カラーと特色を任意の順番で3層重ねて印刷		対応していません。
CJV300/CJV150/ CJV300 Plus	次の2種類の方法で印刷します。 ・カラーと特色を同時に2層重ねて印刷 ・カラーと特色を任意の順番で3層重ねて印刷		任意のジョブのみを先に印刷し、印刷し終わったらメディアを引き戻して、残りの画像を先に印刷した上に印刷します。
UCJV300	次の4種類の方法で印刷します。 ・カラーと特色を同時に2層重ねて印刷 ・以下の順番で3層重ねて印刷 カラー⇒特色⇒カラー 特色⇒カラー⇒特色 ・以下の順番で4層重ねて印刷(*) カラー⇒遮光⇒特色⇒カラー カラー⇒特色⇒遮光⇒カラー ・カラー⇒特色⇒遮光⇒特色⇒カラーの順で5層重ねて印刷		対応していません。
上記以外の Roll to Roll プリンタ	対応していません。		対応していません。

(*) 詳細については別冊『多層印刷ガイド』をご覧ください。

例：カラー版とホワイトの特色版を合成した場合



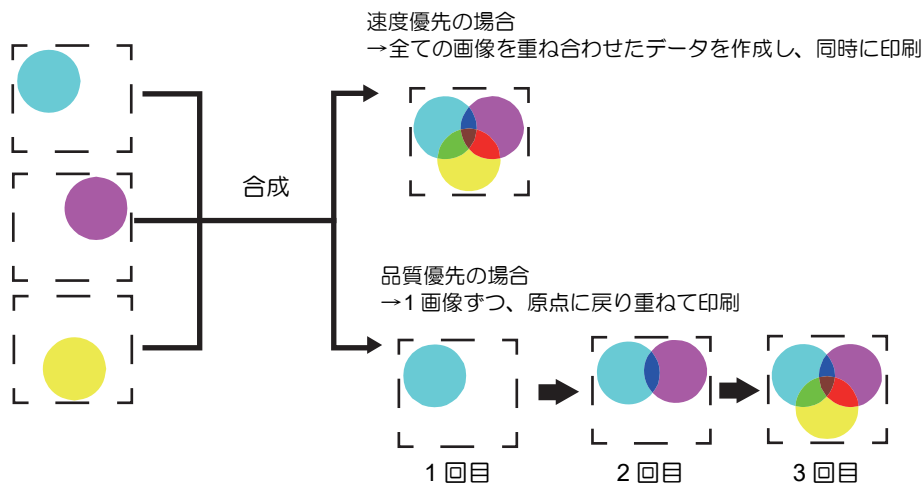
フラットベッドプリンタの場合

フラットベッドプリンタの場合、合成時に指定する[合成条件] (P.86) により動作が変わります。

カラージョブ同士の合成

[合成条件]が“速度優先”の場合 :すべての画像データを重ね合わせた印刷データを作成し、同時に印刷します。

[合成条件]が“品質優先”の場合 :1 画像ずつ印刷し、印刷し終わったら原点に戻り、次の画像を先に印刷した上に印刷します。



カラージョブと特色版ジョブの合成

カラージョブと特色 (ホワイト等) ジョブを合成した場合、[合成条件] の設定により以下のように印刷します。

[合成条件]が“速度優先”の場合 :「特色重ね印刷」機能を使用してカラーと特色を同時に2層重ねて印刷します。

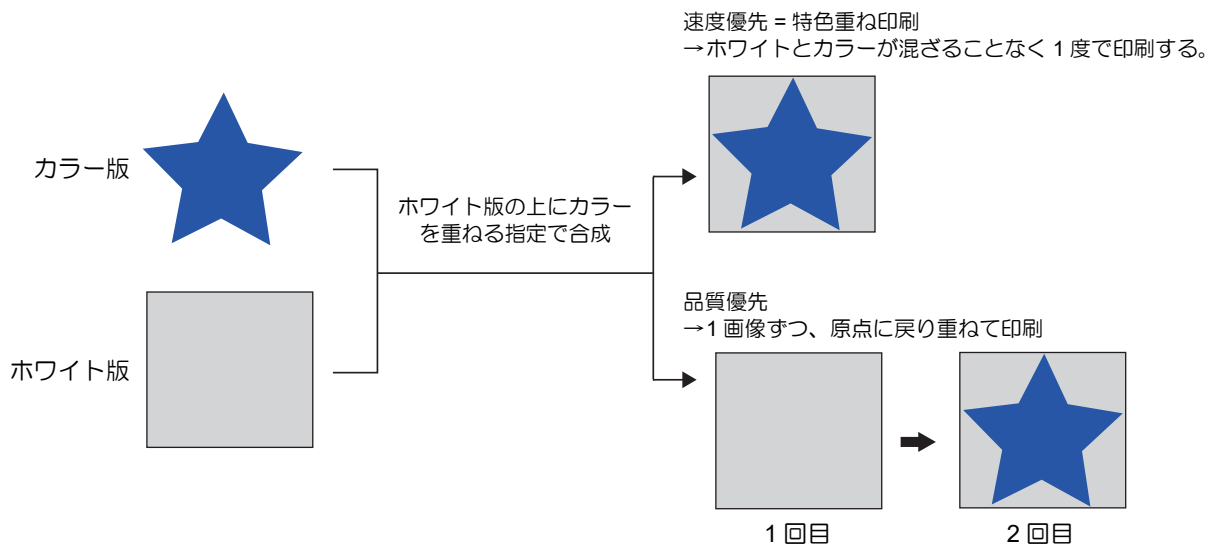
[合成条件]が“品質優先”の場合 :1 画像ずつ印刷し、印刷し終わったら原点に戻り、次の画像を先に印刷した上に印刷します。

重要!

- ライトシアン、ライトマゼンタを使用するインクセットを指定している場合、速度優先を指定しても、“品質優先”と同じ動作となります。
- 特色版がクリアの場合、UV モード (P.32) の設定により、印刷方法が決定します。

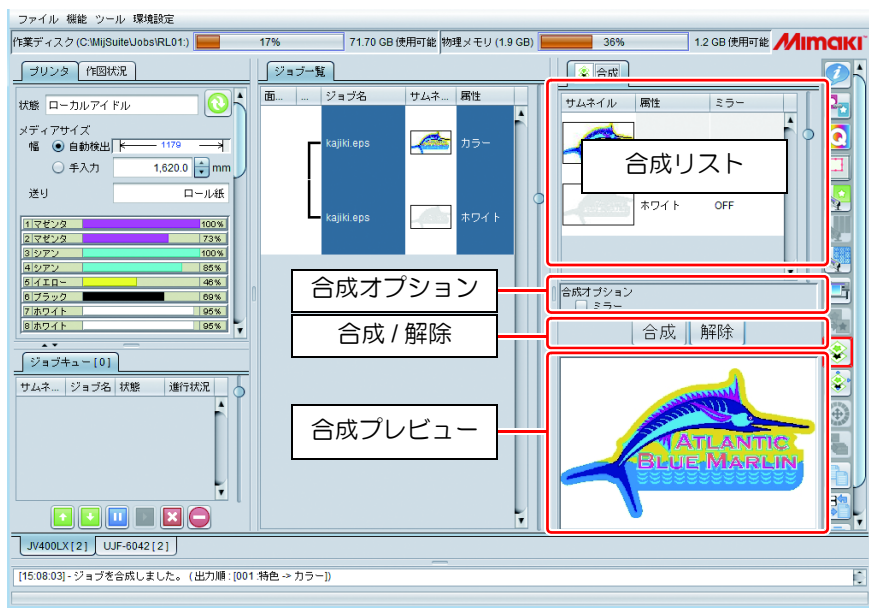
カラーと特色は必ず重ねて印刷します。カラーと特色を同時に印刷することはできません。

例：カラー版とホワイトの特色版を合成した場合



画面構成

大まかな構成



合成リスト



合成するジョブ群を表示します。ジョブ一覧で選択されているジョブを合成対象として表示します。
 フラットベッドプリンタの場合、リストの下から印刷していきます。(最終的な順番は [出力順] 欄にて表示されます。)
 印刷順はリストの項目をドラッグアンドドロップすることで変更します。
 合成後、順番を入れ替える場合、リスト順を入れ替えた後、再度 [合成] ボタンを押します。

合成オプション

合成オプション
 ミラー

合成条件 速度優先 品質優先

ミラー : ONにするとリストで選択されたジョブをミラーで印刷します。

合成条件 : フラットベッドプリンタ でのみ表示
重ね印刷方法を以下より選択します。

- **速度優先**
出来る限り特色重ね印刷などを使用して仕上がりを早くします。
- **品質優先**
画像を1つずつ印刷し、印刷し終わったら原点に戻り次の画像を先に印刷した上に印刷します。画質が良いですが、仕上がりは遅いです。

重要!

- 次の2種類のジョブを合成するときは必ず”品質優先”を選択してください。”速度優先”を選択して合成すると、特色インクを印刷しません。
 (1) 単色置換 (P.30) を指定したジョブ
 (2) 版作成 (P.79) で単色置換を指定したジョブから生成したジョブ



- 品質優先にした場合、1画像ずつ印刷します。そのため、画像ごとに解像度を変更することが出来ます。(カラーは高画質、ホワイトは速度を優先のために低解像度にするなどの使い方が出来ます。) 詳しくは印刷条件 (P.94) をご覧ください。



通常印刷画面と合成画面の”ミラー”の関係

通常印刷画面で指定する”ミラー”は合成された後のジョブ群に対して一括して行われます。合成画面で指定する”ミラー”は指定したジョブのみになります。ホワイト版のみミラーにしたい等の用途にお使いください。



右のリストの順番で合成した場合、以下のようになります。

例1 : 合成画面でホワイトジョブをミラー ON、通常印刷画面ではミラー OFF の場合
 → ホワイトジョブにミラーがかかる。



例2 : 合成画面でホワイトジョブをミラー ON、通常印刷画面ではミラー ON の場合
 → 例1をミラーにした状態、つまり、カラージョブにミラーがかかる。





合成オプション
 ミラー 印刷後に引き戻す

印刷後に引き戻す : CJV300/CJV150/CJV300 Plus で表示
ONにするとリストで選択されたジョブまでを同時に印刷した後、印刷の原点までメディアを引き戻して残りのジョブを印刷します。特色とカラーの重ね印刷で、特色をよく乾燥させてからカラーを印刷したい場合に有効です。
プリント & カットジョブの場合、プリントとカットの間で必ず引き戻しを行います。引き戻し設定をOFFにすることはできません。

合成 / 解除

【合成】ボタン 合成リストのジョブを合成します。
合成されるとジョブ一覧で合成されたジョブが線で結ばれます。

ジョブ一覧				
面付け	合成	ジョブ名	サムネイル	属性
	<input type="checkbox"/>	kajiki.eps		カラー
	<input type="checkbox"/>	kajiki.eps		ホワイト

重要! ・拡大・縮小/回転/ミラーの値、印刷条件は合成リストの先頭の値がすべてのジョブに適用されます。

【解除】ボタン 合成リストに表示されているジョブの合成を解除します。

合成プレビュー

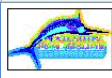



合成印刷した場合のプレビューを表示します。特色版と合成した場合、特色版のプレビュー色 (P.80) で表示されます。

合成の手順

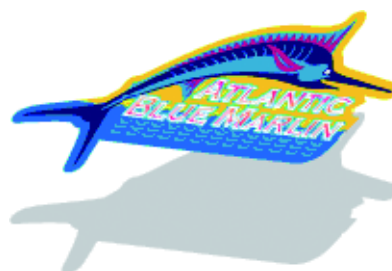
合成する

- 1** 合成して印刷したいジョブを複数個選択します。

合成	ジョブ名	サムネイル	属性
	kajiki.eps		カラー
	kajiki.eps		ホワイト

- 2** 合成アイコンを選択します。
・合成画面が表示されます。

- 3** 合成リストで、ドラッグアンドドロップにより、重ねる順番を指定します。
・リストの下の方から印刷します。
・上記のリスト順の場合、[属性]がホワイトの画像を下に、カラーの画像を上として、重ねます。



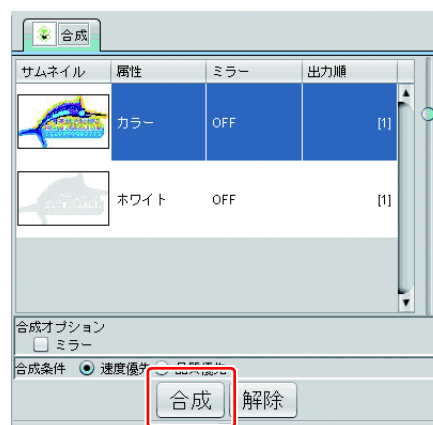
- 4** 合成するジョブの中で、ミラーで印刷したいものがある場合、そのジョブを選択し、ミラーをONにします。



・透明メディアなどの印刷した面とは反対から見る場合、合成後、通常印刷画面でミラーの設定を行ってください。



- 5** フラットベッドプリンタの場合、出来るだけ早くプリントしたい場合 [速度優先] を、できるだけ画質を良くしたい場合 [画質優先] を選択します。

- 6** [合成] ボタンを押します。

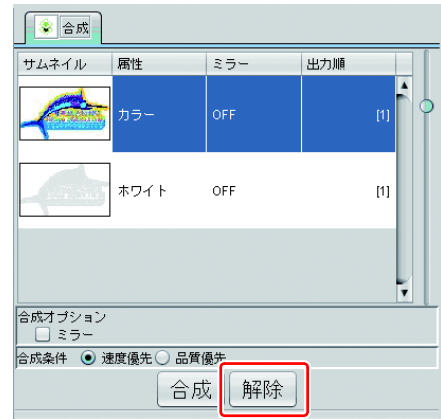


合成を解除する

1 合成しているジョブを選択します。

合成	ジョブ名	サムネイル	属性
<input checked="" type="checkbox"/>	kajiki.eps		カラー
	kajiki.eps		ホワイト

2 合成アイコンを選択します。



3 [解除] を押します。

4 合成されていた全てのジョブが解除されます。

合成した画像の詳細設定を行う - レイヤー設定

機能

[レイヤー設定]では以下の操作を行います。

- 特色重ね印刷に対応している機種では、特色重ね印刷の設定変更を行う
- 特色の位置補正およびサイズ補正を行う

重要!

• 本機能は、特色インクセットを設定している場合のみ使用できます。

特色重ね印刷

特色重ね印刷とは

特色重ね印刷は1回の印刷で、特色(ホワイト/シルバー/プライマー/クリア)をカラー画像に重ねて印刷する方法です。特色とカラージョブを合成した、もしくはカラー画像の一部を特色を使って色置換した場合に使用します。合成時の印刷については P.82 をご覧ください。

特色重ね印刷が行える機種

特色重ね印刷は以下の機種で行えます。

機種	対象インク
CJV150	ホワイト/シルバー
CJV300	ホワイト/シルバー
CJV300 Plus	ホワイト/シルバー
CJV30	ホワイト/シルバー
JV400-LX	ホワイト
JV33	ホワイト/シルバー
JV33-260	ホワイト/シルバー
JV300	ホワイト
JV300 Plus	ホワイト
JFX500	ホワイト/プライマー/クリア
JFX200/JFX200-2531	ホワイト/プライマー/クリア
JFX200EX	ホワイト/プライマー/クリア
UCJV300	ホワイト/クリア
UJF-3042FX	ホワイト/プライマー/クリア
UJF-3042HG	ホワイト/プライマー/クリア
UJF-3042MkII	ホワイト/プライマー/クリア
UJF-6042	ホワイト/プライマー/クリア
UJF-6042MkII	ホワイト/プライマー/クリア
UJF-7151	ホワイト/プライマー/クリア
UJV500	ホワイト
UJV55-320	ホワイト

特色の位置補正とサイズ補正

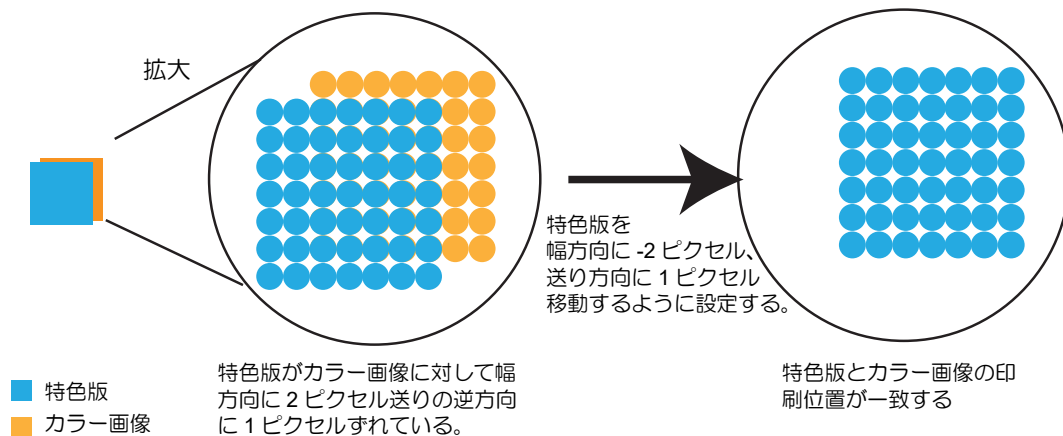
以下のような問題を解決したい場合、レイヤー編集の位置補正、サイズ補正を設定します。

- 特色（ホワイト・クリア）とカラー画像を重ねて印刷する場合、特色版とカラー画像が若干ずれて印刷されることがあり、これを補正したい。
- カラー画像を若干覆うようにクリアを塗布したい。
- ベースに印刷したホワイトインクがカラー画像からはみ出て印刷されるので、ホワイトインクの画像を若干小さめに印刷したい。

位置補正

特色版の位置を指定した幅および送りのピクセル数分移動させます。

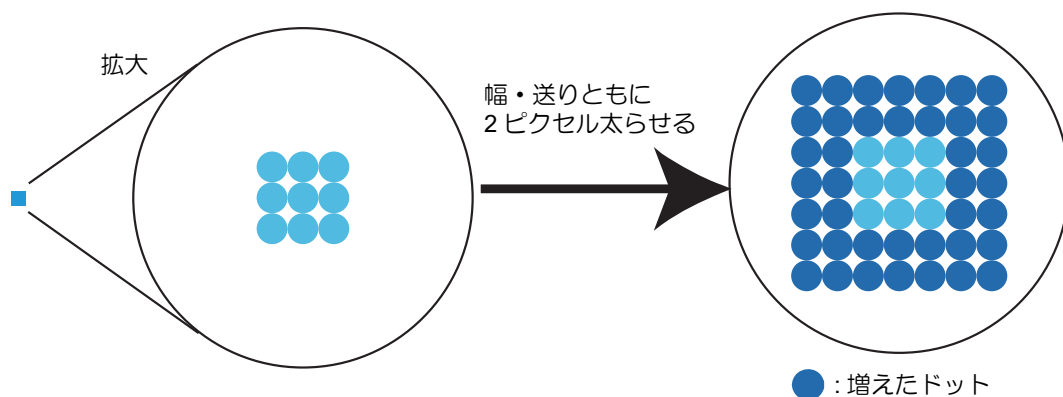
例：カラー画像と特色版が以下のようにずれていた場合



サイズ補正

特色版の大きさを補正します。

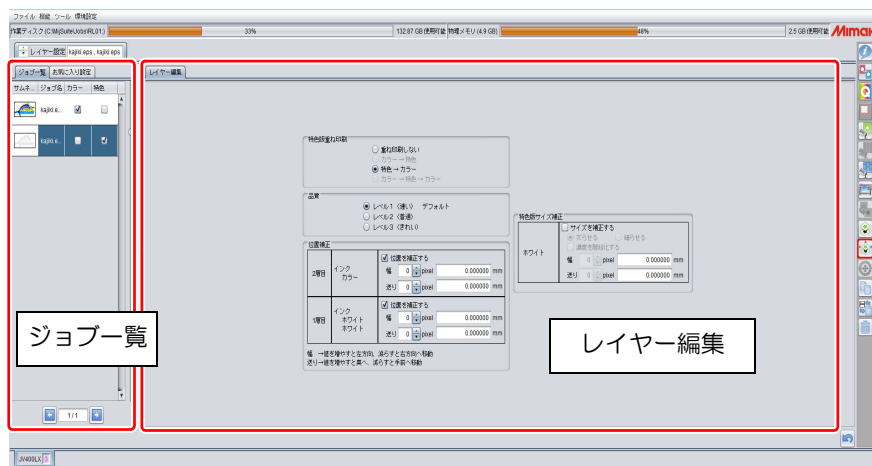
例：特色版を幅、送りと共に2ピクセル太らせる設定にした場合



サイズ指定方法は全機種共通です。

画面構成

大まかな構成



レイヤー編集画面は機種および特色インクにより異なります。

ジョブ一覧

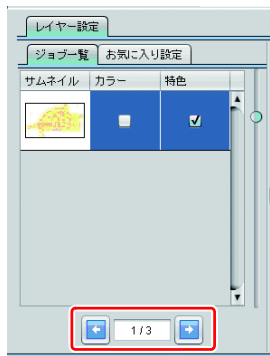
合成ジョブ内で同時に印刷されるジョブの一覧が表示されます。フラットベッドプリンタのように、合成ジョブを複数回に分けて印刷する場合、1回の印刷ごとにレイヤー設定を行います。印刷ごとの設定画面をきりかえるには、ジョブ一覧下の矢印ボタンで切り替えます。

例) UJF-6042にて、以下の出力順で合成した場合のジョブ一覧の表示

サムネイル	属性	ミラー	出力順
	クリア	OFF	[3]
	カラー	OFF	[2]
	ホワイト	OFF	[2]
	プライマー	OFF	[1]

合成画面での合成内容と順番

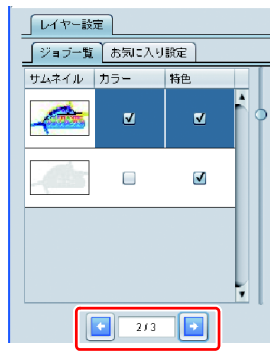
- 1回目：プライマー
- 2回目：ホワイトとカラー
- 3回目：クリア



1回目：プライマー



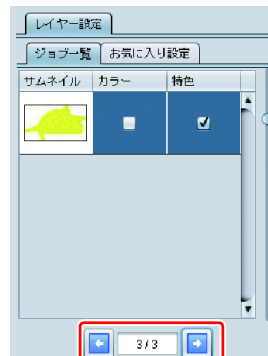
切り替え



2回目：ホワイトとカラー



切り替え



3回目：クリア

レイヤー編集

以下の設定を行います。

- 特色重ね印刷の印刷方法 (特色重ね印刷対応プリンタの場合)
- 特色インクの印刷位置とサイズの補正

レイヤー設定画面は機種 / 特色インクの種類 / 合成の有無により異なります。

(下図は JV400-LX にて、特色インクセットとしてホワイトを選択、特色版とカラー版を合成した場合の画面です。)

特色重ね印刷

特色重ね印刷対応プリンタでのみ表示

カラーと特色を重ねて印刷するか、また重ねる場合どの順番で重ねるかを指定します。

品質

特色重ね印刷を行う設定にしており、品質設定があるプリンタでのみ表示

特色重ね印刷を行う際の、印刷品質を指定します。レベルが上がる毎に画質がよくなりますが、印刷速度は遅くなります。

位置補正

特色データの位置をピクセル単位で移動します。-99 ~ +99 ピクセルまで補正します。詳細については P.91 をご覧ください。

特色版サイズ補正

特色データの大きさを色ごとにピクセル単位で補正します。

詳細については P.91 をご覧ください。

お気に入り

[レイヤー設定] 画面では、以下の条件をお気に入りとして登録 / 使用できます。

- 位置補正
- 特色版サイズ補正

設定方法、適応方法については P.140 をご覧ください。

印刷条件を設定する - 印刷条件

機能

[印刷条件]では以下の操作を行います。

- デバイスプロファイルの選択
- 各種出力条件の設定
- カラーマッチング方法の設定
- カラー調整の設定

画面構成

大まかな構成



ジョブ一覧

サムネイル	属性	ジョブ名	出力順
	クリア	kajiki.eps	[3]
	カラー	kajiki.eps	[2]
	ホワイト	kajiki.eps	[2]
	プライマ...	kajiki.eps	[1]

面付け、合成されたジョブの一覧が表示されます。

設定は一覧から選択したジョブ毎に行います。全てのジョブで同じ設定にする場合、全てのジョブをここで選択します。

重要!

- [出力順]が同じ場合、それらのジョブが同時に出力されます。そのため[作図品質]の以下の設定を同じにする必要があります。
解像度、パス、重ね塗り、高速印刷
(その他、機種により同じにする設定があります。)
- [出力順]が違う場合、全ての設定をジョブ毎に変更できます。

作図品質：品質設定

作図品質の品質設定欄は機種により設定内容が異なります。ここでは全機種共通の設定項目について説明します。

● デバイスプロファイルの選択

“デバイスプロファイル”とは最良の画質が得られるように、印刷条件、インク量を調整するためのデータを格納したファイルのことです。

デバイスプロファイルはプリンタ、インクセット、メディア、解像度毎に1つ存在します。作図品質画面ではこれらの条件を絞り込んでデバイスプロファイルを選択します。



• デバイスプロファイルは以下の方法で提供されています。

1. 弊社公式サイトからダウンロード
2. プロファイルアップデートを使用したインストール

これらについてはインストールガイドをご覧ください。

• 「MimakiProfileMaster3」(別売)を使用することでデバイスプロファイルをご自身で作成していただくことができます。

絞り込み条件 : 絞り込む順番を指定します。

- メディア
インクセット→メディアの種類→メディア名→解像度の順で絞りこみます。
- 解像度
インクセット→解像度→メディア種類→メディア名の順で絞り込みます。

インクセット : 使用しているインクセットを選択します。

メディア : 1 段目のコンボボックスは [メディアの種類]、2 段目が [メディア名] となります。



- [メディアの種類] はデバイスプロファイルに登録されている情報を元に表示 / カテゴリ分けしています。しかし、この情報がないデバイスプロファイルもあり、そのようなデバイスプロファイルは [メディアの種類] は “その他” となります。
- [メディアの種類] で “全て” を選択すると、[メディア名] に全てのメディアが表示されます。

解像度 : 出力解像度を指定します。

解像度の数字が高い場合、画質が向上しますが、印刷スピードは遅くなります。逆に数字が低い場合、印刷スピードは上がりますが、画質は低下します。

用途に合わせて選択してください。

(画質 / スピードについては [出力設定の選択] P.98 の設定も関係します。参照してください)

バージョン : デバイスプロファイルのバージョンを表示します。



- RasterLinkPro5 以前で対応していた V1 プロファイルおよび V2 プロファイル (共に拡張子は “cot”) のプロファイルは使用できません。

種類 : デバイスプロファイルの種類を表示します。

デバイスプロファイルを直接指定する :

ファイル名称からデバイスプロファイルを指定します。

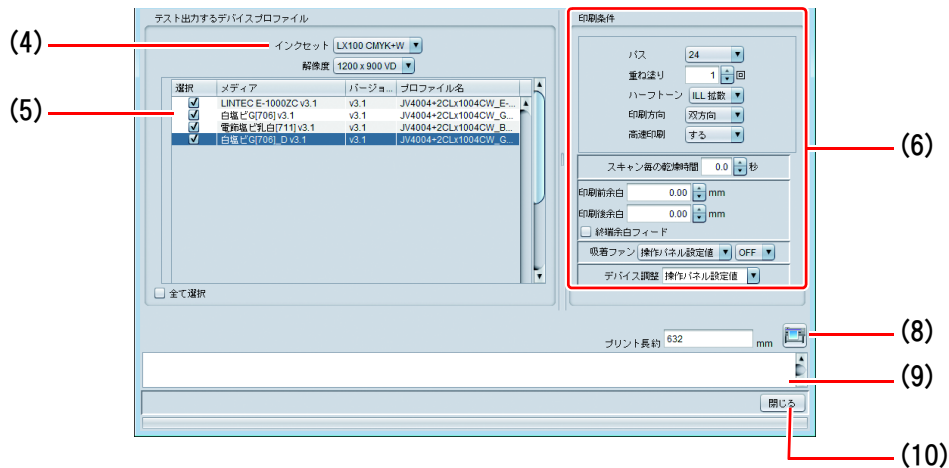
● 複数プロファイル一括テスト印刷

1つの画像を、複数のプロファイルを使用して、面付けして印刷します。
新しいメディアに対し、どのプロファイルを適用してよいかわからない場合があります。そのメディア専用のプロファイルが無い場合、似たメディア用のプロファイルを使用していただくことになります。しかし、そのようなプロファイルが複数ある場合や、まったく合うメディアがわからない場合、この機能を使用して、一度に複数のプロファイルを使った印刷を行い、プロファイルを選ぶことができます。

重要!


- 選択したジョブが以下の設定の場合、この機能は使用できません。
合成、面付け、コピー、分割印刷、ステップ&リピート
- カラー調整は適用されません。

[複数プロファイル一括テスト印刷] を押すと以下のダイアログが表示されます。

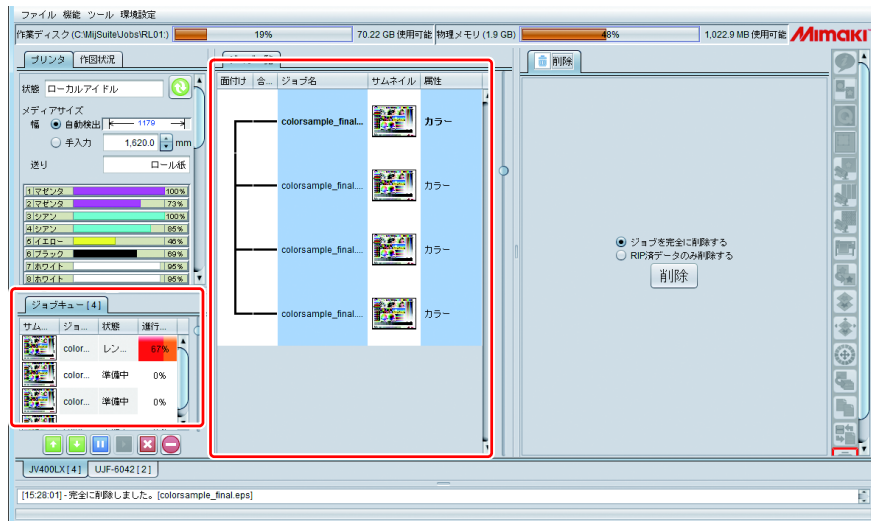


図中の (数字) は実行方法の番号と対応します。

実行方法

- (1) 複数のプロファイルを使用して印刷してみたいジョブを選択します。
 - このジョブを、選択したプロファイル回数分、自動的にネストコピーして印刷しますので、画像サイズなどをあらかじめ [通常印刷] で設定しておきます。
- (2) [印刷条件] 画面を開きます。
- (3) [複数プロファイル一括テスト印刷] ボタンを押します。
- (4) [インクセット][解像度] を選択します。
 - インクセットおよび解像度が違うデバイスプロファイルは選択できません。
- (5) 選択された [インクセット][解像度] のプロファイルの一覧が表示されます。印刷したいプロファイルの選択欄のチェックボックスを ON にします
 - 全てのプロファイルを使用する場合、[全て選択] チェックボックスを ON にします。
- (6) 印刷条件を選択します。
- (7) 印刷時に必要なメディアの長さが表示されますので、確認してください。
- (8)  (実行) ボタンを押します。
- (9) [印刷を開始しました] ダイアログが表示されます。[OK] ボタンを押すと、[複数プロファイル一括テスト印刷] ダイアログが閉じられます。

- (10) [ジョブのプロパティ] 画面に切り替えると、[複数プロファイル一括テスト印刷] ダイアログにて選択したプロファイルと同じ個数のジョブが作成され、処理/出力されていることが確認できます。

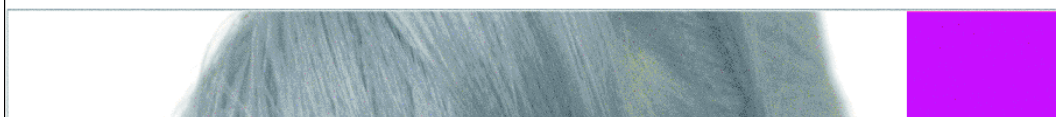


- (11) 以下のように、余白をつけずに幅いっぱいにな付けされてプリントされます。



- (12) 各画像の上にプロファイル名が印刷されるので、それを本番用ジョブに適用します。

インクセット:[SS21 CMYKcLm] メディア:[白塩ビ光沢[441] v3] デバイスプロファイル [CJV306CSS21_GPVC-441_F101821.icc]



● 作図時間予測

表示中の条件で印刷を実行した場合の、印刷にかかる予測時間が表示されます。RIP 時間は含まれません。作図時間予測は以下の機種で、プリンタと接続している場合に表示されます。

JV400-LX、JV400-SUV、TS500、TX500、UJV500、JV300、JV150、SIJ-320UV、CJV300、CJV150、TS300P、Tx300P、TS500P、UJV55-320、UCJV300、UCJV150、UJF-7151、UJF-3042MkII、UJF-6042MkII、JV300 Plus、CJV300 Plus

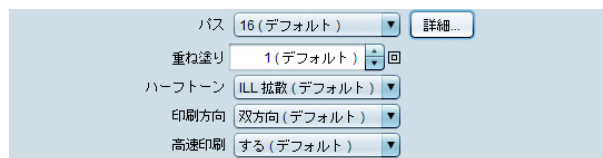


重要!

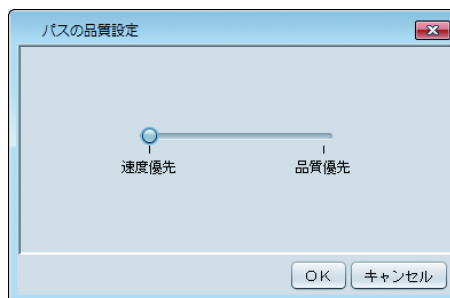
- ロジカルシークを OFF に設定している場合の、印刷にかかる予測時間を表示します。
- ロジカルシークを ON に設定している場合、実際の印刷時間と予測時間が大きくずれることがあります。
- 以下の場合、作図時間予測は表示されません。
 - プリント & カットジョブおよび引戻しプリントが設定されている場合
 - 複数フィードの合成ジョブの場合

● 出力設定の選択

デバイスプロファイルに設定されている値が初期値として表示されます。またその値には（デフォルト）と表示されます。



パス : 1 バンド (1 回のスキャンで印刷できる最大の送り幅のこと) の分割数を指定します。分割数が大きいほど画質が向上しますが、印刷スピードは下がります。
[詳細] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



スライダーを“品質優先”の方へ動かすと、画質は向上しますが、メディアの送りの速度は遅くなります。

- 重ね塗り** : 1 パスを描くときのスキャン数を指定します。
スキャン数を増やすごとに濃度が濃くなります。
- ハーフトーン** : ハーフトーン: プリントの階調表現を指定します。
- 印刷方向** : 片方向
ヘッドがステーションから反対側に移動する際にインクを吐出し、印刷します。“双方向”に比べて高画質ですが、印刷スピードは遅くなります。
双方向
ヘッドが行き来する際にインクを吐出し、印刷します。“片方向”より画質は落ちますが、印刷スピードは速くなります。設定できない機種があります。
- 高速印刷** : 高速で印刷します。ただし、通常の印刷より画質が落ちます。機種と解像度の組み合わせにより設定できない場合があります。

- **カラーパターン印刷 (JV150、JV300、CJV150、CJV300)**
画像の横にノズル抜けを確認するためのカラーパターンを印刷します。

カラーパターン印刷

印刷位置

印刷幅倍率 倍

- 印刷位置** : カラーパターンの印刷する位置を指定します。
左端 出力幅 +20mm の位置から印刷します。
右端 印刷原点から印刷します。
両端 右端と左端を両方印刷します。
- 印刷幅倍率** : 左端のカラーパターンの印刷幅を指定します。
 1 ~ 5 倍の間で指定します。



• カラーパターン 1 ノズル分の印刷幅は、1.8mm(1 倍) です。



• RIP および印刷実行後に表示するインク消費量には、カラーパターンを印刷する分のインク消費量は含まれません。

- **使用ヘッドユニット (JV5、JV300、CJV300、TS55、JV300 Plus、CJV300 Plus)**
印刷時に使用するヘッドを選択します。

使用ヘッドユニット 1 2

- **ホワイトインクを ES3 互換の濃度で印刷する (JV33、TS3、CJV30、TPC)**
SS21 ホワイトインクを ES3 インクホワイトインクと同等の濃度で印刷します。

ホワイトインクをES3互換の濃度で印刷する



• プリンタに SS21 のホワイトインクと、ホワイト以外は ES3 のインクがセットされている場合のみ使用できます。

- **送り方向距離補正 (フラットベッドプリンタのみ)**
送り方向の印刷サイズ、移動値、コピー余白を補正して印刷します。

送り方向距離補正

データ値 mm

実測値 mm

送り方向データ値 : 印刷するデータの送り方向のサイズを入力します。

実測値 : 距離補正せずに印刷したデータの送り方向の実測値を入力します。

● 幅方向距離補正（フラットベッドプリンタのみ）

幅方向の印刷サイズ、移動値、コピー余白を補正して印刷します。

幅方向距離補正
 手動補正 自動補正
 データ値 mm
 実測値 mm

自動補正 : プリンタの補正值を使用して印刷します。(JFX200、JFX200-2531、JFX200EX で使用できます。)

手動補正 : **データ値** 印刷するデータの幅方向のサイズを入力します。
実測値 距離補正せずに印刷したデータの幅方向の実測値を入力します。

● 送り印刷方向（UJF-3042FX、UJF-3042HG、UJF-6042）

一回の印刷の送りの印刷方向を指定します。

送り印刷方向

重要!

- ・送り印刷方向は、ライトインクを使用するインクセットを指定している場合のみ使用できます。
- ・送り印刷方向では以下の4種類の設定があります。ただし、1回に印刷する版の種類によって選択できる設定が異なります。

- ユーザー定義** : 前方から印刷するか、後方から印刷するかを指定できます。
- プロファイル設定値** : プロファイルで設定してある方向で印刷します。
- デバイス固定** : 送り印刷方向は固定です。
- 自動** : 前後に印刷する版の種類によって送り印刷方向が変わります

● ホワイトを高濃度で印刷する（UJF-7151、UJV55-320）

印刷するホワイトインクの濃度が濃くなります。

ホワイトを高濃度で印刷する



- ・ホワイトインクのインク量、インクリミットを変更します。
- ・カラー調整でインク量、インクリミットを変更してもホワイトインクが薄い場合に有効です。

● プライマー / ホワイトを推奨濃度で印刷する（UJF-7151、UJF-3042MkII、UJF-6042 MkII）

RasterLink6Plus で行なっているプライマー / ホワイトインクの濃度調整を解除します。

プライマーを推奨濃度で印刷する



本機能は **ON** に設定して印刷することを推奨します。

- ・本機能が使用できる特色インクはプリンタによって異なります。
 UJF-7151 : プライマー
 UJF-3042MkII、UJF-6042 MkII : プライマー、ホワイト

● キャリブレーション

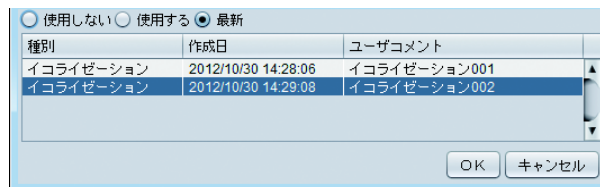
デバイスプロファイル内の“キャリブレーション”“イコライゼーション”データの使用方法を設定します。

キャリブレーション



- キャリブレーションの[設定]ボタンは、キャリブレーションデータが保存されているデバイスプロファイルを選択された場合に有効になります。デバイスプロファイルにキャリブレーションデータを追加するには、弊社のプロファイル作成ソフトウェア「MimakiProfileMasterII」(別売)をご使用ください。

設定ボタンを押すと以下のダイアログが表示されます。



- 使用しない** : キャリブレーションもしくはイコライゼーションのデータは使用せずにカラーマッチングします。
- 使用する** : 下のリストから選択したキャリブレーションもしくはイコライゼーションのデータを使用します。
- 最新** : 常に作成日が最も新しいキャリブレーションもしくはイコライゼーションのデータを使用します。日々情報を追加している場合、毎回選択する手間を省きます。

作図品質：カラーマッチング

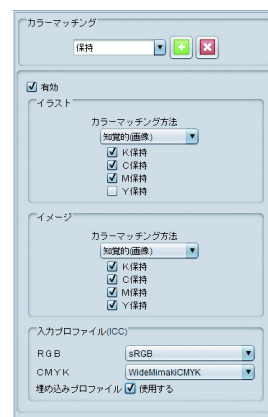
カラーマッチングとは、入力の色に対して出力の色を合わせることを言います。ICC プロファイルと独自のデータを元に色を合わせます。

● イラストとイメージ

カラーマッチングの設定はイラスト（ベクタデータ）とイメージ（ラスターデータ）で別々に設定できます。



• Adobe Illustrator でベクタオブジェクトに対して、ぼかし、透明など「効果」を使用した場合、このオブジェクトの一部がラスターデータに変換されます。この場合、イラストとイメージを違う設定にすると、同じオブジェクト内で色が変化しますので、イラストとイメージの設定を同じにしてください。



カラーマッチング

カラーマッチングの設定をテンプレートとして保持します。名称を入れ、**+** ボタンを押すことでプリセットを追加します。

有効

カラーマッチングを行うか選択します。OFF の場合、インクリミットの処理以外は行いません。

カラーマッチング方法

知覚的 (画像)

写真画像に適しています。画像全体の明るさが、入力画像に近くなるようにカラーマッチングします。

彩度 (グラフィック)

イラスト画像に適しています。画像全体が濃くなるようにカラーマッチングします。

相対的な色域を保持

入力プロファイルとデバイスプロファイルで同じ色域内にある色はできるだけ近い色になるようカラーマッチングします。しかし、入力プロファイルで表現できる色でも、デバイスプロファイルの色域外になってしまう色は、デバイスプロファイルで表現できる色域内の色に丸められます。このため、高彩度部はつぶれが発生します。

絶対的な色域を保持

相対的な色域を維持する方法とカラーマッチング方法は同じです。ただし、相対的な色域を維持する方法では、白（メディアの色）が入力プロファイルと違っていても、補正はしません。本モードでは、メディア色を含め、入力プロファイルの色に近づくよう色補正します。結果として、元画像の白の部分にも色が印刷されることがあります。

グレーバランス

画像データの色が CMYK カラーモードの場合に有効です。CMYK のトーン調整を行い、ICC プロファイルを使用したカラーマッチングの演算は行いません。アプリケーション側でカラーマッチング処理を行う場合に指定してください。

K 保持、C 保持、M 保持、Y 保持

画像データの色が CMYK カラーモードの場合に有効です。ICC プロファイルを使用したカラーマッチングを行うと、画像の色を C,M,Y,K いずれか単色で指定していた場合でも、印刷した場合混色になってしまいます。

ON にすると画像内で、C,M,Y,K それぞれ単色の色があった場合、混色させないようにします。

入力プロファイル

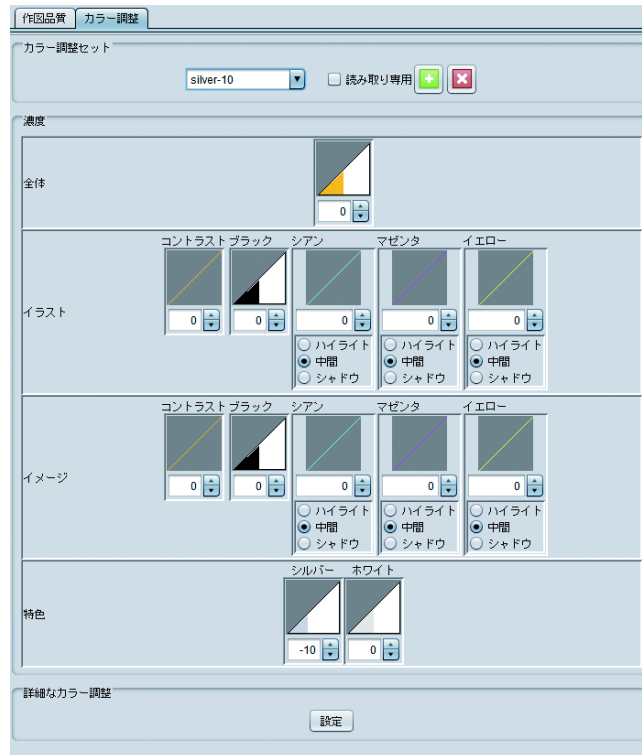
入力側のプロファイルを指定します。

ターゲットのプロファイルが有る場合、プロファイルマネージャーを使ってインストールできます。

画像にプロファイルが埋め込まれていた場合、[埋め込みプロファイル] チェックボックスが表示されます。ON にすると、埋め込みプロファイルを入力プロファイルとして優先的に使用します。

カラー調整

カラー調整はカラーマッチング処理後のインク量を調整します。
CMYK のインク量だけでなく、ホワイト、シルバーインクなどの特色インクの量も調整できます。



カラー調整セット 設定を保存するセット名を追加します。



- カラー調整はデバイスプロファイルに依存しています。一度登録したカラー調整セットでも、デバイスプロファイルが異なれば、表示されません。また、同じカラー調整セット名でも、デバイスプロファイルが異なれば、違う調整ファイルとして扱われます。
- [標準] を選択している場合、カラー調整は編集できません。

濃度

濃度を調整します。

[全体] 以外はイラスト (ベクタオブジェクト)、イメージ (ラスタオブジェクト) 毎に設定します。

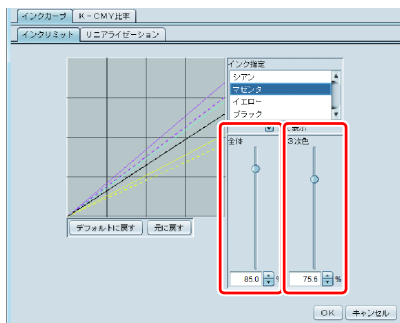
全体	デバイスプロファイルに設定されているインクリミットの値を、各インク同じ比率で変更します。 全体的にインクが濃い、もしくは薄い場合に有効です。	
	インクリミットがここで指定した値を掛けた値に変更されます。+ 1~50% の設定ではインクが増えますが、最終的なインクリミットは 100% を超えることはできません。	
	例) デバイスプロファイルでシアンのインクリミットが 70% と設定されている場合	
	[全体] の値	シアンのインクリミット
	-50%	35% (70%×(100-50)% = 35%)
-10%	63% (70%×(100-10)%=63%)	
+40%	98% (70%×(100+40)%=98%)	
+50%	100% (計算上では 70%×(100+50)%=105% となりますが、100% に丸められます)	

コントラスト	-50%~+50% の間で、コントラストを変更します。 -50%~-1% 色が変化しない方向になります。 +1%~+50% 色が大きく変化する方向になります。メリハリがつかますが、高濃度部では階調がつぶれ気味になります。
ブラック	-50%~+50% の間で、ブラックインクとシアン、マゼンタ、イエローのインク量を変更します。 -50%~-1% ブラックインクのインクリミットを比率分下げます。 0% 詳細設定の K-CMY 調整が有効になります。(0% 以外の場合、K-CMY 調整の設定は無効となります。) +1%~+50% ブラックインクの量を増やし、シアン、マゼンタ、イエローのインク量を減らします。 より詳細な設定を行うには、K-CMY 調整を行ってください。
シアン、マゼンタ、イエロー	-50%~+50% の間で、シアン、マゼンタ、イエローの各インク量を変更します。色相を調整したいとき有効です。中間部分のインク量を変更しますが、インクリミットは変えません。 ハイライト 明るい部分を中心にインク量を変更します。 中間調 50% 部分を中心にインク量を変更します。 シャドウ 濃い部分を中心にインク量を変更します。
特色	-50%~+50% の間で、特色のインク量を変更します。インクリミットは変えません。 特色の濃度調整はv3.3以降のバージョンのプロファイルを使用している場合に有効になります。

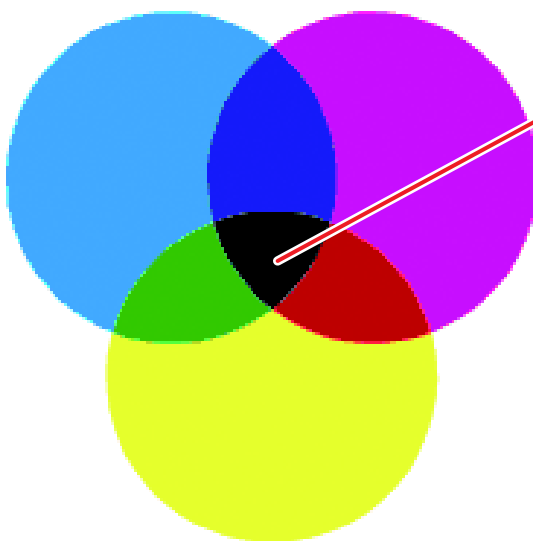
● 詳細なカラー調整

設定ボタンを押すと、インクリミット、リニアライゼーション、特色インクリミット、K-CMY 比率調整の画面が開きます。

インクリミット



プロセスカラーインク（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック等）の各インクリミットをスライダで変更します。全体は各色のインクリミットの設定です。3次色は3色以上のインクが混じったときに使われるインクリミットです。全体のインクリミットが3次色インクリミットの上限になります。3色以上のインクが混じった部分で、インクがにじみ気味になるときは、本設定でインクを抑えることができます。

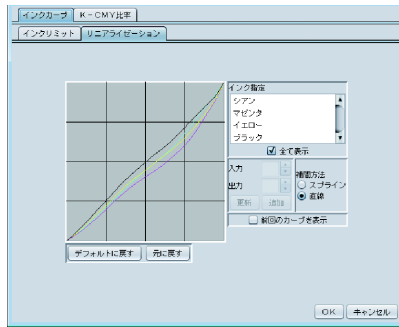


CMY が混ざった部分に各色の3次色インクリミットが適用されます。その他の単色、2つの色が混ざった部分に関しては、各色の全体インクリミットが適用されます。

C0,M0,Y0 それぞれ シアン全体、マゼンタ全体、イエロー全体のリミットを使用

C1,M1,Y1 それぞれ シアン3次元、マゼンタ3次元、イエロー3次元のリミットを使用

リニアライゼーション



プロセスカラーインク（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック等）の中間調濃度をカーブ編集します。

各インクが滑らかなグラデーションとして印刷されるよう階調を整えます。

ここでも、最高濃度（インクリミット）を変更することができますが、インクリミット調整が困難になるため、最高濃度の変更はしないでください。

特色インクリミット



ホワイト、クリア、シルバーなど特色インクの濃度を調整します。

初期設定では、入力で指定した濃度が、そのまま使用される設定ですが、グラデーションなどで、中間調の濃度変化が乏しい場合などに、この画面でカーブ調整を行ってください。

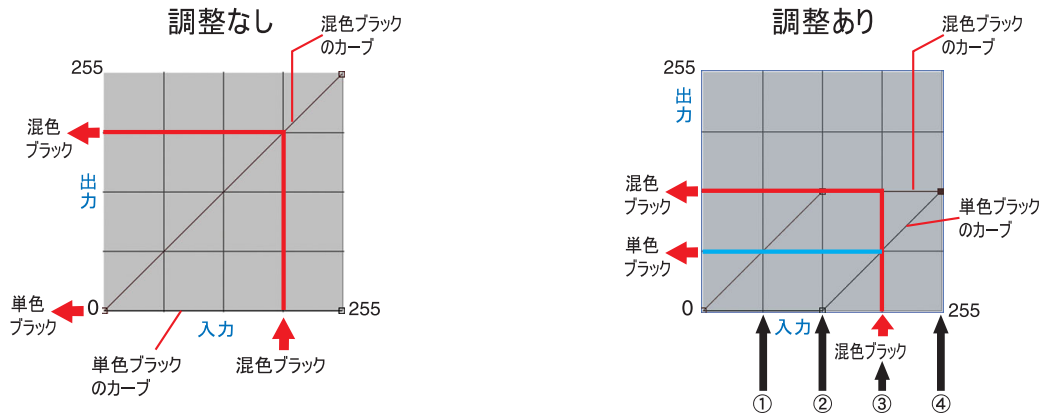
K-CMY 比率調整

ブラックとシアン、マゼンタ、イエローの使用比率をカーブ編集します。

イラスト・イメージ別々の変更が可能です。

入力が RGB 画像でシャドー部でインクがあふれ気味るとき、本調整でシアン、マゼンタ、イエローを減らし、ブラックを増やすと、シャドー部の色目をあまり変えずに、インク量を減らすことができます。

重要! ・[濃度]にて、ブラックに 0% 以外を指定している場合、設定は行えません。

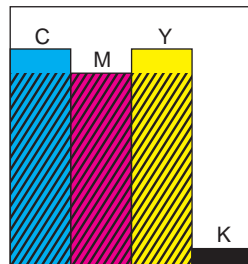


調整したカーブの値

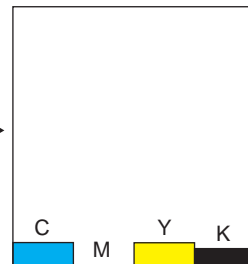
	入力色				混色ブラック		単色ブラック		出力色				説明
	A		B		入力	出力	入力	出力	出力色				
	C	M	Y	K					C	M	Y	K	
①	64	85	64	5	64	64	64	0	64	85	64	5	変わらない
②	128	150	160	5	128	128	128	0	128	150	160	5	変わらない
③	200	192	200	5	192	128	192	64	136	128	136	69	CMY の一部が K に変わる
④	255	255	255	5	255	128	255	128	128	128	128	133	CMY の一部が K に変わる

③の計算

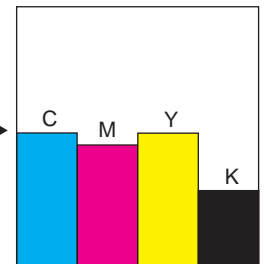
$C \quad 200 - 192 + 128 = 136$
 $M \quad 192 - 192 + 128 = 128$
 $Y \quad 200 - 192 + 128 = 136$
 $K \quad 5 + 64 = 69$



斜線部が CMY の混色ブラック



CMY から混色ブラックの入力を取り除く



CMY に混色ブラックの出力を加える。K に単色ブラックの出力を加える。

画像の色を別の色に置き換える - 色置換設定

機能

[色置換] 画面では以下の操作を行います。

- 画像内の CMYK 色もしくはスポットカラーを選択し、その色を、別のインク色もしくは L*a*b* 値に置き換える。
- CMYK 色のグラデーションの色を置き換える。

データについて

色置換できるデータ

以下の条件を全て満たすデータが色置換できます。

カラーモード	CMYK
ファイル形式	ps, eps, pdf
オブジェクト	ベクタオブジェクト (イラストオブジェクト) 写真などのラスターオブジェクト (イラストオブジェクト) は不可 ただし、以下の条件のものは色置換しても正しく印刷できない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> • Adobe Illustrator のドロップシャドウ、透明、ぼかしのようなフィルタ効果をかけたもの • Adobe Illustrator の [コンパチブルグラデーション & グラデーションメッシュプリント] にチェックが有る場合のグラデーションオブジェクト (*)

(*) グラデーションを色置換する場合、さらに条件があります。(次章の「グラデーション」の項参照)

置換できる色

スポットカラー : 名前付きの特別な色 (Illustrator などでは [特色] もしくは [スポットカラー] と呼ばれる) です。

(Illustrator 上での具体的なスポットカラーの指定方法については P.118 をご覧ください)

CMYK : プロセッカラー (シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック等から構成される色です。) を置換します。

グラデーション : 以下の 4 種類のグラデーションを置換できます。

(Illustrator 上での具体的なグラデーションの指定方法については P.120 をご覧ください)

種類	最高濃度 (%)				最低濃度 (%)			
	C	M	Y	K	C	M	Y	K
シアン	100	1	1	1	0	1	1	1
マゼンタ	1	100	1	1	1	0	1	1
イエロー	1	1	100	1	1	1	0	1
ブラック	1	1	1	100	1	1	1	0



置換後の色として指定できる色

置換後の色として以下のものが指定できます。

- **インク**：プリンタのインク色とその濃度を 0 ~ 100% で指定します。
- **L*a*b***：L*a*b* 値はデバイスに依存しない色空間の座標値です。
L* (明度)、a* (赤 - 緑空間座標)、b* (青 - 黄色空間座標) を指定します。



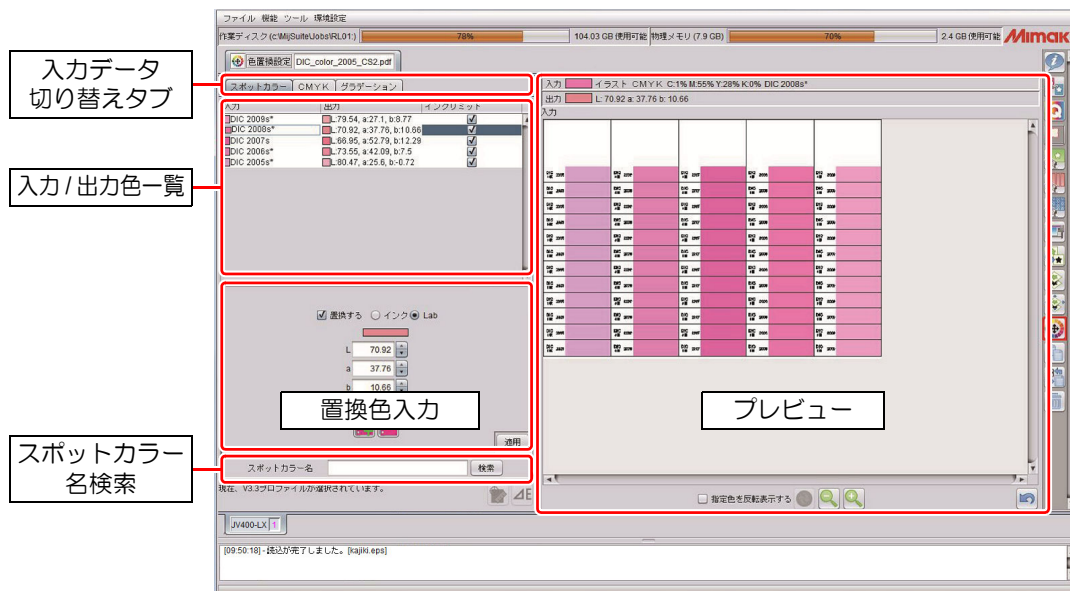
• カラーコレクション (P.154) を「使用する」設定 (P.155) にしている場合、画像を読み込んだ際に、合致する条件があれば、自動的に色置換されます。



• 置換後の色をインク色、または L*a*b* 値で指定しても、実際に画像を印刷する機種やインクなど条件・環境により、色味は異なります。

画面構成

大まかな構成



入力データ切り替えタブ

置換できる色の種類ごとに [入力/出力色一覧リスト] [置換色入力] 画面があります。

入力 / 出力色一覧リスト

画像内の各入力データに対する色の一覧を表示します。

スポットカラー

スポットカラー	CMYK	グラデーション
入力	出力	色差
CM 24%	79.41, a:35.64, b:-3.18	ΔE4.33*
CM 23%	79.71, a:15.86, b:-4.48	ΔE0.11*
CM 22%	84.23, a:1.47, b:-6.42	
CM 21%	82.79, a:-0.15, b:-9.48	
CM 20%	77.38, a:-19.31, b:-11.33	ΔE0.12*

入力 : スポットカラー名とプレビュー上の表示色を表示します。

出力 : 置換後の色とシミュレートされた印刷色を表示します。

インクリミット : 印刷時、デバイスプロファイル内のインクリミットを適用するか表示します。



• V3.5 以上のプロファイルを選択すると、**ΔE** をクリックして次の情報を表示することができます。

色差 : 次の 2 つの L*a*b 値から算出した色差を表示します。

1. 出力の L*a*b 値
2. 印刷条件画面で選択しているプロファイルから算出した L*a*b 値

ただし、出力の L*a*b 値が選択しているプロファイルの色再現範囲内の場合、色差は表示しません。

また、出力インク : 出力で L*a*b 値を指定している場合、出力時のインクを表示します。

CMYK

スポットカラー	CMYK	グラデーション
入力	出力	色差
C:0, M:10, Y:90, K:0		
C:20, M:100, Y:40, K:0		
C:80, M:20, Y:0, K:0	180, M:5, Y:5, K:0, Si:0, W	
C:100, M:40, Y:0, K:0	49.11, a:-9.07, b:-41.19	ΔE0.17*
C:100, M:100, Y:30, K:0		

入力 : CMYK 成分値と、プレビュー上での表示色を表示します。

出力 : 置換後の色とシミュレートされた印刷色を表示します。

インクリミット : 印刷時、デバイスプロファイル内のインクリミットを適用するか表示します。



• V3.5 以上のプロファイルを選択すると、**ΔE** をクリックして次の情報を表示することができます。

色差 : 次の 2 つの L*a*b 値から算出した色差を表示します。

1. 出力の L*a*b 値
2. 印刷条件画面で選択しているプロファイルから算出した L*a*b 値

ただし、出力の L*a*b 値が選択しているプロファイルの色再現範囲内の場合、色差は表示しません。

また、出力インク : 出力で L*a*b 値を指定している場合、出力時のインクを表示します。

グラデーション

スポットカラー	CMYK	グラデーション
入力	出力(下限)	出力(上限)
ブラック	C:0, M:0, Y:0, K:0, W:0, W:0	C:0, M:0, Y:0, K:0, W:100
イエロー		
マゼンタ		
シアン		

入力 : グラデーションの種類 (P.107) を表示します。

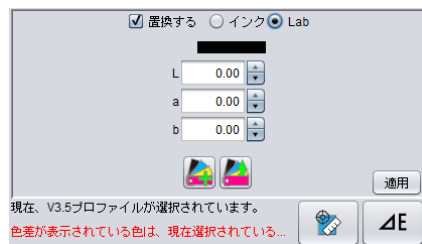
出力 (下限) : 置換後のグラデーションの下限値を表示します。

出力 (上限) : 置換後のグラデーションの上限値を表示します。

置換色入力画面

置換色入力画面は、入力データおよび置換後の色により画面が異なります。

● 入力データがスポットカラー / CMYK で、置換後の色は Lab の場合



置換する

置換する場合このチェックボックスを ON にします。

入力

置換後の色を数値入力します。

カラーコレクションへ登録

カラーコレクションへ色置換後の色を登録します。(P.115)

カラーコレクションから選択

カラーコレクションから色置換後の色を選択します (P.115)

適用

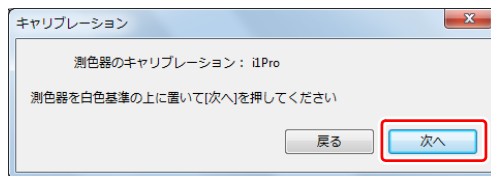
押すと、設定が選択された色に対して適用されます。

測色器を使用して色置換するには (V3.5 以上のプロファイル選択時)

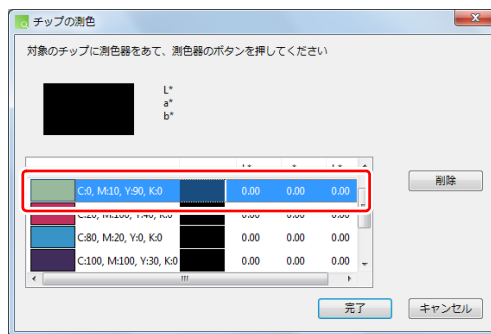
1 をクリックする

2 測色器を白色基準の上に置いて [次へ] をクリックする

- 測色器をキャリブレーションします。
- キャリブレーションが完了すると、測色の画面が表示されます。

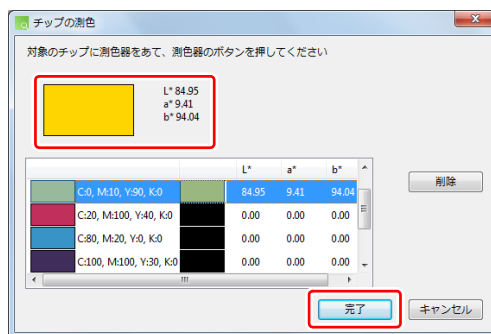


3 測色したい色を選択する



4 測色器で対象の色を測色する

- 測色結果が表示されます。
- 続けて測色を行う場合は手順 3、4 を繰り返してください。



5 [完了] をクリックする

- 出力に測色した L*a*b 値が表示されます。



色差に“未計算”と表示されている場合、**ΔE** をクリックすると、色差と出力インクの情報を出して表示します。

スポットカラー	CMYK	グラデーション
入力	出力	色差
C0, M0, Y0, K0		
C0, M10, Y90, K0	84.95, 9.41, 94.04	未計算
C20, M100, Y40		
C80, M20, Y0, K0		
C100, M100, Y30		
C100, M40, Y0	49.11, 9.07, 41.18	ΔE0.17*
C82, M45, Y9		

● 入力データがスポットカラー / CMYK で、置換後の色は CMYK の場合



置換する

置換する場合このチェックボックスを ON にします。

入力

置換後の色を数値入力します。

プロファイルのインクリミットを適用

ON にするとプロファイルのインクリミットを使用します（詳細については、「色置換時のカラー処理」を参照）

重要!

・特色インクセットのインクが 3 スロット以上ある場合、“プロファイルのインクリミットを適用” は常に ON になり、操作できません。



カラーコレクションへ登録

カラーコレクションへ色置換後の色を登録します。(P.115)



カラーコレクションから選択

カラーコレクションから色置換後の色を選択します。(P.115)

適用

押すと、設定が選択された色に対して適用されます。

● 入力データがグラデーションの場合



置換する

置換する場合このチェックボックスを ON にします。

出力(下限)

グラデーションの最低濃度に対する置換色を設定します。

出力(上限)

グラデーションの最高濃度に対する置換色を設定します。



カラーコレクションへ登録

カラーコレクションへ色置換後の色を登録します。(P.115)



カラーコレクションから選択

カラーコレクションから色置換後の色を選択します。(P.115)

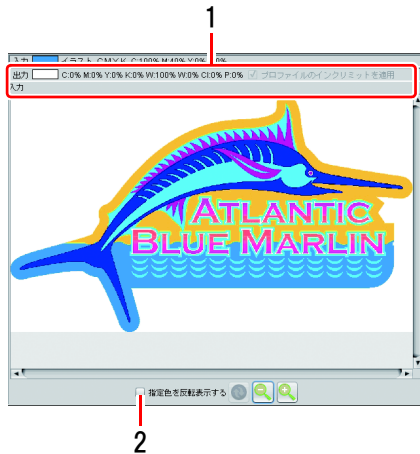
適用

押すと、設定が選択されたグラデーションに対して適用されます。

スポットカラー名検索

入力 / 出力色一覧リストに表示されているスポットカラー名を検索することができます。

プレビュー



1 プレビュー画像をマウスクリックした位置の色の情報を表示します。

入力 : オブジェクト (イラスト or イメージ) / カラーモード / 入力色を表示します。



• 色置換できない場所があった場合、この欄で色置換できるデータか(P.107)確認してください。

出力 : 置換後の色の情報を表示します。

2 指定色を反転表示する
チェックすると、入力 / 出力色一覧リストで選択されている色の部分を反転表示します。

色置換の注意事項

置換するデータに対する注意

Adobe Illustrator のドロップシャドウ / 透明 / ボカシのようなフィルタ効果をかけた色は、正しく色置換できません。

スポットカラーを色置換する場合

画像内で、スポットカラーの濃度を変えて使用しているときの注意点は以下のとおりです。

- RasterLink6Plus では、スポットカラーの濃度は 100% に対してインク濃度を設定します。スポットカラーの濃度にしたがって、インク濃度が自動的に計算されます。

例)

Illustrator で Spot(表示色 C=100,M=0,Y=0,K=0) という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLink6Plus で Spot をインク濃度 C=0,M=80,Y=20,K=0 とした場合、Spot の 100% で塗られている部分のインク濃度は C=0,M=80,Y=20,K=0、Spot の 50% で塗られている部分のインク濃度は C=0,M=40,Y=10,K=0 となります。

- 置換情報一覧に表示されるスポットカラーの色が Illustrator で指定した表示色と異なる場合があります。

これは、置換情報一覧に表示されるスポットカラーの入力色は RasterLink6Plus が画像上で最初に発見したスポットカラーの濃度に合わせた表示色を表示するためです。

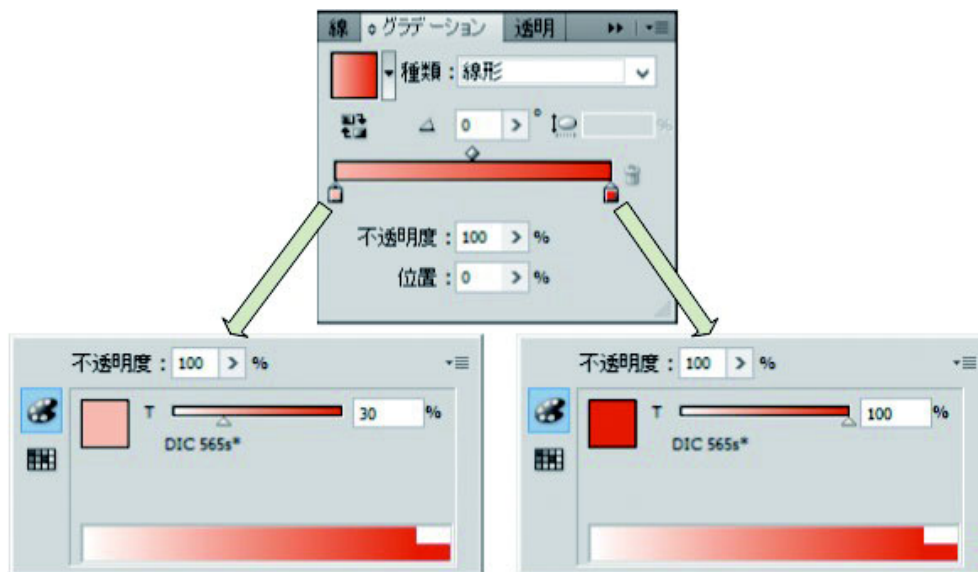
例)

Illustrator で Spot(表示色 C=100,M=0,Y=0,K=0) という特色が 100% で塗られているところと、50% で塗られているところがあったとき、RasterLink6Plus が先に Spot が 50% で塗られているところを発見した場合、色置換情報一覧の Spot の表示色は C=50,M=0,Y=0,K=0 となります。

グラデーションで使用しているスポットカラーを色置換したい場合

グラデーションの色としてスポットカラーを指定したい場合、以下の2つの条件を満たすもののみ色置換が可能です。

- すべてのグラデーションスライダに対して同一のスポットカラーが指定されており、濃度のみが異なる。

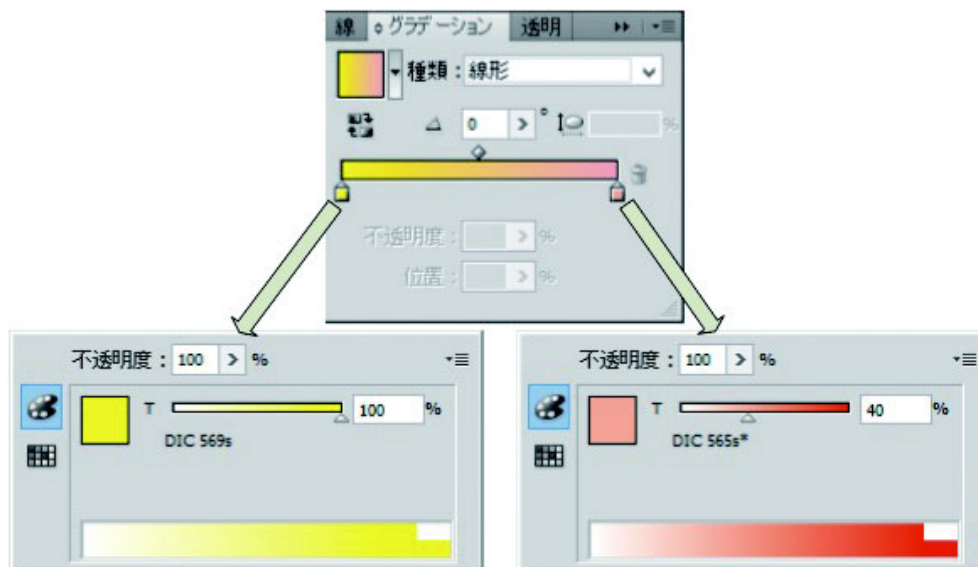


- Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュ」にチェックが入っている。

グラデーションで異なるスポットカラーを指定している場合

グラデーションの色として、異なるスポットカラーが指定されている場合、色置換できません。

また、この場合、Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュ」のチェックを外してください。チェックが入っていると、色置換の設定の有無にかかわらず、このグラデーションを指定したオブジェクトは印刷されません。




グラデーションを色置換する場合

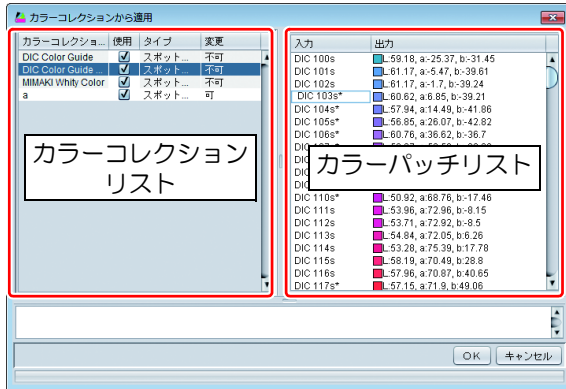
- グラデーションの、最高濃度と最低濃度の間に中間点を挿入して色を変更した場合、色置換はできません。
- クリッピングパスを数多く含むグラデーションは、正しく色置換できない場合があります。
- Illustrator のドロップシャドウ／透明のようなフィルタ効果を用いたグラデーションは正しく色置換できません。
- グラデーションに含まれる色と同じ色を持つイラストも置換されます。
例)
最高濃度 C=100, M=1, Y=1, K=1
最低濃度 C=0, M=1, Y=1, K=1
C=50, M=1, Y=1, K=1 のイラストがデータ中にあった場合、このイラストも色置換されます。
- 画面上でグラデーション置換の設定を行うことができて、データによって置換されない場合があります。必ず、事前に縮小印刷して置換されるか確認してください。
- Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」にチェックが入っていると、グラデーション置換の設定ができません。

カラーコレクションとの連携

カラーコレクションとは色置換情報をライブラリー化したものです。
 カラーコレクションの詳細については P.154 で説明します。ここでは、色置換画面の各置換色入力欄から使用できるカラーコレクションの機能について説明します。

カラーコレクションから選択

カラーコレクションから色置換情報を選択し、ジョブに適用します。
 (カラーコレクションから選択) を押すと以下の画面が表示されます。




カラーコレクションリスト
 カラーコレクションを選択します。

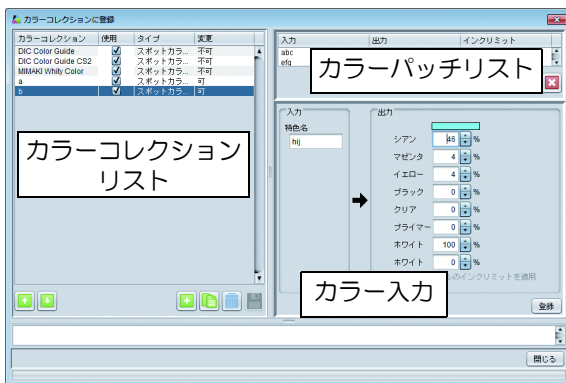
カラーパッチリスト
 選択されているカラーコレクション内のカラーの一覧が表示されます。

適用手順

- (1) [カラーコレクションリスト] から使用するカラーコレクションを選択します。
- (2) [カラーパッチリスト] から、置換後の色として使用したカラーを選択します。
- (3) [OK] ボタンを押します。[置換色入力] 欄に値が設定され、適用されます。

カラーコレクションへ登録

カラーコレクションへ [置換色入力] 欄で入力した置換色を登録します。
 (カラーコレクションへの登録) を押すと以下の画面が表示されます。



カラーコレクションリスト
 登録するカラーコレクションを選択します。

カラーパッチリスト
 選択されているカラーコレクション内のカラーの一覧が表示されます。

カラー入力
 置換元として選択された色と、[置換色入力] 欄で入力された置換色の情報が表示されます。

適用手順

- (1) [カラーコレクションリスト] からカラーを登録したいカラーコレクションを選択します。
- (2) [カラー入力] に色置換画面で入力した情報が入っていることを確かめてから [登録] ボタンを押します。
- (3) [カラーパッチリスト] にデータが登録されます。

重要!

・[プロファイルのインクリミットを適用] を ON にすると、インクあふれを緩和させるために自動的に設定値よりも低い値に変換して印刷を行います。(100%を指定しても、それよりも低い値で印刷を行います。)
 チェックを外すと、指定した色成分値通りに印刷を行います。インクあふれによるにじみなどの印刷不良が出やすくなります。
 できるだけ ON にした状態でお使いください。

特色を使用して色置換した場合

置換後の色として、カラーインクと特色インクを同時に使用して色置換した場合、プリンタとレイヤー設定 (P.90) により、以下のように印刷されます。

Roll to Roll プリンタの場合

● JV33/CJV30/JV400/UJV500/JV300/CJV300/CJV150/UJV55-320/UCJV300/JV300 Plus/CJV300 Plus の場合

レイヤー設定 (P.90) の特色重ね印刷の設定により以下のようになります。

特色重ね印刷しない

特色とカラーを同時に印刷します。そのため特色とカラーインクが混ざったように見えます。

カラー⇒特色

置換後の色のカラーの色のみ下に印刷した後、特色を重ねて印刷します。

特色⇒カラー

置換後の色の特色のみ下に印刷した後、カラーの色を印刷します。

● その他の Roll to Roll プリンタの場合

特色とカラーを同時に印刷します。そのためインクが混ざったように見えます。

フラットベッドプリンタの場合

レイヤー設定 (P.90) の特色重ね印刷の設定により以下のようになります。

カラー⇒特色

置換後の色のカラーの色のみ下に印刷した後、特色を重ねて印刷します。

特色⇒カラー

置換後の色の特色のみ下に印刷した後、カラーの色を印刷します。

色置換の設定

色を変える機能は色置換の他に、単色置換 (P.30)、版作成 (P.79) があります。ここでは、これらの機能の主な用途別のデータの作成および設定方法について説明します。データの作成方法では、Illustrator CS5 を例にとり説明します。

ホワイトなど 1 色のインクのみでプリントしたい

単色置換機能を使用します。

● Illustrator 上でのデータの作成方法

データを CMYK 単色で作成することをお勧めします。

1 画像のカラーモードを [CMYK] にします。

- [ファイル]メニューより [ドキュメントのカラーモード]-[CMYK カラー] を選択します。

2 全てのオブジェクトを選択し、CMYK いずれか 1 色のみになります。

- ベタ塗りのオブジェクトの場合 [カラー] にて変更します。
- グラデーションオブジェクトで、濃度変化はそのままとしたい場合、[グラデーション] にて変更します。
- その他効果など用いて作成されており、Illustrator 上で色変更が難しい場合、ラスター形式の画像に書き出し Photoshop 等で 1 色のみに変換します。

3 保存し、RasterLink6Plus へ読み込ませます。

● 色置換方法

「フルカラーの画像をインク単色で印刷する設定を行う - 単色置換」 (P.30) をご覧ください。

透明メディアなどへ、単純にベースにホワイトなど特色をプリントして、その上にカラーをプリントしたい

版作成機能を使用します。
詳しくは P.79 をご覧ください。

カラー画像内のスポットカラーを置換する

スポットカラーは名前付きの特別な色です。スポットカラー名称に用途などをつけることで色置換する際の目安となります。色置換機能を使用して置換します。

重要! ・色置換の注意事項をよくお読みの上、設定してください。

● Illustrator 上でのデータの作成方法

1 画像のカラーモードを [CMYK] にします。

・[ファイル]メニューより[ドキュメントのカラーモード]-[CMYK カラー]を選択します。

2 スポットカラーを登録します（すでに登録済みのスポットカラーを使用する場合は、3へ進みます。）

- (1) [ウィンドウ]メニューより[スウォッチ]を選択します。
[スウォッチ]ウィンドウが開きます。
- (2) 右上の▼ボタンを押し、表示されたメニューより[新規スウォッチ]を選択します。
[新規スウォッチ]ウィンドウが開きます。
- (3) 以下のように設定し、OK を押します。

- ・名前 : 色の名前を入力します。
- ・カラータイプ : “特色” を選択します。
- ・カラーモード : “CMYK” を選択します。
- ・カラー : 表示色を指定します。色置換されない場合、この色を元にプリントされます。



- (4) [スウォッチ]ウィンドウのリストに登録されます。



3 スポットカラーをオブジェクトに適用します。

- (1) オブジェクトを選択します。
- (2) [カラー]ウィンドウにて”線”もしくは”塗り”でスポットカラーを適用したい方を選択します。
- (3) [スウォッチ]ウィンドウから作成したスポットカラーを選択します。
オブジェクトに色が適用されます。

4 データが作成し終わったら、保存し、RasterLink6Plus に読み込みます。

● 色置換方法

- 1 ジョブを選択し、色置換画面に切り替えます。
- 2 [スポットカラー] タブを開きます。
 - ・リストに画像内で使用されているスポットカラーが全て表示されています。
- 3 色置換したいスポットカラーをリストから選択します。
- 4 置換色を指定します。

カラー画像内の CMYK カラーを置換する

CMYK カラーを色置換します。

重要! ・色置換の注意事項をよくお読みの上、設定してください。

● Illustrator 上でのデータの作成方法

- 1 画像のカラーモードを [CMYK] にします。
 - ・[ファイル]メニューより [ドキュメントのカラーモード]-[CMYK カラー] を選択します。
- 2 [カラー] ウィンドウで色を指定します。
- 3 データが作成し終わったら、保存し、RasterLink6Plus に読み込みます。

● 色置換方法

- 1 ジョブを選択し、色置換画面に切り替えます。
- 2 [CMYK] タブを開きます。
 - ・リストに画像内で使用されている CMYK カラーが全て表示されています。
- 3 色置換したいカラーをリストから選択します。
- 4 置換色を指定します。

カラー画像内のグラデーションを、複数のインクを混ぜた色へ変更する

グラデーションを複数のインクを混ぜた色へ変更する場合、グラデーション置換を行います。

重要! ・色置換の注意事項をよくお読みの上、設定してください。

● Illustrator 上でのデータ作成方法

- 1 画像のカラーモードを [CMYK] にします。
・[ファイル]メニューより [ドキュメントのカラーモード]-[CMYK カラー] を選択します。
- 2 オブジェクトを作成し、選択状態にします。
- 3 [ウィンドウ]メニューより [グラデーション] を選択します。
・[グラデーション]ウィンドウが表示されます。
- 4 P.107 のグラデーションで指定できる最高濃度 / 最低濃度を指定します。



- 5 データが作成し終わったら、保存し、RasterLink6Plus に読み込みます。

● 色置換方法

-
- 1 ジョブを選択し、色置換画面に切り替えます。

 - 2 [グラデーション] タブを開きます。
 - ・リストに画像内で使用されているグラデーションの種類が全て表示されています。

 - 3 色置換したいグラデーションをリストから選択します。

 - 4 置換後の最高濃度と最低濃度を指定します。
-

プリンタへ出力する - 実行

機能

[実行]画面では以下の操作を行います。

- 選択したジョブのRIP、出力方法の指定および実行
- 出力回数指定




• 本項では、[実行]画面の説明の他に、関わりが深いジョブキュー画面についての説明もおこないます。

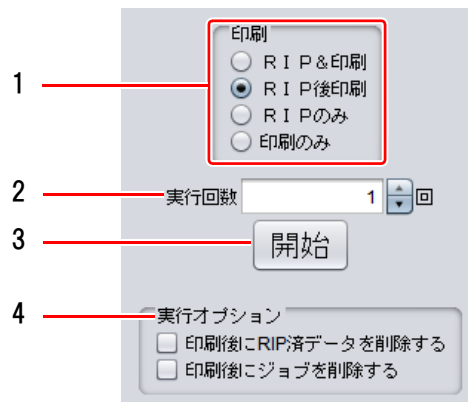
画面構成



実行画面

実行画面は画像ジョブとプリント&カットジョブ（ P.124）によって異なります。


● 画像ジョブ



1. 実行方法

実行方法には以下のものがあります。

RIP &印刷 : RIP と印刷を同時に行います。

ジョブの条件により [RIP&印刷] を指定していても自動的に [RIP 後印刷] に切り替えて実行する場合があります。（ P.125 「RIP &印刷が実行できない条件」）

元画像が複雑な場合にはプリンタの印刷速度に RIP 処理が間に合わず、印刷が一時的に停止する場合があります。このような場合、RIP 後印刷をご使用ください。RIP &印刷を行った場合、RIP 済みデータは作成されません。

RIP 後印刷 : RIP が完了してから印刷します。RIP 済みデータが作成されます。

RIP のみ : RIP のみ行い、RIP 済みデータを作成します。印刷はおこないません。

印刷のみ : 印刷のみ行います。RIP 済みデータが作成済み（作成済みかどうかは [ジョブ一覧の状態確認] を参照）でない場合、RIP 後印刷を実行します。

2. 実行回数

RIP &印刷を実行している場合：RIP &印刷処理を繰り返す回数となります。

RIP 後印刷、印刷：印刷を繰り返す回数となります。（RIP 後印刷では RIP 処理は 1 回のみとなります）

3. 開始

1 で指定した処理を実行します。

4. 実行オプション

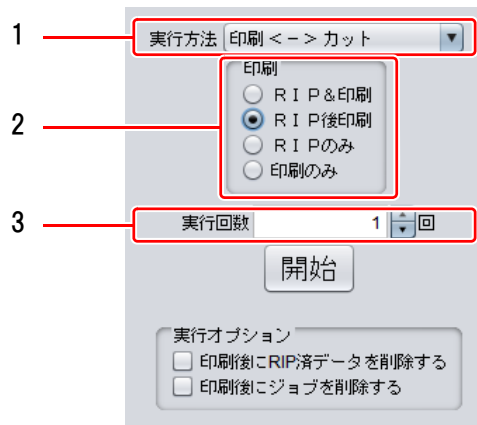
- 印刷後に RIP 済みデータを削除する

ON にすると、実行方法が RIP 後印刷もしくは印刷のみの場合、印刷後に RIP 済みデータを削除します。

- 印刷後にジョブを削除する

ON にすると、実行方法が RIP &印刷、RIP 後印刷、印刷のみの場合、読み込んだ画像を含む、ジョブのデータを削除します。

● プリント & カットジョブ



1. 実行方法

実行方法には以下のものがあります。

印刷 <-> カット : 印刷とカットを行います。

印刷 : カットせず、印刷のみ行います。

カット : 印刷せず、カットのみ行います。

2. 印刷

画像ジョブの実行方法と同じです。

3. 実行回数

印刷およびカットを指定回数実行します。

ジョブキュー



進行状況を表示します、またこのリストで選択したジョブに対して以下の操作が行えます。



処理順を変更します。現在処理中のジョブを一時停止させてからおこないます。



ジョブの処理を一時停止させます。




一時停止したジョブの処理を再開します。



選択したジョブの処理を中止します。



全てのジョブの処理を中止します。実行後、ジョブの処理は自動的に一時停止します。実行後、画像の読み込みおよび RIP・印刷を行う場合、 を押して、再開させます。



・ジョブキューのタブに現在のジョブキューおよび自動実行 (P.158) の状態を示します。

ジョブキュー 0 準備中	ジョブキュー 0 実行中	ジョブキュー 0 停止中	ジョブキュー 0 自動実行中
サムネイル	サムネイル	サムネイル	サムネイル
ジョブ名	ジョブ名	ジョブ名	ジョブ名
状態	状態	状態	状態
準備中： 起動時に表示されます。	実行中： 画像の読み込み、RIP、印刷が可能な状態です。	停止中： 画像の読み込み、RIP、印刷を行わない状態です。	自動実行中： 自動実行 (P.158) を行っている状態です。

RIP & 印刷が実行できない条件

以下の条件の場合、RIP & 印刷を指定していても、自動的に RIP 後印刷を行います。

- ・通常印刷画面でコピーを複数部設定し、移動方法に “個々に移動する” を選択している。
- ・面付けジョブ
- ・合成ジョブ
- ・分割印刷で任意配置指定が ON になっている
- ・ステップ&リピート
- ・プリント&カットのプリントジョブ
- ・BBQ 配置印刷のジョブ
- ・クロス調印刷で [下地クリアを印刷する] が有効になっている
- ・プリンタが JFX200(6Color)
- ・クリアインクの印刷回数が 2 回以上になっている
- ・FOTOBA マークを印刷する設定になっている
- ・トグルプリント

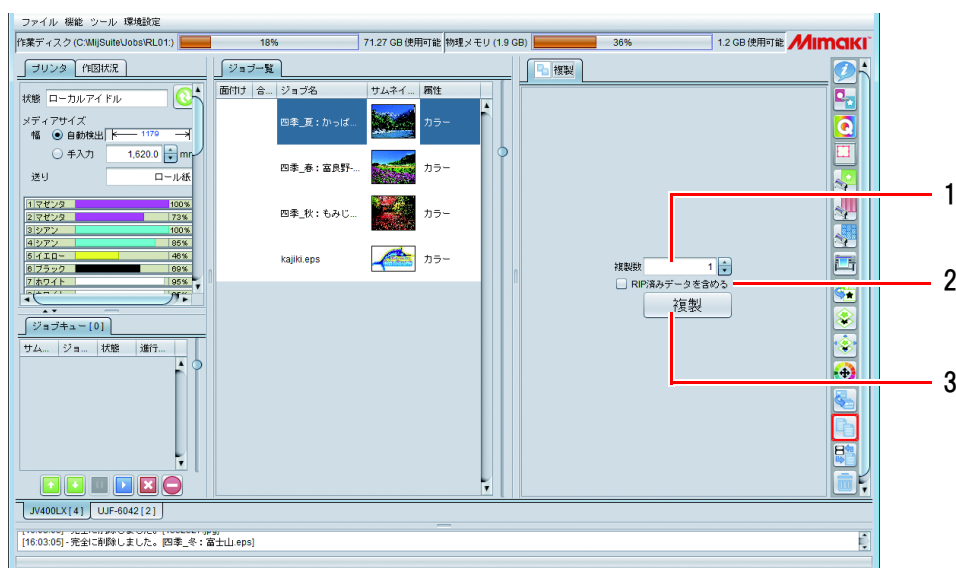
ジョブを複製する - 複製

機能

[複製]画面では以下の操作を行います。

- 選択したジョブを複製します。
この機能を使用すれば、元となるジョブがあれば、再度同じ画像を読み込みなおす必要がありません。また、元のジョブの設定も複製されるため、元のジョブはそのままに、一部だけ設定を変更したジョブを作成することができます。

画面構成



1. 複製数

ジョブを複製する数を指定します。

2. RIP 済みデータを含める

ON にすると、RIP 済みデータも複製されます。

3. 実行

ジョブの複製を実行します。



• ジョブを複製した場合、ジョブ名は元のジョブと同じとなります。見分けるために [ジョブのプロパティ] 画面でジョブ名を変更することをお勧めします。(設定方法については P.29 をご覧ください)

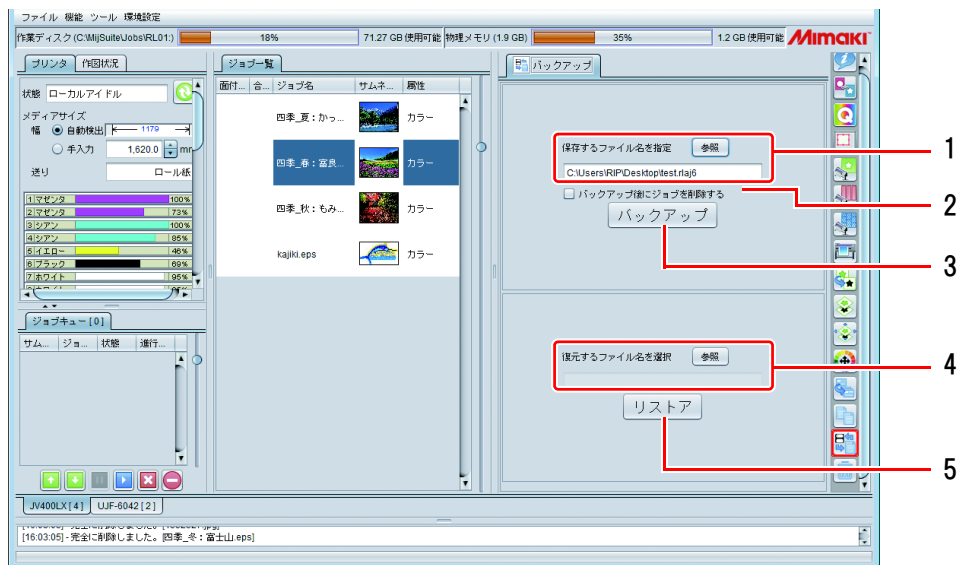
ジョブをファイルに保存する - バックアップ 保存したジョブを読み込む - リストア

機能

[バックアップ/リストア]画面では以下の操作を行います。

- ジョブをファイル（バックアップファイル）に保存する
- 保存したバックアップファイルを読み込み、ジョブを復元する

画面構成



1. バックアップ

選択しているジョブを、指定したバックアップファイルに保存します。
複数のジョブを選択している場合、それらは1つのバックアップファイルに保存されます。



- バックアップファイルには以下のデータが保存されます。
画像、ジョブの設定情報、デバイスプロファイル、入カプロファイル、各種設定ファイル
- バックアップファイルにはRIP済みデータは含まれません。そのため、リストア後、再RIPが必要です。

2. バックアップ後にジョブを削除する

ONにすると、バックアップ後にジョブが削除されます。

3. リストア

バックアップファイルからジョブを復元します。



- バックアップされたジョブが登録されていた機種およびその機種に設定されていた特色インクセットが、リストアする RasterLink6Plus に登録されていない場合、メッセージエリアにエラーが表示され、リストアできません。
- バックアップファイルで指定されていたデバイスプロファイル/入力プロファイルがインストールされていない場合、メッセージエリアにエラーが表示され、リストアされません。この場合、バックアップファイル内のデバイスプロファイル/入力プロファイルが以下のフォルダに保存されます（メッセージエリアに保存先の詳細が表示されます）。一度 RasterLink6Plus を終了させ、プロファイルマネージャーを起動し、プロファイルをインストールしてください。
インストールフォルダ ¥Tmp
インストール後、RasterLink6Plus を再起動させ、再度リストアを実行してください。



- RasterLinkPro5 以前のバックアップジョブファイルはリストアできません。

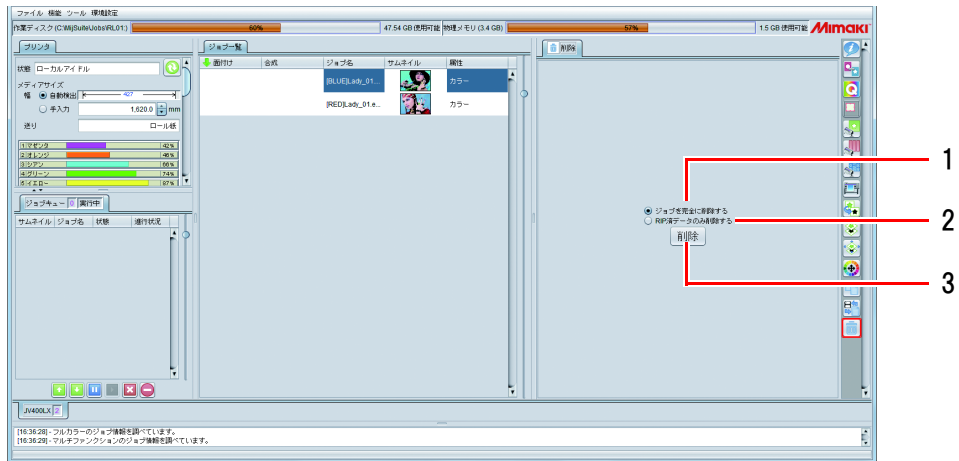
ジョブや RIP 済みデータを削除する - 削除

機能

[削除] 画面では以下の操作を行います。

- 選択したジョブの削除
- 選択したジョブのRIP 済みデータの削除

画面構成



1. ジョブを完全に削除する

ジョブ一覧にて選択したジョブの情報を全て削除します。

重要!

以下の場合削除することはできません。

- 合成 / 面付けされたジョブ群内の一部のみ選択している場合
この場合、合成 / 面付けを解除した後、削除したいジョブを選択して、削除してください。
合成 / 面付けされたジョブ群を全て削除したい場合、全てのジョブを選択してください。

2. RIP 済みデータのみ削除する

ジョブ一覧にて選択したジョブに RIP 済みデータがあった場合、それを削除します。

3. 削除

上記の指定された条件で、削除を実行します。

プリント&カット

機能

CJV300、CJV150、CJV300 Plus などのプリンタカッターでプリント&カットをおこないます。

プリント&カットジョブの作成手順

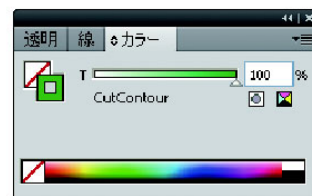
プリント&カットデータの作成

● プリント&カットのファイル/データフォーマット

プリント&カットを行えるファイルおよびデータフォーマットは以下となります。

ファイル形式	ps, eps, pdf
カットできるオブジェクト	ベクタオブジェクト (イラストオブジェクト) カットする線分 (パス) の色として、以下のものを指定する。 名前の先頭に "CutContour" とつけた特色 ・CutContour の後に文字列をつけると、Cut 条件を変えた別のカット線として取り扱われます。 CutContour CutContourCut1 CutContourHalf } 別々のカット条件を設定できる

RasterLinkTools (P.172) を使用すると Adobe Illustrator 上で簡単にプリント&カットデータが作成できます。



イラストの周りに特色名が "CutContour" のパス (線) を、カット線としてつける

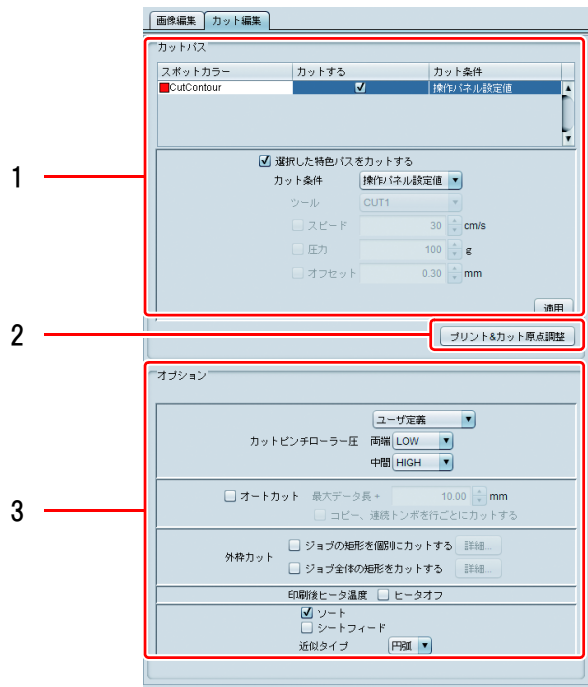
プリント&カットデータの読み込み

面付け	合成	ジョブ名	サムネイル	属性
[]	kajlk_cut.eps		カラー
		kajlk_cut.eps		カット

RasterLink6Plus に読み込むと、元は 1 つのデータファイルですが、カラーとカット 2 つのジョブとして読み込まれ、自動的に合成ジョブとなります。
 カットジョブのサムネイルにはカットを示すアイコン が表示されます。

編集

● カット編集画面



1. カットパス

カットデータをどのようにカットするかを指定します。

カット用特色リスト カット用の特色を表示します。
特色毎にカット条件が指定できます。
このリストから編集対象の特色を選択してから以下の設定を行います。

**選択した特色パスを
カットする** ON にすると、カット用特色リストで選択した特色のパスをカットします。

カット条件 カットの条件を指定します。

ツール カッターを選択します。

スピード カッティングスピードを設定します。

圧力 カット刃の圧力を指定します。

オフセット カット刃の中心位置を補正します。

適用ボタン 設定を適用します。

カット条件については、メディアおよびカッターにより適切な値がありますので、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

2. プリント&カット原点調整 (CJV300、CJV150、UCJV300、UCJV150、CJV300 Plus)

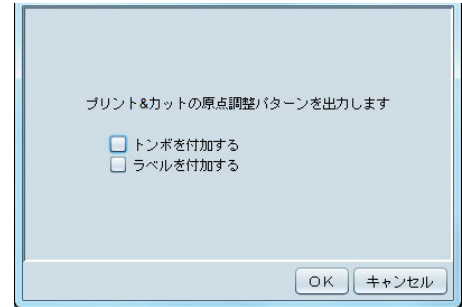
調整パターンをプリント&カットし、プリントとカットの原点を調整します。

重要!

- 印刷条件を設定した後にプリント & カット原点調整を実行してください。
- プリント&カット原点調整後に解像度、パスを変更した場合、再度プリント & カット原点調整を実行する必要があります。
- 調整パターンのプリント & カット完了後、プリント & カット原点調整用のジョブはジョブ一覧から自動で削除します。ただし、調整パターンをプリント & カット中にデータクリアを実行した、もしくはエラーが発生した場合は、プリント & カット原点調整用のジョブは手動で削除してください。

[プリント & カット原点調整] をクリックすると右のダイアログを表示します。

- トンボを付加する** ON にすると、トンボを付加して印刷します。
- ラベルを付加する** ON にすると、調整パターンの左上に解像度、パス数、波形の情報を印刷します。
- [OK]** クリックすると、調整パターンをプリント&カットします。



3. オプション

カットピンチローラ圧 カット時のピンチローラ圧を指定します。

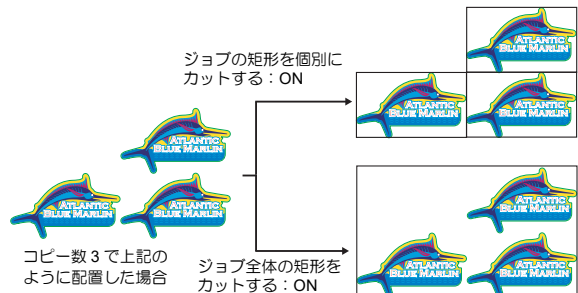
オートカット

- ON にすると、カット終了後、自動的にメディアを裁断します。
 - 最大データ長+：データの終端からカットする位置までの長さを指定します。
 - コピー、連続トンボを行ごとにカットする：ON にするとコピー配置されている画像を 1 行印刷ごとに裁断します。

外枠カット

データ内のカットデータのほかに、画像の境界矩形およびジョブ全体の矩形をカットするか選択します。

[詳細] をクリックするとカット条件を設定できます。



印刷後ヒータ温度

ON にすると、カッティング実行時、ヒータを全て OFF にします。



- メディアによっては、ヒータ温度が高いと、ゆがみによりカット精度が低下します。この場合、ヒータオフを ON にしてください。

ソート

ON にすると、カッティング時間が短縮されるように、適にカット順を並べ替えます。

シートフィード

全図形がカット可能か、カット前にメディアをフィードさせ確認します。

近似タイプ

曲線をカッティングする際の方法を選択します。

- 直線：小さな直線に近似します。カット品質は落ちますが、カットは高速です。
- 円弧：小さな円弧に近似します。低速ですが、カット品質が上がります。



- プリント&カットした調整パターンを確認し、プリンタの入力画面でXとYの調整値を入力してください。

● 他の機能との組み合わせ

プリント&カットと組み合わせることで使える機能は次の通りになります。

機能	組合せ可否
面付け (*)	○
クリップ	×
分割印刷	×
ステップ&リピート	×
版作成	○
合成 (**)	○
色置換	○

(*) プリント & カットジョブ同士のみ行えます。

(**) プリント&カットとプリントジョブの組み合わせのみ行えます。

プリント&カットの出力方法

実行画面に移り、プリント&カットを実行します。
プリント&カットの実行については P.130 をご覧ください。

Twin ロール印刷

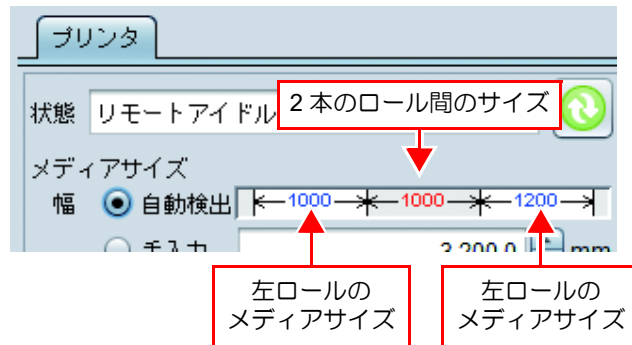
機能

SIJ-320UV/UJV55-320 では、一度に 2 本のロールメディアをセットして印刷できます。これを“Twin ロール印刷”といいます。

プリンタに 2 本のロールをセットした後、プリンタステータスを取得すると、Twin ロール印刷の設定ができるようになります。

重要!

- 本機能は、SIJ-320UV/UJV55-320 に 2 本ロールをセットし、プリンタステータスが取得できる場合のみ使用できます。
- プリンタステータスが取得できているかは、プリンタステータス画面で確認できます。



Twin ロール印刷できないジョブ

以下の条件のジョブを選択している場合、Twin ロール印刷できません。

- ステップ&リピート編集が有効になっている。

Twin ロール印刷で設定できない条件

Twin ロール印刷にて以下の条件に設定すると、トンボを印刷できません。

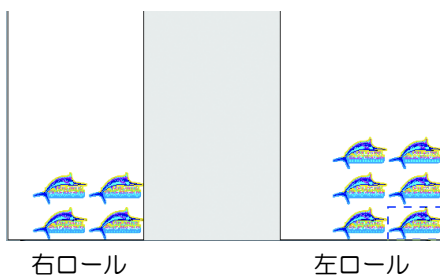
- コピーを複数部設定し、移動方法は“個々に移動する”を選択している。
- 面付けを設定している。
- FOTOBA マークを印刷する。

画像配置例

Twin ロール印刷では、以下の 3 通りの方法で画像を配置して印刷できます。

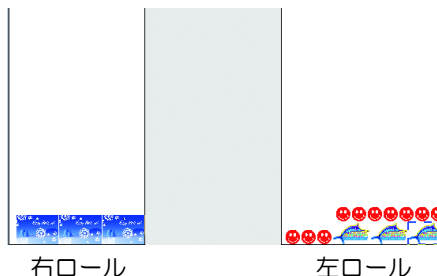
配置例 1.

2 本のロールに 1 つの画像を複数部コピーして印刷する。



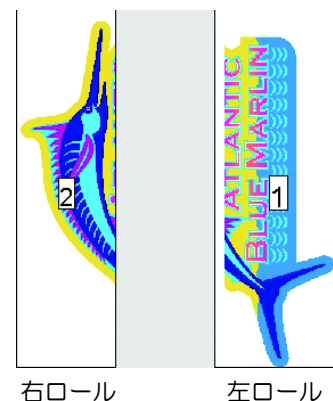
配置例 2.

2 本のロールに複数の画像を面付けして印刷する。



配置例 3.

2 本のロールに分割した画像を印刷する。



Twin ロール印刷の手順

画像配置例毎に、印刷までの手順を説明します。

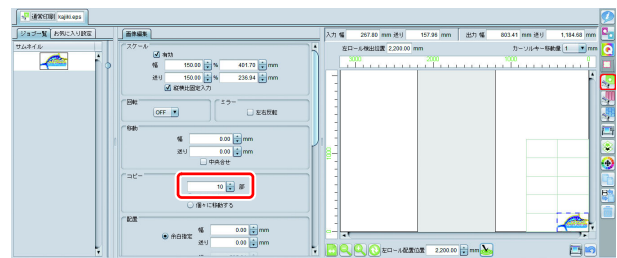
配置例 1

1 ジョブ一覧より、印刷するジョブを1つ選択します。

2 機能アイコンより  (通常印刷) を選択します。

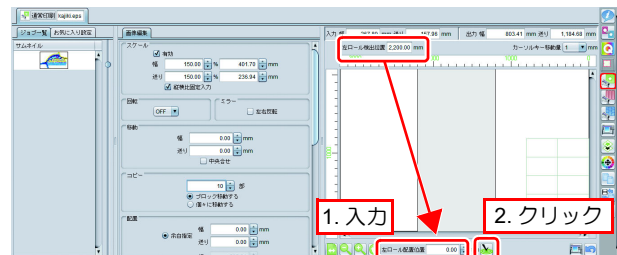
3 通常印刷画面にて、コピーを複数部設定します。

- 右ロール内に画像がネストして配置されます。



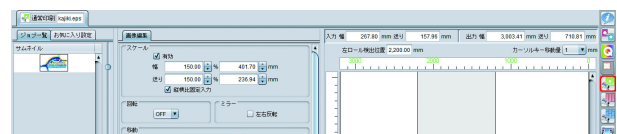
4 “左ロール検出位置” を参照して、左ロールの印刷原点を [左ロール配置位置] に入力します。


重要! ・[左ロール配置位置] には “左ロール検出位置” に表示されている値以上の値を入力してください。



5  (最適化ボタン) をクリックします。

6 コピーの移動方法で [個々に移動する] を選択する。



7  (最適化ボタン) をクリックします。

- 左ロールにも画像が配置されます。




8 印刷を実行します。

配置例 2

1 ジョブ一覧より、印刷するジョブを複数個選択します。



2 機能アイコンより  (面付け) を選択します。

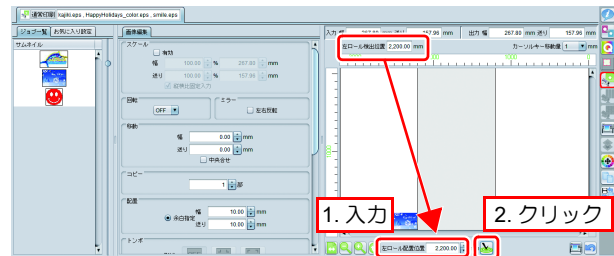



3 面付け をクリックします。

4 機能アイコンより  (通常印刷) を選択します。

5 “左ロール検出位置” を参照して、左ロールの印刷原点を [左ロール配置位置] に入力します。

重要! ・[左ロール配置位置]には“左ロール検出位置”に表示されている値以上の値を入力してください。



6  (最適化ボタン) をクリックします。

・ジョブが左右のメディアに分かれて配置されます。



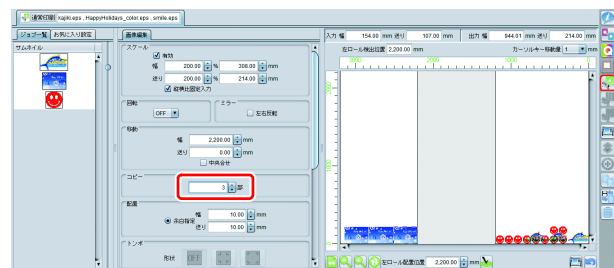
・ジョブ一覧の奇数番目のジョブが「右ロール」、偶数番目のジョブが「左ロール」配置されます。


7 コピーしたいジョブを選択し、コピーを複数部設定します。

・各ロール内で現在の配置位置からネスト配置されます。

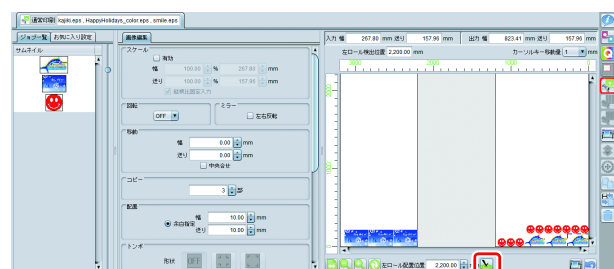


・他のジョブに関係なくネスト配置されるため、重なって配置されません。



8  (最適化ボタン) をクリックします。


・各ロール内のジョブが順番にネスト配置されます。



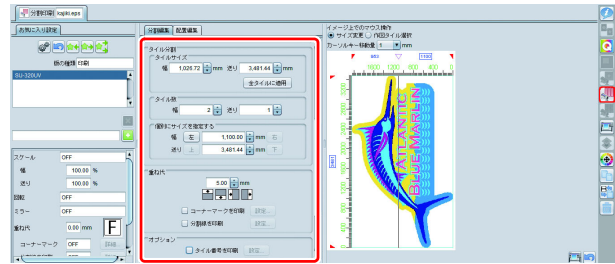
9 印刷を実行します。

配置例 3

1 ジョブ一覧より、印刷するジョブを1つ選択します。

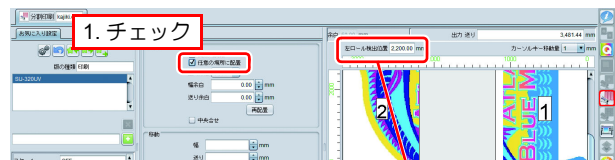
2 機能アイコンより  (分割印刷) を選択します。

3 分割編集タブにて、[編集]を有効にし、タイリング編集の設定を行います。



4 配置編集タブにて、以下のように設定します。

- [任意の場所に配置]: 有効
- 整列方法: ネスト



5 “左ロール検出位置”を参照して、左ロールの印刷原点を[左ロール配置位置]に入力します。



重要! • [左ロール配置位置]には“左ロール検出位置”に表示されている値以上の値を入力してください。

• タイルが左右のロールに分かれて配置されます。



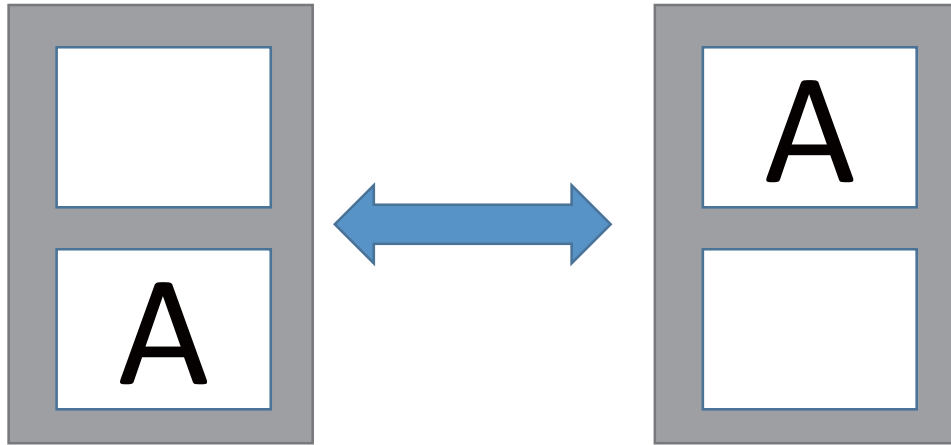
• ジョブ一覧の奇数番目のジョブが「右ロール」、偶数番目のジョブが「左ロール」配置されます。

6 印刷を実行します。

トグルプリント

機能

JFX200-2531 では、プリントエリアを2分割し、プリントごとにエリアを切り替えることができます。一方のエリアでプリントをおこなっている間に、もう一方のエリアにメディアをセットすることで、メディアセットにかかる時間を短縮することができます。



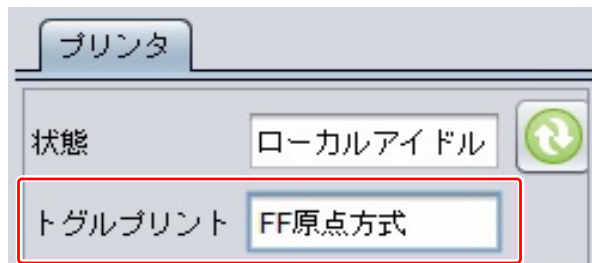
FRONT 側のエリアをプリントしている間に、REAR 側のエリアへメディアをセットする

REAR 側のエリアをプリントしている間に、FRONT 側のエリアへメディアをセットする

重要!

• 本機能は、プリンタ側でトグルプリント機能を有効にし、プリンタステータスが取得できる場合のみ使用できます。

プリンタステータスが取得できているかは、プリンタステータス画面で確認できます。



• プリンタ本体でトグルプリント機能が有効な場合、プリント可能なサイズが変わります。

	トグルプリント	
	OFF	ON
最大作図範囲	2500mm X 3100mm	FRONT 側 : 2500mm X 1300mm REAR 側 : 2500mm X 1300mm

トグルプリントの詳細についてはプリンタの取り扱い説明書をご覧ください。

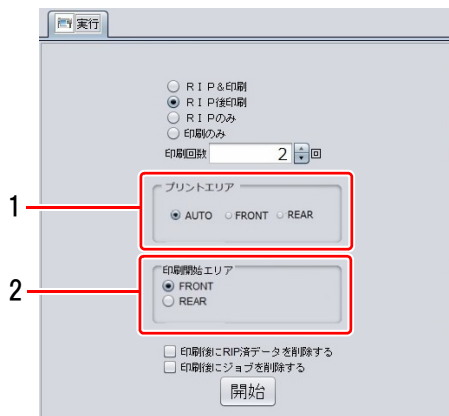
トグルプリントできないジョブ

以下の条件のジョブを選択している場合、トグルプリントできません。

- ステップ&リピート編集が有効になっている。
- タイリング編集が有効になっている

トグルプリントの設定

実行画面のプリントエリアの設定を説明します。



1. プリントエリア

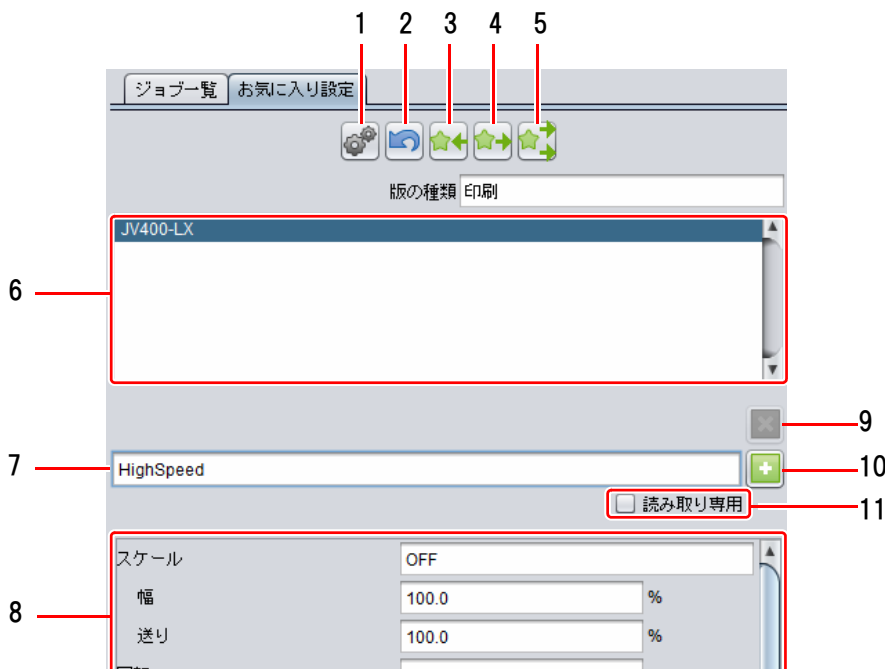
- AUTO** 印刷ごとにプリントエリアを切替えて印刷します。
- FRONT** FRONT側のエリアのみに印刷します。
- REAR** REAR側のエリアのみに印刷します。

2. 印刷開始エリア

プリントエリアで“**AUTO**”を選択したとき、印刷を開始するプリントエリアを選択します。

★ 各種設定に名前をつけて使用する - お気に入り

RasterLink6Plus は各種設定値を、[お気に入り設定] へ登録することができます。登録されたお気に入りを呼び出すことで、よく使う条件を簡単に設定することができます。



1. ホットフォルダ設定

選択されている [お気に入り設定] のホットフォルダとプリンタドライバを、作成または削除します。

作成されたホットフォルダまたはプリンタドライバに対しデータをスプールすると、[お気に入り設定] の設定値が、スプールしたジョブに適用されます。

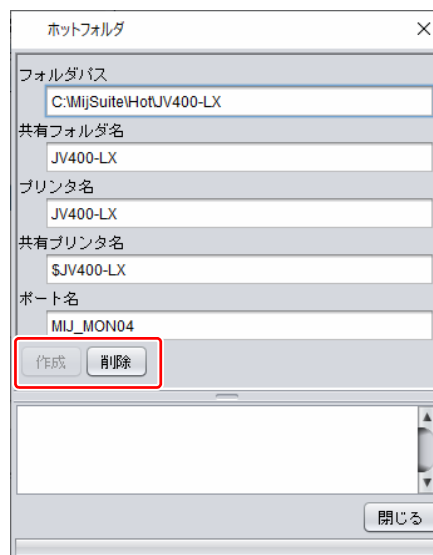
[ホットフォルダ設定] アイコンをクリックすると右記の [ホットフォルダ] 画面が表示されます。

[作成] ボタンをクリックすると、ホットフォルダとプリンタドライバが作成されます。

すでに作成済みの場合は、[削除] ボタンで削除できます。

重要!

• ホットフォルダおよびプリンタドライバを作成する場合は、RasterLink6Plus を管理者権限で起動してください。



2. 保存取り消し

直前の保存を取り消します。

3. 保存

編集集中の画面の設定値を選択中の [お気に入り設定] に保存します。

4. 適用

選択中の [お気に入り設定] の設定値を、編集集中の画面の設定項目に適用します。

5. すべて適用

編集集中の画面の設定項目だけでなく、他の画面の設定項目で、選択中の [お気に入り設定] から適用可能な設定を編集集中のジョブに適用します。

6. お気に入り設定リスト

[お気に入り設定] のリストを表示します。

初期設定として、登録したプリンタと同名のお気に入りが設定されています。この設定は編集可能です。

7. 追加名称

追加する [お気に入り設定] の名称を入力します。

8. 設定値

選択されている [お気に入り設定] に保存されている、設定項目と設定値を表示します。

9. 削除

選択されている [お気に入り設定] を削除します。

ホットフォルダおよびプリンタドライバが作成されている場合は、同時に削除します。プリセットの [お気に入り設定] (プリンタと同じ名称) は削除できません。


10. 追加

編集集中のジョブの設定値で [お気に入り設定] を新規追加します。


11. 読み取り専用

チェックボックスをオンにすると、選択した [お気に入り設定] を読み取り専用にします。[お気に入り設定] の変更、削除を防ぎたい場合に使用してください。


お気に入りの作成

- 1 お気に入り設定画面がある機能を機能アイコンより選択します。
- 2 [追加名称]欄に登録するお気に入り名称を入力し  (追加ボタン) を押します。
 - ・リストにファイルが追加されます。


お気に入りの保存方法

- 1 機能アイコンより、設定をお気に入りに保存したい画面を開きます。
- 2 各編集画面にて、保存する値を設定します。
- 3 お気に入り設定画面で、お気に入りを作成する、もしくはリストからお気に入りを選択します。
- 4  (保存ボタン) を押します。
 - ・[設定値]欄に保存された値が表示されます。

お気に入りのジョブへの適用方法

- 1 機能アイコンより、お気に入りを適用したい画面を開きます。
- 2 お気に入り設定画面のリストより、適用するお気に入りを選択します。
- 3  (適用ボタン) を押します。
 - ・[設定値]欄に保存された値が編集画面に設定されます。



・編集集中の画面の設定項目だけでなく、他の画面の設定項目も同時に適用したい場合、 (全て適用ボタン) を押します。

カラーチャートを印刷する

カラーチャートとは

カラーチャート機能を使用すると、指定した色（基準色）を中心に、一定の値で色成分を変化させた色見本を作成できます。

例えば、印刷した色が目標とした色とは微妙に異なることがあった場合、その色を中心としたカラーチャートを作成し、目標となる色を探すことができます。

作成できるカラーチャート

カラーチャートの種類

変更する色成分の種類により 3 種類のチャートが作成できます。

● CMYK カラーチャート

CMYK カラーモードのチャート画像 (PDF 形式) およびジョブを作成します。

【用途】

CMYK カラーチャートを元に、スプール前の CMYK カラーモードの画像の色をデザインソフトなどで変更して、目的の色を出力します。

● RGB カラーチャート

RGB カラーモードのチャート画像およびジョブを作成します。

【用途】

RGB カラーチャートを元に、スプール前の RGB カラーモードの画像の色をデザインソフトなどで変更して、目的の色を出力します。

● 特色カラーチャート

出カインク濃度を指定したチャートのジョブを作成します。

【用途】

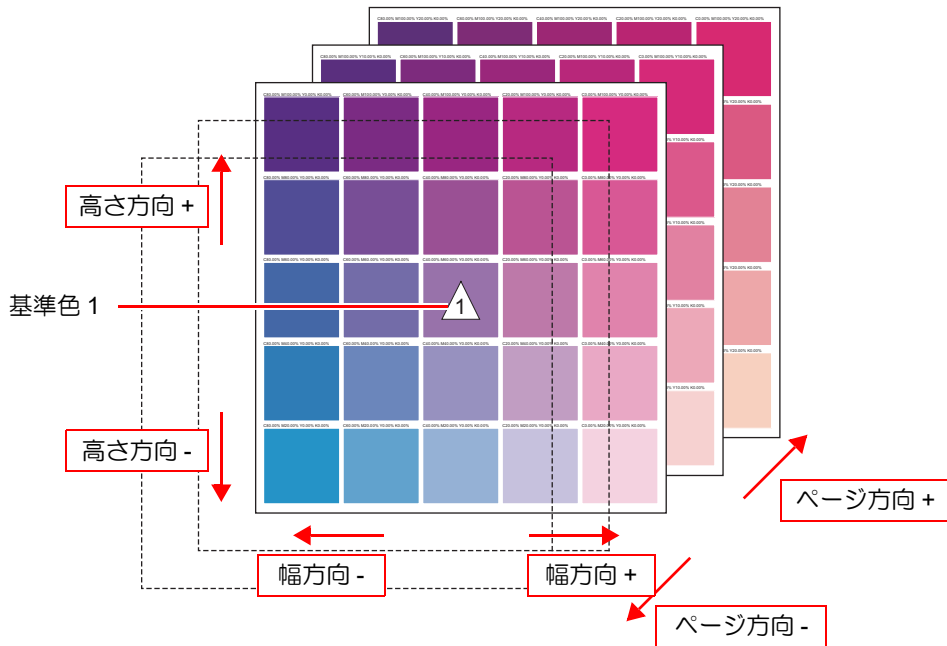
チャートを元に、色置換 (P.107) にて、置換後の色としてインク濃度を指定します。特にホワイト / シルバーなどの特色を使用した色置換を行いたい場合の色味の確認として使用できます。

カラーチャートのパターン

基準点の個数により、以下の3パターンのチャートが作成できます。

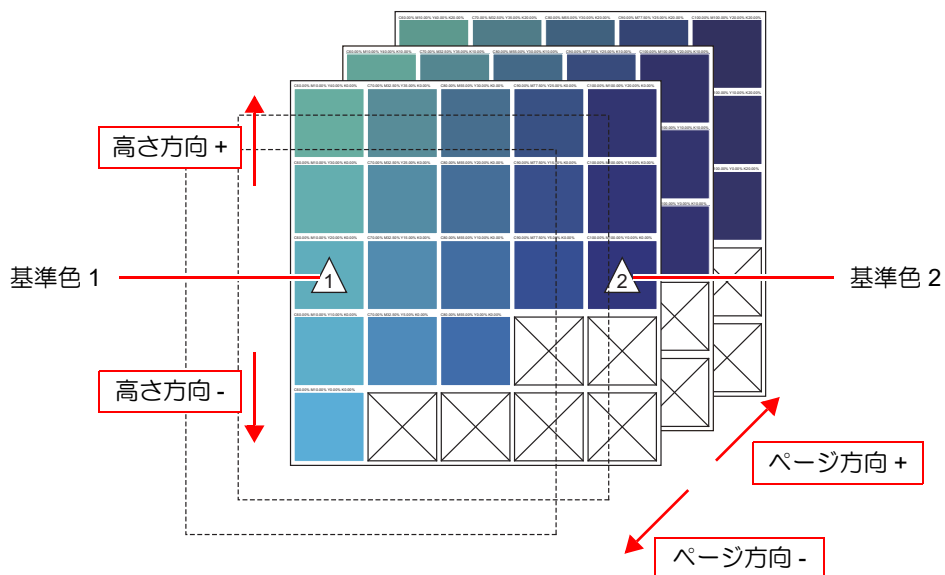
● 基準色が1つの場合

基準色を中心に高さ方向 / 幅方向 / ページ方向の3方向の色変化を指定します。



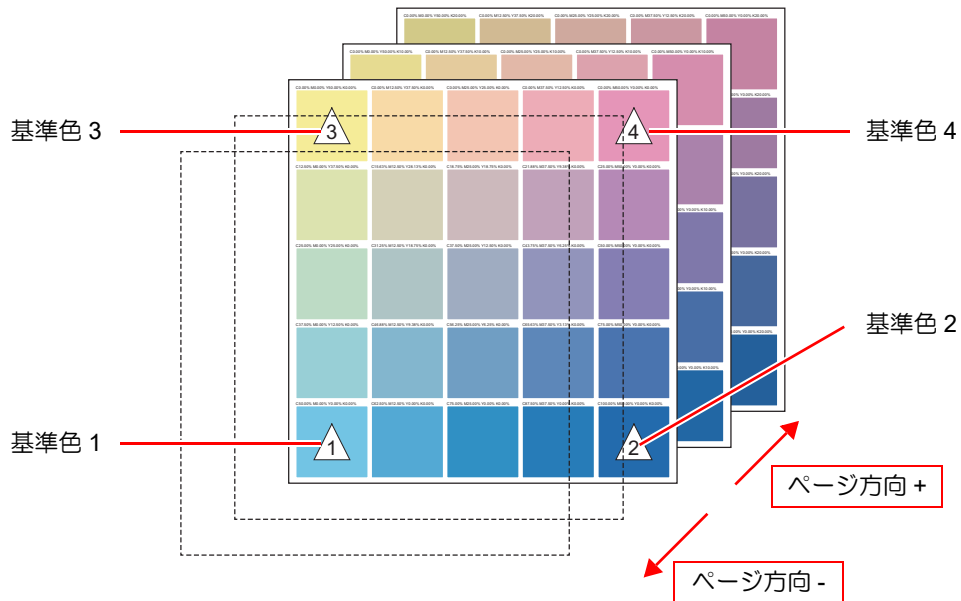
● 基準色が2つの場合

2つの基準色間の色変化を高さ方向とし、幅方向 / ページ方向の2方向の色変化を指定します。



● 基準色が4つの場合

4つの基準色間の色変化を幅方向 / 高さ方向とし、ページ方向の色変化を指定します。



CMYK/RGB カラーチャート

CMYK および RGB カラーチャートは同様の設定方法となります。

設定画面表示方法

● CMYK カラーチャートの場合

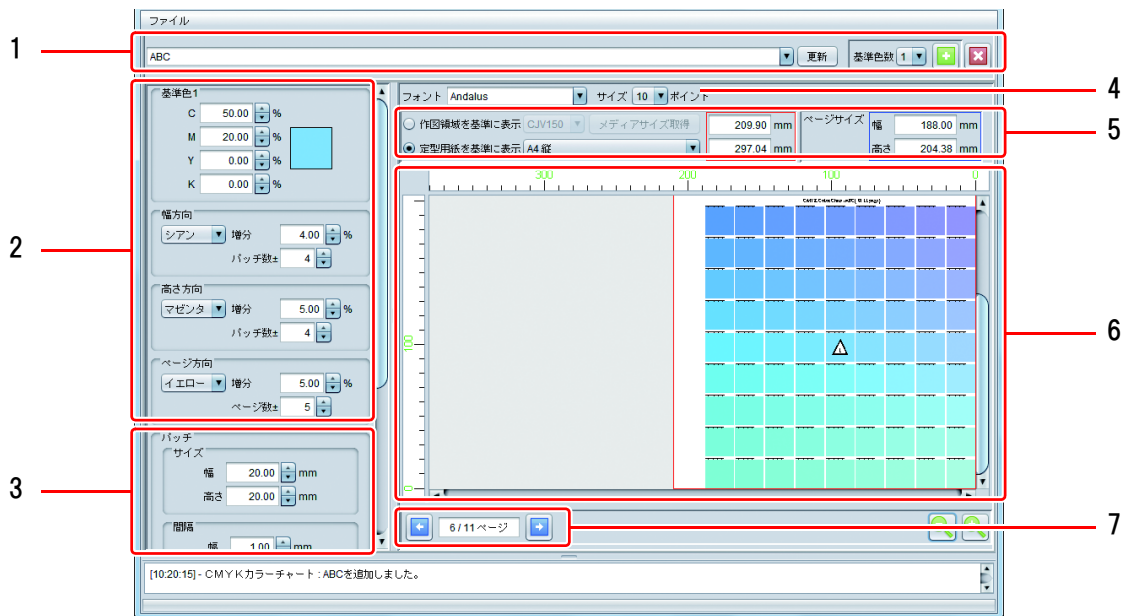
[ツール]メニューより [CMYK カラーチャート] を選択します。

● RGB カラーチャートの場合

[ツール]メニューより [RGB カラーチャート] を選択します。

画面

● 画面構成



1. チャート追加 / 選択 / 削除画面

**チャート名入力 / 選択
コンボボックス**


既存のチャート設定ファイルを選択する、もしくは新規のチャート設定ファイルを作成するためにチャート名を入力します。

更新


現在選択されているチャートの設定を保存します。

基準色数

基準色の個数を設定します。
基準色の個数については P.144 をご覧ください。

チャートの追加 

チャート名入力 / 選択コンボボックスの名称で、基準色数コンボボックスの基準色のチャート設定ファイルを作成します。すでに同名のチャート設定ファイルがあった場合、上書きするか確認します。上書きした場合、各種値は初期値となります。

チャートの削除 

現在選択されているチャート設定ファイルを削除します。

2. 設定画面:カラー設定

基準色の個数により設定画面は異なります。

基準色が1つの場合

基準色が2つの場合

基準色が4つの場合

基準色

基準色を設定します。
色の矩形をクリックするとカラー選択ダイアログが表示されます。



幅方向

基準色を中心として、各方向で変更する色成分を1つ指定し、1パッチごと濃度の増分および、その方向のパッチの数を指定します。

高さ方向

ページ方向

基準色があるページを中心として、ページ方向で変更する色成分1つの指定と1ページごとの濃度の増分、前後のページ数を指定します。

3. 設定画面レイアウト

パッチ

サイズ

幅 20.00 mm

高さ 20.00 mm

間隔

幅 1.00 mm

高さ 2.00 mm

余白

上 0.00 mm

下 0.00 mm

左 0.00 mm

右 0.00 mm

オプション

基準色マークを印刷する

パッチ

1つのカラーパッチの大きさとパッチ間の大きさを指定します。

余白

ページの上下左右からの余白を指定します。

基準色マークを印刷する

基準色の色に△マークをつけて印刷するかを指定します。
(プレビューではこれが ON/OFF であるかかわらず基準色マークが表示されます)

4. フォント

カラーチャートで使用する文字のフォントと、各ページの見出しの大きさを指定します。

5. プレビュー表示領域設定

プレビュー画面に表示する領域を設定します。

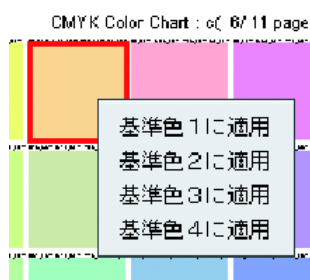
作図領域を基準に表示 : 選択したプリンタのメディアサイズを取得し、その領域を有効領域として表示します。

定型用紙を基準に表示 : 選択した定型サイズと向きを有効領域として表示します。

重要!

ここで指定する領域はプレビュー上の表示領域であり、実際のページサイズとは異なります。実際のページサイズは青で囲まれた [ページサイズ] となります。

6. チャートプレビュー



パッチを左クリックすると、そのパッチが選択されメッセージエリアに色成分の各濃度が表示されます。

また、右クリックするとポップアップメニューが表示され、選択した色を基準色に設定できます。

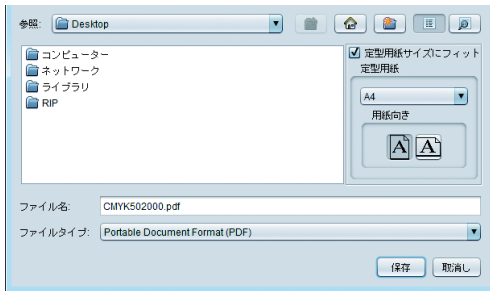
7. ページ切り替え

ページ方向の色の増分を指定した場合、ページを切り替えることができます。

PDF ファイルの作成

設定を元にカラーチャートを PDF 形式の画像として保存できます。

- (1) カラーチャートの [ファイル] メニューより [PDF ファイル作成 ...] を選択します。
- (2) 「保存するファイル名を指定」ダイアログが表示されます。

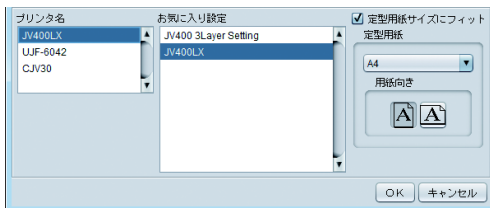


- (3) ページを定型用紙にフィットさせたい場合、場合はチェックをして、定型用紙サイズを指定してください。
- (4) ファイル名称を入れて [保存] を押します。
- (5) PDF として保存されます。

ジョブの作成

設定を元にカラーチャートを PDF 形式の画像として作成し、それを自動的に読み込みジョブを作成します。

- (1) カラーチャートの [ファイル] メニューより [ジョブの作成] を選択します。
- (2) [印刷する条件を選択] ダイアログが表示されます。



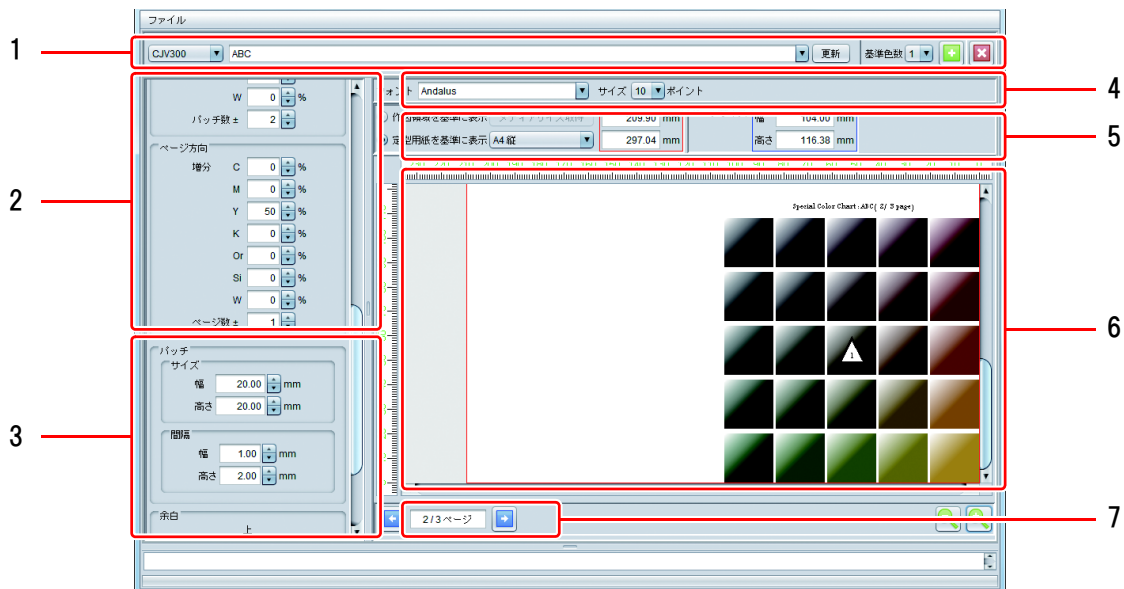
- 出力先のプリンタと、印刷条件などが合致するお気に入り設定を選択します。
 - ページを定型用紙にフィットさせたい場合、チェックして定型用紙サイズを指定します。
- (3) [OK] ボタンを押します。
 - (4) メイン画面を表示させると、選択したプリンタのジョブ一覧にチャートファイル名のジョブが作成されます。
 - 一般的な複数ページジョブと取り扱いは同じです。

特色カラーチャート

設定画面表示方法

[ツール]メニューより[特色カラーチャート]を選択します。

画面



1. チャート追加 / 選択 / 削除画面

プリンタ選択
コンボボックス

特色カラーチャートはプリンタのインクセットに依存するため、対象となるプリンタを選択します。

チャート名入力 / 選択
コンボボックス


既存のチャート設定ファイルを選択する、もしくは新規のチャート設定ファイルを作成するためにチャート名を入力します。

更新

現在選択されているチャートの設定を保存します。

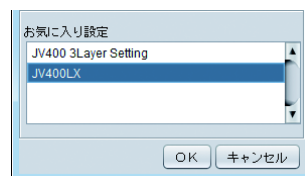
基準色数

基準色の個数を設定します。
基準色の個数については P.144 をご覧ください。

チャートの追加 

チャート名入力 / 選択コンボボックスの名称で、基準色数コンボボックスの基準色のチャート設定ファイルを作成します。すでに同名のチャート設定ファイルがあった場合、上書きするか確認します。上書きした場合、各種値は初期値となります。

押すと[カラーチャートの条件を選択]ダイアログが表示されます。



使用するインクセットを決定するため、お気に入り設定を選択します。

チャートの削除 

現在選択されているチャート設定ファイルを削除します。

2. 設定画面

基準色の個数により設定画面は異なります。

基準色が1つ

基準色が2つ

基準色が4つ

プロファイルのインクリオンにするとプロファイルのインクリミットを使用します。
ミットを適用 インクあふれを緩和します。

重要!

・特色インクセットのインクが3スロット以上ある場合、“プロファイルのインクリミットを適用”は常にONになり、操作できません。

基準色

基準色となるインク濃度を設定します。
色の矩形をクリックすると「カラーコレクション」ダイアログが表示されます。
基準色とするインク色濃度を選択します。

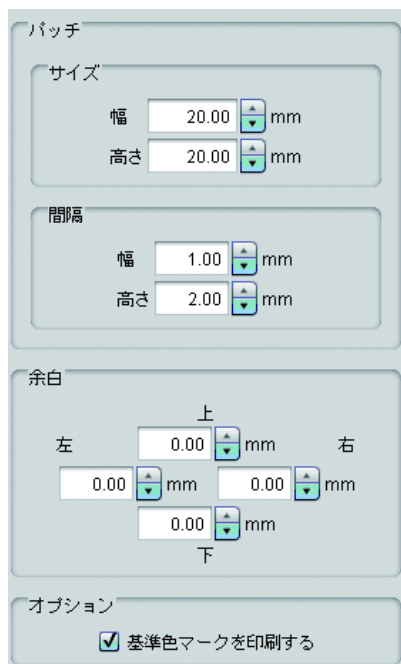
幅方向
高さ方向

基準色を中心として、各方向で変更する色成分を1つ指定し、1パッチごと濃度の増分および、その方向のパッチの数を指定します。

ページ方向

基準色があるページを中心として、ページ方向で変更する色成分1つの指定と1ページごとの濃度の増分、前後のページ数を指定します。

3. 設定画面レイアウト



パッチ

1つのカラーパッチの大きさとパッチ間の大きさを指定します。

余白

ページの上下左右からの余白を指定します。

基準色マークを印刷する

基準色の色に△マークをつけて印刷するかを指定します。
(プレビューではこれが ON/OFF であるかかわらず基準色マークが表示されます)

4. フォント

カラーチャートで使用する文字のフォントと、各ページの見出しの大きさを指定します。

5. プレビュー表示領域設定

プレビュー画面に表示する領域を設定します。

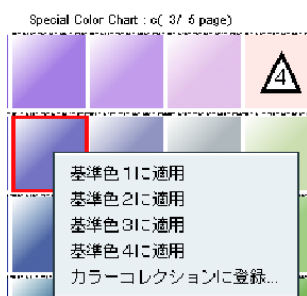
作図領域を基準に表示 : 選択したプリンタのメディアサイズを取得し、その領域を有効領域として表示します。

定型用紙を基準に表示 : 選択した定型サイズと向きを有効領域として表示します。

重要!

ここで指定する領域はプレビュー上の表示領域であり、実際のページサイズとは異なります。実際のページサイズは青で囲まれた [ページサイズ] となります。

6. チャートプレビュー



パッチを左クリックすると、そのパッチが選択され、メッセージエリアに色成分の各濃度が表示されます。

また、右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

基準色に適用

: 選択した色を基準色に設定できます。

カラーコレクションに登録

: 選択した色をカラーコレクションに登録します。

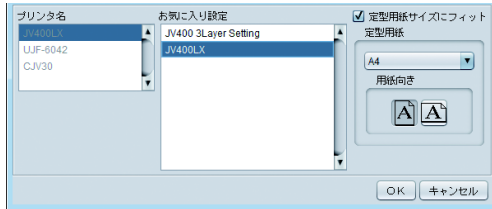
7. ページ切り替え

ページ方向の色の増分を指定した場合、ページを切り替えることができます。

ジョブの作成

設定を元にカラーチャートを PDF 形式の画像として作成し、自動的に読み込みジョブを作成します。

- (1) カラーチャートの [ファイル] メニューより [ジョブの作成] を選択します。
- (2) [印刷する条件を選択] ダイアログが表示されます。
 - 出力先のプリンタは特色カラーチャートで指定されたもので固定化されます。
 - 印刷条件などが合致するお気に入り設定を選択します。ページを定型用紙にフィットさせたい場合、チェックして定型用紙サイズを指定します。



- (3) [OK] ボタンを押します。
- (4) メイン画面を表示させると、選択したプリンタのジョブ一覧にチャートファイル名のジョブが作成されます。
 - 一般的な複数ページジョブと取り扱いは同じです。
 - 色置換画面でインク濃度設定されます。

カラーコレクション

カラーコレクションとは

カラーコレクションとは色置換 (P.107) の置換情報をまとめたものです。用途、置換元 / 置換後のカラー情報別にコレクションファイルを作成できます。

カラーコレクションの種類

カラーコレクションは置換元と置換後の情報の組み合わせにより以下の条件のコレクションファイルが作成できます。

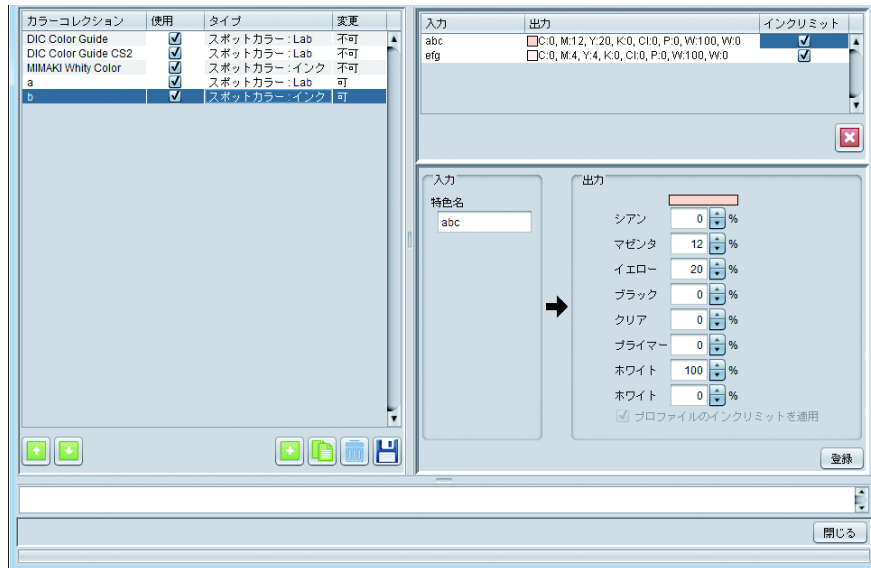
- **スポットカラー：インク**
スポットカラーをインク色へ色置換します。
- **スポットカラー：Lab**
スポットカラーを Lab 値へ変換します。
- **CMYK：インク**
CMYK カラーモードの画像内の色をインク色へ置換します。
- **CMYK：Lab**
CMYK カラーモードの画像内の色を Lab 値へ変換します。
- **グラデーション**
グラデーション色置換の置換情報を保存します。

カラーコレクションファイルの作成とカラーの登録

カラーコレクション画面の表示

[ツール]メニューより[カラーコレクション...]を開きます。
 もしくは、色置換画面より  を押します。


画面



● カラーコレクションリスト

現在、メインウィンドウで表示されているプリンタで使用できるカラーコレクション一覧を表示します。

各列について

カラーコレクション	カラーコレクションファイル名を表示します。
使用	ON にすると、読み込んだ画像内にカラーコレクション内と同一カラー情報があった場合に、その出力データで自動的に色置換します。
タイプ	カラーコレクションの種類 () を表示します。
変更	カラーの追加/削除/変更が行えるか表示します。

● プリセットのカラーコレクションについて

以下のカラーコレクションがプリセットされています。

- DIC カラーガイド用スポットカラー *1、*4 (タイプ: Lab)

カラーコレクション名	Illustrator バージョン
DIC Color Guide	8 ~ CS 対応
DIC Color Guide CS2	CS2 ~ 対応

- PANTONE® カラー用スポットカラー *1 (タイプ: Lab)

カラーコレクション名	色数
PANTONE+ Solid Coated-V3	1867
PANTONE+ Solid Uncoated-V3	

- 特色インク (ホワイト、クリア、プライマー) のみに色置換できるスポットカラー *2、*3 (タイプ: インク)

カラーコレクション名	Illustrator 用スウォッチファイル	備考
Mimaki RasterLink	MIMAKI RasterLink Library	スウォッチファイルには「CutContour」が含まれます。

- ホワイトインクを使用したスポットカラー *2、*3 (タイプ: インク)

カラーコレクション名	Illustrator 用スウォッチファイル
Mimaki Whity Color	MIMAKI Whity Library 370

- シルバーインクを使用したスポットカラー *2、*3 (タイプ: インク)

カラーコレクション名	Illustrator 用スウォッチファイル	使用可能環境
ES3 Metallic Color	ES3 Metallic Library 280	• ES3 のシルバーインク使用時
SS21 Metallic Color	MIMAKI Metallic Color Library	• SS21 のシルバーインク使用時
SS21 Metallic Color (No Silver)		• SS21 のシルバーインク使用時 *5
Metallic Color (No Silver)		• MUH-100(シルバーインク) 使用時 *5
SS21 Metallic Orange Color	MIMAKI SS21 Metallic Orange Color	• SS21 のオレンジインクおよびシルバーインク使用時
SS21 Metallic Orange Color (No Silver)		• SS21 のオレンジインクおよびシルバーインク使用時 *5

- 蛍光インク (蛍光イエロー、蛍光ピンク) を使用したスポットカラー *2、*3 (タイプ: インク)

カラーコレクション名	Illustrator 用スウォッチファイル	使用可能環境
Artista Textile Print Color Collection	Artista Textile Color Collection	• 昇華転写インク 410、昇華転写インク 54、または昇華転写インク 610の蛍光イエローおよび蛍光ピンク使用時

*1: 初期設定では、読み込んだ画像内にカラーコレクション内と同一カラー情報があった場合に、その出力データで自動的に色置換しない設定になっております。自動的に色置換したい場合、「使用」(P.155) を ON にしてください。






*2: Adobe Illustrator 用スウォッチファイルは以下のフォルダに格納されています。
RasterLink のインストールフォルダ \Swatch\Illustrator

*3: カラーコレクションのスポットカラーを指定したカラーチャート (PDF) は以下のフォルダに格納されています。
RasterLink のインストールフォルダ \ColorChart\Default

*4: マニュアル CD 内に DIC Color Guide 用のチャート PDF を格納しています。

*5: 置換後の色にシルバーインクは含まれません。シルバー版を別で作成する際に使用します。


カラーコレクション操作画面

 (カラーコレクションの適用順変更)	カラーコレクションの [使用] が ON になっている場合、複数のコレクションに同じ条件の色があった場合、リストの上部のコレクションの情報が適用されます。[↑] [↓] ボタンを使ってコレクションの順番を入れ替えることができます。
	新しいカラーコレクションを追加します。 押すと [追加] ダイアログが表示され、カラーコレクションのタイプと名称を入力します。
	現在カラーコレクションリストで選択されているコレクションを複製します。押すと [複製] ダイアログが表示され、新しいコレクションの名称を入力します。
	現在カラーコレクションリストで選択されているコレクションを削除します。[変更] が “ 不可 ” になっているものは削除できません。
	現在カラーコレクションリストで選択されているコレクション用の Adobe Illustrator 用スウォッチファイルを作成します。 以下の条件の場合、作成できません。 ・ [変更] が “ 不可 ” になっているもの ・ タイプが “ グラデーション ”、 “ CMYK: インク ”、 “ CMYK: Lab ” のもの

カラーリスト

カラーコレクションリストで選択されているコレクション内のカラーの一覧を表示します。
 選択したカラーを削除したい場合、[×] を押します。

カラー値入力

カラーコレクションリストで選択されているコレクション内にカラー情報を追加および編集します。
 設定できる値については色置換画面 ( P.107) をご覧ください。

カラーコレクションを使って色置換する

カラーコレクションを使用した色置換方法には 2 通りあります。


カラーコレクションを常時適用する

読み込んだ画像に対して、常に特定のカラーコレクションファイルの設定で色置換したい場合、以下のよう
 に設定します。

- (1) カラーコレクション画面を開きます。
- (2) 常に使用したいカラーコレクションファイルを選択し、[使用] のチェックボックスを ON にします。
- (3) カラーコレクション画面を閉じます。

新規に画像を読み込んだ場合に適用されます。

色置換画面で個別に色置換する

色置換画面にて、カラーコレクションを参照できます。詳しくは色置換機能 ( P.107) をご覧ください。

自動実行

自動実行とは

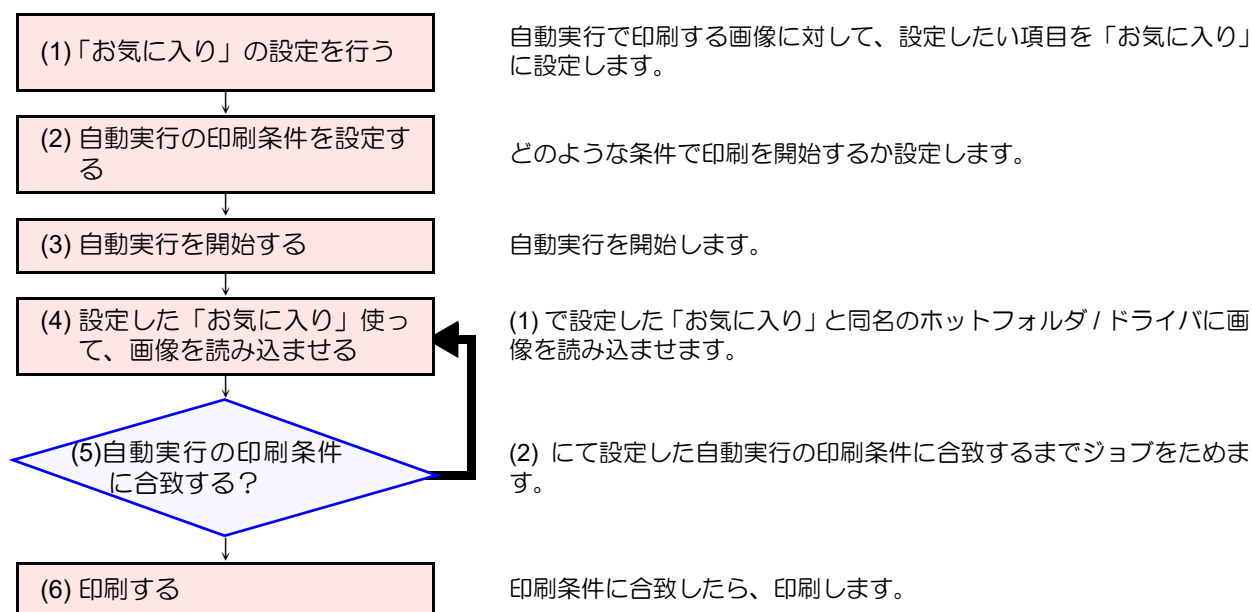
自動実行とは、画像読み込んだ時点で、条件に合致した場合、自動的に RIP を開始し、出力する機能です。通常使う設定が決まっているときに便利です。

重要!

- 自動印刷では以下のことは行えません。
合成、分割印刷、ステップ&リピート、治具配置印刷(フラットベッドプリンタのみ)、Twin ロール印刷、FOTOBA マークの印刷

自動実行の流れ

自動実行は以下の流れで行います。



(1) 「お気に入り」の設定を行う

「お気に入り」を設定します。自動実行で各ジョブに設定される条件は、画像を読み込ませたときに使用した「お気に入り」に関連したホットフォルダ、ドライバ、ファイル選択ダイアログの「お気に入り設定」に依存します。

「お気に入り」の詳細は P.140 をご覧ください。

重要!

ジョブに適用されるお気に入りの設定は以下の通りです。

- 通常印刷
- カラージョブの場合：スケール、ミラー、傾き補正(フラットベッドプリンタのみ)
- プリント&カットジョブの場合：スケール、ミラー、カット条件、トンボ設定
- 印刷条件
- お気に入りの設定された全てのパラメータ

色置換設定については、カラーコレクション⇒ P.154 の設定が適用されます。

(2) 自動実行の条件を設定する

自動実行時、印刷開始の条件を設定します。

● 設定画面の表示

メニューより [環境設定]-[オプション] を選択すると、[オプション] ダイアログが表示されます。オプションダイアログの [自動実行] タブをクリックします。

● 設定内容

1. 実行条件

面付けして印刷	以下のいずれかの条件に合致するまでジョブをため、面積最小 (P.36) で面付けして印刷します。
ジョブの個数	ON にした場合、ジョブを指定個読み込んだ時点で印刷します。
用紙の長さ (Roll to Roll プリンタ)	ON で、かつ、Roll to Roll プリンタの場合、読み込んだジョブを面積最小で面付けした状態で、指定長さに達したら印刷を開始します。具体的な条件については、P.161 をご覧ください。
作図領域フル (フラットベッド プリンタ)	ON で、かつ、フラットベッドプリンタの場合、読みジョブを面積最小で面付けした状態で、お気に入りに設定されている作図領域設定からはみ出す場合、印刷を開始します。
面付けせず、すぐに印刷	画像を読み込んだ時点で RIP &印刷を行います。

重要!

- [面付けして印刷] が ON で、[ジョブの個数] および [用紙の長さ]、[作図領域フル] がすべて OFF の場合、RIP のみ行い、面付けおよび印刷は行いません。印刷する際は、自動実行を停止し、手動で実行画面で印刷を実行してください。
- 面付け画面 (P.35) にて現在設定されている [幅余白] [送り余白] [中央あわせ] の値が適用されます。
- 個々の画像の大きさにより自動的に回転する画像が出てきます。
- 同一のプリンタに複数のお気に入りが存在する場合、画像を読み込む際に使用したお気に入り毎に面付けを行い出力します。
- プリントカッターの場合、プリントジョブ毎、プリント & カットジョブ毎に面付けを行い、出力します。
- 印刷待ち状態 (背景色が水色) のジョブは、編集等の操作ができません。編集する場合は自動実行を停止してください。

2. オプション

画像がメディアからはみ出たら自動実行を停止する

読み込んだ画像が作図可能範囲（Roll to Roll プリンタの場合メディア幅、フラットベッドプリンタの場合、お気に入りに指定されている作図領域設定）を超える場合、自動実行を中止します。

エラー発生時にジョブキューを停止する

エラーが発生した場合、ジョブキューを停止します。そのため、以後の画像の読み込み、RIP、印刷処理が停止します。エラーを確認後、ジョブ キュー画面の再開ボタン (P.125) を押してください。

3. 拡張機能

メディア情報を定期的に取得する

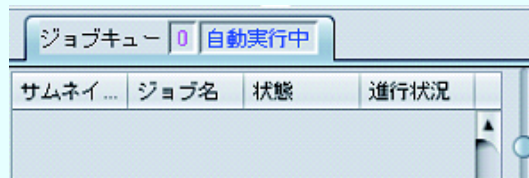
Simple POP を使用する際に使用します。詳細は Simple POP の取扱説明書をご覧ください。

(3) 自動実行を開始する

メニューより [環境設定]-[自動実行]-[開始] を選択します。



- 自動実行中は、ジョブキュー (P.125) のタブに [自動実行中] と表示されます。



- 自動実行の停止は以下のように行います。
メニューより [環境設定]-[自動実行]-[停止] を選択します。

(4) 設定した「お気に入り」使って、画像を読み込ませる

(1) にて設定した「お気に入り」を使用して、画像を読み込ませます。

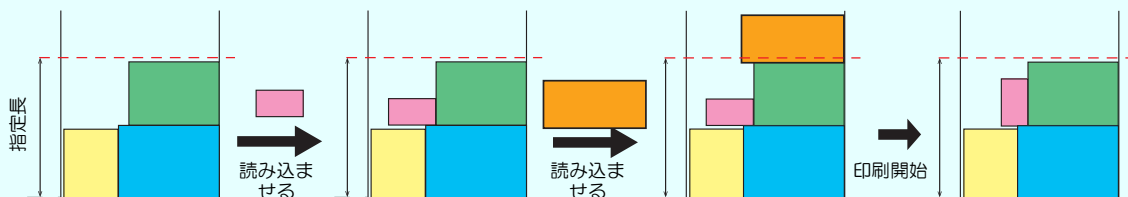
画像読み込み時のお気に入りの指定方法については、「画像を RasterLink6Plus で読み込む」(P.18) をご覧ください。

(5) 自動実行の印刷条件に合致する？

(2) にて指定した、印刷条件に合致するまで、ジョブをためます。

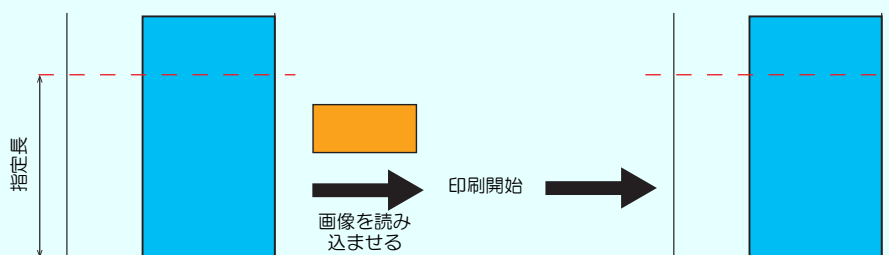


- 印刷条件にて「面付けして印刷」を選択し、「用紙の長さ」を ON にした場合、印刷開始の条件は以下のようになります。



読み込んだ画像は、一度面積最小で再配置されます。
その後、指定長を超える場合、指定長を超えた画像以外の画像を印刷します。

例：1 個目の画像がすでに指定長を超える場合



1 個目の画像が、すでに指定長を超えた場合、2 個目の画像が読みこまれたら、
1 個目の画像の印刷を開始します。
2 個目の画像は、次回印刷されます。

(6) 印刷する

印刷します。

重要!

- 印刷後の条件は、実行画面 (P.123) の [印刷後に RIP 済みデータを削除する] [印刷後にジョブを削除する] が適用されます。
- RIP および印刷を中断したい場合、ジョブキューの停止 (P.125) を実行してください。自動実行の停止では、停止しません。

メニューバー

[ファイル]

[開く]

印刷する画像を選択し、読み込みます。詳しくは P.18 をご覧ください。

[リストア]

バックアップジョブファイルを選択し、読み込みます。詳しくは P.127 をご覧ください。

[終了]

RasterLink6Plus を終了させます。

[機能]

- [機能]メニューは、機能アイコン (P.26) をメニューとして表示したものです。
- [機能アイコン設定] (P.169) により、[機能]メニューを非表示にすることが出来ます。
 - [機能]メニューでは、[機能アイコン設定]にて非表示にした機能も表示されます。

[ツール]

[RGB カラーチャート]

RGB カラーチャート作成機能を起動します。詳しくは P.143 をご覧ください。

[CMYK カラーチャート]

CMYK カラーチャート作成機能を起動します。詳しくは P.143 をご覧ください。

[特色カラーチャート]

特色カラーチャート作成機能を起動します。詳しくは P.143 をご覧ください。

[カラーコレクション]

カラーコレクションを起動します。詳しくは P.154 をご覧ください。

[環境設定]

[自動実行]

自動実行とは、画像を読み込んだ時点で、条件に合致した場合、自動的に RIP を開始し、出力する機能です。詳しくは P.158 をご覧ください。

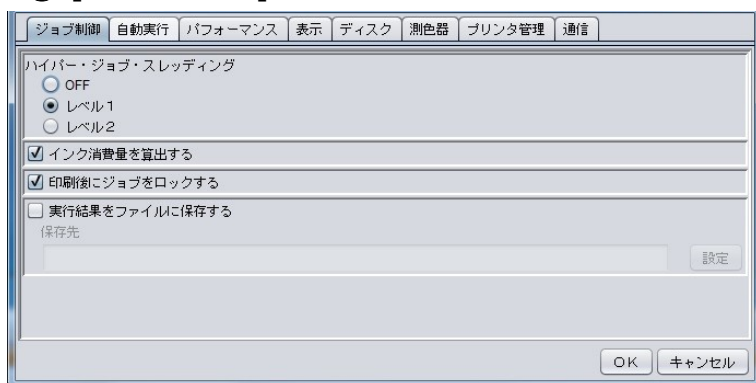
- [自動実行]-[開始]
自動実行を開始します。

- [自動実行]-[停止]
自動実行を停止します。

[オプション ...]

オプション画面を開き、各種設定を行います。
設定が変更されたものは、RasterLink6Plus 再起動後に有効になります。

● [ジョブ制御]



ハイパー・ジョブ・スレッディング

1 台のプリンタに対して複数のジョブを並列実行する際の、ジョブの並列実行方法を指定します。
変更した設定は、変更後に実行したジョブから有効になります。

- OFF** ジョブを並列実行しません。スプール処理と RIP 処理と印刷処理が順次に実行されます。
- レベル 1** RIP 処理と印刷処理を並列実行します。最大で 2 つのジョブが並列実行されます。
- レベル 2** スプール処理と RIP 処理と印刷処理を並列実行します。最大で 3 つのジョブが並列実行されます。

インク消費量を算出する

チェックボックスをオンにすると、おおよそのインク消費量を計算により求め、ジョブのプロパティ画面 (P.27) に表示します。

印刷時にジョブをロックする

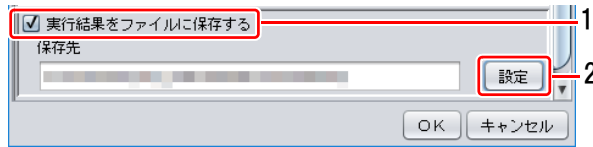
チェックボックスをオンにすると、印刷後のジョブにロックマークが表示され、そのジョブの設定変更や削除ができなくなります。

実行結果をファイルに保存する

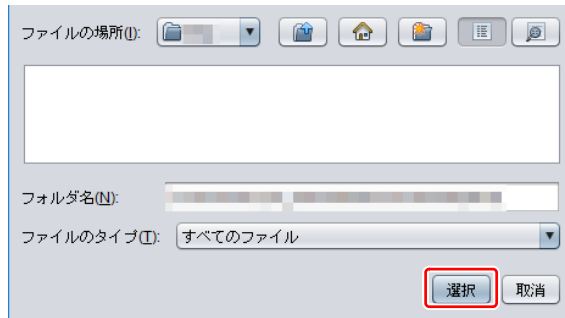
チェックボックスをオンにして保存先を設定すると、印刷やカット完了時に実行結果が CSV 形式で出力されます。

・ファイル出力の設定方法

- (1) [実行結果をファイルに保存する] チェックボックスをオンにします。
- (2) [設定] をクリックします。
 - ・ファイルの保存先選択ダイアログが表示されます。



- (3) 出力ファイルの保存先を選択し、[選択] をクリックします。



- (4) [OK] をクリックします。



出力される情報は以下の通りです。

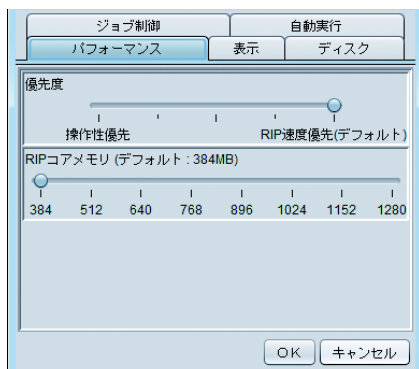
印刷の場合

ファイル名, 結果, インク消費量結果, RIP 開始時間, RIP 終了時間, 印刷開始時間, 印刷終了時間, 実行回数, 結果詳細

カットの場合

ファイル名, 結果, インク消費量結果, カットパス作成開始時間, カットパス作成終了時間, カット開始時間, カット終了時間, 実行回数, 結果詳細

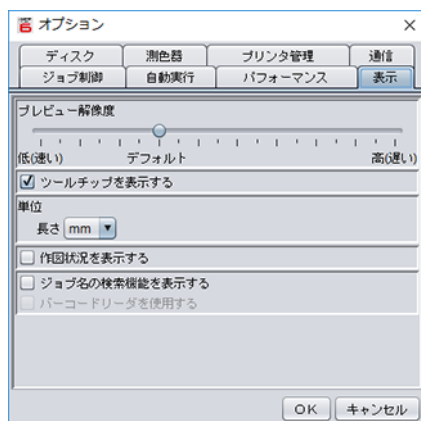
● 【パフォーマンス】



優先度

RIP 中に操作レスポンスが著しく低下する場合、[操作性優先] にすることで操作レスポンスが向上します。ただし RIP 速度は低下するため、特に問題がない場合はデフォルトの設定のままご使用ください。

●【表示】

**プレビュー解像度**

スプール時に作成するプレビュー画像の解像度を指定します。

ツールチップを表示する

ON にすると、マウスポインタ位置の項目に対して簡単な説明を表示します。

単位

長さ (mm、inch) の単位を設定します。

作図状況を表示する

ON にすると、作図状況表示に対応している機種の場合、印刷時、[作図状況]画面 (P.17) を表示します。

ジョブ名の検索機能を表示する

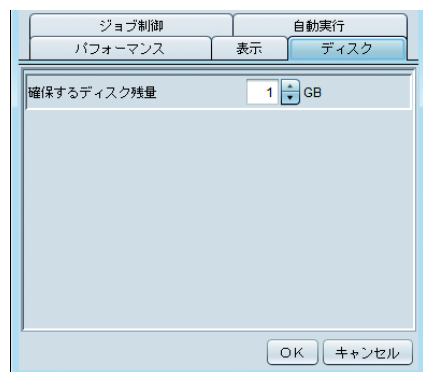
ON にして RasterLink6Plus を再起動すると、ジョブ名検索ウィンドウが表示され、ジョブ名の検索が可能になります。検索方法については「ジョブ名検索について」(P.191) をご覧ください。

バーコードリーダを使用する

ON にすると、一般のバーコード変換ソフト等で作成した、バーコード化した検索条件を RasterLink6Plus に読み込ませることができます。

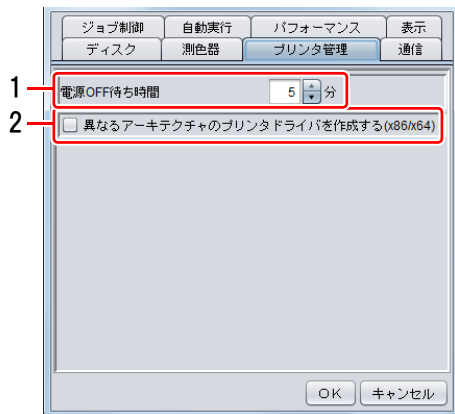
詳しくは「バーコード化した検索条件を使って検索する方法」(P.194) をご覧ください。

●【ディスク】

**確保するディスク残量**

作業フォルダがあるハードディスクの、最低空き容量を設定します。ジョブの実行中に空き容量が設定値を下回った場合、実行を中断します。

● プリンタ管理



1. 電源 OFF 待ち時間

ジョブキュー画面でプリンタの「電源 OFF」を指定した場合、印刷完了からプリンタの電源が切れるまでの時間を指定します。



- プリンタの電源 OFF を設定する。
 1. ジョブキュー画面で実行中のジョブをクリックします。
 2. 右クリックで表示されたポップアップメニューの「電源 OFF」をクリックします。



2. 異なるアーキテクチャのプリンタドライバを作成する (x86/x64)

ON にすると、プリンタドライバ作成時に、RasterLink6Plus がインストールされているPCのOSと異なるアーキテクチャ(x86/x64)のドライバを作成します。

重要!

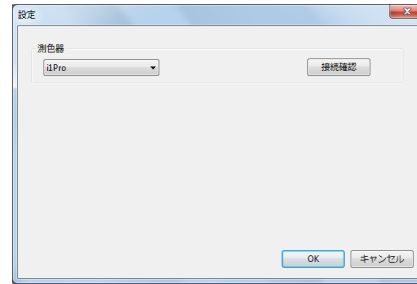
- 本機能は、RIP-PC とアーキテクチャ (x86/ x64) が異なる Windows OS のクライアント PC からドライバ出力したい場合に ON にしてください。
- RIP-PC の OS によっては、本機能を ON に設定するとプリンタドライバ作成時にエラーが発生し、プリンタドライバを作成できないことがあります。
- エラーが発生した場合、本機能を OFF に設定してください。
ただし、本機能を OFF に設定した後にプリンタドライバを作成すると、RIP-PC とアーキテクチャ (x86/ x64) が異なる Windows OS のクライアント PC からはドライバ出力できません。ホットフォルダ出力をしようしてください。

● 測色器

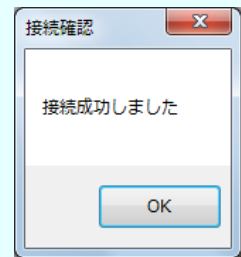


1. 測色器

色置換で使用する測色器の接続確認を行います。
[測色器確認]をクリックすると設定ダイアログが表示されます。
PCに測色器を接続し、[接続確認]をクリックしてください。

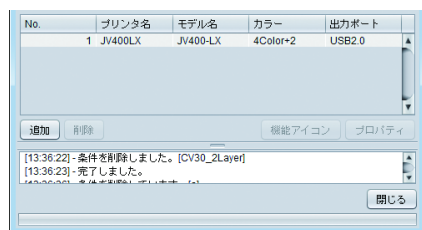


- 接続が確認できると接続完了ダイアログが表示されません。



[プリンタ管理 ...]

プリンタ管理画面を開き、プリンタの追加 / 削除 / 設定の変更を行います。



プリンタリスト

登録されているプリンタの一覧を表示します。

追加

プリンタを追加するために [プリンタ設定] 画面を表示します。

削除

プリンタリストで選択されているプリンタの設定/ジョブを全て削除します。

機能アイコン

プリンタリストで選択されているプリンタの、メインウィンドウの右に表示されている機能アイコンの表示などを変更するために [機能アイコン設定] 画面を表示します。

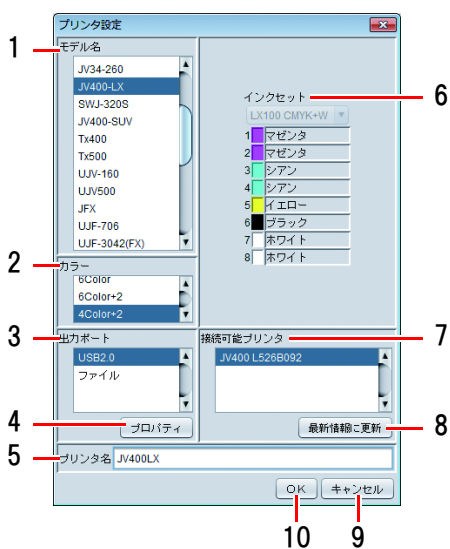
プロパティ

プリンタリストで選択されているプリンタの設定を確認/変更するために [プリンタ設定] 画面を表示します。

● プリンタ設定画面

プリンタ管理画面で [追加] および [プロパティ] ボタンを押した際に表示されます。

[プロパティ] ボタンを押した場合、プリンタリストで選択されているプリンタの情報を表示します。



1. モデル名

登録するプリンタのモデル名を選択します。

2. カラー

登録するプリンタのカラーを選択します。

3. 出力ポート

出力するポートの種類を選択します。

4. 出力ポートのプロパティ

出力するポートに対する情報を設定します。

5. プリンタ名

他のプリンタと区別するために、名称を入力します。

6. インクセット

プリンタにセットしているインクの種類を選択します。

7. 接続可能プリンタリスト

接続可能なプリンタが表示されます。

8. 最新の情報に更新

接続可能プリンタリストの情報を最新の状態にします。

9. キャンセルボタン

プリンタの登録をキャンセルします。

10.OK ボタン

プリンタを登録します。

● 機能アイコン設定

プリンタ管理画面で [機能アイコン] ボタンを押した際に表示されます。
プリンタリストで選択されているプリンタの機能アイコンに関する設定を変更できます。



機能アイコンリスト

プリンタ管理画面で選択したプリンタで対応している機能の一覧を表示します。

[表示する] 欄にて、そのアイコンの表示 / 非表示を設定できます。機能名の背景がグレーの場合、そのアイコンを非表示にすることはできません。



機能アイコンリストで選択されている機能の表示順を変更します。

サイズ

機能アイコンのサイズを変更します。

[機能] メニューをメインウィンドウに表示する

ON にすると、メインウィンドウのメニューバーに [機能] メニューを表示します。

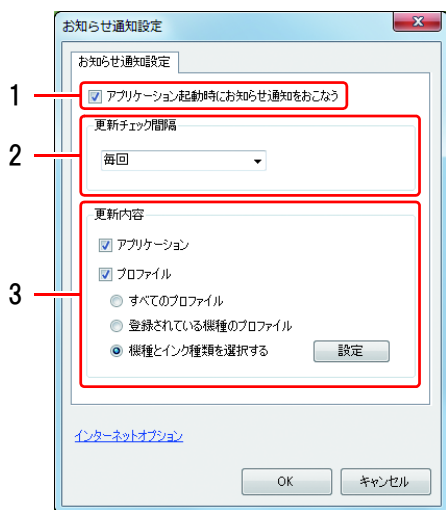
デフォルトに戻す

押すと機能アイコンの設定を初期設定に戻します。

[お知らせ通知設定 ...]

お知らせ通知設定画面を開き、お知らせ通知の各種設定を行います。
設定が変更されたものは、RasterLink6Plus 再起動時に有効になります。

● お知らせ通知設定画面



1. アプリケーション起動時にお知らせ通知をおこなう

ON にすると、RasterLink6Plus 起動時にインターネットに接続し、最新の RasterLink6Plus やデバイスプロファイルの有無を確認し、お知らせします。

重要! “アプリケーション起動時にお知らせ通知をおこなう” を ON に設定していても、以下の場合、お知らせ通知は使用できません。

- RasterLink6Plus PC をインターネットに接続していない。
- ライセンス認証を行っていない。

2. 更新チェック間隔

RasterLink6Plus 起動時に最新の RasterLink6Plus やデバイスプロファイルの有無を確認する間隔 (毎回 /1 日ごと /1 週間ごと /1 月ごと) を設定します。

3. 更新内容

アプリケーション

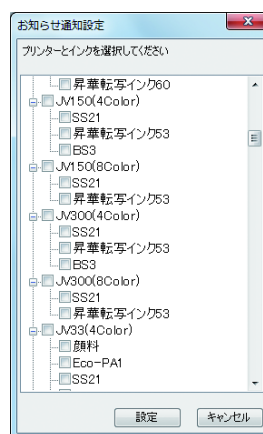
ON にすると、最新の RasterLink6Plus のアップデートの有無を確認します。

プロファイル

ON にすると、最新のプロファイルの有無を確認します。
インストールしたいプロファイルを選択します。

- すべてのプロファイル
- 登録されている機種のプロファイル
- 機種とインク種類を選択する

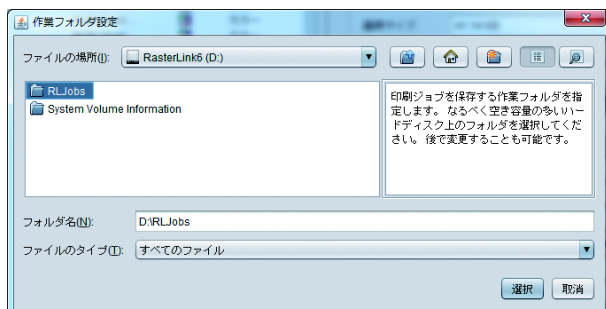
[選択] をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



重要! ・プロキシサーバーをお使いの場合、“インターネットオプション” をクリックしてください。

[作業フォルダ設定 ...]

作業フォルダを別ディスクに変更したい場合に、作業フォルダを変更します。
作業フォルダ変更後、RasterLink6Plus は自動的に終了します。



1. [ファイルの場所] プルダウンメニューを操作し、変更後の作業フォルダを選択して [選択] をクリックする

空き容量が十分あるディスクのフォルダを選択してください。

重要! 作業フォルダとして、以下の場所は指定できません。

- ディスクのルートフォルダ
- RasterLink6Plus のインストールフォルダ

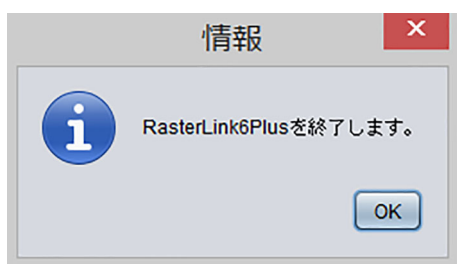
[17:58:58] - ジョブを新しい作業フォルダにコピーしています。
[17:59:30] - 古い作業フォルダ内のジョブを削除しています。

2. 現在の作業フォルダ内のジョブ情報が、変更後の作業フォルダにコピーされる

コピーが完了すると、現在の作業フォルダは削除されます。作業フォルダの変更が完了するまで、RasterLink6Plus の操作はできません。

3. 作業フォルダの変更が完了すると、RasterLink6Plus の終了確認ウィンドウが表示される

[OK] をクリックして RasterLink6Plus を終了してください。次回 RasterLink6Plus 起動時から、変更後の作業フォルダが使用されます。



[バージョン情報 ...]

RasterLink6Plus のバージョン情報画面を開き、各種情報を表示します。

シリアルキー

ライセンス認証に使用しているシリアルキーを表示します。



RasterLinkTools

RasterLinkTools とは

RasterLink6Plus 用のプリント&カットデータおよび特色版用画像を作成するための Adobe Illustrator プラグインツールです。

RasterLink6Plus とは別にインストールします。インストール方法についてはインストールガイドをご覧ください。



• RasterLinkTools で作成したプリント&カットデータは、RasterLinkPro5 以前の RasterLink シリーズでは、プリント&カットデータとして使用できません。

機能

RasterLinkTools では以下の操作を行います。

- パス (線分) をカットラインとして指定する
- グラフィックオブジェクトの外周にカットラインを生成する
- パスのない画像データの外周にアウトラインを生成する
- RasterLink6Plus へデータを保存する
- 特色版用合成データを作成する

RasterLinkTools ウィンドウの表示

Illustrator の [ウィンドウ] メニューより [Mimaki RasterLink] を選択してください。

以下の [Mimaki RasterLink] ウィンドウが開きます。

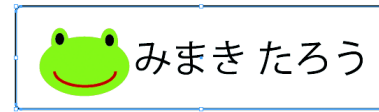


パスをカットデータへ変更する

パスを RasterLink6Plus でカットラインとして認識されるように変更します。

例) お名前シールをカットする

1 カットラインとしたいパスを選択する

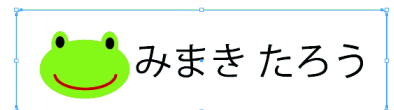


2 [Mimaki RasterLink] ウィンドウより [カットライン変換] をクリックする

• もしくは[ファイル]メニューより[RasterLink]-[カットライン変換]を選択します。



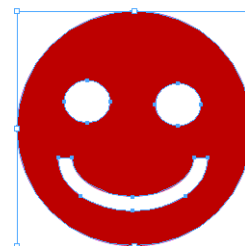
3 パスの線の色がカットラインを示す特色 (特色名: CutContour) に、塗りが無しに変換される



グラフィックオブジェクトの外周にカットラインを生成する

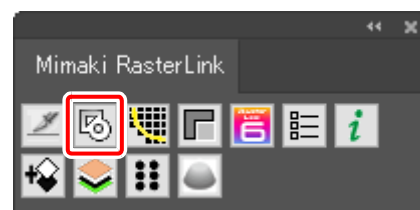
グラフィックオブジェクトの外周に、そのオブジェクトに沿ったカットラインを生成します。作成時のオプションにより、オブジェクトの内側にオブジェクトがない箇所 (中枠) が有る場合、その部分を抜くようなカットラインも生成できます。

1 カットラインをつけたいオブジェクトを全て選択する



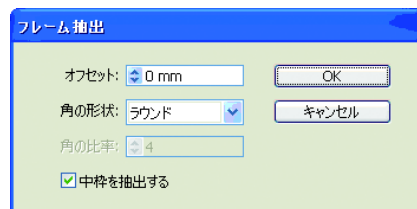
2 [Mimaki RasterLink] ウィンドウより [フレーム抽出] をクリックする

• もしくは[ファイル]メニューより[RasterLink]-[フレーム抽出]を選択します。



3 [フレーム抽出]ダイアログが表示される

- オフセット オブジェクトからカットラインまでの間隔を指定します。
- 角の形状 ラウンド/マイタ/ベベルの3種類から選択できます。
- 角の比率 角の形状でマイタを選択すると、編集可能になります。角の飛び出し量をオフセット値との比率で指定します。



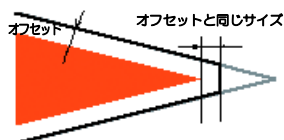
マイター
角を尖らせます



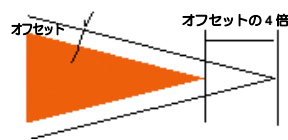
ラウンド
角を丸めます



ベベル
角を落とします



角の比率=1の場合
角からオフセット分出たところで角を切り落とします。



角の比率=4の場合
角からオフセットの4倍出たところまで角を出します。(この図ではオフセットの4倍で角が切り落とされなくなります。角の比率をこれ以上設定しても角の形状は変わりません。)

- 中枠を抽出する ONの場合選択したオブジェクト内にオブジェクトがない部分がある場合、その部分を抜くようにカットラインを作成します。

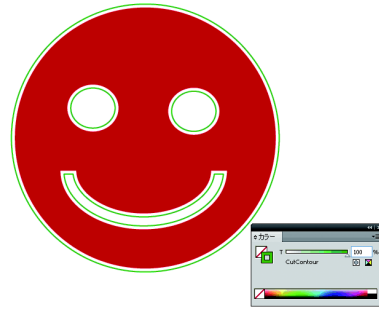


[中枠を抽出する]をONにした場合
中の抜いてある部分にもカットラインが作成されます。



[中枠を抽出する]をOFFにした場合
オブジェクトの外周のみにカットラインが作成されます。

4 カットラインが生成される



【カットライン変換】に変更されたパスの線の色は初期設定では以下ようになります。

名前: CutContour
カラータイプ: 特色
色: Cyan100%, Magenta0%, Yellow100%, Black0%

以下のような場合、カットラインの色の設定を変更する必要があります。

- 1つのデータ内に複数のカット条件の線を作成する場合。詳しくは P.130 をご覧ください。
- カットラインも印刷するが、初期設定の色とは違う色にしたい。

設定方法については、「カラー画像内のスポットカラーを置換する」の「Illustrator 上でのデータの作成方法」(P.118)と同様となりますので、そちらを参照してください。

輪郭を抽出する

ビットマップ、JPEG、TIFF など Illustrator で読み込める、パスのない画像データをカットする場合に、アウトラインを作成します。

色を指定すると、同じ色の部分のみアウトラインを作成することもできます。

簡単トレース

画像データの輪郭を、簡単に作成できます。

1 Illustrator でオブジェクトを選択する



2 [Mimaki RasterLink] ウィンドウの [輪郭抽出] ボタンをクリックする

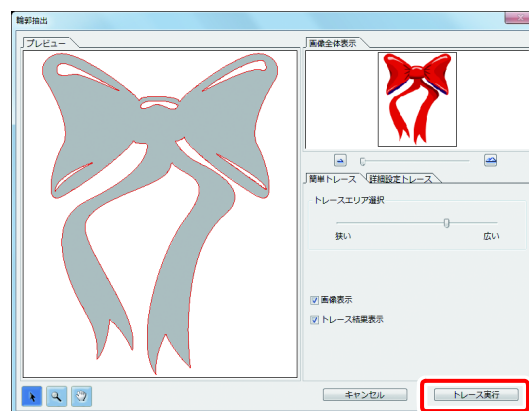


3 [トレース実行] ボタンをクリックする

- トレース範囲を変更する場合は、プレビューを見ながらスライダーをドラッグします。



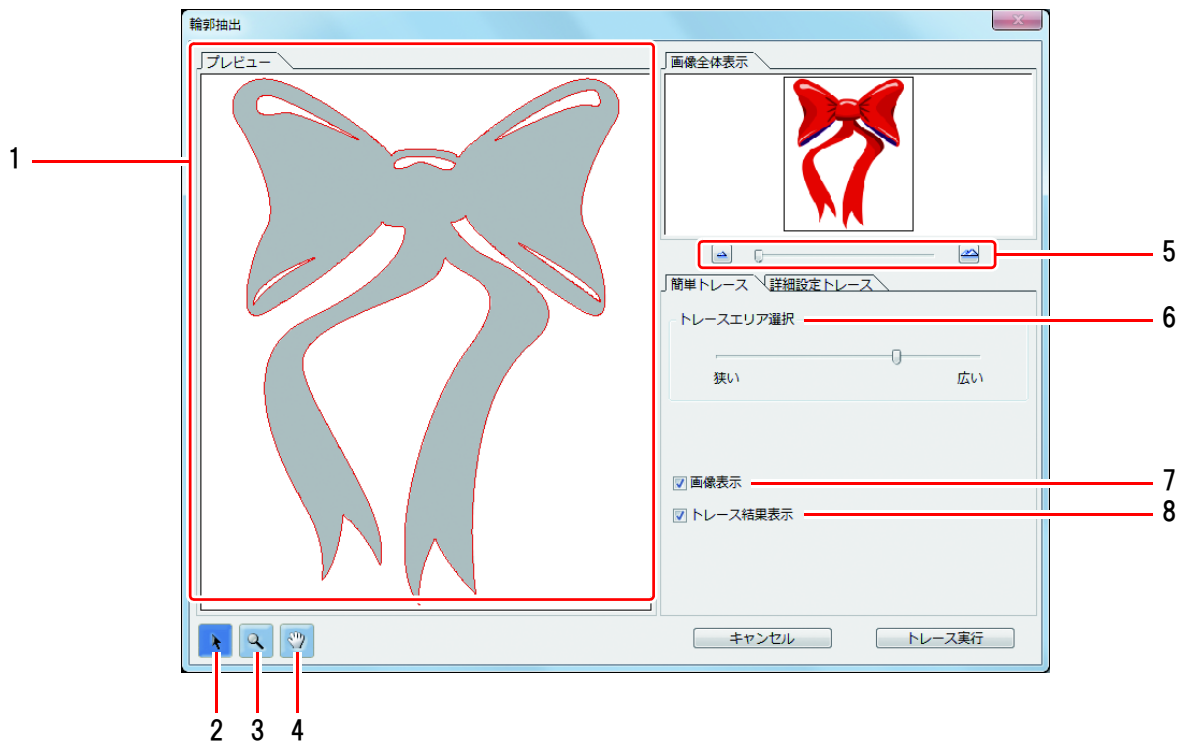
- [トレース実行] をクリックするたびに、[RL トレースレイヤー 1]、[RL トレースレイヤー 2]... と、新たなレイヤーが作成されます。レイヤー毎にカット条件を設定する場合などにお使いください。(P.130)
- このレイヤー内のデータをカットしたい場合は、[カットライン変換] をクリックし、カットデータへ変換してください。(P.173)



4 Illustrator のレイヤー [RL トレースレイヤー] に輪郭線が作成される



● 「簡単トレース画面」画面構成



1. プレビュー

画像(モノクロ)とトレース結果を表示します。



表示しているオブジェクト全体を移動します。



プレビュー表示を拡大、縮小します。
プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。
[Alt] キー (Windows 版), [Option] キー (Macintosh 版) を押しながらクリックすると、縮小して表示します。



オブジェクトを表示する領域を変更します。



プレビュー表示を縮小 / 拡大します。

6. トレースエリア選択

- スライダーをドラッグして、トレースしたい部分を選択します。
- [狭い] の方へ動かすと、より狭い範囲をトレースします。
- [広い] の方へ動かすと、より広い範囲をトレースします。

7. 画像表示

元の画像をプレビューに表示するかを設定します。

チェックを付けると、トレースエリア選択で設定したトレースエリアをグレーで表示します。抽出する線分の確認や、トレース結果と元画像の比較ができます。

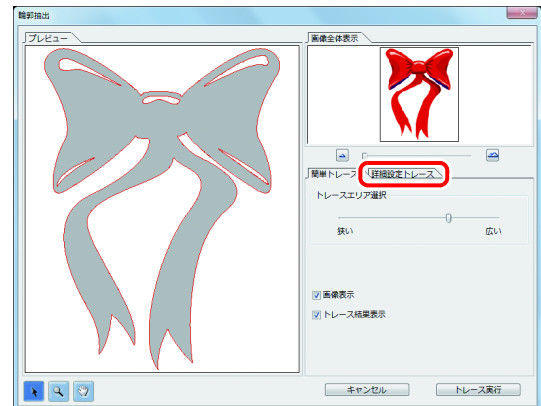
8. トレース結果表示

トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。

詳細設定トレース

簡単トレースでトレースしたオブジェクトに対して、更に詳しく設定したい場合や、特定の色や範囲の輪郭をトレースしたい場合にお使いください。

1 [簡単トレース] を実行後、[詳細設定トレース] タブをクリックする

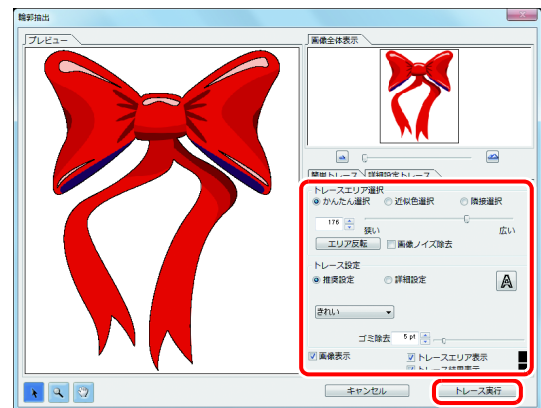


2 トレース設定を行い、[トレース実行] ボタンをクリックする

- プレビューを確認しながら、トレースエリアの選択とトレース設定をします。



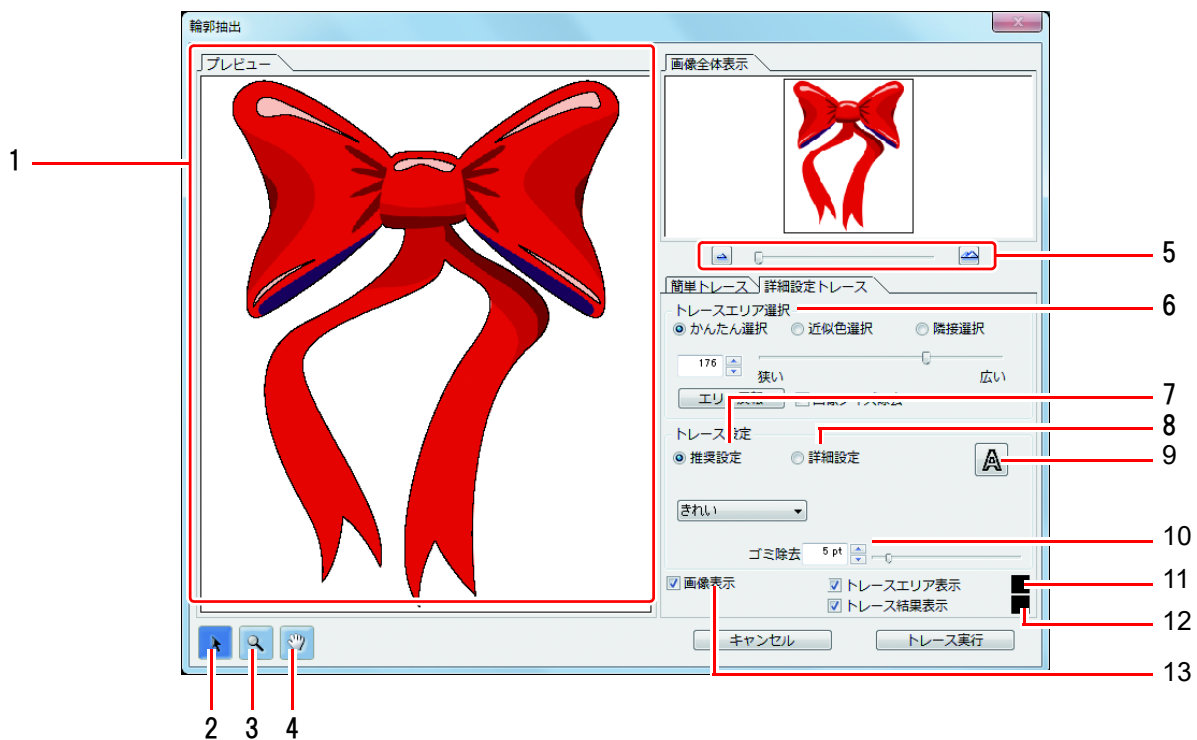
- [トレース実行] をクリックするたびに、[RL トレースレイヤー 1]、[RL トレースレイヤー 2]... と、新たなレイヤーが作成されます。レイヤー毎にカット条件を設定する場合などにお使いください。(P.130)
- このレイヤー内のデータをカットしたい場合は、[カットライン変換] をクリックし、カットデータへ変換してください。(P.173)



3 Illustrator のレイヤー [RL トレースレイヤー] に輪郭線が作成される



● 「詳細設定トレース画面」画面構成



1. プレビュー

画像とトレース結果を表示します。



表示しているオブジェクト全体を移動します。



プレビュー表示を拡大、縮小します。
プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。
[Alt] キー (Windows 版), [Option] キー (Macintosh 版) を押しながらかlickすると、縮小して表示します。



オブジェクトを表示する領域を変更します。



プレビュー表示を縮小 / 拡大します。

6. トレースエリア選択

7. トレース設定(推奨設定の場合)

8. トレース設定(詳細設定の場合)



トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。

10. ゴミ除去

画像とトレース結果を表示します。

11. 画像表示

画像とトレース結果を表示します。

12. トレースエリア表示

画像とトレース結果を表示します。

13. トレース結果表示

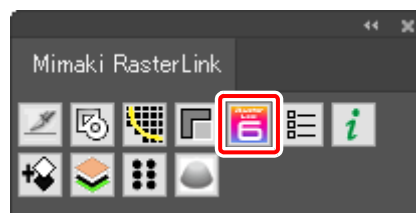
画像とトレース結果を表示します。

RasterLink6Plus ヘデータを保存する

プリント&カットデータが作成できたら、RasterLink6Plus ヘデータを保存します。

1 [Mimaki RasterLink] ウィンドウより [RasterLink 出力] をクリックする

- もしくは[ファイル]メニューより[RasterLink]-[RasterLink 出力] を選択します。



2 ファイルの保存画面が表示される

- 適当な場所を選択し、[OK] を押します。



- ホットフォルダに保存すると、そのまま RasterLink6Plus に自動的に保存されるので、便利です。



- Macintosh 版 Adobe Illustrator CS の場合、ファイル名は半角英数字、2 文字まで使用可能です。
- Macintosh 版 Adobe Illustrator CS6 ~ の場合、フォルダ名は半角英数字のみ使用可能です。
- グループ化したパスを出力しない場合は、パス単位にて非表示設定してください。

3 [EPS オプション] 画面が表示される

- そのまま [OK] ボタンを押します。

4 ファイルが保存される

- ホットフォルダに保存した場合、RasterLink6Plus に自動的に読み込まれます。



[RasterLink 出力] では、複数の版を RasterLink6Plus 上で合成して印刷する際に印刷位置がずれないようにするため、全てのデータが出力されます。

Illustrator 上で非表示にしているレイヤーおよびオブジェクトの領域は余白になります。

印刷に余白を発生させたくない場合は、以下のいずれかの方法で RasterLink6Plus にデータを送ってください。

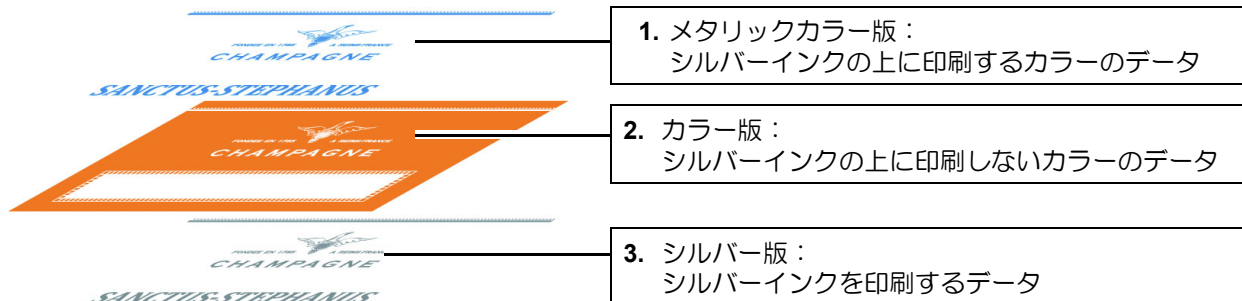
- Illustrator 上で非表示にしているレイヤーおよびオブジェクトを削除してから [RasterLink 出力] を実行する
- [RasterLink 出力] を使用せずに Illustrator の保存機能を使って eps 形式で保存し、手動でホットフォルダにデータを入れる

特色版用合成データの作成

RasterLinkTools は、以下のように版作成機能では作成できない、特色用データを作成することができます。

SS21 メタリックカラーを印刷するためのデータを作成する

印刷用データの一部を SS21 インクのシルバーインクで印刷する場合、以下の 3 種類の版を準備します。

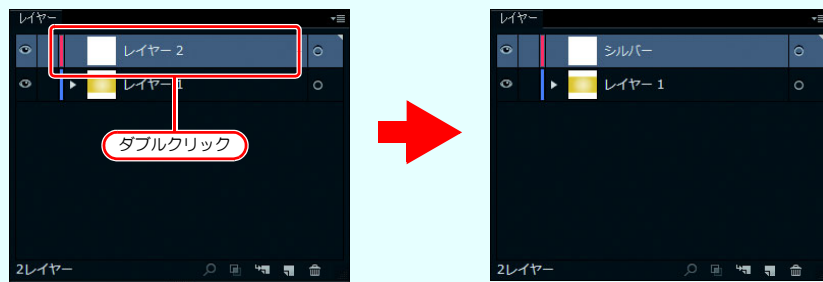


RasterLinkTools の型抜き機能を使用すると、この 3 種類の版用のデータを簡単に作成することができます。

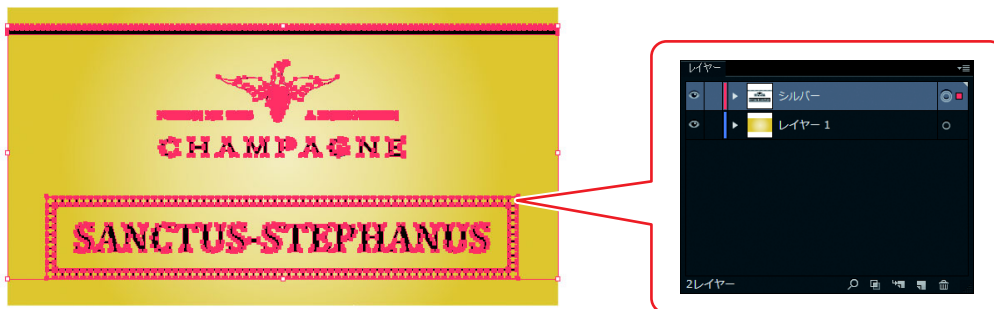
1 印刷用データのレイヤーの上に、シルバー版用のレイヤーを作成する



• レイヤーを選択し、ダブルクリックすると、レイヤーの名称を変更できます。




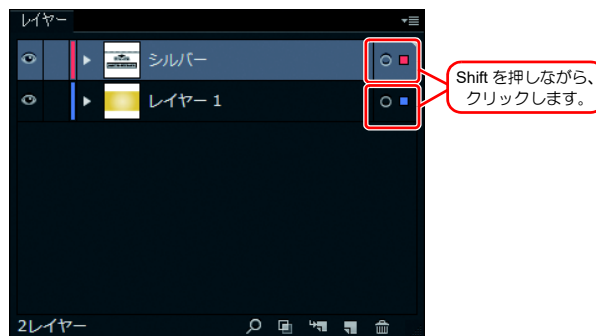
2 1で作成したレイヤー内に、シルバーインクで印刷したい範囲のパスを作成する



- 重要!**
- シルバーインクで印刷する範囲は必ずパスにしてください。画像データがあると型抜きの対象から除外されます。
 - シルバーインクを印刷する範囲のパスは、必ず以下の条件に設定してください。
塗り：K100
線：塗りなし

3 印刷用データのレイヤーとシルバー版用のレイヤーを選択する

- 重要!**
- 現状見えているレイヤーすべてに対して、型抜きが適用されます。必要なレイヤーは  をクリックして非表示にし、型抜きの対象外としてください。



4 [Mimaki RasterLink] ウィンドウより [型抜き] をクリックする



- [型抜き] をクリックすると、新規に [RL マスクレイヤー-1]、[RL マスク反転レイヤー-1] が作成されます。

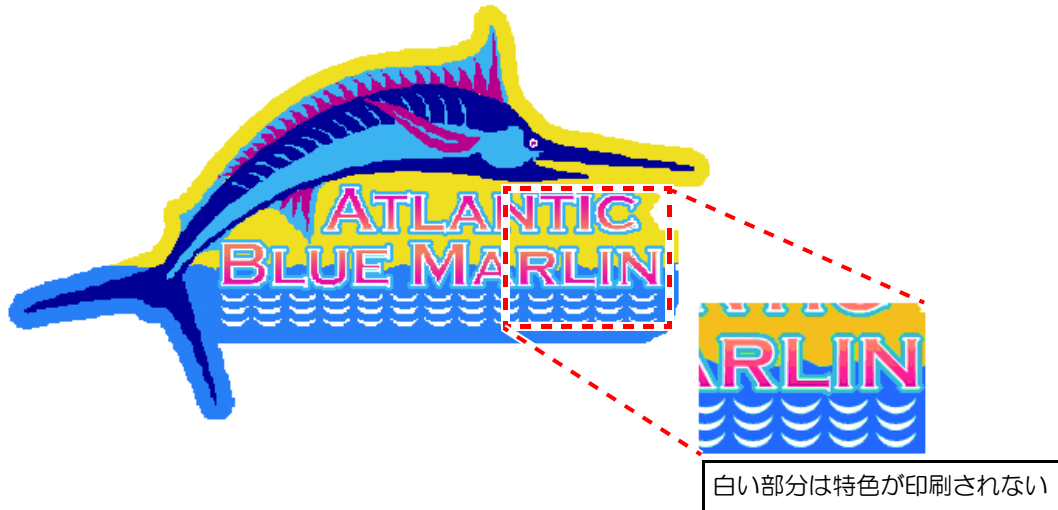


- [RL マスクレイヤー-1] はメタリックカラー版、[RL マスク反転レイヤー-1] はカラー版用のレイヤーです。



- この後の手順については、別冊『メタリックカラー印刷ガイド』をご覧ください。

図形の内部全てを特色で塗りたい



上記のような画像を [版作成] 機能にて、[有効画素] を選択して特色版作成した場合、画像内の白の部分（文字の輪郭と波の部分）には特色は印刷されません。

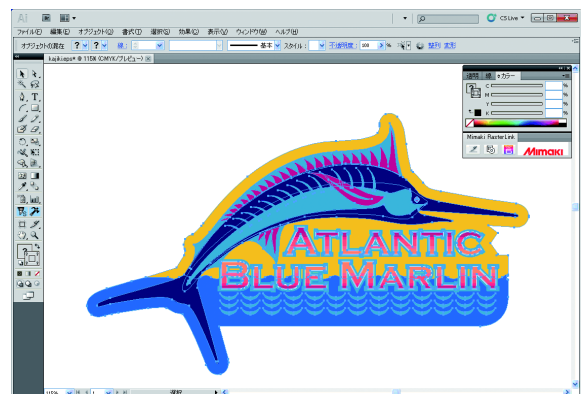
そのため、以下のようにその部分は下地がそのまま見えてしまいます。



元画像で白い部分まで特色をプリントする場合、特色用画像を作成する必要があります。ここでは、RasterLinkTools を使用した作成方法について説明します。

1 Illustrator で画像を開く

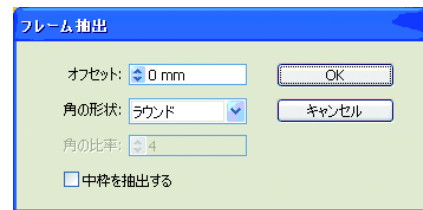
2 全てのオブジェクトを選択する



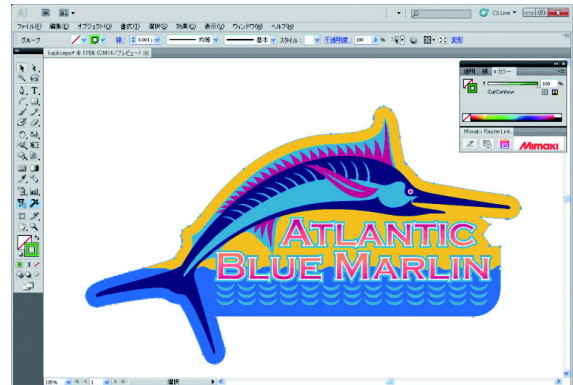
3 RasterLinkTools のウィンドウより [フレーム抽出] をクリックする

4 [フレーム抽出] 画面が表示される

- オフセット：0mm
- 中枠を抽出する：OFF
として、[OK] ボタンを押します。

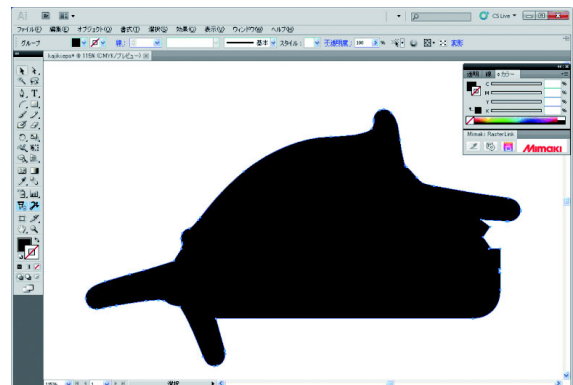


5 全てのオブジェクトを囲むパスが作成される



6 このままではカット用の特色名の色がついてしまうので、これを以下のように変更する

- 線：なし
- 塗り：Black100%



7 [RasterLink 出力] をクリックし、ホットフォルダに保存する

8 RasterLink6Plus に読み込まれる

9 特色置換を行う



10 カラー画像と合成する



11 出力する

- 画像内の白い部分まで特色が出力されます。

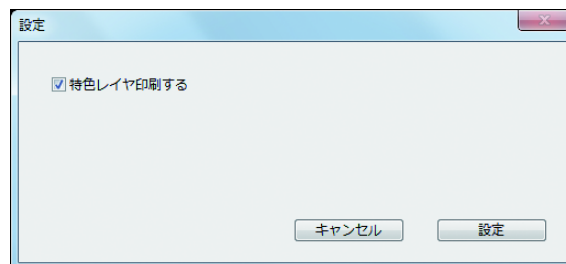


RasterLinkTools の設定変更

[設定] ダイアログを開き、各種設定を行います。

1 特色レイヤ印刷する

- RasterLinkTool ver.1.3 から使用できます。
- [特色レイヤ印刷する] を ON に設定し、弊社から提供している以下のライブラリーの色に置換しているデータを [RasterLink 出力] すると、RasterLink6Plus に読み込む際に特色版を自動で作成します。
MIMAKI RasterLink Library
MIMAKI SS21 Metallic Color Library
MIMAKI SS21 Metallic Orange Color Library



重要!

- [特色レイヤ印刷する] を ON に設定すると、以下の機能画面で作成したお気に入りには適用できません。
プロパティ
版作成
- 本機能は以下のソフトウェアで使用できます。
Adobe Illustrator CS ~

RasterLinkTools の更新確認

インターネットに接続している場合、RasterLinkTools の更新情報を確認することが出来ます。

1 [Mimaki RasterLink] ウィンドウより [情報] をクリックする

- もしくは [ファイル] メニューより [RasterLink] - [RasterLinkTools について] を選択します。



2 [RasterLinkTools について] 画面が表示される

- [オンラインインフォメーション] ボタンをクリックすると、最新の情報をインターネットを使用して確認します。
- [Illustrator 起動時に RasterLinkTools の情報を確認する] を ON にすると、Illustrator 起動時に自動的に情報を確認し、新規の情報があった場合、その情報を表示します。



お知らせ通知

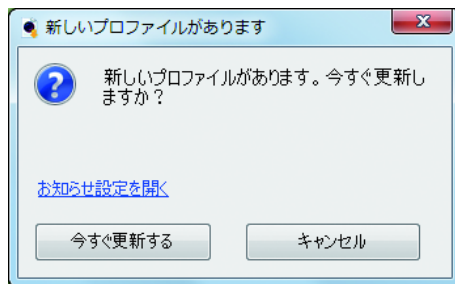
RasterLink6Plus 起動時に、RasterLink6Plus やプロファイルの最新情報をお知らせします。

- 重要!** お知らせ通知設定で“アプリケーション起動時にお知らせ通知をおこなう”を ON に設定していても、以下の場合はお知らせ通知を表示しません。
- RasterLink6Plus PC をインターネットに接続していない。
 - ライセンス認証を行っていない。

お知らせ通知表示

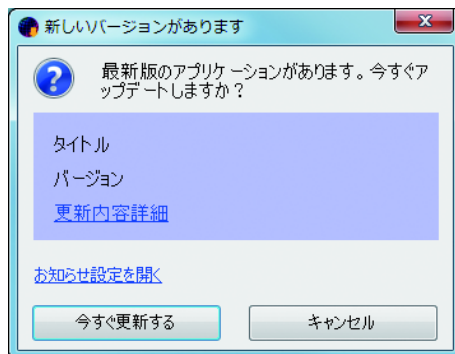
RasterLink6Plus やプロファイルの最新情報があると、それぞれダイアログが表示されます。

● プロファイル



- [今すぐ更新する] をクリックすると、プロファイルアップデートが起動します。最新版のプロファイルをダウンロードしてください。プロファイルのダウンロード完了後は、RasterLink6Plus のアップデートの有無を確認します。
- [キャンセル] をクリックすると、RasterLink6Plus のアップデートの有無を確認します。

● アプリケーション

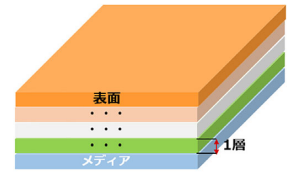


- [今すぐ更新する] をクリックすると、アップデートをダウンロードします。RasterLink6Plus を起動し、バージョンアップしてください。
- [キャンセル] をクリックすると、RasterLink6Plus が起動します。

多層印刷

多層印刷とは

UV インクの特徴を活かし、印刷層を複数重ねて印刷する機能です。1層だけでは表現できなかった新しい印刷が可能になります。



重要! ・特色機搭載機が対象のプリンタとなります。

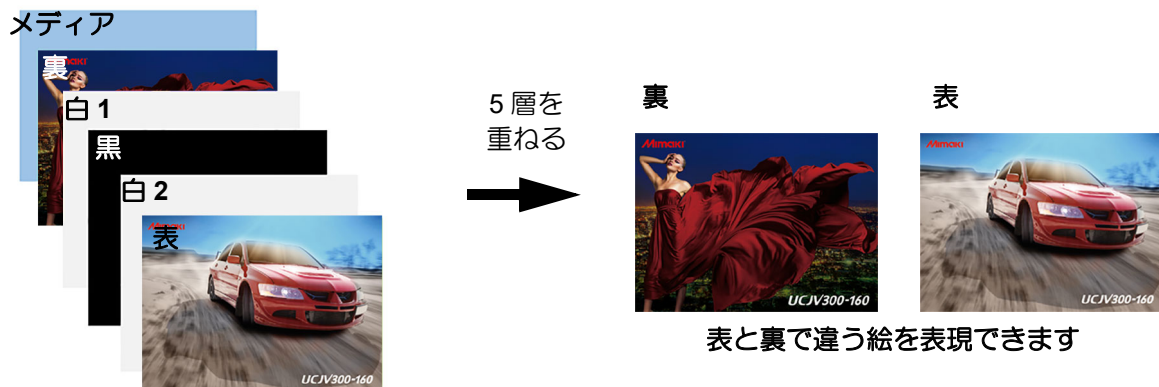
4層印刷 - Day&Night

絵を4層に重ねて印刷し、光を裏側から当てることで、光を当てていない時と違う印象の絵を表示することができます。



5層印刷

絵を5層に重ねて印刷することで、一枚のメディアの表と裏で違う絵を表示することができます。



多層印刷の詳細は、別冊「多層印刷ガイド」をご覧ください。

ID カット

ID カットとは

トンボの間に ID を印刷しておくことで、カット時にトンボを検出するだけでカットが可能になります。これにより、印刷後にラミネート等の後処理を行ってからのカット実行が容易になります。

- カット時にカットデータを選択して実行する必要があるないので、カットミスを削減します。
- FineCut と連携することで、RasterLink6Plus では設定できないフラットベッドプロッタに必要なカット開始位置指定やカット方向指定、裏トンボカット等の機能が使用できます。

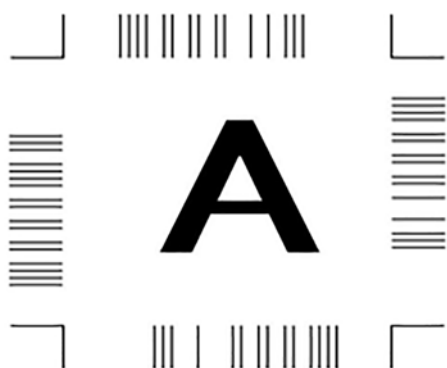
重要!

• 対象機種は以下の通りです。

プロッタ：CF22, CFL-605RT, CG-FXII Plus

プリンタ：JFX200, JFX200-2531, JFX200EX, JFX500, JV150, JV300, JV33, JV33-260, JV34-260, JV400-LX, JV400-SUV, JV5-320, JV5-S, SIJ-320UV, SWJ-320S, UCJV150, UCJV300, UJF-3042FX, UJF-3042HG, UJF-3042MkII, UJF-6042, UJF-6042MkII, UJF-7151, UJV500, UJV55-320, JV300 Plus

IDの印刷イメージ



詳しくは、「ID カットガイド」をご覧ください。

点字印刷

点字印刷とは

作成した点字データ部分にスポットカラー名を設定するだけで、簡単に点字印刷が可能になります。実行回数の指定など面倒な設定の必要なく、カラー版を重ねて点字が印刷できます。

詳しくは、別冊「点字印刷ガイド」をご覧ください。

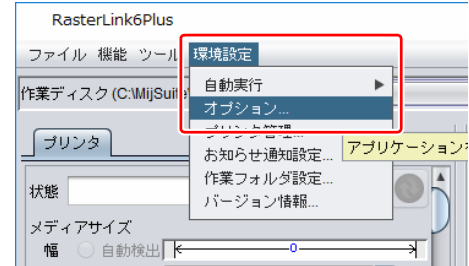
ジョブ名検索

ジョブ名検索について

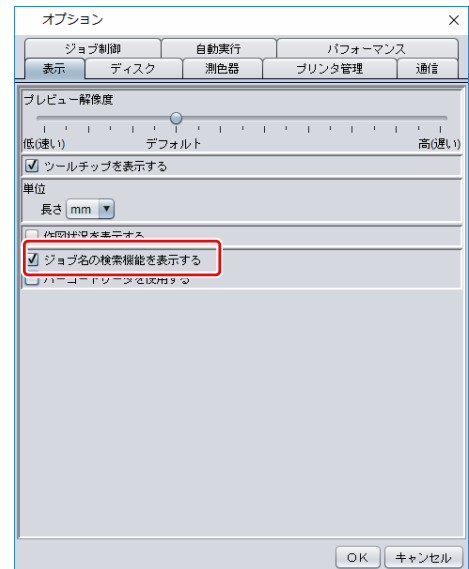
ジョブ名検索を使ってジョブを絞り込むことでジョブの選択間違いを減らすことが可能です。

ジョブ名検索ウィンドウの表示方法

- 1 左上メニューから、[環境設定]-[オプション]-[表示]タブを押します。



- 2 [ジョブ名の検索機能を表示する]にチェックを入れます。



- 3 RasterLink6Plus を再起動します。
ジョブ名検索ウィンドウが表示されるようになります。

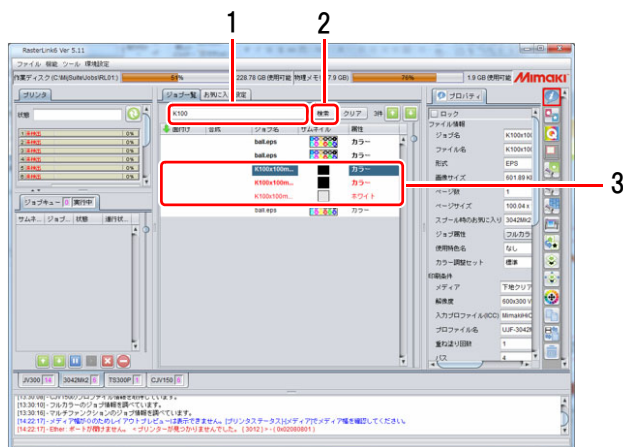
ジョブ名検索をして印刷する

1 検索したいジョブ名の一部を入力し、[検索]ボタンを押します。

- (1) 検索したいジョブ名の一部を入力します。(前方一致する検索条件を入力)
- (2) [検索]ボタンを押します。
- (3) 検索条件に一致するジョブ名の色が変わり、選択可能になります。

条件に一致しなかったジョブは黒字で表示され、選択ができなくなります。(面付けされたジョブおよび合成されたジョブの中に検索条件に一致するジョブが含まれている場合は選択可能です。)

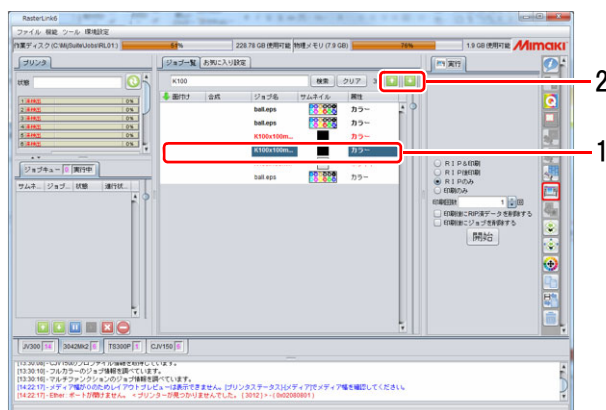
検索状態から通常状態に戻すには、[クリア]ボタンを押します。




重要! ・ジョブ名の検索は、前方一致検索で大文字・小文字を区別して判定します。

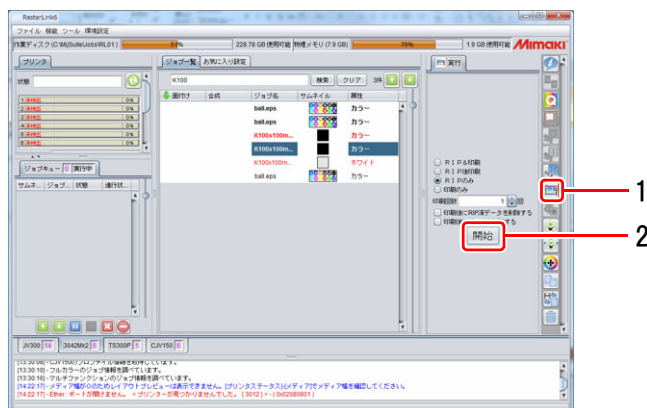
2 印刷するジョブを選択します。

- (1) 印刷するジョブを選択します。
- (2) [上下矢印]ボタンで選択ジョブの変更が可能です。



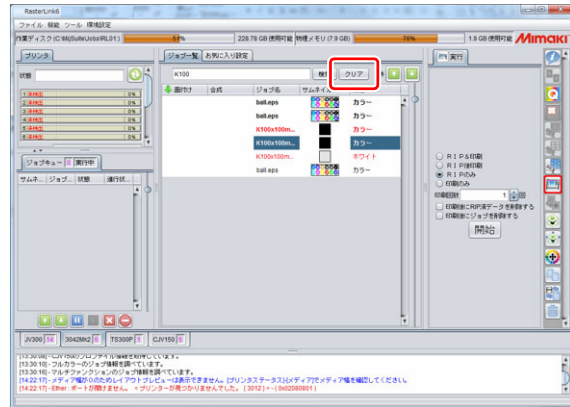
3 印刷を実行します。

- (1) [実行]アイコン  を選択します。
- (2) [開始]ボタンを押し、印刷を実行します。

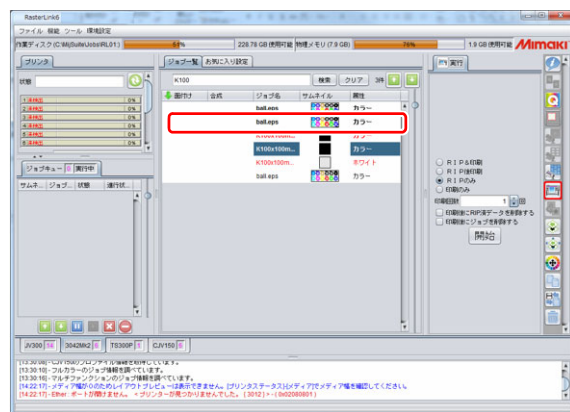


ジョブ名検索を解除して印刷する

1 [クリア] ボタンを押します。

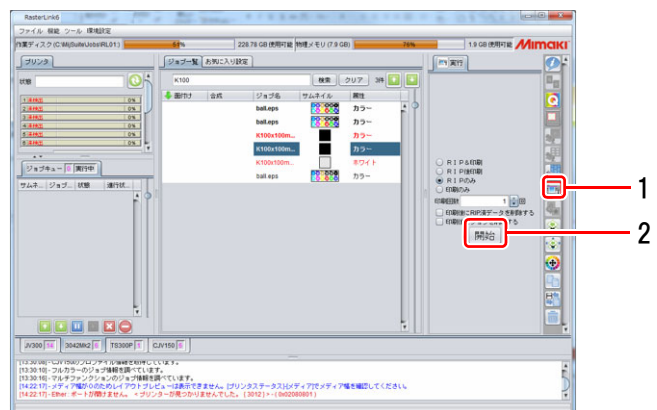


2 印刷するジョブを選択します。



3 印刷を実行します。

- (1) 実行アイコン  を選択します。
- (2) [開始] を押し、印刷を実行します。



バーコードリーダーによる検索

ジョブ名検索の検索条件をバーコード化し、バーコードリーダーで読み取ることにより、自動でジョブ名検索を実行する事が出来ます。

検索条件「III2017」  
 ＊ I I I 2 0 1 7 ＊
 バーコード(CODE39)に変換

● バーコードリーダーの仕様

- COM/RS232C インターフェースを備えていること。
- 1次元バーコードであること。
- キーボード終端文字に"ENTER" コードを設定できること。
- 推奨製品：株式会社 アイテック ITL-3000/3000Plus
- バーコード種別：CODE39 または CODE128

重要! ・日本語等の2バイト文字を使用する場合は、QR コード及びQR コードを読み取れるバーコードリーダーが必要になります。

バーコード化した検索条件を使って検索する方法

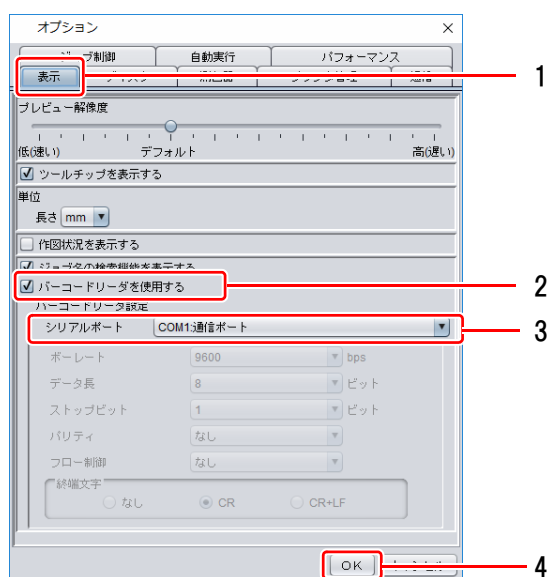
1 検索条件をバーコード化します。

- (1) バーコード変換ソフト等を使用して、検索条件をバーコード化します。
- (2) 作成したバーコードを作業指示書等に印刷します。

検索条件「III2017」  
 ＊ I I I 2 0 1 7 ＊
 バーコード(CODE39)に変換

2 バーコードリーダーの設定を行います。

- (1) オプション画面を表示し、[表示] タブを選択します。
- (2) [バーコードリーダーを使用する] にチェックを入れます。
- (3) シリアルポートの中から接続されているバーコードリーダーを選択します。
- (4) [OK] ボタンを押してオプション画面を閉じます。



重要! ・RasterLink6Plus がインストールされている PC に、事前にバーコードリーダーのドライバをインストールし、バーコードリーダーを接続しておく必要があります。

3 バーコードを読み取ります。

(1) バーコードリーダーでバーコードを読み取ります。



(2) 検索条件にバーコードの内容が表示され、検索が自動実行されます。



FAQ ページリンク

FAQ ページリンクとは

「FAQ」とは、英語の「Frequently Asked Questions」の略語で、よくある質問とその回答を集めたものを言います。

● RasterLink6Plus の FAQ ページリンク

RasterLink6Plus を使用中に分からない事がある時、RasterLink6Plus の [FAQ] ボタンを押すと、WEB ブラウザで RasterLink6Plus の「よくあるご質問」ページが表示されます。☞ P.196

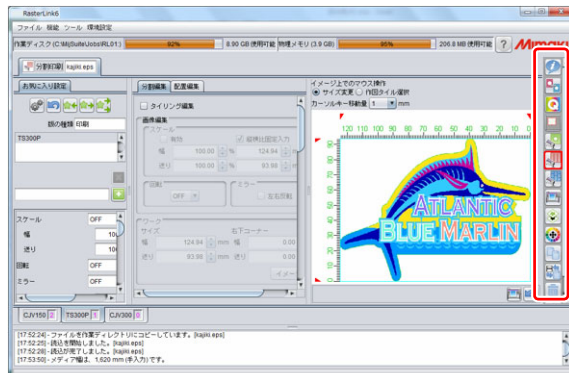
● プリンタの FAQ ページリンク

プリンタを使用中に分からない事がある時、プリンタの [FAQ] ボタンを押すと、WEB ブラウザで各プリンタの「よくあるご質問」ページが表示されます。☞ P.197

RasterLink6Plus の FAQ ページを表示する

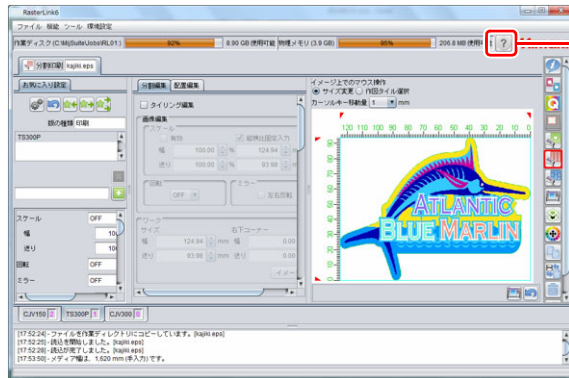
1 機能アイコンを押します。

- ・選択した機能の画面が表示されます。



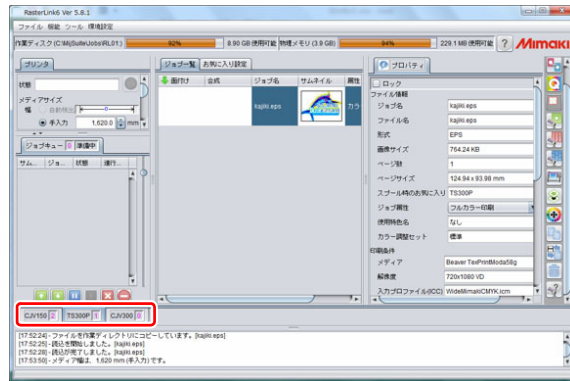
2 RasterLink6Plus の [FAQ] ボタン ? を押します。


- ・該当する機能の「よくあるご質問」が WEB ブラウザで表示されます。該当する項目が無い場合は「よくあるご質問」ページの先頭が表示されます。

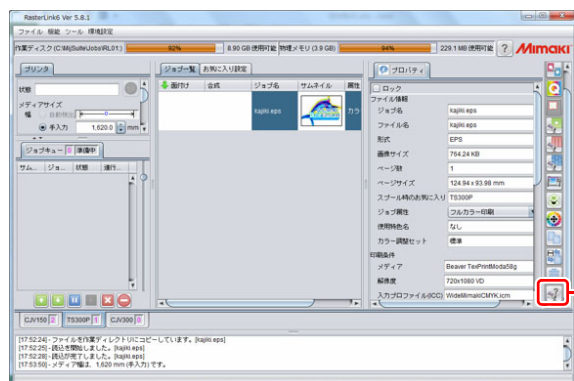


プリンタの FAQ ページを表示する

- 1** プリンタを選択します。
- 選択したプリンタの画面が表示されます。



- 2** プリンタの [FAQ] ボタン  を押します。
- 該当するプリンタの「よくあるご質問」が WEB ブラウザで表示されます。



こんなときには

エラーメッセージの対処方法

エラーメッセージ

エラーメッセージ	表示条件（原因）	対処方法
他のプログラムがプロファイルデータベースを使用しているため、RasterLink6Plusを起動できません。	データベースファイル (Profile\Profile.mdb) を、他のプログラム (ProfileManager) がオープンしている状態で RasterLink6Plus を起動しました。	ProfileManger を終了させてから RasterLink6Plus を起動してください。
他のプログラムがプロファイルデータベースを使用しているため、ProfileManager を起動できません。	データベースファイル (Profile\Profile.mdb) を、他のプログラム (RasterLink6Plus) がオープンしている状態で ProfileManger を起動しました。	RasterLink6Plus を終了させてから ProfileManager を起動してください。
既に RIP が起動しています。	MIMAKI 製の旧 RIP 製品 (RasterLinkPro5) が起動している状態で RasterLink6Plus を起動しました。	旧 RIP 製品を終了させてから RasterLink6Plus を起動してください。
実行モジュールをロードできませんでした。[実行モジュール名]	RasterLink6Plus の実行に必要なファイルが破損しています。	RasterLink6Plus を再インストールしてください。
プロファイル情報を取得できませんでした。	起動時に、データベースファイル (Profile\Profile.mdb) から、プリンタ属性情報、インストール済プロファイル情報を取得できませんでした。	プロファイルデータベースファイルが破損している可能性があります。RasterLink6Plusを再インストールしてください。
RGB 入カプロファイルを最低 1 つはインストールしてください。	ProfileManager で RGB 入カプロファイルを全てアンインストールされた状態で RasterLink6Plus を起動しました。	ProfileManager で RGB 入カプロファイルをインストールしてください。
CMYK 入カプロファイルを最低 1 つはインストールしてください。	ProfileManager で CMYK 入カプロファイルを全てアンインストールされた状態で RasterLink6Plus を起動しました。	ProfileManager で CMYK 入カプロファイルをインストールしてください。
フルカラーデバイスプロファイルを最低 1 つはインストールしてください。 [プリンタ名：インクセット名]	[プリンタ管理] でプリンタを追加する際、指定された [インクセット] 用のデバイスプロファイルが一つもインストールされていないため、プリンタを登録できませんでした。 プリンタ登録後、プリンタ登録時の [インクセット] 用のデバイスプロファイルが ProfileManger で全て削除されました。この状態で RasterLink6Plus を起動しました。	ProfileManager で、指定プリンタ、指定インクセットのデバイスプロファイルをインストールしてください。
データベースにインクセット情報が定義されていません。 [インクセット識別名]	[プリンタ管理] でプリンタを追加する際、[モデル] および [カラー] の指定誤りにより、インクセット情報を判断できませんでした。	[プリンタ管理] でプリンタ追加時に、[モデル] および [カラー] のリストから、実際に接続しているプリンタと一致するものを選択してください。
お気に入り [お気に入り名] に設定されたデバイスプロファイルが見つかりません。お気に入りを初期化しました。お気に入りの設定を確認してください。	お気に入りに関連付けられているデバイスプロファイルを ProfileManager で削除した状態で RasterLink6Plus を起動しました。	RasterLink6Plus が自動的にお気に入り設定のデバイスプロファイル指定を更新しました。お気に入り設定を見直してください。
ジョブ [ジョブ名] に設定されたデバイスプロファイルが見つかりません。ジョブの設定を初期化しました。印刷条件を確認してください。	ジョブに関連付けられているデバイスプロファイルを ProfileManager で削除した状態で RasterLink6Plus を起動しました。	RasterLink6Plus が自動的にジョブのデバイスプロファイル指定を更新しました。印刷条件を見直してください。

エラーメッセージ	表示条件 (原因)	対処方法
接続可能プリンタが指定されていません。	[プリンタ管理]で、プリンタと接続していない状態でプリンタ登録しようとした。	プリンタとの接続状態を確認してください。
そのプリンタ名は既に使用されています。	[プリンタ管理]で複数のプリンタを登録する際に、既に登録済のプリンタで指定されている[プリンタ名]を指定しました。	[プリンタ管理]で登録されていない[プリンタ名]、[コントロールパネル]-[プリンタ]に登録されていない[プリンタ名]を入力してください。
その接続可能プリンタは、既に他のプリンタ (プリンタ名) に関連付けられています。	[プリンタ管理]で複数のプリンタを登録する際に、既に登録済のプリンタで指定されている[接続可能プリンタ]を指定しました。	1 台のプリンタに対して、[プリンタ管理]で複数のプリンタを登録することはできません。
プリンタのインク構成が変更されています。プリンタを登録し直してください。	プリンタのインクセットや装着インクを変更した後で、[プリンタ管理]-[プロパティ]で[OK]を押しました。	登録済のプリンタに対して、後で[インクセット]情報を変更することはできません。[プリンタ管理]で旧登録プリンタを削除後、新規にプリンタを追加してください。
複数のプリンタで[マシンメイショウ]が重複しています。プリンタの操作パネルで、ユニークな[マシンメイショウ]を設定してください。	[プリンタ管理]で複数のプリンタを登録する際に、既に登録済のプリンタと[マシンメイショウ]が一致していたため、プリンタを登録できませんでした。	USB2.0 で 2 台以上のプリンタを接続する場合は、それぞれのプリンタの操作パネルでユニークな[マシンメイショウ]を設定してください。
この操作を実行するのに十分なアクセス権がありません。 Administrators グループのユーザでログインし直してから RasterLink6Plus を起動してください。	一般ユーザ権限でログインして RasterLink6Plus を起動した状態で、[お気に入り設定]でホットフォルダを作成または削除しようとした。 一般ユーザ権限でログインして RasterLink6Plus を起動した状態で、ホットフォルダ作成したプリンタを[プリンタ管理]で削除しようとした。	管理者権限でログインしてから RasterLink6Plus を起動してください。
Print Spooler を停止できませんでした。 Print Spooler を開始できませんでした。	ホットフォルダを作成または削除する時、Windows の Print Spooler サービスを停止または開始できませんでした。	Windows の Print Spooler サービスを停止、開始できない状態です。ウイルス対策ソフトでサービスプログラムの停止、開始がブロックされている可能性があります。ウイルス対策ソフトを一時的にアンインストールするか、ウイルス検出機能を一時的に無効化してください。
プリンタドライバを作成できません。[プリンタドライバ名]プリンタを作成できません。[プリンタ名] プリンタドライバを削除できません。[プリンタドライバ名]プリンタを削除できません。[プリンタ名]	ホットフォルダを作成または削除する時に、ホットフォルダに対応するプリンタドライバを作成または削除できませんでした。 RasterLink6Plus をアンインストールする時に、プリンタドライバを削除できませんでした。	他社製プリンタが影響している可能性があります。[コントロールパネル]-[プリンタ]で、他社製プリンタを削除してください。 RasterLink6Plus アンインストール時に本エラーが発生した場合は、PC 再起動後に [コントロールパネル]-[プリンタ]で、RasterLink6Plus が作成したプリンタを削除してください。
ファイル名に禁則文字が含まれています。 ファイル名を変更してください。	ファイル名に問題があるため、読み込みができませんでした。	句読点や括弧等の禁則文字を取り除いてください。
ファイル名が長すぎます。	[ファイル]-[開く]またはドラッグアンドドロップでファイルを読み込むとき、対象ファイルのフルパスが長すぎるためにファイルにアクセスできませんでした。	Windows で扱えるファイルのパスは 255byte までです。特にネットワークドライブではパス名が長くなりがちです。一旦ローカル HDD や USB メモリにコピーしてから RasterLink6Plus に読み込ませてください。

エラーメッセージ	表示条件 (原因)	対処方法
ジョブの最大登録数 [200] を超えました。これ以上ジョブを登録できません。不要なジョブを削除してください。	[ファイル]-[開く]またはドラッグアンドドロップでファイルを読み込むとき、登録可能なジョブ数の上限値 (200 ジョブ) に達しました。	不要なジョブを削除してください。
ファイル形式を判断できません。	サポートしていない形式のファイルを読み込みました。	アプリケーションの[ファイル]-[印刷]メニューからプリンタドライバ出力してください。
画像サイズ情報を取得できません。	読込んだファイルの画像サイズ(用紙サイズ)を判断できませんでした。	アプリケーションの[ファイル]-[印刷]メニューからプリンタドライバ出力してください。
ファイルを移動できません。 [移動元]→[移動先]	クライアントPCからホットフォルダにファイルをコピーした際に発生する場合があります。	クライアントPCがコピーしたファイルを解放しないために発生する現象です。クライアントPCを再起動してください。
PostScript エラー	ファイル読み込み時、または RIP 処理時に、RIP コアがエラーを検出しました。	アプリケーションの[ファイル]-[印刷]メニューからプリンタドライバ出力してください。
		[VMerror],[limitcheck]が発生する場合は、入力画像データが複雑すぎます。ベクタオブジェクトをラスターライズするなどして、データを単純化してください。グラデーションオブジェクトを含む場合は、[コンパチブルグラデーション]指定をOFFに、グラデーションメッシュを含む場合は、[グラデーションメッシュプリント]をONにして試してください。
		PDF ファイル読み込み時に [invalidaccess]が発生する場合は、PDF ファイルがパスワードで保護されています。PDF ファイルのパスワード保護を解除してPDF ファイルを保存しなおしてください。
メモリが極端に不足しているため操作を続行できません。	利用可能なメモリが極端に少ない状態になりました。	RasterLink6Plus を再起動してください。 [環境設定]-[オプション]-[表示]-[プレビュー解像度]を下げてください。
メディア幅が0のためレイアウトプレビューは表示できません。 [プリンタステータス]-[メディア]でメディア幅を確認してください。	プリンタにメディアが装着されていない、または[メディアサイズ]が[手入力: 0mm]指定されている状態で、レイアウトプレビュー画面に切替えました。	プリンタにメディアを装着し、プリンタステータスを再取得してください。 [メディア幅]を手入力指定する場合は、有効なサイズを指定してください。
ジョブが作図範囲外に配置されています。	ジョブが作図範囲から完全に食み出されて配置されています。	ジョブを作図範囲内に配置してください。
ジョブが作図範囲からはみだして配置されています。	ジョブの一部が作図範囲から食み出されて配置されています。食み出した領域は印刷されません。	食み出しに問題がある場合は、ジョブが作図範囲に完全に収まるように配置してください。
印刷タイルが指定されていません。	[分割印刷]画面で、印刷対象のタイルが一つも指定されていません。	[分割編集]-[印刷タイル]で、一つ以上のタイルを指定してください。
上端のタイルが小さすぎます。 左端のタイルが小さすぎます。 サイズの小さすぎるタイルが存在します。	[分割印刷]画面で、分割サイズが最小値を下回るタイルが存在しています。	分割サイズが1inch(25.4mm)より大きくなるように分割設定を見直してください。

エラーメッセージ	表示条件 (原因)	対処方法
重ね代より小さいタイルが存在します。	[分割印刷]画面で、分割サイズが重ね代サイズを下回るタイルが存在しています。	分割サイズが重ね代より大きくなるように設定してください。
選択ジョブの解像度が異なります。	[面付け]画面で、解像度、ドットタイプ (ND/VD) の異なる複数のジョブを面付けしようとしてしました。	[印刷条件]画面で、面付け対象のジョブの解像度、ドットタイプを一致させてください。
選択ジョブの多層印刷タイプが異なります。	[面付け]画面で、多層印刷タイプが異なる複数のジョブを面付けしようとしてしました。	[レイヤー]画面で、面付け対象のジョブの多層印刷タイプを一致させてください。
選択ジョブの印刷条件が異なります。 面付けすると、[先頭のジョブ名]の印刷条件に合わせられます。 よろしいですか？	[面付け]画面で、面付け可能な複数のジョブを面付けしようとしてしましたが、面付けすると印刷条件が変更されます。	印刷条件を変更したくない場合は [いいえ] を選択してください。
面付 / 合成ジョブの一部を削除できません。一部を削除する場合は、面付 / 合成を解除してから削除を実行してください。	[削除]画面で、面付けされた複数のジョブのうちの一部のジョブ、または合成された複数のジョブのうちの一部のジョブを削除しようとしてしました。	面付けまたは合成を解除してからジョブを削除してください。
RIP コアが予期せず終了しました。 [PREVIEW]	ファイルの読み込み時にエラーが発生しました。	再度、ファイルを読み込んでください。
RIP コアが予期せず終了しました。 RasterLink6Plus を再起動してください。[RIP]	RIP 処理中にエラーが発生しました。	RasterLink6Plus を再起動してください。
USB2 : ポートが開けません (W)。 <エラー詳細> USB2 : ポートが開けません (U)。 <エラー詳細>	プリンタと接続できません。	プリンタの電源が入っていること、プリンタと PC が USB2.0 ケーブル接続されていることを確認してください。
USB2 : プリンタで [データクリア] 機能が実行されました。	作図中に、操作パネルの [DATA CLEAR] を押しました。	データクリアにより印刷は中断されました。続きから印刷することはできません。再印刷が必要な場合は、最初から印刷実行してください。
	作図中に、メディアエンドを検出しました。	
	プリンタに作図データ転送中の USB の通信状態が不良の場合、勝手にデータクリアされることがあります。	以下の方法を実施してください。 (1) 3m 以下の USB ケーブルを使用する (2) USB ハブを使用する (3) USB のインターフェースを増設して使用する
DRV : 出力中にエラーが発生しました (W) 。<エラー詳細> DRV : 出力中にエラーが発生しました (O) 。<エラー詳細>	プリンタに作図データ転送中に USB の通信障害が発生しました。	以下のような非推奨環境での使用により発生しやすい現象です。 • intel 純正 Chipset 搭載 PC を使用していない。 • USB ケーブルをリピータケーブルで延長している。 • USB ケーブルの品質が悪い (別売のミマキ推奨ケーブルの使用を推奨します)。 推奨環境で使用している場合は、以下の方法を実施してください。 (1) 3m 以下の USB ケーブルを使用する (2) USB ハブを使用する (3) USB のインターフェースを増設して使用する

エラーメッセージ	表示条件 (原因)	対処方法
USB2 : Hi-Speedモードで接続できません。PCのUSBポート, 使用しているUSBケーブルやUSBハブがUSB2.0規格に準拠しているか確認してください。	プリンタとのUSB接続において、USB2.0のHi-Speedモードで接続できませんでした。	USB2.0接続環境を確認してください。
プリンタステータスからインク消費量計算に必要な情報を取得できません。	プリンタと接続していない状態で、RIPを実行しました。ミマキ製プリンタの一部製品では、インク消費量の計算にプリンタ接続が必要になります。	プリンタとの接続状態を確認してください。 インク消費量を計算する必要がない場合は、[環境設定][オプション][ジョブ制御]で[インク消費量を算出する]をOFFにしてください。
メディア幅が0のため印刷できません。	プリンタにメディアが装着されていない、または[メディアサイズ]が[手入力: 0mm]指定されている状態で、ジョブを実行しました。	プリンタにメディアを装着し、プリンタステータスを再取得してください。 [メディア幅]を手入力指定する場合は、有効なサイズを指定してください。
プリンタステータスから多層印刷に必要な情報が取得できません。プリンタとの接続状態を確認してください。	プリンタと接続していない状態で、3層印刷ジョブのRIPを実行しました。	プリンタとの接続状態を確認してください。
ファイルを読み込むことができません。ファイルが破損しているか、またはファイル形式が正しくありません。	RIP処理時に、入力ファイルの異常を検出しました。	入力ファイルを再作成してください。 アルファチャネル TIFF ファイルを読み込んだ時もこのエラーが発生します。アルファチャネルを除去してください。
リストアップ可能なプリンタ(プリンタモデル名)が登録されていません。	[バックアップ]画面でバックアップジョブファイルを復元する時に、バックアップしたジョブのプリンタと同一のプリンタが登録されていないため、ジョブをリストアップできませんでした。	[プリンタ管理]で、バックアップしたジョブのプリンタと同一条件のプリンタを追加してください。
新しいバージョンのRasterLink6Plusでバックアップされているため復元できません。RasterLink6Plusを[バージョン番号]以上にバージョンアップしてください。	[バックアップ]画面でバックアップジョブファイルを復元する時に、インストールされているRasterLink6Plusより新しいバージョンのRasterLink6Plusでバックアップしたジョブをリストアップしようとした。	新しいバージョンのRasterLink6Plusで作成されたバックアップジョブファイルを、古いバージョンのRasterLink6Plusでリストアップすることはできません。まず、RasterLink6Plusを指定のバージョン以降にバージョンアップしてください。
プロファイルがインストールされていないためジョブを復元できません。RasterLink6Plusを終了し、ProfileManagerで以下のプロファイルをインストールした後、再度ジョブをリストアップしてください。	[バックアップ]画面でバックアップジョブファイルを復元する時に、バックアップジョブが使用しているプロファイルがインストールされていないため、ジョブをリストアップできませんでした。	メッセージに従い、RasterLink6Plus終了後にProfileManagerで指定のプロファイルをインストールしてください。
作業ドライブ(ドライブ名)の空き容量が設定値(##GB)を下回っています。不要なジョブまたはRIP済データを削除してください。	HDDの空き容量が、設定値([環境設定][オプション][ディスク]-[確保するディスク残量])を下回りました。	不要なジョブを削除してHDDの残量を確保してください。
待機中でないジョブに対しては操作できません。	実行中のジョブに対して、実行完了前に再度実行指定しました。	ジョブの実行が完了するまでお待ちください。
ロックされているジョブに対しては操作できません。	ロックされているジョブに対して、属性変更、面付け、版作成、合成、削除のいずれかを操作しました。	[プロパティ]でロックを解除してから操作してください。

エラーメッセージ	表示条件 (原因)	対処方法
ロックされているジョブが含まれているため、変更は保存されません。	ロックされているジョブを選択して編集画面を開きました。編集画面での変更は、画面切替時に保存されません。	ジョブの設定を変更する場合は、[プロパティ]でロックを解除してください。
現在設定している印刷条件はプロファイルの推奨印刷条件 (推奨作図モード) ではありません。このまま印刷を続行すると印刷品質が低下する恐れがあります。	印刷条件 (パス数、重ね塗り、印刷方向、高速印刷) がプロファイルの推奨印刷条件でなく、プロファイル内のUV照射値が取得できない場合に表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> 推奨印刷条件で印刷を行ってください。 プリンタの UV モードの設定を【ホスト】以外に設定してください。
	[はい] を選択すると印刷が中断されます。	
	[いいえ] を選択すると印刷が継続され、プリンタ UV 照射設定で印刷されます。	
印刷ページ範囲の指定方法が適切ではありません。	ページ指定で、適切でない文字列、入力ページの上限が総ページを上回って指定のいずれかの指定をしました。	["-" は 2 か所で使用しない] [".""、" 以外の文字は使用しない] [入力ページの上限が総ページ数を上回らない] 等に注意して、ページ指定を行ってください。
デバイスプロファイルのカラーセットが異なるジョブは合成できません。	カラーセットの異なるジョブを合成しました。カラーセットが異なるジョブの合成はできません。	同じカラーセットのデバイスプロファイルに変更してください。
デバイスプロファイルの異なるジョブを [速度優先] で合成することはできません。	デバイスプロファイルが異なるジョブを [速度優先] で合成しました。デバイスプロファイルが異なるジョブを [速度優先] で合成できません。	同じプロファイルに変更して合成してください。
		合成条件を [品質優先] に変更して合成してください。
解像度の異なるジョブを [速度優先] で合成することはできません。	解像度が異なるジョブを [速度優先] で合成しました。解像度が異なるジョブを [速度優先] で合成できません。	同じ解像度に変更して合成してください。
		合成条件を [品質優先] に変更して合成してください。
サーバーがビジー状態の為、データベースに接続できません。ご迷惑をお掛けしますが、時間をおいてから再度実行してください。	サーバーメンテナンス中にライセンス認証を実行しました。	お手数ですが、時間をおいてから再度実行してください。
ライセンスの再認証が必要です。	ライセンス認証がされていない可能性があります。	取扱説明書に従い、ライセンス認証を解除したあと再度、ライセンス認証を実行してください。
ライセンス認証した時と PC の構成が異なります。	LAN ケーブル接続でライセンス認証を行ったが、無線 LAN 接続で RasterLink6Plus を起動した場合	<p>(4) ライセンス認証時の状態に戻してから起動する。 ネットワークの接続方法 (LAN ケーブル接続、無線 LAN 接続) マザーボードを以前のものに戻す。</p> <p>(5) ライセンス認証解除を実行し、再度ライセンス認証後、RasterLink6Plus を起動する。 インターネットに接続していない場合は、代理ライセンス認証解除を行います。</p>
	無線 LAN 接続でライセンス認証を行ったが、LAN ケーブル接続で RasterLink6Plus を起動した場合	
	パソコンの構成を変更した場合 (マザーボードを交換した等)	
認証中にエラーが発生しました。	以下のネットワーク接続すると、発生することがあります。 <ul style="list-style-type: none"> PPP 接続のネットワークアダプタ (例: USB 型データ通信端末など) USB 接続のネットワークアダプタ (例: USB 無線 LAN アダプタなど) 	PPP 接続のネットワークアダプタ、USB 接続のネットワークアダプタは使用せず、LAN ケーブルで接続し、ライセンス認証を実行してください。

エラーメッセージ	表示条件（原因）	対処方法
入力したシリアルキーは別の PC で使用されています。	一度認証したシリアルキーを、ライセンス認証解除せずに、再認証した場合、このエラーが発生します。（例えば、すでにライセンス認証済みの PC が存在しており、別の PC に RL6 をインストールし、ライセンス認証を実行した場合）	ライセンス認証済みの PC で、ライセンス認証解除を実行し、新しい PC のライセンス認証を実行してください。
オーバーフローエラーが発生しました。	RasterLinkTools で輪郭抽出する画像サイズが大きすぎる場合に発生します。	輪郭抽出できない場合、画像サイズを小さくしてください。

インストールPCのセキュリティ設定について

インストールCDをPCに挿入しても、CDメニュー画面が表示されない

CDやUSBメモリなどの自動実行(Autorun)機能が無効になっている場合、CDを挿入してもCDメニューが起動しません。この場合、以下の手順で、CDドライブの内容を表示し、“CDMenu.exe”を直接選択し、実行してください。

- (1) エクスプローラーでCDドライブを選択します。
- (2) CDMenu.exeを選択し、ポップアップメニューを表示させて[開く]を選択します。

重要!

- RasterLink6Plusは必ずCDメニューを使用してインストールしてください。CDメニューを使用しないで、直接RasterLink6Plusのインストーラーからインストールした場合、全てのファイルがインストールされず、エラーの原因となります。

ライセンス認証/プログラムアップデート/プロファイルアップデート使用時

ファイアウォール機能が付いたセキュリティソフトウェアをご使用の場合、ライセンス認証/プログラムアップデート/プロファイルアップデートの各ツールのネットワーク(インターネット)への接続を遮断する場合があります。多くのセキュリティソフトウェアでは、そのソフトウェアが初めてネットワークに接続しようとしたときに、接続を許可するかウィンドウを表示して確認します。

上記の各ツールの初回起動時に接続を許可するか確認するウィンドウが表示された場合、許可してください。もし、誤って不許可にしてしまった場合、お使いのセキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧ください。以下のファイルのネットワーク接続を許可してください。

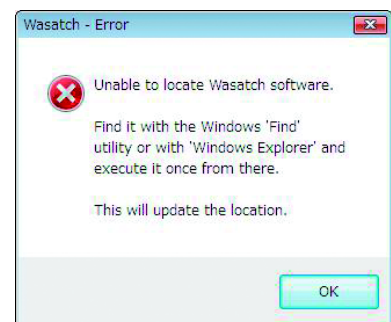
- RasterLink6Plusのインストールドライブ\MijSuiteWeb\Bin\AppWebcLicense.exe
- RasterLink6Plusのインストールドライブ\MijSuiteWeb\Bin\AppWebcProgram.exe
- RasterLink6Plusのインストールドライブ\MijSuiteWeb\Bin\AppWebcProfile.exe

RasterLink6Plusに画像が読み込めなくなった

RasterLink6Plusに画像を読み込む際に、右のエラーメッセージウィンドウが表示され、画像が読み込めないことがあります。

このエラーはセキュリティソフトによって、RasterLink6Plusの画像読み込みに必要なツールの起動が妨げられた、もしくは、ウィルスだと誤検出され削除されてしまったことが原因の場合があります。

以下のことを確認してください。



- (1) セキュリティソフトウェアのマニュアルをご覧ください。起動を制限するソフトウェアの一覧に以下のファイルが存在するか確認し、存在した場合、起動を許可してください。
RasterLink6Plusのインストールフォルダ\Bin\PS3.exe
- (2) 上記ファイルが存在するか確認してください。もし、無い場合、RasterLink6Plusを再インストールしてください。再インストール後、セキュリティソフトのマニュアルをご覧ください。ホワイトリスト(ウィルスではないファイルの一覧)に上記ファイルを設定してください。

RasterLink6Plus の画面表示に不具合が発生した場合には

まれに、RasterLink6Plus の画面表示に以下のような不具合が発生する PC 環境があります。

- タブを切り替えると、前のタブの表示が一部残ってしまう。
- プレビュー画像が乱れる。
- RasterLink6Plus を長時間起動させると、画面表示がおかしくなり、最悪 PC がフリーズする。

このような現象が起こった場合、以下の方法で回避することが出来る場合があります。

回避策 1

グラフィックボードのドライバを最新バージョンにアップデートします。
グラフィックボードドライバの更新方法については、お使いの PC もしくはグラフィックボードのマニュアルをご覧ください。

デスクトップにある RasterLink6Plus のアイコンをダブルクリックしても、RasterLink6Plus が起動しない場合

まれに、デスクトップにある RasterLink6Plus のアイコンをダブルクリックしても、RasterLink6Plus が起動しない PC の環境があります。

このとき、Windows の [スタート]-[すべてのプログラム]-[MimakiRasterLink6Plus]-[MimakiRasterLink6Plus] をクリックすると、RasterLink6Plus は起動します。



- このような現象が起こった場合、以下の方法で回避できる場合があります。

回避策

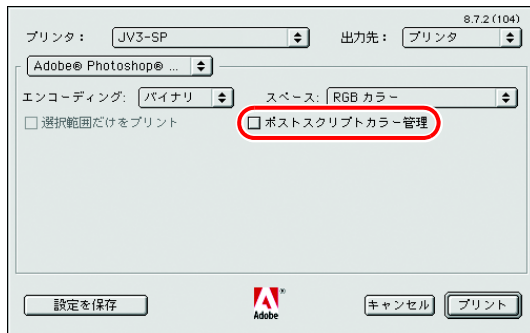
デスクトップのテーマを変更してください。

アプリケーションでの注意事項

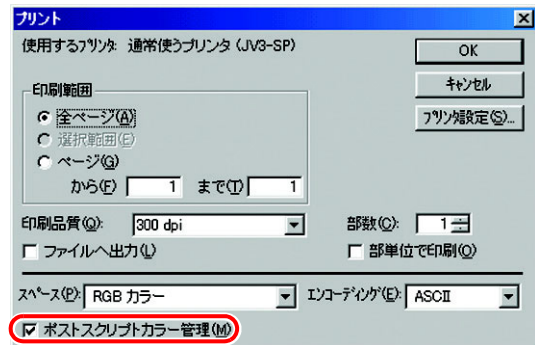
Adobe Photoshop 5.x 以前について

Adobe Photoshop 5.x 以前の eps ファイルで印刷すると、暗く印刷されることがあります。また、Adobe Photoshop 5.x 以前の eps ファイルを Adobe Illustrator に割り付けて印刷する場合にも暗く印刷されることがあります。

Adobe Photoshop のプリントダイアログにある「ポストスクリプトカラー管理」のチェックを外してください。または、Adobe Photoshop 6 以降で保存しなおしてください。「ポストスクリプトカラー管理」にチェックが付いていると、RasterLink6Plus のカラーマッチングが効かないため暗く印刷されます。



Macintosh 版

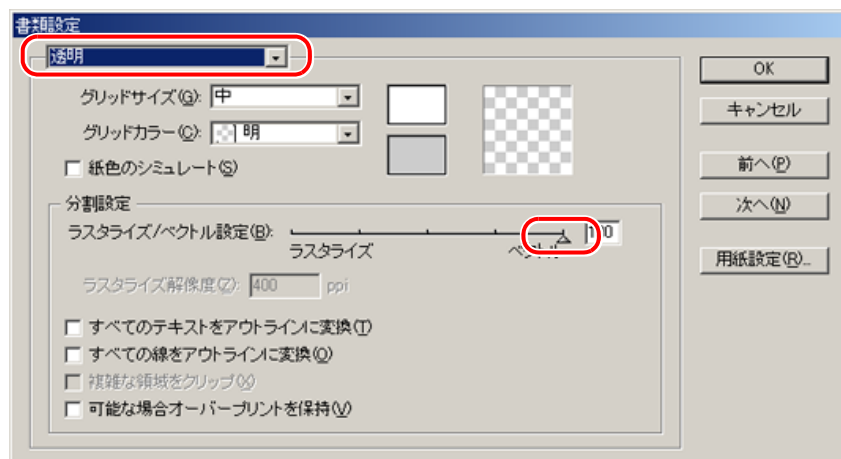


Windows 版

Adobe Illustrator について

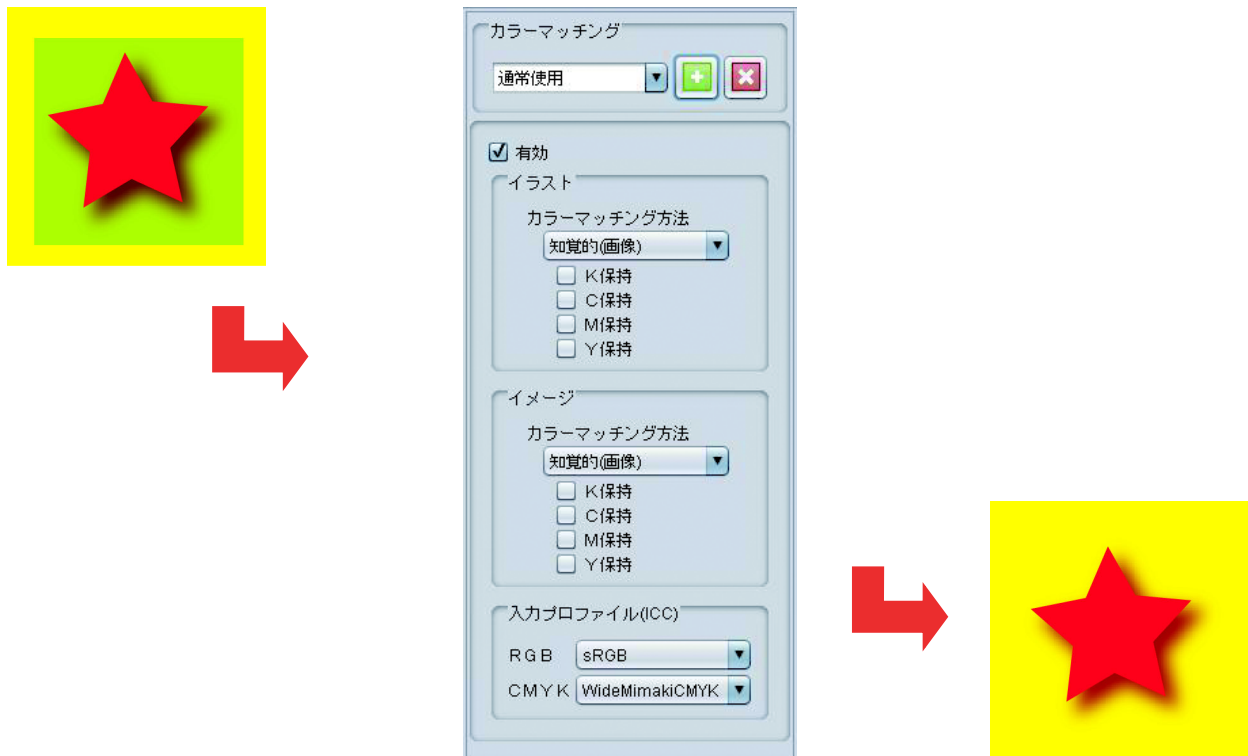
● 透明効果とドロップシャドウ

透明効果を適用した Adobe Illustrator 9 以降のデータは、RasterLink6Plus で拡大して印刷すると、ジャギー（斜め線が階段状になる）が目立つ場合があります。この場合、Adobe Illustrator の“書類設定”の項目を以下のように設定してください。



ドロップシャドウコマンドを使用した場合、ドロップシャドウをかけたオブジェクトの周りの色が地の色と異なります。

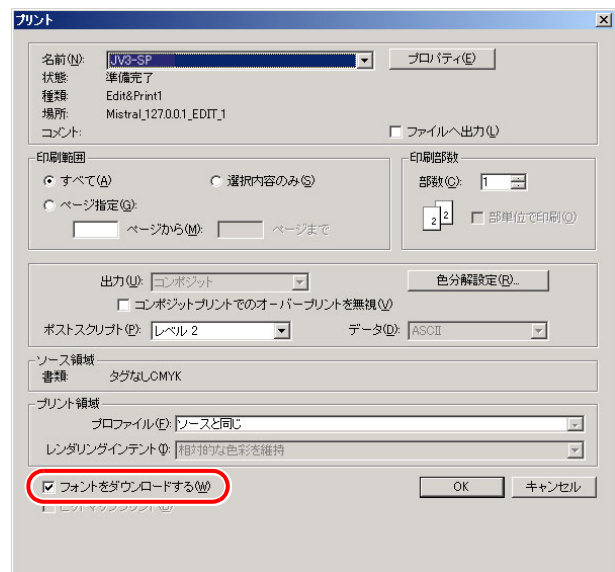
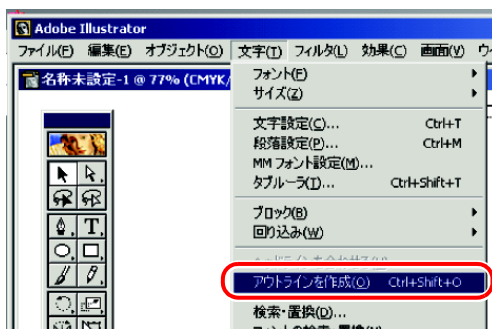
RasterLink6Plus のイラストとイメージのカラーマッチング方法を同じ設定にしてください。



- 文字が作図できない
- 斜体になる
- 文字の周囲のオブジェクトの一部が作図しない

使用しているフォントをアウトライン化してください。

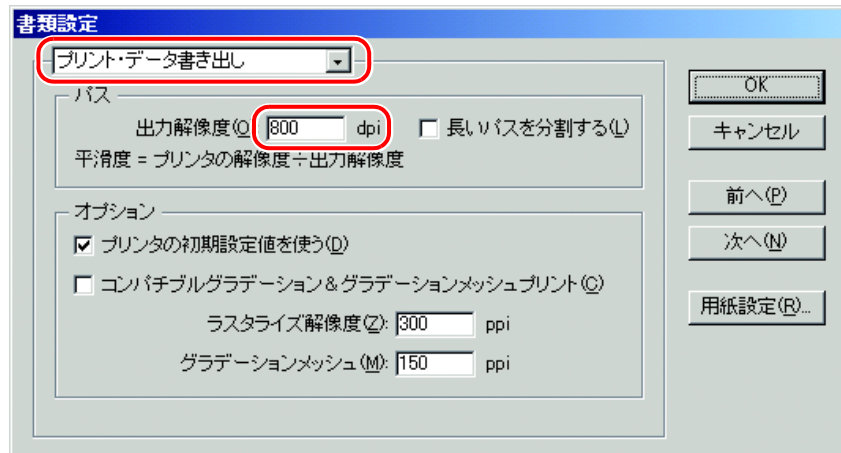
プリンタドライバを使用して印刷する場合は、フォントをダウンロードするように設定してください。



● 円や文字が多角形になる

Illustrator のパスの出力解像度が低いと、RasterLink6Plus で設定したスケール値が高すぎます。
(RasterLink6Plus 側でスケール値を 1000% に設定している等)

Illustrator のパスの出力解像度のデフォルト値は、800dpi です。Illustrator の Output Resolution を上げるか、RasterLink6Plus 側でのスケール値を下げてください。



Illustrator のパスの出力解像度を上げる場合は、次の計算式により解像度を求めてください。これより大きな値を指定しても効果はありません。

● Illustrator8、9、10 の場合

出力解像度 = 選択するデバイスプロファイルの Scan 方向の解像度 × 画像編集で指定するスケール値 (%) / 100

例)

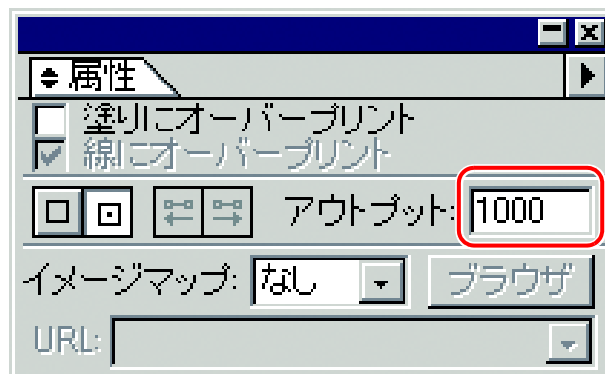
選択するデバイスプロファイルの解像度：720x1440dpi
画像編集でスケール値を 1000% に設定

720 (Scan 方向の解像度) × 1000 (スケール値) / $100 = 7200$

Illustrator のパスの出力解像度を 7200 に設定する。

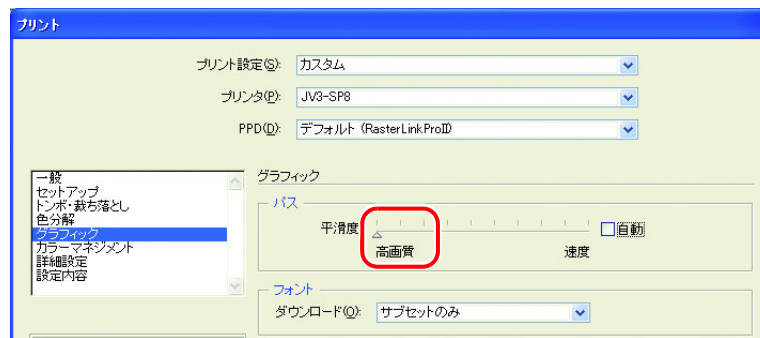
Illustrator8 または Illustrator9 では、“書類設定 ...” 中にある“プリント・データ書き出し”の出力解像度を変更しても作成済みのオブジェクトには反映されません。

オブジェクトを選択して、“属性”パレットでアウトプットサイズを変更してください。“属性”パレットは、“ウィンドウ”メニューから“属性を表示”を選択してください。

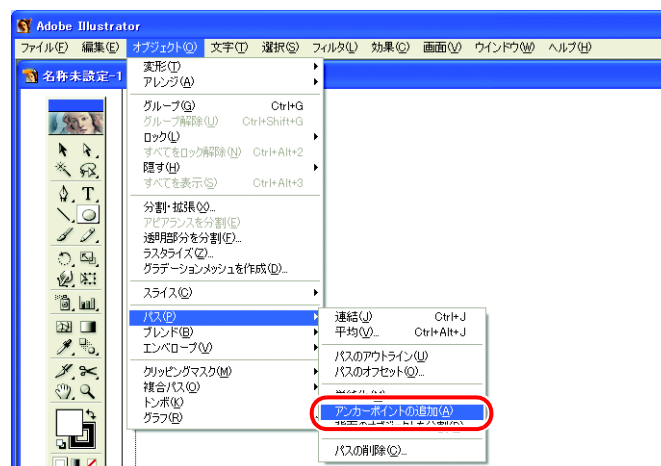


● Illustrator CS、CS2、CS3 の場合

EPS ファイルに保存する場合、パスの出力解像度の設定項目がありません。Illustrator からプリンタドライバを使用して、“グラフィック”の“平滑度”を“高画質”に設定し出力してください。



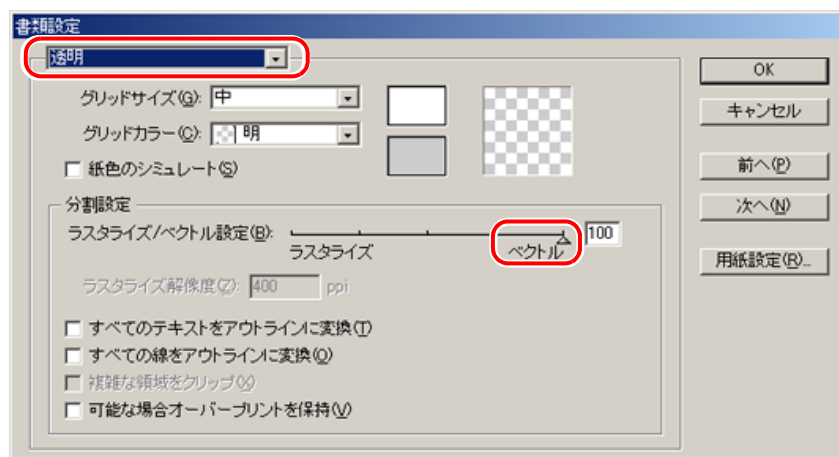
RasterLink6Plus でスケール値を上げていない場合や、Illustrator のパスの出力解像度を上げてても円や文字が多角形に印刷される場合があります。この場合、Illustrator 上で対象オブジェクトを選択し、[アンカーポイントの追加] を 1～3 回実行して、1 つの曲線分を短くしてください。



● 透明効果を適用した文字などにジャギーが発生する

RasterLink6Plus 側で拡大作図すると、透明効果を適用した文字などにジャギーが発生する場合があります。

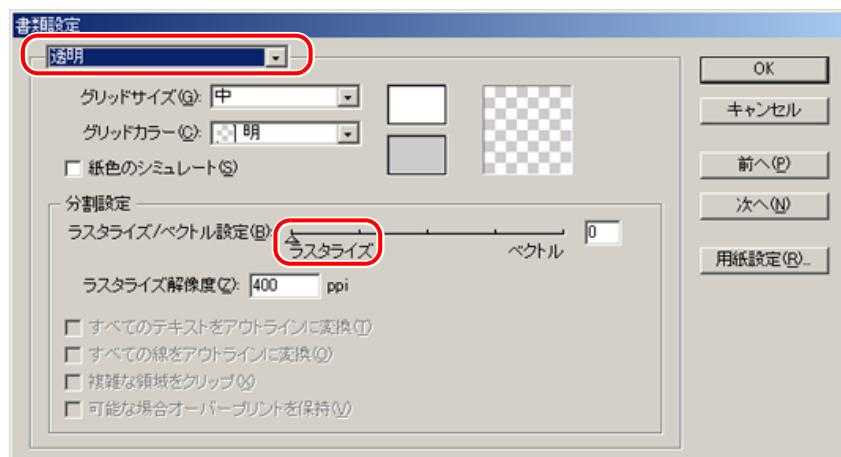
この場合、Adobe Illustrator の“書類設定”の項目を以下のように設定してください。



● 作図されない部分があったり、余分な線が作図される

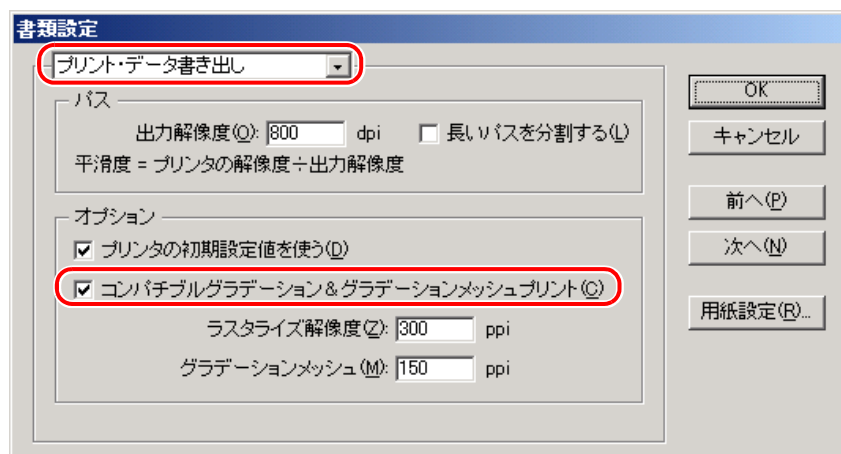
透明効果を適用した複雑なオブジェクトや写真に、作図されない矩形部分や不要な線が作図される場合があります。

この場合、Adobe Illustrator の“書類設定”の項目を以下のように設定してください。



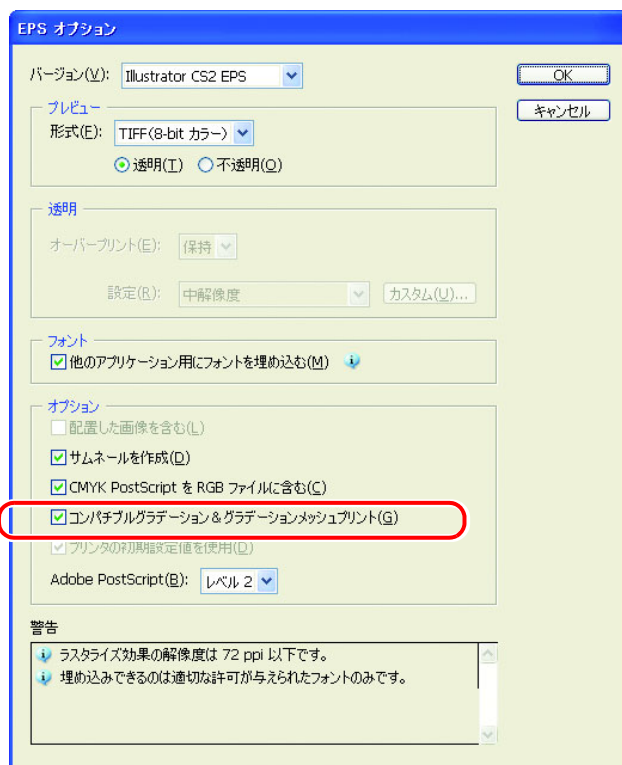
● グラデーションのトーンジャンプが目立つ、作図されない部分があったり余分な線が印刷される

Adobe Illustrator 8、9、10 の場合、Illustrator の“書類設定”の項目を以下のように設定してください。



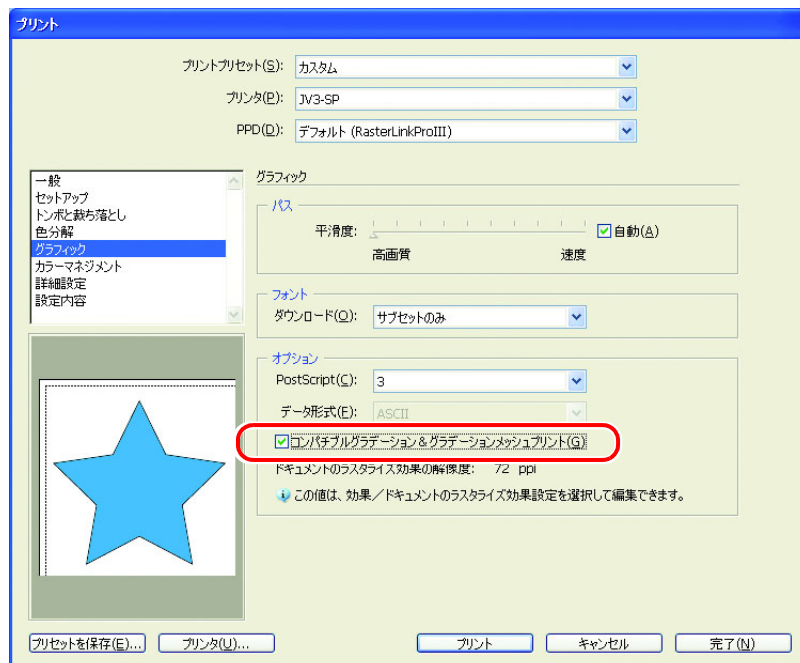
● Illustrator CS、CS2、CS3 の場合 (EPS 保存時)

EPS 保存時の“EPS オプション”の項目を、以下のように設定してください。



● Illustrator CS、CS2、CS3 の場合 (プリント時)

プリンタドライバ出力時の“プリント”の項目を、以下のように設定してください。

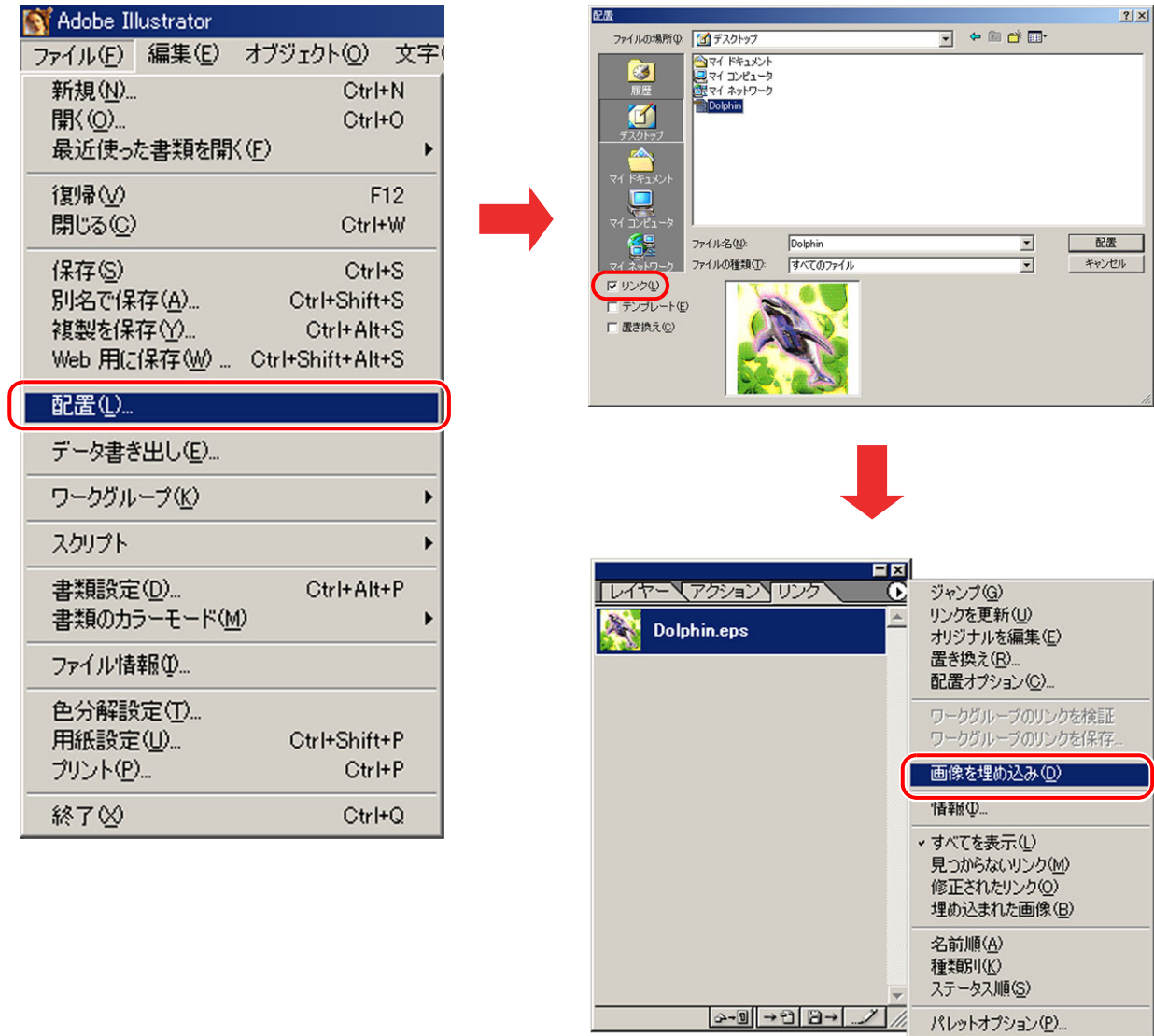


重要!

- グラデーション置換をするデータの場合、“コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント”の設定をチェックしないでください。色置換ができなくなります。

- 配置画像が抜ける
- RIP が開始しない

Adobe Illustrator で作成したデータに、配置したリンク画像がある場合、Illustrator 上で画像を埋め込んでください。



● Illustrator10 で保存した EPS ファイルの画像周辺部が欠ける

Adobe Illustrator10 で、周辺部に矩形オブジェクトを細線で配置するような場合、線が細くなったり、全く印刷されない場合があります。これは、Illustrator10 が EPS 保存時に、画像全体のサイズを整数の Point 単位に四捨五入してクリップするために発生する現象です。

Illustrator10 では、画像周辺にダミーオブジェクトを配置して EPS 保存するか、プリンタドライバ出力で、少し大きめの PostScript カスタムページサイズを指定してください。

● アプリケーション上での画像サイズと、RasterLink6Plus 上での画像サイズが異なる

アプリケーションで作成した画像のサイズと、RasterLink6Plus のジョブエディタ上に表示される画像サイズは完全には一致しません。これにはいくつかの要因があります。

(1) PostScript 言語における画像サイズの扱い方による制限

アプリケーションでは通常、mm や inch の単位でサイズ指定しますが、PostScript 言語では Point(1/72inch) 単位で数値を扱います。

画像オブジェクトのサイズは実数の Point で扱われますが、EPS ファイル保存時の全体サイズやプリンタドライバ出力時の PostScript カスタムページサイズは、最終的に整数の Point に変換されます。このため、最大で 1Point(0.353mm) の変換誤差が生じます。

(2) 線幅の影響

Illustrator の [情報] ウィンドウに表示されるオブジェクトのサイズには、線幅が含まれません。実際のオブジェクトのサイズは線幅を考慮したサイズになります。

(3) 特定アプリケーションにおけるサイズ計算方法の影響

前述の Illustrator10 のように、アプリケーション独自のサイズ計算方法による影響が発生します。

以上の理由により、原寸出力する場合でも 1Point 程度の誤差が生ずるため、RasterLink6Plus でスケールをかける場合、誤差も大きくなります (1Point の誤差がある場合、100% 拡大すると誤差が 3.5mm になります)。

出力サイズの精度を重視する場合、誤差を小さくするために以下の点に留意してください。

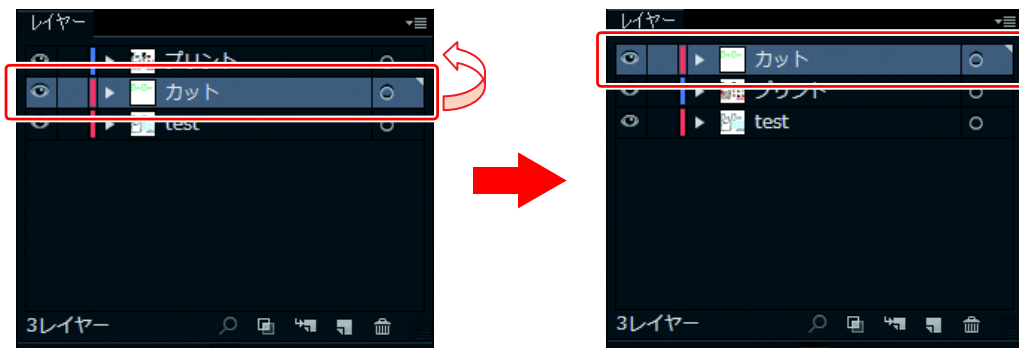
- なるべく原寸出力する
- スケールをかける場合、%で指定する (mm や inch で数値指定しない)

● 同じ場所を 2 回カットする

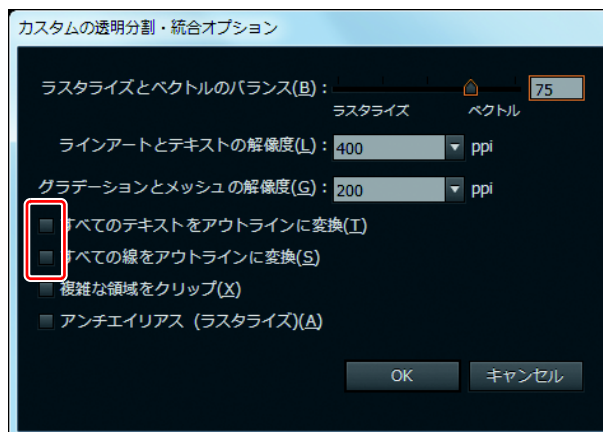
透明効果を適用した Adobe Illustrator 9 以降のデータは、RasterLink6Plus でプリント&カットを実行すると、カットデータを 2 回カットする場合があります。

この場合、Adobe Illustrator で以下のように設定してください。

(1) プリントデータとカットデータを別レイヤーに分け、カットデータのレイヤーを一番上に移動する



(2) “すべてのテキストをアウトラインに変換”および“すべての線をアウトラインに変換”を OFF に設定する



Mac OS X での注意事項

Mac OS X からスプールする場合、以下の制限事項があります。

PDF 書類の印刷

Acrobat Reader の Ver.5 から印刷すると、ジョブ一覧画面に表示される [ファイル名] が文字化けします。この現象は Ver.6 で修正されています。PDF 書類は Adobe Reader Ver.6 以降で印刷してください。

Macintosh でホットフォルダを使用する際の注意事項

● ホットフォルダへのファイルコピーを中止すると、エラーが発生する

コピーを中断したファイルは、ほとんどの場合は無視されるか、スプールエラーになりますが、不完全な状態のファイルがスプールされ、RasterLink6Plus が誤動作する場合があります。できるだけファイルのコピー操作を中断しないでください。

また、Mac OS X の場合、Finder 上で開いたホットフォルダに対して、マウスクリック等の操作をするだけで異常な現象が発生する場合があります。ファイルのコピー中は、Finder 上での不必要な操作をしないでください。

● ホットフォルダへファイルコピー中に、ホットフォルダからファイルを強制的に削除すると、エラーが発生する

Mac OS X では、コピー中のファイルをホットフォルダから強制的に削除できますが、このような操作をすると、他のファイルも削除したり、RasterLink6Plus が誤動作する場合があります。

ホットフォルダへコピーしたファイルは削除しないでください。

● OS X での拡張子の表示について

OS X の場合、Finder の環境設定] - [詳細] で、“すべてのファイル拡張子を表示” にチェックが入っていないと、拡張子が表示されない場合があります。

Macintosh でアプリケーションから印刷する場合のスプール速度改善方法

アプリケーションによっては、印刷時に出力先をホットフォルダに変更することで、スプール速度が改善されます。以下の方法をお試しください。

以下の手順で、アプリケーションからホットフォルダにスプールできます。ただし、アプリケーションによっては問題が発生する場合があります。問題が発生した場合は、“プリント”画面で“出力オプション”の“ファイルとして保存”のチェックを外してください。

問題が発生するアプリケーション

● Illustrator 10

出力できるときと、できないときがあります。

● Illustrator CS

ファイルによっては、スプールできないことがあります。

● Photoshop 7

保存するファイル名に 2byte 文字が含まれる場合、自動的に付加される“@”以降を削除しないとスプールできません。

1 アプリケーションから [ファイル] - [プリント] メニューを開きます。

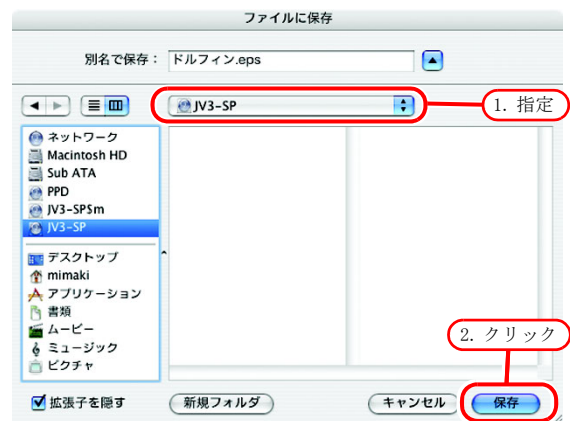
2 “プリンタ：” に RasterLink6Plus 用のプリンタを指定します。

- “出力オプション” を選択します。
- “ファイルとして保存” をチェックします。
- “フォーマット” に “PostScript” を指定します。



3 保存 をクリックします。

4 出力先に RasterLink6Plus のホットフォルダを指定します。



5 保存 をクリックします。

グラデーションオブジェクトを含む画像の RIP 速度改善方法

画像内に、複雑なグラデーションメッシュオブジェクトや、非常に多くのグラデーションオブジェクトが存在する場合、RIP 処理に時間がかかります。このような場合、Illustrator の設定を変更することで RIP 速度を改善できます。

通常は、「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」のチェックを外すことをお勧めします。グラデーションの色としてスポットカラーを指定したい場合は、チェックを入れてください。

RIP 速度が改善しない場合は、以下の方法をお試しください。

● グラデーションメッシュが多用されている、もしくは、大きなグラデーションメッシュオブジェクトが存在する場合

Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」にチェックを入れてください。

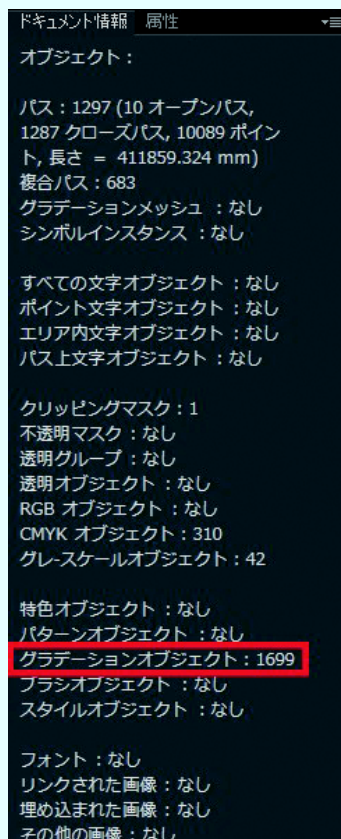
● 塗り / 線にグラデーションが多用されている、もしくは、大きなグラデーションオブジェクトが存在する場合

Illustrator の設定で「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」のチェックを外してください。

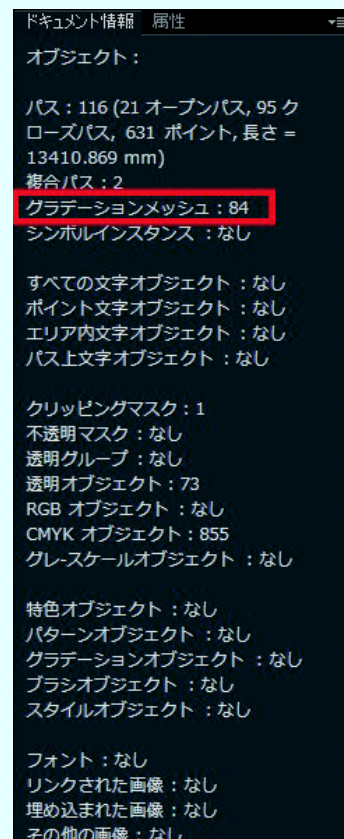


- 上記のように「コンパチブルグラデーション&グラデーションメッシュプリント」の設定の有無は、グラデーションオブジェクトと、グラデーションメッシュオブジェクトのどちらか一方に対してのみ効果があります。Illustrator の [ドキュメント情報] ウィンドウで、どちらが多用されているかで設定を変更してください。

グラデーションオブジェクトが多用されている



グラデーションメッシュオブジェクトが多用されている



付録

LICENSE Library

RasterLink6Plus

Copyright © 2017 MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. All rights reserved.
RasterLink6Plus is built using open source software:

- OpenCV
- zlib

OpenCV

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

License Agreement
For Open Source Computer Vision Library
(3-clause BSD License)

Copyright (C) 2000-2016, Intel Corporation, all rights reserved.
Copyright (C) 2009-2011, Willow Garage Inc., all rights reserved.
Copyright (C) 2009-2016, NVIDIA Corporation, all rights reserved.
Copyright (C) 2010-2013, Advanced Micro Devices, Inc., all rights reserved.
Copyright (C) 2015-2016, OpenCV Foundation, all rights reserved.
Copyright (C) 2015-2016, Itseez Inc., all rights reserved.
Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the names of the copyright holders nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed.
In no event shall copyright holders or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.8, April 28th, 2013

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

MEMO

